

官報

號外

大正十五年三月二十五日 木曜日

內閣印刷局

第五十一回衆議院議事速記第三十六號

大正十五年三月二十四日(水曜日)午後一時三十五分開議

議事日程 第三十五號

大正十五年三月二十四日

午後一時開議

第一 大正十二年度歲入歳出總決算
出決算

第二 大正十二年度國有財産増減總計
算書

第三 大正十三年度歲入歳出總決算
出決算

第四 大正十三年度國有財産増減總計
算書

第五 獸醫師法案(政府提出、貴族院
送付)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員
ノ選舉

第七 民事訴訟費用法中改正法律案
(政府提出、貴族院送付)

第八 民事訴訟用印紙法中改正法律案
(政府提出、貴族院送付)

第九 商事非訟事件印紙法中改正法律
案(政府提出、貴族院送付)

第十 非訟事件手續法中改正法律案
(政府提出、貴族院送付)

第十一 人事訴訟手續法中改正法律案
(政府提出、貴族院送付)

第十二 競賣法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

第十三 民法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

第十四 破產法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

第十五 明治三十二年法律第五十號中
改正法律案(外國人ノ署名捺印及無
資力證明ニ關スル件)(政府提出、貴
族院送付)

第十六 刑事訴訟法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)

第十七 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委
員ノ選舉

第十八 産業組合法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)

第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委
員ノ選舉

第二十 特別都市計畫法、第五條ノ土
地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ
關スル法律案(政府提出)

第二十一 移住組合法案(樋口秀雄君
外七名提出)

第二十二 漁業法中改正法律案(谷原
公君外二名提出)

第二十三 漁業附屬抵當法中改正法律
案(中村嘉壽君提出)

第二十四 民事訴訟法中改正法律案
(谷原公君外一名提出)

第二十五 大正十四年法律第四十七號
衆議院議員選舉法中改正法律案(望
月圭介君外二名提出)

第二十六 大正十四年法律第四十七號
衆議院議員選舉法中改正法律案(林
田龜太郎君外一名提出)

第二十七 大正十四年法律第四十七號
衆議院議員選舉法中改正法律案(東
武君外二名提出)

第二十八 大正十四年法律第四十七號
衆議院議員選舉法中改正法律案(廣
瀬德藏君外二名提出)

第二十九 治安警察法中改正法律案
(清瀬一郎君外一名提出)

第三十 治安警察法中改正法律案(安
藤正純君外三名提出)

第三十一 治安警察法中改正法律案
(田中善立君外二名提出)

第三十二 大阪市ニ關スル法律案(廣
瀬德藏君外十一名提出)

第三十三 神戸市ニ關スル法律案(砂
田重政君外三名提出)

第三十四 名古屋市ニ關スル法律案
(田中善立君外二名提出)

第三十五 京都市ニ關スル法律案(森
田茂君外六名提出)

第三十六 橫濱市ニ關スル法律案(平
沼亮三君外二名提出)

第三十七 寺院現境内地無償下戻ニ關
スル法律案(安藤正純君外四名提出)

第三十八 寺院現境内地無償下戻ニ關
スル法律案(福井甚三君外四名提出)

第三十九 古社寺保存法中改正法律案
(田中万逸君外四名提出)

第四十 會計検査院法中改正法律案
(武藤山治君外一名提出)

第四十一 牧野法案(八田宗吉君提
出)

第四十二 造林助成法案(東武君外十
名提出)

第四十三 違警罪即決例中改正法律案
(橫山勝太郎君提出)

第四十四 違警罪即決例廢止法律案
(原夫次郎君外三名提出)

第四十五 家祿引直處分法案(隅田豐
吉君外五名提出)

第四十六 家祿典與祿給與未濟ニ關ス
ル法律案(福田五郎君外七名提出)

第四十七 北海道拓殖銀行法中改正法
律案(小池仁郎君外四名提出)

第四十八 日本勸業銀行法中改正法律
案(小池仁郎君外四名提出)

第四十九 農工銀行法中改正法律案
(小池仁郎君外四名提出)

第五十 煙草專賣法中改正法律案(森
格君外九名提出)

第五十一 著作權法中改正法律案(內
ヶ崎作三郎君外三名提出)

第五十二 特別都市計畫法中改正法律
案(關直彦君外八名提出)

第五十三 借家法中改正法律案(橫山
勝太郎君外一名提出)

第五十四 北海道農地特別處理法案
(丸山浪彌君外六名提出)

第五十五 産業組合中央金庫法中改正
法律案(由谷義治君外五名提出)

第五十六 果物罐詰原料砂糖戻稅法案
(中村嘉壽君外十一名提出)

第五十七 大正十二年法律第三十三號
中改正法律案(工場法中改正ノ件)

(清瀬一郎君提出)

第五十八 刑事訴訟法中改正法律案
(原夫次郎君外二名提出)

第五十九 未成年者飲酒禁止法中改正
法律案(山口政二君外十二名提出)

第六十 恩給法中改正法律案(丸山浪
彌君外二名提出)

第六十一 恩給法中改正法律案(松實
喜代太君外三名提出)

第六十二 恩給法中改正法律案(山口
政二君外三名提出)

第六十三 大正十三年法律第二十四號
中改正法律案(警備品等ノ輸入税ニ關
スル件)(高橋熊次郎君外二名提出) 第一讀會

第六十四 北海道御料拂下地ノ地租免
除ニ關スル法律案(一柳仲次郎君外
九名提出) 第一讀會

第六十五 北海道御料拂下地免租年期
ニ關スル法律案(東武君外三名提出) 第一讀會

第六十六 土地收用法中改正法律案
(廣瀬德藏君外二名提出) 第一讀會

第六十七 金鷄勳章年金ニ關スル法律
案(佐藤實君外一名提出) 第一讀會

第六十八 金鷄勳章年金ニ關スル法律
案(古川清君外一名提出) 第一讀會

第六十九 蠶種業法案(二本海君提出) 第一讀會

第七十 社交舞踏取締法案(柏田忠一
君外一名提出) 第一讀會

第七十一 輸出羽二重精練業法中改正
法律案(森田金藏君提出) 第一讀會

第七十二 議院法中改正法律案(中林
友信君外二名提出) 第一讀會

第七十三 發行權法案(增田義一君外
六名提出) 第一讀會

第七十四 政治運動ノ爲金品供與ノ制
限ニ關スル法律案(尾崎行雄君外九
名提出) 第一讀會

第七十五 政治結社加入勸誘方法ノ制
限ニ關スル法律案(關直彦君外九名
提出) 第一讀會

第七十六 議員ノ職務ニ關スル法律案
(增田義一君外九名提出) 第一讀會

第七十七 帝國在郷軍人會國庫補助ニ
關スル建議案(佐々木春作君外四名
提出)

第七十八 蠶絲局設置ニ關スル建議案
(武藤金吉君外四名提出)

第七十九 高等師範學校設置ニ關スル
建議案(佐々木春作君外五名提出)

第八十 日井島橋間鐵道敷設ニ關スル
建議案(赤間嘉之吉君外三名提出)

第八十一 肥前山口諫早間鐵道速成ニ
關スル建議案(則元由庸君外六名提
出)

第八十二 八戸久慈間鐵道速成ニ關ス
ル建議案(柏田忠一君提出)

第八十三 警察官ノ待遇改善ニ關スル
建議案(本田義成君提出)

第八十四 左澤荒砥間鐵道速成ニ關ス
ル建議案(西方利馬君外五名提出)

第八十五 國有林野所在府縣ニ町村
ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案
(八田宗吉君外一名提出)

第八十六 馬政振作ニ關スル建議案
(八田宗吉君提出)

第八十七 京都市ニ國立音樂學校設置
ニ關スル建議案(森田茂君提出)

第八十八 越美線速成ニ關スル建議案
(猪野毛利君外一名提出)

第八十九 帝國在郷軍人會國庫補助ニ
關スル建議案(蟻川五郎君外二名
提出)

第九十 二見港三田間鐵道敷設ニ關ス
ル建議案(多木久米次郎君提出)

第九十一 帝國軍人後援會國庫補助ニ
關スル建議案(加藤政之助君外三名
提出)

第九十二 帝國在郷軍人會國庫補助ニ
關スル建議案(中林友信君外五名提
出)

第九十三 金鷄勳章並旭日章年金改正
即行ニ關スル建議案(中林友信君外
九名提出)

第九十四 養蠶組合法制定ニ關スル建
議案(山田道兄君提出)

第九十五 猿投神社昇格ニ關スル建議
案(岡本實太郎君提出)

第九十六 高等蠶絲學校建設ニ關スル
建議案(岡本實太郎君外二名提出)

第九十七 若松市ニ高等師範學校設置
ニ關スル建議案(町野武馬君外一名
提出)

第九十八 自營林業獎勵ニ關スル建議
案(村山喜一郎君提出)

第九十九 廣瀨鐵道速成ニ關スル建議
案(河野曉君外二名提出)

第一百 澁川長野原間鐵道速成ニ關スル
建議案(木村三郎君提出)

第一百一 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關
スル建議案(長田桃藏君外四名提出)

第一百二 福井縣三國港築港並竹田川改
修ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君
提出)

第一百三 養蠶組合法制定ニ關スル建議
案(加藤知正君外三名提出)

第一百四 興部濱頓別間鐵道速成ニ關ス
ル建議案(淺川浩君外六名提出)

第一百五 北海道ニ高等學校設置ニ關ス
ル建議案(一柳仲次郎君外六名提出)

第一百六 留前羽幌間鐵道速成ニ關スル
建議案(淺川浩君外六名提出)

第一百七 高等工業學校設置ニ關スル建
議案(一柳仲次郎君外六名提出)

第一百八 小頓別枝幸港間鐵道速成ニ關
スル建議案(淺川浩君外六名提出)

第一百九 宗谷線恩根内咲來間ニ停車場
設置ニ關スル建議案(淺川浩君外六
名提出)

第一百十 根北鐵道速成ニ關スル建議案
(小池仁郎君外六名提出)

第一百十一 北海道甜菜糖業補助法制定
ニ關スル建議案(小池仁郎君外七名
提出)

第一百十二 有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ
中心トスル國立公園設定ニ關スル建
議案(手代木隆吉君外六名提出)

第一百十三 全市漁港修築ニ關スル建議
案(澤田利吉君外六名提出)

第一百十四 鷺泊港修築ニ關スル建議案
(淺川浩君外六名提出)

第一百十五 廣尾港修築速成ニ關スル建
議案(小池仁郎君外六名提出)

第一百十六 釧路港海陸連絡ニ關スル建
議案(小池仁郎君外六名提出)

第一百十七 室蘭港海陸連絡施設速成ニ
關スル建議案(手代木隆吉君外六名
提出)

第一百十八 根室港修築工事ニ關スル建
議案(小池仁郎君外六名提出)

第一百十九 鐵道敷設法中改正ニ關スル
建議案(小池仁郎君外六名提出)

第一百二十 苫小牧廣尾間鐵道速成ニ關
スル建議案(手代木隆吉君外六名提
出)

第一百二十一 釧路網走間鐵道速成ニ關
スル建議案(小池仁郎君外六名提出)

第一百二十二 京極紋龜間及京極壯瞥間
鐵道速成ニ關スル建議案(手代木隆
吉君外六名提出)

第一百二十三 高等師範學校設置ニ關ス
ル建議案(一柳仲次郎君外六名提出)

第一百二十四 小樽港及函館港ニ港務部
設置ニ關スル建議案(山本厚三君外
六名提出)

第一百二十五 野岩羽鐵道速成ニ關スル
建議案(八田宗吉君外二名提出)

第一百二十六 柳津小出間及只見古町間
鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉
君提出)

第一百二十七 湖南鐵道建設ニ關スル建
議案(八田宗吉君提出)

第一百二十八 林業金融ニ關スル建議案
(東武君外十名提出)

第一百二十九 國立公園調查機關設置ニ
關スル建議案(東武君外十名提出)

第一百三十 立木ニ關スル法律改正ニ關
スル建議案(東武君外十名提出)

第一百三十一 金鷄勳章旭日章年金改正
ニ關スル建議案(古川清君外二名提
出)

第一百三十二 高田市ニ高等農林學校設
置ニ關スル建議案(富永孝太郎君外
三名提出)

第一百三十三 磐梯山猪苗代湖ヲ中心ト
スル國立公園設定ニ關スル建議案
(八田宗吉君外一名提出)

第一百三十四 國有林野法中改正ニ關ス
ル建議案(八田宗吉君提出)

第一百三十五 川俣浪江間鐵道建設速成
ニ關スル建議案(大島要三君外六名
提出)

- 第百三十六 國有林野不要存置林處分ニ關スル建議案(大島要三君外六名提出)
- 第百三十七 福島市ニ國立倉庫設立ニ關スル建議案(大島要三君外六名提出)
- 第百三十八 泉崎岩沼間改良工事速成並宇都宮福島間複線工事速成ニ關スル建議案(大島要三君外六名提出)
- 第百三十九 福相鐵道速成ニ關スル建議案(大島要三君外六名提出)
- 第百四十 婦人參政ニ關スル建議案(坂東幸太郎君外二名提出)
- 第百四十一 鳥栖日井間鐵道敷設ニ關スル建議案(大里廣次郎君外二名提出)
- 第百四十二 東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル建議案(山本慎平君外一名提出)
- 第百四十三 北海道河川治水工事速進ニ關スル建議案(神部爲藏君外六名提出)
- 第百四十四 岩内築港速成ニ關スル建議案(澤田利吉君外六名提出)
- 第百四十五 無線電信ノ裝置ニ關スル建議案(小池仁郎君外六名提出)
- 第百四十六 京濱運河速成ニ關スル建議案(湯淺凡平君提出)
- 第百四十七 實業補習教育振興ニ關スル建議案(高橋元四郎君外四名提出)
- 第百四十八 越美線速成ニ關スル建議案(谷口宇右衛門君外一名提出)
- 第百四十九 受驗資格撤廢ニ關スル建議案(山下谷次君提出)
- 第百五十 瀬戸内海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案(山下谷次君外一名提出)
- 第百五十一 野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案(高橋元四郎君外二名提出)
- 第百五十二 日足鐵道速成ニ關スル建議案(高橋元四郎君外一名提出)
- 第百五十三 日光國立公園設定ニ關スル建議案(高橋元四郎君外一名提出)
- 第百五十四 沖繩縣救濟ニ關スル建議案(宜保成晴君外十六名提出)
- 第百五十五 模似漁港修築ニ關スル建議案(手代木隆吉君外六名提出)
- 第百五十六 羽幌下沙流別間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(淺川浩君外六名提出)
- 第百五十七 釧路漁港修築速成ニ關スル建議案(澤田利吉君外六名提出)
- 第百五十八 船舶村ニ避難港築設ニ關スル建議案(淺川浩君外六名提出)
- 第百五十九 名寄羽幌間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(淺川浩君外六名提出)
- 第百六十 京濱運河速成ニ關スル建議案(戶井嘉作君外一名提出)
- 第百六十一 釧路局設置ニ關スル建議案(樋口秀雄君外十六名提出)
- 第百六十二 京濱運河速成ニ關スル建議案(若尾幾太郎君外一名提出)
- 第百六十三 新町小海間鐵道建設ニ關スル建議案(井本常作君外四名提出)
- 第百六十四 下仁田三反田間鐵道建設ニ關スル建議案(井本常作君外四名提出)
- 第百六十五 金澤市ニ鐵道局設置ニ關スル建議案(佐藤實君外四名提出)
- 第百六十六 出雲大社古道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案(原夫次郎君外一名提出)
- 第百六十七 福島縣松川浦ニ避難港兼漁港築設ニ關スル建議案(佐藤富十郎君外三名提出)
- 第百六十八 金澤市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(佐藤實君提出)
- 第百六十九 遠信鐵道速成ニ關スル建議案(山本勝次君外一名提出)
- 第百七十 越中島線敷設速成ニ關スル建議案(太田信治郎君外二名提出)
- 第百七十一 拓殖省設置ニ關スル建議案(清水留三郎君外二名提出)
- 第百七十二 民間航空事業促進ノ爲政府ノ施設ニ關スル建議案(安藤正純君提出)
- 第百七十三 溫泉法規制定ニ關スル建議案(平川松太郎君外三名提出)
- 第百七十四 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(作間耕逸君外二名提出)
- 第百七十五 鶴岡、羽前高松間鐵道敷設ニ關スル建議案(石川長右衛門君外七名提出)
- 第百七十六 酒田真室川間鐵道敷設ニ關スル建議案(齋藤金吾君外一名提出)
- 第百七十七 鶴岡市ニ高等師範學校新設ニ關スル建議案(齋藤金吾君外一名提出)
- 第百七十八 荒砥左澤間鐵道速成ニ關スル建議案(石川長右衛門君外八名提出)
- 第百七十九 庄原區裁判所管轄區域變更ニ關スル建議案(渡邊伍君外二名提出)
- 第百八十 貴生川加茂間鐵道速成ニ關スル建議案(高井商二君外三名提出)
- 第百八十一 淡水魚族増殖施設ニ關スル建議案(藤澤萬九郎君提出)
- 第百八十二 關ヶ原木ノ本間鐵道速成ニ關スル建議案(藤澤萬九郎君外二名提出)
- 第百八十三 北海道治水ニ關スル建議案(岡田伊太郎君外二名提出)
- 第百八十四 東京都制急施ニ關スル建議案(作間耕逸君外二名提出)
- 第百八十五 北海道甜菜糖業補助ニ關スル建議案(松實喜代太君外三名提出)
- 第百八十六 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(松岡俊三君提出)
- 第百八十七 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(池田泰親君提出)
- 第百八十八 衛生組合法制定ニ關スル建議案(大里廣次郎君外二名提出)
- 第百八十九 京都高等職業學校ニ製絲科設置ニ關スル建議案(川崎安之助君外一名提出)
- 第百九十 拓殖省設置ニ關スル建議案(牧山耕藏君外八名提出)
- 第百九十一 能代港ニ臨時線敷設ニ關スル建議案(信太儀右衛門君外八名提出)
- 第百九十二 奥羽線神島米澤間電化速成ニ關スル建議案(西方利馬君外四名提出)
- 第百九十三 上山田、後藤寺間鐵道敷設ニ關スル建議案(坂井大輔君外一名提出)
- 第百九十四 伊佐鐵道速成ニ關スル建議案(森肇君外五名提出)
- 第百九十五 篠栗長尾間鐵道速成ニ關スル建議案(赤間嘉之吉君外一名提出)
- 第百九十六 關門海底鐵道速成ニ關スル建議案(則元由庸君外六名提出)
- 第百九十七 諫早長崎間鐵道改良ニ關スル建議案(則元由庸君外四名提出)
- 第百九十八 一戸荒屋間鐵道速成ニ關スル建議案(柏田忠一君提出)
- 第百九十九 中央線電化ニ關スル建議案(藤田胸太郎君外四名提出)
- 第二百 倉吉勝山間鐵道速成ニ關スル建議案(山谷德治郎君外一名提出)
- 第二百一 佐賀神崎兩縣中間ニ停車場設置ニ關スル建議案(加藤十四郎君外一名提出)
- 第二百二 小海小淵澤間鐵道速成ニ關スル建議案(藤原和市君外四名提出)
- 第二百三 東九戸鐵道建設ニ關スル建議案(柏田忠一君提出)
- 第二百四 田名郡大間鐵道速成ニ關スル建議案(工藤鐵男君提出)
- 第二百五 京若鐵道速成ニ關スル建議案(山口嘉七君外二名提出)
- 第二百六 今坂鐵道速成ニ關スル建議案(高橋光威君外一名提出)
- 第二百七 兩國萬世橋間鐵道速成ニ關スル建議案(鈴木隆君外六名提出)
- 第二百八 伊野宇佐間鐵道速成ニ關スル建議案(大石大君提出)

第二百九 山田蘇野間鐵道速成ニ關スル建議案(大石大君提出)

第二百十 阿波池田、山田間鐵道工事速成ニ關スル建議案(大石大君外二名提出)

第二百十一 崎山江川崎間鐵道速成ニ關スル建議案(大石大君提出)

第二百十二 佐川松山間鐵道速成ニ關スル建議案(大石大君提出)

第二百十三 阿波池田、川之江間鐵道速成ニ關スル建議案(小野寅吉君外三名提出)

第二百十四 四國循環鐵道阿土南海岸線敷設ニ關スル建議案(谷原公君外二名提出)

第二百十五 上田松本間鐵道敷設ニ關スル建議案(篠原和市中君外九名提出)

第二百十六 中込高崎間鐵道速成ニ關スル建議案(篠原和市中君外九名提出)

第二百十七 奥羽線福島米澤間電化速成ニ關スル建議案(大島要三君外六名提出)

第二百十八 長尾篠栗間鐵道速成ニ關スル建議案(大里廣次郎君外一名提出)

第二百十九 敦賀京都間鐵道速成ニ關スル建議案(平井光三郎君提出)

第二百二十 後藤寺、上山田間鐵道敷設ニ關スル建議案(大里廣次郎君外一名提出)

第二百二十一 米澤、日中間鐵道速成ニ關スル建議案(西方利馬君外五名提出)

第二百二十二 熱海大仁間鐵道速成ニ關スル建議案(黑田重兵衛君外五名提出)

第二百二十三 定山溪喜茂別間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(山本厚三君外六名提出)

第二百二十四 深川下蘆別間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(神部爲藏君外六名提出)

第二百二十五 全市金別間鐵道敷設ニ關スル建議案(澤田利吉君外六名提出)

第二百二十六 米原今庄間鐵道電化速成ニ關スル建議案(谷口宇右衛門君外三名提出)

第二百二十七 江差上磯間鐵道速成ニ關スル建議案(一柳仲次郎君外六名提出)

第二百二十八 美倉橋驛設置ニ關スル建議案(作間耕逸君提出)

第二百二十九 金津大野間鐵道敷設ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君外一名提出)

第二百三十 山陰鐵道本線電化速成ニ關スル建議案(原夫次郎君外二名提出)

第二百三十一 島根縣二鐵道局設置ニ關スル建議案(原夫次郎君外二名提出)

第二百三十二 南隅鐵道速成ニ關スル建議案(津崎尚武君外一名提出)

第二百三十三 小郡林間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(渡邊祐策君外三名提出)

第二百三十四 福山、出雲今市間及來島、木次間鐵道速成ニ關スル建議案(嶋居哲君外三名提出)

第二百三十五 延宇鐵道建設ニ關スル建議案(中山貞雄君外二名提出)

第二百三十六 福山、出雲今市間及來島木次間鐵道速成ニ關スル建議案(栗延敬太郎君外二名提出)

第二百三十七 千種武節間鐵道速成ニ關スル建議案(岡本實太郎君外一名提出)

第二百三十八 富山市ニ鐵道局設置ニ關スル建議案(高見之通君外三名提出)

第二百四十 米澤日中間鐵道速成ニ關スル建議案(齋藤金吾君外六名提出)

第二百四十一 大町糸魚川間鐵道速成ニ關スル建議案(植原悅二郎君外二名提出)

第二百四十二 北海道拓殖鐵道補助期限延長ニ關スル建議案(丸山浪彌君外四名提出)

第二百四十三 朝鮮ニ於ケル鐵道ノ普及ニ關スル建議案(牧山耕藏君外四名提出)

第二百四十四 北海道鐵道敷設速成ニ關スル建議案(松實喜代太君外三名提出)

第二百四十五 仙山鐵道ノ起工ニ關スル建議案(石川長右衛門君外一名提出)

第二百四十六 佐賀住ノ江間臨港線敷設ニ關スル建議案(福田五郎君外三名提出)

第二百四十七 東京驛東部乘降場設置速成ニ關スル建議案(井本常作君提出)

第二百四十八 板谷峠ノ防雪設備ニ關スル建議案(齋藤金吾君外一名提出)

第二百四十九 訪歐飛行ノ成功者タル安邊大尉外三名ニ對スル賞與金下附ニ關スル建議案(三善清之君外一名提出)

第二百五十 訪歐飛行賞金下附ニ關スル建議案(長岡外史君提出)

第二百五十一 航空並國防ニ關スル建議案(長岡外史君提出)

第二百五十二 長崎五島佐世保間電話開設ニ關スル建議案(牧山耕藏君外六名提出)

第二百五十三 福岡壹岐長崎間電話開設ニ關スル建議案(牧山耕藏君外六名提出)

第二百五十四 堺郵便局昇格ニ關スル建議案(山口義一君外四名提出)

第二百五十六 福井市ニ通信局設置ニ關スル建議案(谷口宇右衛門君外三名提出)

第二百五十七 金澤陸軍無線電信所移管ニ關スル建議案(青山憲三君外二名提出)

第二百五十八 海洋調查機關設置ニ關スル建議案(中村嘉壽君外七名提出)

第二百五十九 室蘭港ニ海軍部出張所設置ニ關スル建議案(手代木隆吉君外六名提出)

第二百六十 清酒及專賣麥酒ニ關スル建議案(湯淺凡平君提出)

第二百六十一 農業銀行設置ニ關スル建議案(田中万逸君外一名提出)

第二百六十二 勞働銀行法制定ニ關スル建議案(井本常作君提出)

第二百六十三 印紙稅法改正ニ關スル建議案(森田金藏君外一名提出)

第二百六十四 國稅徵收交付金增額ニ關スル建議案(八田宗吉君提出)

第二百六十五 大藏省令第二十八號ヲ廢止シ之ニ代ルヘキ法律制定ニ關スル建議案(武藤山治君外二名提出)

第二百六十六 徵兵制度ノ改革並現役下士兵卒待遇改良ニ關スル建議案(三善清之君外一名提出)

第二百六十七 戰病死者遺族並廢兵ノ子弟ニ對シ官公立學校授業料減免ニ關スル建議案(松井郡治君外八名提出)

第二百六十八 軍人傷疾記章令中改正ニ關スル建議案(山下谷次君提出)

第二百六十九 文制改革ニ關スル建議案(篠原和市中君外二名提出)

第二百七十 脚氣病研究ニ關スル建議案(中原德太郎君外三名提出)

第二百七十一 水戸市ニ文科大學設置ニ關スル建議案(菊池謙二郎君提出)

第二百七十二 民族博物館設立ニ關スル建議案(山枡儀重君提出)

第二百七十三 國立蠶絲大學設置ニ關スル建議案(篠原和市中君外五名提出)

第二百七十四 盛岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(柏田忠一君提出)

第二百七十五 福島市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(大島要三君外六名提出)

第二百七十六 福岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(大里廣次郎君外一名提出)

第二百七十七 政治教育普及ニ關スル建議案(古林喜代太君外一名提出)

第二百七十八 國民教育改善ニ關スル建議案(荒川五郎君提出)

第二百七十九 郡山市ニ高等工業學校設置ニ關スル建議案(栗山博君外四名提出)

第二百八十 郡山ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(栗山博君外三名提出)

第二百八十一 八鹿町ニ高等蠶絲學校建設ニ關スル建議案(齋藤隆夫君外三名提出)

第二百八十二 圖書館普及並圖書館敷地免稅ニ關スル建議案(河上哲太君外一名提出)

第二百八十三 福井縣ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案(山口嘉七君外二名提出)

第二百八十四 福井市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(谷口宇右衛門君外二名提出)

第二百八十五 金澤市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案(佐藤實君外四名提出)

第二百八十六 北海道綜合大學ノ完成並高等教育機關設置ニ關スル建議案(東武君外三名提出)

第二百八十七 書道振興ニ關スル建議案(竹原樸一君外四名提出)

第二百八十八 體育獎勵ニ關スル建議案(杉浦武雄君外四名提出)

第二百八十九 加古川改修工事完成ニ關スル建議案(多木久米次郎君提出)

第二百九十 高砂港修築ニ關スル建議案(多木久米次郎君提出)

第二百九十一 室蘭港海陸連絡工事促進ニ關スル建議案(栗林五朗君外二名提出)

第二百九十二 河川使用許可ニ關スル建議案(東武君外十名提出)

第二百九十三 青森港第二期修築ニ關スル建議案(工藤鐵男君提出)

第二百九十四 稚内築港速成ニ關スル建議案(淺川浩君外六名提出)

第二百九十五 留萌港速成ニ關スル建議案(淺川浩君外六名提出)

第二百九十六 勇拂原野開發並河口修築速成ニ關スル建議案(手代木隆吉君外六名提出)

第二百九十七 橫濱港防波堤築造ニ關スル建議案(戶井嘉作君外五名提出)

第二百九十八 鶴見川改修速成ニ關スル建議案(戶井嘉作君外二名提出)

第二百九十九 大淀川改修ニ關スル建議案(長峰與一君外四名提出)

第三百 肝屬川改修速成ニ關スル建議案(津崎尚武君提出)

第三百一 筑後川改修工事ニ伴フ犧牲的地域善後策ニ關スル建議案(加藤十四郎君提出)

第三百二 岸和田港修築費國庫補助ニ關スル建議案(井坂豐光君外六名提出)

第三百三 那賀川改修ニ關スル建議案(谷原公君外一名提出)

第三百四 木津川改修速成ニ關スル建議案(長田桃藏君外一名提出)

第三百五 煙毒防止水源涵養ニ關スル建議案(武藤金吉君外五名提出)

第三百六 雄物川改修工事竣功年度線上並河口修築規模擴張ニ關スル建議案(村山喜一郎君外一名提出)

第三百七 由良川改修ノ調査速行ニ關スル建議案(村上國吉君提出)

第三百八 最上川治水工事速成ニ關スル建議案(石川長右衛門君外一名提出)

第三百九 渡良瀬川改修工事速成ニ關スル建議案(阿由葉勝作君外二名提出)

第三百十 北海道港灣修築ニ關スル建議案(黑住成章君外三名提出)

第三百十一 北海道漁港並船入濶築設ニ關スル建議案(黑住成章君外三名提出)

第三百十二 寺泊港修築ニ關スル建議案(中村貞吉君外二名提出)

第三百十三 敦賀港修築ニ關スル建議案(山口嘉七君外三名提出)

第三百十四 大淀川架橋ニ關スル建議案(長峰與一君外三名提出)

第三百十五 岸和田港修築補助ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)

第三百十六 古物面取締法改正ニ關スル建議案(藏國三四郎君提出)

第三百十七 村落ニ關スル制度ノ調査及整備ニ關スル建議案(野原種次郎君外二名提出)

第三百十八 部落問題ノ國策樹立ニ關スル建議案(有馬賴寧君外十二名提出)

第三百十九 尾張戶神社昇格ニ關スル建議案(丹下茂十郎君提出)

第三百二十 鵜戶神社昇格ニ關スル建議案(津崎尚武君提出)

第三百二十一 社會政策ノ遂行ニ關スル調査機關設置ノ建議案(丸山浪彌君外四名提出)

第三百二十二 人體寄生蟲ノ豫防獎勵ニ關スル建議案(宮島幹之助君外六名提出)

第三百二十三 花柳病豫防法制定ニ關スル建議案(宮島幹之助君外六名提出)

第三百二十四 國立療養所設置ニ關スル建議案(中林友信君外四名提出)

第三百二十五 國立精神病院設置ニ關スル建議案(中原德太郎君提出)

第三百二十六 潮來十六島ヲ中心トスル水郷國立公園設定ニ關スル建議案(今井健彦君外一名提出)

第三百二十七 淺間山國立公園設定ニ關スル建議案(篠原和市中君外七名提出)

第三百二十八 吉崎及東尋坊ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君提出)

第三百二十九 高野山國立公園設定ニ關スル建議案(松山常次郎君提出)

第三百三十 新聞記者待遇ニ關スル建議案(篠原和市中君外八名提出)

第三百三十一 市町村吏員優遇ニ關スル建議案(八田宗吉君提出)

第三百三十二 市町村ノ整理改善ニ關スル建議案(荒川五郎君外一名提出)

第三百三十三 兩縣原野土地改良ニ關スル建議案(神部爲藏君外六名提出)

第三百三十四 北海道土地改良ニ關スル建議案(岡田伊太郎君外三名提出)

第三百三十五 北海道王功組合事業助成ニ關スル建議案(松實喜代太君外三名提出)

第三百三十六 報德社普及獎勵ニ關スル建議案(山宮藤吉君外一名提出)

第三百三十七 鹿兒島縣大島郡救濟ニ關スル建議案(禰田代君提出)

第三百三十八 社交舞踏取締ニ關スル建議案(加藤知正君外二名提出)

第三百三十九 移動警察制度新設ニ關スル建議案(原夫次郎君外一名提出)

第三百四十 北海道舊土人保護ニ關スル建議案(手代木隆吉君外六名提出)

第三百四十一 重要府縣道改良ニ關スル建議案(生方大吉君外二名提出)

第三百四十二 大日本聯合青年團國庫補助ニ關スル建議案(東郷實君外三名提出)

第三百四十三 兵庫縣警察費國庫下渡金増額ニ關スル建議案(砂田重政君外十名提出)

第三百四十四 警察費國庫下渡金増額ニ關スル建議案(戸井嘉作君外八名提出)

第三百四十五 水道費國庫補助金増額ニ關スル建議案(松浦五兵衛君外十一名提出)

第三百四十六 消防組經費國庫補助並消防組員優遇ニ關スル建議案(倉元要一君外十三名提出)

第三百四十七 婦人兒童ノ賣買禁止ニ關スル國際條約ニ對シ帝國政府ノ留保條件撤廢並娼妓取締規則改正ニ關スル建議案(星島二郎君外一名提出)

第三百四十八 肥料政策確立ニ關スル建議案(齋藤藤四郎君外五名提出)

第三百四十九 黃色光線應用國立蠶業試驗場設置ニ關スル建議案(篠原和市君外三名提出)

第三百五十 五島珊瑚採取獎勵ニ關スル建議案(牧山耕藏君外九名提出)

第三百五十一 全國蠶絲業者ニ對シ補成資金融通ニ關スル建議案(佐藤富十郎君提出)

第三百五十二 農漁村ノ金融ニ關スル建議案(床次竹二郎君外十二名提出)

第三百五十三 國有林ノ文化的施設ニ關スル建議案(村山喜一郎君提出)

第三百五十四 森林法中改正ニ關スル建議案(東武君外十名提出)

第三百五十五 國有林野所在市町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案(東武君外十名提出)

第三百五十六 林野基本調査ノ速行ニ關スル建議案(東武君外十名提出)

第三百五十七 森林火災保險ニ關スル建議案(東武君外十名提出)

第三百五十八 公有林野官行造林事業促進ニ關スル建議案(東武君外十名提出)

第三百五十九 民林局設置ニ關スル建議案(村山喜一郎君提出)

第三百六十 不要存置國有林野整理處分ニ關スル建議案(大島要三君外六名提出)

第三百六十一 森林政策ノ根本方針確立ニ關スル建議案(太田信治郎君外二名提出)

第三百六十二 小作農保護ニ關スル建議案(床次竹二郎君外十二名提出)

第三百六十三 乳製品國產獎勵ニ關スル建議案(一柳仲次郎君外六名提出)

第三百六十四 株式取引所ニ於ケル二重上場廢止ニ關スル建議案(中山貞雄君提出)

第三百六十五 正米市場法制定促進ニ關スル建議案(作間耕逸君外二名提出)

第三百六十六 正米市場設置ニ關スル建議案(福井甚三君外二名提出)

第三百六十七 勞働會議所設立ニ關スル建議案(松本君平君提出)

第三百六十八 商業會議所法中改正ニ關スル建議案(兒玉實良君外三名提出)

第三百六十九 我カ國國號ノ統一顯正ニ關スル建議案(由谷義治君提出)

第三百七十 陸海軍大臣官制採用ニ關スル建議案(清瀬一郎君提出)

第三百七十一 恩給其ノ他ノ恩典ニ雇員在職年數通算ニ關スル建議案(青木精一君提出)

第三百七十二 一時賜金廢兵ニ對スル恩給支給法制定ニ關スル建議案(山下谷次君提出)

第三百七十三 朝鮮人訴訟代理業者ニ辯護士資格付與ニ關スル建議案(田中万逸君外一名提出)

第三百七十四 朝鮮及臺灣施政調查機關設置ニ關スル建議案(神田正雄君外三名提出)

第三百七十五 帶廣區裁判所ニ地方裁判所支部設置ニ關スル建議案(小池仁郎君外六名提出)

第三百七十六 室蘭區裁判所ニ地方裁判所支部設置ニ關スル建議案(手代木隆吉君外六名提出)

第三百七十七 野付牛町ニ區裁判所設置ニ關スル建議案(小池仁郎君外六名提出)

第三百七十八 吳區裁判所管轄區域變更ニ關スル建議案(渡邊伍君外二名提出)

第三百七十九 俱知安町ニ區裁判所設置ニ關スル建議案(小池仁郎君外六名提出)

第三百八十 北海道ニ區裁判所並地方裁判所支部設置ニ關スル建議案(東武君外三名提出)

第三百八十一 家産制度制定ニ關スル建議案(浦野謙朗君提出)

第三百八十二 刑餘者ニ對スル法令差別待遇撤廢並之カ救済ニ關スル建議案(原夫次郎君外二名提出)

第三百八十三 決議案(議員事務室ノ設立及圖書館擴張ノ件)(山口政二君外四名提出)

○副議長(小泉又次郎君) 諸般ノ報告ヲセシメマス

(書記官朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

琵琶湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

提出者 兼松寅太郎君 藤澤萬九郎君

高井 商二君

市町村及水利組合ノ用排水施設ニ對シ補助金下付及低利資金貸付ニ關スル建議案

提出者 大石 大君 星 康平君

九龜港改築國庫補助ニ關スル建議案

提出者 三善 清之君

田畑地租全免ニ關スル建議案

提出者 多木久米次郎君

千葉縣立高等園藝學校移管ニ關スル建議案

提出者 今井 健彦君 濱口吉兵衛君

吉植庄一郎君 野田 俊作君

木村政次郎君 森 顯昶君

鈴木 隆君

(以上三月二十三日提出)

一議員ヨリ提出シタル質問主意書左ノ如シ

水産及海運業保護獎勵ノ爲特殊銀行設置ニ關スル質問主意書

提出者 秋田寅之介君

學校教育ノ方針及水産學校設置ニ關スル質問主意書

提出者 秋田寅之介君

國務大臣彈劾制度樹立ニ關スル質問主意書

提出者 黑住 成章君

(以上三月二十三日提出)

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員嶋居哲君提出尾道開港場設置ニ關スル質問ニ對スル答辯書

(以上三月二十三日受領)

尾道開港場設置ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十五年三月十七日

提出者 嶋居 哲

尾道開港場設置ニ關スル質問主意書

尾道開港場指定ニ關スル建議案ハ第四十九回議會ニ於テ滿場一致ヲ以テ可決通過シタルハ政府ニ於テモ既ニ認メタルノミナラス當局ハ屢官吏ヲ派遣シ實地調査ヲ爲シ其ノ必要ナルヲ認メラレタリト信スルカ故ニ吾人ハ其ノ實施許可ノ一日モ速ナラムコトヲ鶴首セリ然ルニ尙今日ニ至ルモ許可ノ運ニ至ラサルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ依テ此ノ際速ニ開港場ニ指定セラレムコトヲ望ムモノナレトモ之ニ對シ政府ハ如何ニ考慮セラルルヤ詳細ナル答辯アラムコトヲ望ム

右及質問候也

大正十五年三月二十三日

内閣總理大臣 若槻禮次郎

衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員 嶋居哲君提出 尾道開港場設置ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員 嶋居哲君提出 尾道開港場設置ニ關スル質問ニ對スル答辯書

尾道港ハ中國、四國及九州ノ一部ヲ背後地トスル肥料及雜穀等ノ市場トシテ知ラレ現在此等貨物ノ輸入額カ相當多額ニ上レル事實ニ鑑ミ政府ニ於テモ之カ開港指定ニ關シテハ相當考慮ヲ爲シツツアルモ一面隣接系崎港トノ關係並尾道港ト同様ノ狀況ニ在ル他ノ港トノ權衡モアリテ今直ニ之ヲ實現セシメ難キ事情アリ依テ將來豫算等ノ關係ヲモ考慮シ適當ノ時期ニ於テ開港ノ實ヲ舉ゲシメタキ意嚮ナリ右及答辯候也

大正十五年三月二十二日

大藏大臣 濱口雄幸

一昨二十日議員ヨリ撤回セラレタル議案左ノ如シ

樺太ニ衆議院議員選舉法施行ニ關スル建議案

提出者

一柳仲次郎君 淺川 浩君

小池 仁郎君 澤田 利吉君

山本 厚三君 手代木隆吉君

神部 爲藏君

一昨二十三日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

所得稅法中改正法律案(政府提出)

大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)

地租條例中改正法律案(政府提出)

明治三十七年法律第十二號中改正法律案(政府提出)

(政府提出)

營業稅法廢止法律案(政府提出)

營業收益稅法案(政府提出)

資本利子稅法案(政府提出)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

通行稅法廢止法律案(政府提出)

酒造稅法中改正法律案(政府提出)

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)

(政府提出)

麥酒稅法中改正法律案(政府提出)

醬油稅則廢止法律案(政府提出)

自家用醬油稅法廢止法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

賣藥稅法廢止法律案(政府提出)

骨牌稅法中改正法律案(政府提出)

清涼飲料稅法案(政府提出)

大正九年法律第五十一號中改正法律案(政府提出)

地方稅ニ關スル法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)

教育改善及農村振興基金特別會計法中改正法律案(政府提出)

農業倉庫業法中改正法律案(政府提出)

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(本院提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一昨二十三日常任委員補選選舉ノ結果左ノ如シ

第二部選出

懲罰委員 秋田 清君(濱田國松君補闕)

第八部選出

懲罰委員 砂田 重政君(西方利馬君補闕)

一昨二十三日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

大正十三年法律第十號中改正法律案(高等諸學校震災復興諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル件)(政府提出)委員

委員長 上原 好雄君

理事 山根 儀重君 中島 守利君

大正十三年度第一豫備金支出ノ件外七件(承諾ヲ求ムル件)委員

委員長 阿由葉勝作君

理事

寺島 權藏君 石坂 豐一君

津崎 尙武君

一昨二十三日大正十三年度第一豫備金支出ノ件外七件(承諾ヲ求ムル件)委員 田嶋信藏君辭任ニ付其ノ補闕トシテ清瀨一郎君ヲ、大正十三年法律第十號中改正法律案委員 志村清右衛門君土生彰君辭任ニ付其ノ補闕トシテ宮島幹之助君中野猪之助君ヲ、都市計畫法中改正法律案委員 中島守利君橫山一格君田嶋信藏君辭任ニ付其ノ補闕トシテ宮島三之助君杉浦武雄君土屋清三郎君ヲ就レモ議長ニ於テ選定セリ

○副議長(小泉又次郎君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、議事進行ニ關スル發言ノ通告ガアリマス——田淵豐吉君登壇

○田淵豐吉君 諸君、私ハ議事進行ニ付テ諸君ニ暫クの間御清聴ヲ願ヒタイ、ソレハ色ニ關係ヲ持テ居リマス、大臣ノ職責カラ、議長ノ職責、議員ノ職責、議院法ヲ如何ニ規定シ如何ニ解釋スベキカト云フ所ノ問題、及歳費增加案其モノニ付テ暫ク述ベテ見タイと思フノデアリマス、ストウカ暫ク御清聴ヲ願ヒタイ、私ハ神聖ナル議會及神聖ナル日本ノ議院ノ事務局ガ、其責任タル所ノ議長ガ色ニ關シテ、大臣ガ非常ナル術策ヲ講ジテ、サウシテ神聖ナル議員ノ提案ヲ阻止セントシ、非常ナル所ノ惡戰苦闘ノ結果妙ナ所ノ亂闘ヲシ、或ハ幹部ノ辭職トナリ、或ハ議員ノ辭職トナテ、非常ナル混亂ヲ來シタル原因ニ付テ、諸君ハ十分ナル所ノ研究ト、相當ナル所ノ改造ヲ此議會ニ加ヘナケレバナラヌト云フ爲ニ、議事ノ進行ニ立ッタクデアリマス、ソレハ何カラ起リタルカト云フト、歳費増額案ニ付テ私ハ考ヘタノデアリマス、暫ク御清聴ヲ願ヒタイ、私ハ今總理大臣若槻君、並ニ通信大臣安達君ノ出席ヲ求メタルデゴザイマスガ、貴族院ニ行テ居ルト云フコトデ御出席ガナイヤウデゴザイマス、少シク前後ノ關係モ述ベテ見タイと思ヒマス、是ハ一月程前カラ話ニナツテ居タルダガ、非常

ニ幹部ガ壓迫シタルシイノデゴザイマシテ、一箇月モ前ニ出ルベキモノガ、非常ニ遅レテ、漸ク一週間程前ニ出ラシタヤウナ狀態ニナツタト私ハ思ヒマス、是ハ各黨カラ出シテ居ル所ノ案デアリマスガ、各黨ト云フ黨ノ機關ニ掛ケナイデ、任意ニヤツタト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、所ガ幹部ガ之ニ對シテ阻止セントシ、内閣ガ憲政會ノ幹部ニ頼ンデ、幹部ヲシテ極力之ヲ鎮壓スル爲ニヤツタラシイ、又政友會、本黨及憲政會幹部等ガ互ニ相談シテ、之ヲ壓迫シヤウデヤナイカト云フテヤツタト云フ形跡ガアルヤウニ思ハレルノデゴザイマス、而シテ議員ノ提案ヲ阻止セントスルト云フコトハ、如何ニモ心得ヌコトデアルト私ハ思フ、今日ノ内閣、今日ノ幹部ハ、陣笠ダト思フテ非常ニ壓迫シテ、風浪シデアルト云フヤウナ言ヲ吐イタトカ、吐カヌトカ言ウテ居ルト云フコトハ、如何ニモ幹部專制ノ餘弊ガ起リテ、其爲ニ幹部彈劾ノ聲ガ方々ニ起リテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデゴザイマス、ノミナラズ神聖ナル所ノ議長——此小泉副議長ガ過日ノ議會ニ緊急上程ヲスルコトニナツテ居テ、緊急動議ヲ提出シタル拘ラズ、七時何分カニ急遽散會トカ延會トカ言ウテ逃ゲテシマッタト云フコトデゴザイマス、小泉君ハ情ノ人デ、決シテ腹デ惡イ事ヲシヤウト思フ人デモゴザイマスマイケレドモ、是ハ憲政會ノ幹部ト結託シタル結果、議長ガ此神聖ナル議場ヲ汚シタルハナイカト私ハ思フノデゴザイマス、之ニ對シテ小泉君ニ、何故ア、云フコトヲシタルカト聞キマシタラ、ソレハ餘リ善イトモ思ハナカッタガ、ドウモ仕方ガナイカラ、彼處デ責任ヲ持テヤツタト云ハレタ、其責任ハ如何ニ御執リニナルカト云フコトヲ私ハ聞キタイノデアリマス、同時ニ議院ノ事務局ガ此間私ガ行キマシタ時ニ、之ヲ受理シナガラ——是ハ私ハ書記官長ニ聞キタイ——書記官長ニ聞イタル所ガ、ソレハ既ニ議事課ニ廻リテ居ルト云フコトデ、議事課ニ行テ吳レト云フ、議事課ニ行ケト云フ、議事課ニハ來テ居ナイ、秘書課ニ行ケト行

フノノ秘書課ニ行ク、秘書課デハソノナ
モノヲ受取タ事ハ知リマセヌト云フコト
デ、ソレハ分ラヌト云フ、サウシテ二十分
モ秘書課ノ人ガ調ベテ見マスト云フテ見エ
ナクナタ、ソレデ又議事課ニ行テ見タラ、
議事課ニハ來テ居ナイト云フ、サウシテ井
上君ニ會テ話ヲシタ所ガ、實ハサウ云フ
事モアルノデセウケレドモ、新聞記者ガ折
折賃シテ呉レト言フテ持ッテ行クコトモ
アルカラ、取調ベテ見ルカラ待テ呉レト言
フ、而シテ他ニ行テ調ベタ所ガアタト云
フコトデ、初メテ正式ニ議事課ニ受理シタ
コト、ナク何故カ、此神聖ナル議院ノ事
務局ガサウ云フコトヲシテ、吾々ノ提出シ
タモノヲ直グ印刷ニ廻ハストカ、一定ノ
帳面ニ附ケテ受理シタト云フコトヲ明ニシ
ナイノデアリマス、斯ノ如キ事ハ唯、單ニ
歳費ノ小ナル問題デハナイ、如何ニ此議院
ガ腐敗墮落シテ居ルカト云フコトノ立證デ
アルト思フノデゴザイマス、ノミナラズ小
泉副議長ハ黨ノ幹部ト結託シテ、此問題
ヲ阻止シテヤラウト、チャント腹ヲ決メテ
居ルノデアラウト云フコトハ、私ハ斷言シ
テモ差支ナカラウト思フノデアアル、サウシ
テ責任ヲ執ルコト云フガ、如何ナル責任ヲ御
執リニナル積リカト云フコトヲ私ハ聞キタ
イ、第二ニ私ハ聞キタコトハ、安達謙藏
氏ハ過日此議院ニ於テ、永田君ノ知事
デハナイ、彼ノ言フコトハ聽クナト云フテ
横山金太郎君ニ命令シテ居ルコトヲ私ハ聞
キタ、ノミナラズ彼ハ憲政會ノ選舉ノ時ナ
ドニ金ノ出納ニ當テ居ル人デアラウト私
ハ思フ、サウ云フ人カラ壓迫ヲ受ケテ居ル
ヤウニ吾々ハ感ゼラレル、事實ハ分ラヌケ
レドモ、而シテ安達謙藏氏ハ色々ノ黨
員ニ就テ壓迫ヲシタ所ノ事實ガアルト云フ
コトヲ私ハ聞イテ居ル、ノミナラズ昨日ノ
代議士會、一昨日ノ代議士會ニハ此議論ガ
有耶無耶ニ濟ンデ、ソコデ議會ニ掛ケレバ
通ルニ違ヒナイ、危ナイカラト云フテ、副議
長ガ專斷デ逃ゲテシマッタト云フコトデア
ル、サウシテ翌日何ヲスルカト云フト、晚
カラ電報ヲ打ツト云フコトヲ聞イテ居ル、

サウシテ安達謙藏氏ガ昨日ノ代議士會デ、
聞ク所ニ依リマスト是ハ憲政會代議士
ノ永田善三郎君ノ言明デ私ハ昨日聞イタ、
其時列席シタ人ハ十名位アツタ、此時何ト
言ハレタカト云フト、戸田君ト永田君ガ、
僕ハ承諾シナイモノヲ安達君ガ承諾シタト
云フコトヲ代議士會ニ報告シテ、彼等ハ
モウ宜イ、納得サシテ居ルカラト云フコト
ヲ代議士會ニ承認ヲ求メテ、サウシテ個人
ノ切崩シガイケナイト見タモノデアアルカ
ラ、壓迫ノ二幹部ガ當議デコイツヲ潰シテ
シマレデ、サウシテ虚偽ノ報告ヲシテ代議
士會デ決定シタト云フノデアアル、憲政會
ニ若シ鯨骨ノ男子ガアルナラバ、斯ノ如キ
虚偽ノ黨議ハ斷ジテ受ケヌト云フベキデア
ルノニ、憲政會ノ連中ニハ一人モ鯨骨男
子ガナイト云フコトヲ私ハ斷言シテ憚ラヌ
デアアル(ソノ鯨骨男子ハナイト呼フ者ア
リ)而シテ永田君、戸田君ハ、ソレハ後カラ自
分ハ承諾シタ、實ハ總理大臣ノ官邸ニ行
ッテ居タリ、其他ノ事デ忙シカツカラ外ニ
出テ居タ留守ノ間ニサウ云フコトニナ
タ、仕方ガナイ、内閣ノ瓦解ヲ來シテモ惡
イシ、紛擾モ起シテモ惡イカラ、責任ヲ帶
ビテ仕事ガナイカラ承諾ヲシタト云ハレテ
居ル、諸君是ハ何タル事デアアルカ、通信大
臣ノ現職ニアル所ノ人ガ、色々ノ利益關係
ヲ持ッテ居ル人ニ違ヒナイト思フ、又黨派
ノ關係ニ於テ金ノ出入ヲスル人カラ、選舉
費ヲ貰フコトカ貰ハヌトカ、餘計出シテヤ
ルトカ云フコトデソレヲ勸誘シタト云フヤ
ウナ事ガ若シ有リトスルナラバ、憲政上由々
敷キ大問題デハナイカト私ハ思フノデゴ
ザイマス(ヒヤ)故ニ私ハ安達謙藏氏
ノ出席ヲ求メテ此真相ヲ明ニシタイト思フ
ノデゴザイマスガ、出席ガ出來ナイト云フ
ナラバ、是ハ後カラ私ハ願ヒタイノデゴザ
イマス、ソレカラ第三ニハ私ハ現總理大臣
ノ若槻禮次郎氏ニ聞キタイノデス、總理大
臣ハ苟モ一國ノ國政ノ根本ヲ今日ニ於テハ
託サレテ荷ッテ居ル人デアルト吾々ハ思フ、
此人ガ永田善三郎君、戸田由美君其他七
八名ノ人ヲ呼寄セテドウカ止メテ呉レ、貴

族院ニ於テ緊縮方針ノ今日、政府ハヤルカ
ヤラナイカト云フ時ニ、私ハハラヌト答ヘ
テ居ル、ソレヲ此方ノ黨員ガヤッテハ大變困
ル、サウシテ政友會アツタリカラ——貴族院
カラ、ソレデ政黨内閣ガ勤マルカト云ハレ
タ時ニ困ルカラト云フノデ、平身低頭シテ
之ニ頼ンダト云フコトヲ聞イテ居ル、新聞
ノ報ズル所ニ依ルト、内閣ノ瓦解シテモ
前ハヤル積リカト云フ一喝ヲ喰ハシタト云
フコトヲ、噓カホンマカ知ラヌケレドモ言
フテ居ル、相當強ク強要シタモノデアラウ
ト私ハ思フ、若シモ諸君、假ニ司法大臣——
色々ノ取調ノ權能ヲ持ッテ居ル人ガ議員ヲ
官邸ニ呼ンデ、才前ハドウシテ呉レルカト
云フコトヲ踏ヲキツクシテ言ウタ時ニハ、
大抵ノ代議士ハソレデハ應ジマセウト云フ
コトニナラヌトモ限ラヌノデゴザイマス、
一國ノ司法大臣ガ——今日ハサウ云フ事ハ
ナカツケレドモ、若シサウ云フコトヲシ
タナラバ、立憲政治ト云フモノハ何ニ依ッテ
國民ノ負託ニ副フコトガ出來マスカ、諸君
緊縮方針ト雖モ二千萬圓ノ金ヲバ唯、造船
所トノ契約ニ基キテト云フダケデサヘモ出
サウトシテ居ルヤウナ事ヲヤッテ居ル、頗
珍漠ノ事ヲシテ居ルノニ、唯、名ヲ緊縮方
針ニ藉リテ幹部ガ之ヲ壓迫シ、或ハ首相官
邸ニ呼付ケ、或ハ安達君ガ之ヲ強要シテ、
サウシテ代議士會ニ虚偽ノ報告シテ黨議
ヤルト云フヤウナコトハ、如何ニモ立憲政
治ノ腐敗墮落ヲ現實ニ現ハシテ居ルモノト
私ハ固ク信ズルモノデアリマス、ノミナラ
ズ小泉副議長ガ憲政會ニ居ッタト云フコト
ヲ以テ、御人好シト云ハレルヤウニ、憲政
會ノ言フ事ニ唯々諾々トシテ、此神聖ナル
議場ヲ蹂躪シタト云フコトハ、吾々ハ斷ジ
テ許サナイト思フノデゴザイマス、諸君
御考ハ如何ニト私ハ聞キタイ、サウシテ其
所ニ列席サレテ居ル所ノ三木武吉君ハ極力
反對シタノデアアル、而シテ政務次官ノ月給
ハドウスルカト云フカラ、政務官ハ何方デ
モ取ルガ宜イ、政務官ハ五千二百圓デ、六
千圓トスルト八百圓少クナル、餘計働イテ
八百圓少クハ困ルト云フヤウナコトヲ洩ラ

サレタ、ソレデハ不公平デアルカラト云フノ
デ、吾々ハソレニ對シテハ現在ノ規定ヲ
削ッテ、何方デモ取レルト云フヤウニスレ
バ、俸給ガ多クナレバ俸給ノ方モ取レルデ
ヤナイカト云フコトニシタ、併ナガラ參
官ノ諸君ハ是デハ不服デアアル、全部ヲ削
ナケレバイヤカヌ、詰リ歳費モ貰ヒタイ、而
シテ官吏ノ俸給モ貰ヒタイト云フコトヲ他
ノ參與官ハ波ラシタ、現ニ三木君ハ其點ニ
付テハソレガ先決問題ダナント云フコトヲ
言ッテ居ル、是ハ三木君ノ惡事ヲ云フノデ
ハナイ、三木君ハ大藏大臣ノ緊縮方針ノ下
ノ下僚デアアル、故ニ是ハドウシテモ立テナ
ケレバナラヌト云フコトヲ思フヲ私ハナ
イカ、併ナガラ昨年三木君ハ私ガ大藏省デ會
タ時ニ、自分ハ歳費増額ニ反對デアルト云
フコトヲ言明シタコトハ事實デアリマス、
併ナガラ脱黨ヲ賭シテマデモ反對ヲスルト
云ッテ黨員ヲ強要シタコトハ吾々ハ見道ス
コトハ出來ナイト思フノデアリマス、ソレ
ハ君ノ勝手デアルケレドモ——サウ云フヤ
ウナ工合ニ受付ニ於テモ、議事課ニ於テモ、
或ハ小泉副議長ノ遺方ニ於テモ、或ハ又遞
信大臣ト云ヒ、若槻禮次郎君ト云ヒ、實ニ
今日ハ政黨内閣デアアル、政黨内閣デア
ラ良イ事モゴザイマセウケレドモ、政黨内
閣ニハ斯ノ如キ腐敗墮落ガ伴フト云フコト
ヲ諸君ハ知ラナケレバイヤカヌ、實ニ此結果
ト云フモノハ議員ヲ強要シテ、或意味ニ於
テ或ハ金ヲヤリ、權利ヲヤル、斯ウ云フコ
トヲシタラ、ドウ云フ請託デモ僅カ一分間
經タヌ中ニ相通スルカモ知レナイ、斯ノ如
キ問題ヲ生ズルト云フコトハ、吾々ハ現代
ニ於テ強イ監視ノ眼ヲ睜ナケレバナラヌ
ト思フノデアリマス、故ニ此意味ニ於テ私
ハ小泉副議長並若槻禮次郎氏ニ對シテ、又
安達謙藏氏ガ虚偽ノ報告ヲシタト云フコト
ヲ永田君ヤ戸田君カラ聞イタ、而シテ此議
員ニ強要的ノ事ヲヤッタト云フコトハ、如何
ナル關係デアルカト云フコトヲ吾々ハ聞カ
ナケレバ、到底此神聖ナル議會、及立憲政
治ガ行ハレルモノデナイト云フコトヲ、
私ハ國民ノ前ニ明ニ言ヒ放チタイト思フノ

デゴザイマス、ソレカラ私ハ此議案ノ事ニ付テ言ヒタイ、ソレハ最初二百六十名ノ反對者ガ出來マシテ、サウシテ五十名程取ラレテシマツテ、二百六十名ノ賛成者ガ殘リタルヲ云フコトデアアル、所ガ又憲政會ガ更切リテ來タト云フノデ、本黨及政友會ノ人ハ之ヲ取消サウト云フヤウナコトハ如何ナル關係デアアルカ、苟モ立憲政治ニ於テ署名シテ堂ヤル以上ハ、他黨ガ如何ナルモノデアラウト、政友會、本黨ノ人ガ何故ニ取消ヲシヤウトスルノデアリマスカ、此次ニ立ツ者ハ誰ガヤルカハ知ラヌガ、此辯明ヲ聽イテモ、併シ私ハ反對デアアル、今日マデ同ジ行動ヲ取リテ來マシタガ、サウ云フヤウナ變動ノ行動ヲ爲サレテモ提出者ノ一人タル私ハ責任上撤回スルコトハ吾々ハ政治道德上參ラナイ、故ニ此案ヲ撤回スルコトハ出來ナイト思ヒマス、政友會ヤ憲政會ヤ、本黨ハ何ガ故ニ之ヲ取消サウトスルノデアアルカ、取消シテアルカナイカ知リマセヌガ、憲政會ガ惡イ、背信行爲ヲシタト言フテ、他人ガ惡イ事ヲシタカラ、我モ惡イ事ヲスルト云フコトハイカスト思フノデゴザイマス、斯ノ如ク多數ノ署名ガアリ、一面ニハ大變堂々ト名ヲ連ネラレテ居リマスケレドモ、一面カラ言ヘバ一人ヤルノハ怖イカラ、大勢伴連レニナツテ行カウト云フノデハナイカト云フコトヲ吾々ハ恐レタノデアリマス、諸君、歳費ガ必要デアルナラバ二十人デモ三十人デモ斷乎トシテ進メバ宜イノデアアル、必ズシモ多ク二百名モ名ヲ連ネルト云フコトノ必要ハナイト云フコトヲ言、タノデアリマス、斯ノ如ク名ヲ連ネラレテ居ル者ガ、續々署名ヲ取消スト云フコトハ、帝國議會ヲ弄ンデ居ルモノデハナイカト思フ、諸君ハ隱密ノ間ニヤラウトシテモ、天下國民ハ眼ヲ睜、テ居ル、斯ノ如ク帝國議會ヲ愚弄スル所ノ諸君ハ、悉ク相當ノ懲罰ニ値スベキコト、私ハ信ズル、諸君、此歳費ノ増額タルヤ是ハ犯罪行爲デハナイ、正堂々吾々ハ國民ニ向、テ主張シテ居ルノデアアル、英國ニ於テハ上院議員ハ少シモ金ヲヤツテナイ、下院議員ニハ十年程前ニ勞

諸君ガ考ヘルヤウデアレバ、此議院法及議事規則ノ「コントラデクシヨシ」即チ矛盾ヲ如何ニスルカト云フ問題デアツテ、之ニ就テハ小泉副議長ニ問ヒタイ……議長ニ問ヒタイ、然ラザレバ非常ナ惡弊ガ起ル、例ヘバ茲マデ既ニ提出シテ居ルノニ、其間ニ議事課ニ於テ彼方ヘ行、タリ、此方ヘ行、タリシテ居ル、又外ノ人ガ來テ其間ニ撻廻シテ行クコトハ、非常ニ立憲政治ニ惡イ弊害ガ起ルト思フ、斯ウ云フ事ガ是マデ澤山アツタクレドモ、諸君ガ言ハナカッタコト、思フ、發議者ガ取消サナクテモ撤回ノ出來ルモノナラバ、發案人ノ保證人トモ云ハウカ、附添人ニナツテ居ル所ノ贊成者其人ガ二十名贊成シテ居、テ、一分前或ハ五分前ニ私ハ反對デゴザイマスト申セバ、茲デ發議スルコトハ出來ナイト云フコトニナツテ、贊成者ガ如何ナル非常ナ暴威ヲ振ハヌトモ限ラヌ、故ニ二十名デ宜イノデアリマスガ五十名拵ヘテ居ル、二十名ガ二十五ト云フコトニナレバ、四五名逃ダラレルトソレガ出來ナイデ、會期ノ切迫ノ時ハ到頭止メラレテシマフ、實ニ危イコトデアル、故ニ林田龜太郎君ノ解釋ニ從ヘバ、モウ既ニ提案シタト、キニハ、議題ト爲スコトニナツテ居ルカラ、誰モ動カスコトガ出來ナイ、發案者ガ全部贊成シナケレバ動カスコトハ出來ナイ、若シ其案ニ反對ノ意見ガアルナラバ、其人ハ議堂々ト輪贏ヲ爭フコトガ出來ル、諸君ハ議場ニ於テ公明正大ニ之ニ反對スルナリ、贊成スルナリ出來ルノデアル、諸君ハ贊成デアリナガラ、大臣ガ之ニ反對スルト云フノデ、此案ガ上程サレズニ潰レルト云フコトデ、諸君ノ面目ヲ如何ニスルノデアルカ、諸君ハ歳費ヲ取ラウト云フノデ、等シク贊成シタノデハナイカ、茲ニ之ヲ讀ンダテ見マセウ、提出者中林友信、兒玉右二、永田善三、平野光雄、服部英明、杉浦武雄、土生彰、谷口宇右衛門、齋藤金吾、信太儀右衛門、鹽田團平、山宮藤吉、村上紋四郎、淺川浩、山根儀重、谷口源十郎、加藤十四郎、戸澤

民十郎 菅原英伍、中馬興丸、奥村千藏
中村貞吉、手代木隆吉、中野寅吉、近藤重三郎、栗延敬太郎、室木彌次郎、山口嘉七、紺野九右衛門、中野猪之助、大里廣次郎、吉原義雄、下元虎之助、寺島權藏、戶田由美、作間耕過、關矢孫一、生方大吉、金澤安之助、澤田利吉、吉田磯吉、石塚三郎、高橋元四郎、黒田重兵衛、山本勝次、神谷彌平、横山一格、齋藤仁太郎、蟻川五郎作、栗山博、萱村太事、藤井敬慎、宮崎松次郎、加藤六藏、斯波貞吉、松井郡治、比佐昌平、神部爲藏、三橋四郎次、神田正雄、清水留三郎、羽田彦四郎、小島諒作、大島要三、堤康次郎、中野實、佐藤實、井本常作、飯塚春太郎、村上國吉、齋藤太兵衛、佐藤球三郎、山田助作、青木知四郎、松田三德、山田又司、河野正義、河野曉、内ヶ崎三郎、井上利八、石黒大次郎、重松重治、橋本喜造、倉元要一、土井權大、平山爲之助、原惣兵衛、高橋熊次郎、兼松寅太郎、志賀和多利、山本慎平、藤田包助、佐々木春作、井口延次郎、植原悅二郎、牧野良三、杉宜陳、青木精一、高井商二、今井健彦、篠原經武、和市、松實喜代太、川口義久、櫛原經武、石坂豐一、來栖七郎、竹内友治郎、藤川清助、海原清平、飯村五郎、井上虎治、吉木陽、松本若平、古林新治、工藤十三雄、井上孝哉、藤田胸太郎、今里準太郎、三善清之、安保庸三、土屋興、猪野毛利榮、濱口吉兵衛、二本洵、吉村伊助、松山常次郎、浦山助太郎、廣瀬爲久、能谷巖、加藤久米四郎、星島二郎、長田桃藏、森蠟昶、磯部保次、鈴木隆、森田政義、志村清右衛門、加藤錦五郎、小島善作、谷原公、平田民之助、中村嘉壽、藏園三四郎、佐藤重遠、森肇、東鄉實、志波安一郎、大城幸之一、柏田忠一、大麻唯男、禱苗代、高島順作、神村吉郎、小野寅吉、宜保成晴、津崎尚武、兒玉實良、浦野謙朗、寺田市正、麓純義、野村治三郎、前田房之助、井坂豐光、沼田嘉一郎、宮島幹之助、兼田秀雄、丹下茂十郎、清水長郷、上原好雄、山谷德治郎、陣軍吉、前田兼實、奥野小四郎、大園榮三郎、

星廉平、千葉宮次郎、原夫次郎、池田龜治、吉松忠教、富田愿之助、小川郷太郎、岩切重雄、原田藤次郎、中山貞雄、牧山耕藏、長峰與一、永井作次、堀喜幸、岸本賀昌、永田新之允、山口政二、湯淺凡平、土屋清三郎、成田榮信、議院法中左ノ通改正ス、第十九條中「七千五百圓」ヲ「二万圓」ニ、「四千五百圓」ヲ「八千圓」ニ、「三千圓」ヲ「六千圓」ニ改メ、第三項ヲ左ノ如ク改ム、官吏ノアリト認ム是レ本案ヲ提出スル所以ナリ」ト云フノガ全文デアリマス、此中ノ是等ノ人ガ——一部ヲ讀出シマシタカラ、アト讀マヌト惡イト思、テ速記ニ托シタノデアリマス、其通りデ取消ヲシタ人ガ大分有ルヲ見、十分ニ明カデアリマセヌケレドモ、是等ノ者ガ今日配付サレタモノデアリマス、ト云フコトダケ御報告シタ譯デアリマス、サウ云フヤウナ次第、今日此議案ト云フモノハ斯ノ如キ多數ノ人カラの確ニ、モウハ一週間モ前ニ提出サレタ、話ハ一月モ前カラ、ラアッ、決シテコソ——ヤッタノデハナイ、唯、幹部ガ壓迫シヤウト思、テ、其壓迫ヲ免レタ歴史ハアルカモ知レマセヌガ、斯ノ如キ議案ガ二十名ノ署名ガ危ナイト云フヤウナ腐ナ現狀ニ立至ルト云フコトハ、實ニ憲政ノ腐敗墮落ヲ證明シタモノデハナイカト思フ、苟モ議會ニ出シタ案ヲ故無ク取消ス理由ヲ、公明正大ニ私述ベナケレバイケナイト思フノデゴザイマス、吾々ハ決シテ暮夜間ヲ潜テ面シテ汚ナイ所ノ金ニ手ヲ著ケヌ爲デハナイ、憲政ノ發達ノ爲ニ吾々議員ノ活動ノ爲ニ要求シ、又來ルベキ普通選舉ニ備ヘテ、是等ノ人ガ出テ來ルカラ之ヲヤ、テ置ク必ヤ要ガ有ルト確信ヲシテ居ル、此案ヲ葬リ去ルト云フノハ何タル事デアルカ、實ニ之ヲモ不問ニ付スルトスレバ厚顔無恥ト云フコトハ何レニ向テ發スル言葉デアルカト云フコトヲ知ラナイ、諸君ヨ、此案ガ斯ノ如ク

長イ間議場ニアルノニ、昨日僅ニ一大臣ガ策動シテ此案ヲ葬リ去ラタト云フコトハ、此案自體ヨリモ憲政ノ賊デアルト私ハ斷言シテ憚ラヌノデアリマス、故ニ吾々ハ國務大臣ガ如何ナル答辯ヲ此議場ノ諸君ノ前ニ、國民ノ前ニ致スカト云フコトヲ聽キタイ、又副議長小泉又次郎氏ハ何ガ故ニ延會シタト云フ理由ヲ明白ニシナケレバイヤナイ、又憲政會ノ幹部ハ何ガ故ニ黨議ニ名ヲ藉リテ、而シテ此議會ノ神聖ヲ汚サントスルカト云フコトヲ聽キタイ、又何ガ故ニ政友本黨政友會ノ諸君ガ之ヲ取消シタカ、憲政會ガスルナラ宜イガ、俺一人デハ憚イカラ取消スト云フノハ、眞ノ取消ノ理由ニナラヌト私ハ斷言セヌケレバナラヌノデアリマス、又諸君ハ如何ナル態度ヲ以テ斯ノ如キ案ヲ葬リ去ラントスルカト云フコトヲ聽キタイ、私ハ議會ノ神聖ヲ保テ、立憲政治ノ發達ヲ期スル爲ニ諸君ニ問フタノデアリマス、長ク私ハ此壇上ニ起テマシタノデゴザイマス、其點ハ御諒水ヲ願ヒタイ

○副議長(小泉又次郎君) 三木參與官ヨリ一身上ノ辯明ノ爲メ發言ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス——三木參與官

〔政府委員三木武吉君登壇〕

○政府委員(三木武吉君) 只今田淵君ノ御演說ノ中ニ、私ガ歳費ノ増額ニ反對ヲシテ居タト云フ御話ガゴザイマシタカ、ソレハ私個人トシテ致シテ居タコトハ事實デゴザイマスガ、官吏ノ俸給ト歳費ノ關係ニ付テ、何カ私ガ田淵君ニ申上ダタコトヲ、如何ニモ尤ラシク諸君ニ御報告ニナッテ居リマシタ、本會議ノ席上デ正式ニ田淵君ガ御報告ニナッテ以上ハ、私ハソレヲ田淵君ニ對シテ御取消ヲ願ハナイマデモ、私ガ皆様ニ一言辯明致シテ置カナケレバナラヌコトハ、數日前デゴザイマシタカ——十日位前デゴザイマシタカ、本黨ノ控室デ、本黨ノ代議士諸君ト茶話デ、冗談交リニ官吏ノ俸給ノコトヤ、歳費ノコトヲ申シテ居タノデアリマス、眞逆田淵君ガ眞面目ニ御聽取ニナッテ、此議場デ報告セルトハ存ジテ居リマセヌ、隨テ若シ眞面目ニ御聽取ニ

ナッテ、正式ニ議場デ御報告ニナッタト云フ形デアッタナラバ、ソレハ冗談デアッタト云フコトヲ、田淵君ニ申上ダテ置キタイシ、又議場ノ皆様ニモ申上ダタイト思ヒマス

○副議長(小泉又次郎君) 田淵君ヨリ議長ニ對シテノ御問デゴザイマスガ、其點ニ關シテ私ヨリ御答致シマス、一昨日ノ議會ハ定刻ヲ過ギマシタニ依テ、延會ヲ宣告致シマシタノデアリマス、其延會ヲ致シタノハ、副議長ト或ル政黨ノ幹部ト結託ヲシ、或ハ幹部ヨリ壓迫ヲ受ケテ不法ナル延會ヲシテ、而モ議場ノ神聖ヲ汚シタ、其責任ヲ如何ニスルヤトノ御問ノヤウニ聽取タノデアリマス、私ハ或ル政黨ノ幹部ヨリ壓迫ヲ受ケタルコトハ斷ジテアリマセヌ、隨テ何カ議事上ノコトニ付テ結託ヲ致シタト云フコトモ毛頭ナイノデアリマス、責任ヲ執ルト申シマシタノハ、私ノ執リマシタ處置ニ付テ萬一ニモ先例ニ悖リ、法規ニ違背致シタ時ニ於テハ責任ヲ執リ、法規ニ違背致責任ヲ執リマシタル措置ニ付テハ、何等法規ニ違反セヌノミナラズ、先例ニモ背イテ居リマセヌ、確ニ法規ノ命ズル所ニ依ッテ、議會ノ神聖ヲ保ツニ於テ、私ハ延會ヲ宣告致シタノデアリマス、此事タテ御答致シテ置キマス、又事務局ハ何等カ故意ニ(此時發言スル者多シ)暫ク御聽キ下サイ、事務局ノ執リマシタ措置ニ付キマシテ、何カ故意ニ此議案ヲ延延シテ居ルガ如キノ御問デアリマシタケレドモ、事務局ニ於テモ、何等違法ノ點モアリマセズ、落度モ更ニナイト云フコトヲ私ハ斷言シテ置キマス

○田淵豐吉君 今ノ議長ノ答辯ニ付テ今一言御許シテ願ヒマス——私ハ此席カラ願ヒタイ、ソレハ議長ハ法規ガ計シタ言フガ、法規ニ疑ガアルト私ハ思フ、政治道德ノ問題デアリマスカラ、查問會ニ掛ケナケレバナラヌモノデアルケレドモ、サウ云フコトハシマセヌ、故ニハッキリ聽キタイノデアアル、第一ニ何ヲ聽クヤト云フト、其時ニ今里準太郎君ガ證人デアアル、今里準太郎君ガ緊急動議ヲ出シタ、議事日程ヲ變更センガ

爲ニ……其事ヲ惡イトモ善イトモ議場ニ何モ聽カナイデ、サウ云フコトヲ豫メ知ッテ居タト思ハレル、既ニ言明シテ、サット旨クソレヲ切抜ケタト云フコトヲ言ッタ、若シ間違デアリマシタナラバ今里準太郎君ノ言ニ微シテ貰ヒタイ、私ハ間違ナイト思ヒマス、現ニ其時ニハ私ハ居ナカッタ、故ニ立證スルカハナイガ、皆サウ言ッテ居ル、議長モ亦、相濟マヌト云フヤウナコトヲ言ッタデハナイカ、然ラバ議長ハ其責任ニ任ズルト言フガ、確ニ議長ノコトハ失當デアッタ、併ナガラ議場ノ混亂ヤ、内閣ガ動搖ヲシテハイカヌト云フヤウナ意味カラ、此措置ヲ執ラレタモノト思ヒマス、此議長ノ衷情ニハ同情致シマスケレドモ、斯ノ如キコトヲヤラレト、議會ト云フモノハ、一黨一派ノ爲ニ、内閣ノ爲ニ覆ヘサレル、非常ニ惡例ヲ生ズルト云フコトヲ知ッテヤッタウト思フ、知ッテヤッタナラバ、知ッテヤッタト云フコトヲ明ニ答ヘルノガ、議長ノ責任デハナイカト思ヒマス、故ニ政治道德ノ問題カラ、明確ナラ、良心ヲ欺カヌ所ノ答辯ヲ聽キタイト思ヒマス

○副議長(小泉又次郎君) 田淵君ノ議院法ニ違背シテ居ルト云フ御尋デアリマスガ、何等違背ヲシテ居ル點ハ無イト思ヒマス、又延會ヲ致シマシタノハ、單リ議院法ノ改正案ガ殘テ居ルバカリデハアリマセヌ、其他多數ノ議案ガ山ノ如ク殘ッテ居タノデアリマスルカラ、定刻ヲ過ギマシタニ依ッテ延會ヲ告ゲタノデアリマス、其他何等ノ故意ガアッタ譯デハアリマセヌ

○田淵豐吉君 簡單ニ今一言願ヒタイ(止セ止セ)ト呼フ者アリ)斯ノ如ク議案ガ堆積シテ、八時マデモ九時マデモヤラナケレバナラヌ時ニ、何故ニ延會シタカト云フト、歳費増加ノ議案ヲ出サレタラ可決セラレル、可決セラレタラ内閣ニ轉ガ入ルト云フコトヲ幹部ニ言ハレタガ爲ニ、斯ノ如キ重大ナル議會デアルケレドモ之ヲ切ッタノデハナイカト私ハ思フ、況ヤ前ニ今里準太郎君ガ何故ニ緊急上程ヲ頼ンダ時ニ、耳ヲ藉サズニ退場シタノハドウ云フ譯デアルカ、貴方自身

十分知ッテ居ルノデハナイカト私ハ思ハレルノデアリマス、今里準太郎君ノ發言ニ對シテ、何故ニ耳ヲ藉サナカッタト云フコトニ對スル先キノ辯明ガ、意味ヲ成サナイト云フコトヲ私ハ言フノデゴザイマス、其御答辯ヲ願ヒタイ

○副議長(小泉又次郎君) 御答致シマス、何遍御答ヲ致シマシテモ、二回ニ涉ッテ御答ヲ致シタ以外ニ御答スルコトハナイト思ヒマス、此場合一言申上ダテ置キマス、只今私ノ田淵君ニ對シテノ御答辯中、議會ノ神聖ヲ保ツト云フ意味ハ、議會ノ神聖ヲ蹂躪シテ居ルト云フノ御問デアリマシタカラ、決シテ左様ナ意味デハナイト云フノ趣旨デアリマスカラ、左様御諒水ヲ願ヒタイノデアリマス、——是ヨリ日程ニ入りマス、日程第一乃至第四ハ、同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ日程第一、大正十二年度歳入歳出總決算、大正十二年度各特別會計歳入歳出總決算、日程第二、大正十二年度國有財産増減總計算書、日程第三、大正十三年度歳入歳出總決算、大正十三年度各特別會計歳入歳出總決算、日程第四、大正十三年度國有財産増減總計算書ノ各案ヲ一括シテ議題ト致シ、委員長ノ報告ヲ求メマス——決算委員長河上哲太郎

第一 大正十二年度歳入歳出總決算、大正十二年度各特別會計歳入歳出總決算

報告書

一大正十二年度歳入歳出總決算

一大正十二年度各特別會計歳入歳出總決算

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通議決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月十九日

衆議院議長稻谷義三殿

決算委員長 河上 哲太

〔別紙〕

不法又ハ不當ナルモノ

大正十二年度歳入歳出總決算中

歳入ニ於テ

不當ナルモノ

二十四件

歳出ニ於テ

不法ナルモノ

三件

不當ナルモノ

二件

大正十二年度各特別會計歳入歳出決算中

歳入ニ於テ

大藏省所管朝鮮總督府

二件

不當ナルモノ

大藏省所管臺灣總督府

二件

不當ナルモノ

大藏省所管樺太廳

二件

不當ナルモノ

鐵道省所管帝國鐵道

一件

歳出ニ於テ

大藏省所管朝鮮總督府

二件

不當ナルモノ

大藏省所管臺灣總督府

二件

不當ナルモノ

大藏省所管樺太廳

一件

不當ナルモノ

文部省所管東京帝國大學

二件

不法ナルモノ

鐵道省所管帝國鐵道

二十九件

不當ナルモノ

鐵道省所管帝國鐵道

二件

總計

既往年度(大正九年度、大正十年度及大正十一年度)

一般會計

歳入ニ於テ

不當ナルモノ

十一件

大正十二年度歳入歳出總決算及同各特別會計歳入歳出決算中不法又ハ不當ナリト議決シタル事項左ノ如シ

不當ナルモノ

一般會計歳入ニ於テ

課税標準ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ三件

租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ九件

租税ノ徵收過ニ屬スルモノ十一件

監督其ノ宜シキヲ得ス歳入金ヲ横領費消セラレタルモノ 一件

合計 二十四件

同 歳出ニ於テ

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ 一件

土地ノ買収ニ當リ其ノ措置宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノ 一件

合計 二件

特別會計歳入ニ於テ

租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ 三件

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ 二件

未開地特別處分ニ當リ其ノ措置宜シキヲ得サリシモノ 一件

國有地ノ賣拂價格低廉ニ失シタルモノ 一件

合計 七件

同 歳出ニ於テ

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ 一件

虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ 四件

規定ニ違背シ且必要以上ノ前渡資金ヲ交付シタルモノ 二十六件

監督其ノ宜シキヲ得ス數箇年ニ互リ事實ニ反スル支拂ヲ爲シタルモノ 三件

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ 一件

合計 三十六件

不法ナルモノ

一般會計歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ 二件

競争入札ニ付スヘキ物品ヲ隨意契約ニ依リ購入シタルモノ 一件

合計 三件

特別會計歳出ニ於テ

物品ノ購入ニ當リ年度區分ヲ紊リタルモノ 二件

總計 七十四件

既往年度(大正九年度、大正十年度及大正十一年度)未確定金額ノ検査確定セル

モノノ内不當ナリト議決シタル事項左ノ如シ

不當ナルモノ

一般會計歳入ニ於テ

課税標準ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ 三件

租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ 四件

租税ノ徵收過ニ屬スルモノ 一件

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ 三件

合計 十一件

(以下之ヲ略ス)

警告

大正十二年度

一般會計

歳出臨時部

第五款 電話交換擴張費

第二項 事業費

大阪通信局ノ支出ニ係ル(會計検査院報告四)

理由 大正十二年八月本庄某ヲシテ大阪林業製材株式會社外五名ノ土地ヲ買収シメタル後之ヲ電話分局用地トシテ買収シタル土地ノ代價ナリ本庄某ハ大正十二年二月中地上物件ヲ併テ二十一萬圓餘ニテ買収シタルモノナレハ利子雜費手数料ヲ見込ムモ當局買收價格餘リ高價ニ失ス仲介者タル本庄某ハ大正十一年度決算ニテモ大阪通信局神戸電話分局用地買収ニ關シ不當ノ利得ヲナシタルモノナル事ヲ検査院報告ニ詳記シアリ依テ將來ノ注意ヲ促シ再ヒ此ノ如キ事ナキ事ヲ政府ニ警告ス

注意事項

大正十二年度

一般會計

海軍省所管

歳出經常部

第二款 軍事費

第五項 造船造兵及修理費

海軍省經理局ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

二八六、〇二一、三三三

右ハ各海軍工廠ニ設備スヘキ鍛鍊起車機梁上起重機等ノ購入代價及其他ノ代金ナリ本件ハ豫算ノ目的外ニ屬スル支出トシテ注意ヲ促ス

文部省所管

歳出臨時部

第十五款 學校創立費

第三項 第十四高等學校創立費

文部省ノ支出ニ係ル(會計検査院報告三)

二三、六二一、一八〇

右ハ山形高等學校校長教授官舎ノ建築工事費ナリ右ハ豫算ニ明記シテ要求スヘキモノヲ積算計上セザリシモノニシテ注意ヲ促スヘキモノトス

特別會計

大藏省所管樺太廳

歳出經常部

第一款 樺太歳入

第二項 官業及官有財産收入

樺本廳鐵道事務所ノ徵收ニ係ル(會計検査院報告一)

九九、六五七、四四〇

右ハ三井鐵道株式會社採掘炭ニ對シ規定運賃ノ三割引ヲ以テ運送シタル賃金ナリ右ハ歳入歳出ヲ混同シタルモノニシテ且内約ノ如キハ適當ノ措置ニテラス依テ將來ノ爲注意ヲ促ス

文部省所管京都帝國大學

歳出臨時部

第一款 營繕費

第二項 特別講義室新營費

本項ニ於テ京都帝國大學ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

五二、三四〇、九五〇

第四項工學部擴張費ニ於テ同大學ノ支出ニ係ル(同上)

四二、九三二、四四〇

右ハ同大學本部所屬建築工事及其他ノ新營増築並附帶工事費ノ内ナリ本件ハ工事施行上之カ經費ノ豊裕ナルニ乘シ豫算ニ積算ナキ新規ノ施設ヲ爲シタルモノニシテ注意ヲ促スヘキモノトス

鐵道省所管帝國鐵道

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費

第二項 改良費

鐵道省ノ支出ニ係ル(會計検査院報告五)

九三、八四〇、四八〇

右ハ小樽第二期埋築第一區埋立地岸壁新設工事費ノ内ナリ本件ハ工事ノ設計上適當ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ將來ノ爲注意ヲ促ス

第二 大正十二年度國有財産増減總計
報告書

一大正十二年度國有財産増減總計計算書
右ハ本院ニ於テ是認スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十五年三月十九日
決算委員長 河上 哲太
衆議院議長 柏谷義三殿

第三 大正十三年度歳入歳出總決算、
大正十三年度各特別會計歳入歳出決算
報告書

一大正十三年度歳入歳出總決算
一大正十三年度各特別會計歳入歳出決算
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通議決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十五年三月十九日
決算委員長 河上 哲太
衆議院議長 柏谷義三殿

(別紙)

不法又ハ不當ナルモノ
大正十三年度歳入歳出總決算中
歳入ニ於テ

不當ナルモノ 十八件

歳出ニ於テ

不法ナルモノ 三件

不當ナルモノ 七件

大正十三年度各特別會計歳入歳出決算中

歳入ニ於テ

大藏省所管樺太廳

不當ナルモノ 二件

鐵道省所管帝國鐵道

不當ナルモノ 三件

歳出ニ於テ

大藏省所管朝鮮總督府

不當ナルモノ 一件

文部省所管東京帝國大學

不當ナルモノ 一件

鐵道省所管帝國鐵道

不當ナルモノ 四件

官有物(大藏省所管樺太廳)

不當ナルモノ 一件

總計 四十件

既往年度(大正九年度及大正十年度)

一般會計

歳入ニ於テ

不當ナルモノ 一件

大正十三年度歳入歳出總決算及同特別會計歳入歳出決算中不法又ハ不當ナリト議決シタル事項左ノ如シ

不當ナルモノ

一般會計歳入ニ於テ

課税標準ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ 一件

租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ 十二件

租税ノ徵收過二屬スルモノ 五件

合計 十八件

同 歳出ニ於テ

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ 四件

虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ 一件

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ 一件

物品完納前代價ノ支拂ヲ爲シタルモノ 一件

合計 七件

特別會計歳入ニ於テ

官行所伐材ノ賣拂ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ 二件

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ 三件

合計 五件

同 歳出ニ於テ

虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ 四件

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ 一件

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ 一件

合計 六件

不法ナルモノ

一般會計歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ 三件

官有物ニ於テ

不當ナルモノ

國有未開地ノ貸付及立木ノ交付ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ 一件

總計 四十件

既往年度(大正九年度及大正十年度)未確定金額ノ検査確定セルモノノ内不當ナリト議決シタル事項左ノ如シ

不當ナルモノ

一般會計歳入ニ於テ

監督其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ 一件

(以下之ヲ略ス)

警告

大正十三年度

一般會計

內務省所管

(元大藏省所管)

歳出臨時部

第十八款 帝都復興事業費

第一項 東京復興費

復興局支出ニ係ル(會計検査院報告一)

理由 區劃整理實施上宅地ノ減歩率ヲ緩和スル必要上已ムヲ得ストスルモ仲介業者ノ手ヲ經テ隨所ニ購入セシモノアルカ如キ又高價ニ失シタルモノアルカ如シ要スルニ周到ノ注意ヲ缺キタルモノトシテ將來ノ爲注意ヲ警告ス

官金

大藏省預金部資金運用其ノ宜シキヲ得サルモノ(會計検査院報告一)

理由 大正十三年四月以降朝鮮銀行ニ對シ整理救済ノ目的ヲ以テ利率五分ヲ以テ五千萬圓ヲ貸付タリ又大正十二年四月

中同様ノ目的ヲ以テ臺灣銀行ニ對シ利率五分ヲ以テ金五千萬圓ヲ貸付タリ當時兩銀行共營業情態甚不良ニシテ是等ノ貸付金ハ一時ノ金繰リ便ニシタルニ止マリ其ノ後益々營業困難トナリ遂ニ大正十四年ニ至リ大整理ノ斷行スルノ止ムナキニ至レリ是ヲ要スルニ徹底の大整理ヲセス漫然多額ノ貸付ヲナシタルハ注意ヲ缺キタル放漫ノ處置トシテ將來ヲ警告ス

注意事項

大正十三年度

特別會計

大藏省所管國債整理基金

歳出

第一款 國債整理基金支出

第一項 國債整理基金支出

大藏省ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

一〇二、四〇三、五〇〇

右ハ慰勞金トシテ大藏省外務省逓信省橫濱正金銀行等ニ支給シタル金額ナリ當初豫算見積リ過少ナリトシテ隨意ニ慰勞金ヲ増加シタル如キハ豫算ノ使用宜シキヲ得タルモノト認メ難ク將來ノ爲注意ヲ促ス

鐵道省所管帝國鐵道

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費

第二項 改良費

鐵道省ノ支出ニ係ル(會計検査院報告五)

三八〇、一五一、四九〇

右ハ小樽第二期埋築第一區埋立地岸壁新設工事費ノ内ナリ工事設計上適當ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ將來ノ爲注意ヲ促ス

第四 大正十三年度國有財産増減總計
報告書

一大正十三年度國有財産増減總計計算書
右ハ本院ニ於テ是認スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

大正十五年三月十九日

決算委員長 河上 哲太

衆議院議長 谷 三 郎

〔河上哲太君登壇〕

○河上哲太君 只今議題トナッテ居リマスル十二年度、十三年度ノ決算及國有財産ニ關係シマスル決算委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、會期ガ既ニ切迫致シテ居リマスアレドモ、諸君ノ御審査ヲ待テ居ル議案ハ非常ニ多イノデアリマス、故ニ私ハ出來得ル限リ簡單ニ御報告ヲ致シタイト思ヒマス、尙ホ私共ノ委員會ハ會計規定ノ改正ニ依リマシテ、二ツノ議會デアルベキコトヲ一ツノ議會デ致シタノデアリマス、即チ普通ノ決算委員會ノ傍ノ仕事ヲ致シタノデアリマシタガ、委員諸君ノ御精勵ニ依リマシテ慎重ニ審議シ、而モ最モ圓滿ニ、圓滿ニ、全會一致ノ成果ヲ得マシタコトハ、委員諸君ノ衷協同、協賛ノ任ヲ竭サレタル結果デアリマシテ、是ハ私ノ愉快ナル義務ト致シマシテ第一ニ御報告致シマス、先ツ兩年度ノ決算ノ大要ニ付テ申上ゲマス、十二年度ノ歳入ハ經常部ガ十三億三百餘萬圓、臨時部ガ七億四千四百餘萬圓、合計二十億四千五百餘萬圓、歳出ガ經常部ガ九億六千餘萬圓、臨時部ガ五億六千餘萬圓、合計十五億二千餘萬圓デアリマス、差引五億二千四百餘萬圓ノ餘リガ出來タ譯デアリマス、其中デ十三年度ノ財源ニ繰越シマシタモノガ六千六百餘萬圓、隨テ生ジタル所ノ純剩餘金ガ四億六千三百餘萬圓ニナルノデアリマス、之ヲ豫算ト比較致シテ見マス、ト歳入ニ於テ經常部ガ五千九百餘萬圓、臨時部ガ六億五百餘萬圓、合計六億五千五百餘萬圓ノ増加ヲ致シテ居リマス、歳出ニ於テ臨時部ガ一億六千二百餘萬圓増、差引一億三千百餘萬圓ノ増額ヲ致シテ居リマス、其中不用額ハ八千四百萬圓餘アリマス、十三年度ノ豫算ニ編入致シマシタモノガ一億二千三百萬圓デアリマス、豫備金第一、第二合計千四百萬圓ヲ全部支出致シマシテ、是

ハ既ニ皆様ノ御承認ヲ得テ居リマス、剩餘金ヲ以テ支拂ヒマシタ所ノ豫備金外ノ支出、是ガ一億四千二百餘萬圓デアリマス、公債ヲ以テ豫算外ニ支出致シマシタモノガ二千四百餘萬圓、歳入ヲ以テ支出致シマシタモノガ四千八百餘萬圓デアリマス、次ニ十三年度ノ歳入デアリマス、經常部ガ十四億三千八百餘萬圓、臨時部ガ六億八千八百餘萬圓、合計二十一億二千七百餘萬圓デアリマス、歳出ガ經常部ニ於テ一億五千五百餘萬圓、臨時部ニ於テ一億五千五百餘萬圓、合計三億一千万圓、差引五億一千五百餘萬圓デアリマス、差引五億一千五百餘萬圓ノ剩餘ヲ來ス結果ニナッテ居リマス、其中十四年度ノ歳出ニ繰越シマシタモノガ三千四百餘萬圓デアリマス、純剩餘金ガ四億七千七百餘萬圓ニナッテ居リマス、御承知ノ通り十三年度ハ議會解散ニ依リマシテ豫算ガ成立致シマセヌ爲ニ、前年度ノ豫算ニ追加豫算其他ヲ加ヘマシテ施行豫算ヲ作リマシテ、ソレヲ見マス云フト、經常部ガ一億二千七百餘萬圓、臨時部ガ二億五百餘萬圓ニナッテ、合計三億三千三百餘萬圓ノ増加デアリマス、歳出ニ於テ一億八千八百餘萬圓、臨時部ガ一億八千八百餘萬圓、合計一億六千餘萬圓減少ヲ致シテ居リマス、更ニ政府ノ説明ニ依リマシタル實行豫算、即チ施行豫算ヲ土臺ト致シマシテ、實行スル爲ニ作リマシタル實行豫算トノ比較ヲ見マス云フト、歳入ノ經常部ガ一億七千二百餘萬圓、臨時部ガ二億九千四百餘萬圓、合計四億六千七百餘萬圓ノ増加ニナッテ居リマス、歳出ニ於テ一億八千八百餘萬圓、臨時部ガ九千餘萬圓、合計三億五千五百餘萬圓ノ減少ヲ來シテ居リマス、ソレデ施行豫算ト比較致シマシテ、歳出ノ不用額ガ二億四千八百餘萬圓、實行豫算ニ於テ一億二千三百餘萬圓、豫算ニ於テ繰越シマシタモノガ一億二千六百餘萬圓、之ヲ豫備金ガ豫算ニ於テ一億二千六百餘萬圓アリマシタアレドモ、實際上支出致シマシタモノガ一千六百四十萬圓、差引五十萬圓餘殘シテ居リマス、剩餘金ニ依リマ

ス所ノ豫算外支出ガ九千餘萬圓ニナルノデアリマス、吾々ハ大體此說明ヲ政府カラ聞キマシテ、更ニ兩年度ニ關係致シマス所ノ國有財産ノ收支計算、是モ政府カラ説明ヲ聞イタノデアリマシテ、數字ハ此處ニ持テ居リマスガ、諸君モ既ニ御承知デアリマセウカラ、是ハ議長ノ御許シヲ得マシテ、寧ろ細カイ數字ヲ度ニ申上ゲルヨリカモ、速記ニ留メタイト思ヒマス、此總豫算及國有財産ニ關係致シマスル決算書ニ付キマシテ、私共ノ審查致シマシタ範圍ハ、兩年度ニ於テ歳入ノ歳入ノ未定額ヲ除イタモノ、及ビ既往年度ニ於テ未定額ノ内、兩年度ノ中ニ決定致シマシタル分、之ニ就テ審查ヲ致シタノデアリマス、其數字モ申上ゲタイノデアリマス、時間ヲ節約スル爲ニ是モ速記ニ殘シタイト思フ、斯ク致シマス所ノ小特別委員會ヲ十八回、合計二十四回ノ會議ヲ開イタノデアリマス、其間ニ於ケル所ノ質問應答ニ付キマシテハ、既ニ數日前速記録ガ諸君ノ御手許ニ參テ居ルカラ、既ニ御承知ノ事ト思ヒマシテ、極ク簡單ニ、三ツ諸君ガ特ニ興味ヲ持タルモノニ付キ申上ゲテ見タイト思フ、第一ハ復興局ニ關係シマス復興事業ニ關スルモノデアリマス、即チ現ニ刑罰問題其他ヲ起シテ、世ノ中ノ耳目ヲ聳動シテ居リマス所ノ品川ノ埋立、及ビ高等工業ト云フヤウナ風ノ問題デアリマス、政府ノ説明ニ依リマス云フト、品川ノ埋立地ハ、元來好景氣ノ時ニ品川町ノ住宅ヲ建設スル意味ヲ以テマシテ認可ヲ得テ、町工事ニ從事シテ居ルノデアリマシテ、當時東京府カラ認可ヲ得マス所ノ命令ニ依リマスナラバ、全部完成ノ上、既定ノ検査其他ノ手續ヲ經テ、品川町ガ權利ヲ得ルノデアリマス、然ルニマダ權利ヲ得テナイモノヲ、此埋立工事ヲ請負ウタル關係者ト、復興局トノ間ニ既ニ權利ガアルモノトシテ、即チ或ル意味ニ於テハ復興局ノ中心方面ヲ騙シタト云フヤウナ形ニ於テ、是ガ權利ノ賣買ヲ致シテ居ルノデア

リマシテ、之ニ就キマシテハ、復興局ニ於テ、其關係會社ニ契約ノ破棄ヲスル、解除ヲスル時ニ於テハ、賠償ヲサス契約ガアルサウデアリマスアレドモ、果シテ此損失ヲ償ヒ得ルヤ否ヤハ、今ノ會社ノ狀態デハ疑問デアル、併ナガラ尙ホ出來得ル限リ國家ノ損失ヲ少クシ、且ツ惡意デハナカッタレドモ、當時ノ關係者ノ不注意ノ點ニ付テハ、復興局ニ於テ十分調査ヲ致シテ、ソレゾレ處分ヲ致シタイト云フコトデ、更ニ恐縮致シテ居ル様デアリマス、茲前ノ高等工業ノ問題、是モ聞キマスレバ刑罰問題ガ起テ居ルサウデアリマス、是ハ大岡山ノ田園土地ノ會社ト、土地ト土地トノ交換ト云フヤウナ意味デ、即チ一ニ對スル七半ト云フヤウナ意味デ交換致シタノデアアルサウデアリマス、其當時ノ評價ガ約百五十圓、ソレガ二、三箇月ノ後ニ百九十圓、即チ約二百圓ニ近イ價ヲ以テ復興局ニ復タ買戻サレテ居ルノデアリマシテ、之ニ就キマシテハ復興局ノ當局者ハ、其當時ノ評價ニ付テハ出來得ル限リノ手續ヲ執リタノデアッテ、必シモ不當トハ思ハナイト云フ說明デアリマシタアレドモ、是モ刑罰問題等ガ起テ居ル、十分釋明ヲ致スノハ困難デアルト云フヤウニ、可ナリ恐縮ヲ致シテ居ルヤウナ有様デアリマス、銀座方面ニ於テマシテ不用ノ土地ヲ買過ギテ居ルタデハナイカト云フコトガ問題ニナッテ居リマスガ、是ハ諸君ハ既ニ書類ニ依ッテ御承知ノコトト思ヒマスガ、是ハ銀座方面ト木挽町方面トガ一ツノ區劃ニナッテ居リマシタモノガ、其後ノ計畫ノ變更上、二ツニ致シタ爲ニ、銀座方面ニ於テ一ツニ於テ土地ヲ澤山買、タヤウナ形ニナッテ居ルアレドモ、是ハ必シモ初メカラ惡意デシタノデハナクシテ、此土地ノ爲ニ此方面ニ於テ國家ニ損失ヲ與ヘルコトハ少イト云フヤウナ説明デアリマシタ、ソレカラモウ二、三申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、信濃川ノ水力問題ニ付キマシテハ、是ハ極ク簡單ニ申上ゲマスナラバ、初メ政府ガ此方面ニ於テマシテ、水力ヲ得テ發電致ス考デアリマシタ所ガ、

其水利權ヲ得ル期日モ及工事著手ニ關スル所ノ認可モ、私設會社信越電力ノ後カラ得タノデアリテ、殊ニ自ラ調節池ヲ設ケテ計畫ヲ進行セントシタ所ガ、私設會社ノ方ニ於テ此設備ガアツテ、却テ初メノ計畫ガ出來ナイ爲ニ、斯ル結果ヲ來シタノデアリテ、初メノ豫算以上ニ非常ニ多額ノ豫算ヲ要スルト云フヤウナ説明ヲ致シテ居リマス、ソレカラ最後ニ此委員會ニ於キマシテ問題ノ起リマシタ所ノ、永代橋稅務署ノ通牒ニ關スル問題デアリマス、之ニ就キマシテハ磯部君、若宮君、吉植君ナドカラ質問ガアリマシテ、大藏大臣及主稅局長トノ間ニ應答ガアリマシタ、委細ハ既ニ御承知ノコト、思ヒマスガ、極ク全體ヲ搔擗ンデ申上ゲテ見タイト思ヒマス、質問者ノ要領ヲ申上ゲマスルナラバ、苟モ勅任官デアル所ノ監督局長ガ移牒若クハ通牒ト云フ言葉ヲ使フコトニ付キマシテハ、可ナリノ責任ヲ感ジ、慣例上重イ意味デナケレバナラス、又本人自身ガ何等自ラノ權限若クハ理由ナキニモ拘ラズ、斯ノ如キ事ヲスル必要ハナイト思フノニ、斯ノ如キ事ヲ致シタノハ、現大藏大臣濱口氏ノ年來ノ消極的財政上ノ主張ヲ助ケル意味ニ於テカ、然ラズンバ豫算編成上大臣ノ主張ニ便宜ヲ與ヘル意味デ、斯ノ如キコトヲ或ハ言ハレテ、命令ヲ受ケテヤツタカ、然ラズンバ之ヲ忖度致シテヤルヨリ外ニナイノデハナカ、此爲ニ一方ニ於テハ非常ニ巨額ノ稅ヲ延納致シタ爲ニ、納稅者ノ利益ヲ與ヘ、而モ稅金ニ於テ少額ト雖モ延納スル場合ニハ、嚴格ニ之ヲ強制徵收其他ノ事ヲ致シテ居ルニモ拘ラズ、斯ル巨額ノモノヲ徒ニ延納ヲ許スト云フコトハ、社會思想ノ上ニ於テモ決シテ喜ブベキ事デナクシテ、非常ナ惡影響ヲ來スト思フ、是等ノ事ヲ考ヘマスルト云フト、或ハ背任罪ト云フヤウナ事ヲ起ス結果ニモナリハシナイカト云フヤウナ御趣旨デアリマシタ、ソレニ付キマシテ大藏大臣ハ、其通牒ノ出タコトニ付テノ事實ハ之ヲ認メテ居ラレルヤウデアリマス、サウシテ之ヲ調ベマシタノハ當時ノ稅

務監督局長デアリマシテ、今日ノ北海道殖銀行ノ理事デアリマス加藤君ヲ呼ビマシテ、加藤君ノ過去ニ於ケル記憶ヲ喚起シタル結果ニ於ケル話ヲ中心ニシタ御答辯デアツタノデアリマス、モウ一人ノ關係者、即チ當時ノ大藏省主稅局經理課長間宮君、現在ノ北海道殖銀行ノ常任監事デアリマス所ノ間宮君、此人ハ病氣中デアリマスカラシテ、其人ニ直接聞クコトノ出來ナカッタノハ遺憾トスル、併ナガラ他日其人ノ病氣回復後、本日答辯スル以上ノ新シキ事實ガアレバ改メテ答辯スルガ、ソレガナイ時ニハ答辯ハ今日ヲ以テ終リトスルト云フ趣意デアツタノデアリマス、ソレカラ其御答辯ノ内容ヲ見マスルト云フト、此加藤君ノ話ニ依テ聞ケバ、十二年度ハ震災其他ニ因テ第一種所得ノ收入ノ決定ガ遅レタ、即チ翌年度ニ決定ガ繰越サレタノガ非常ニ多イ、隨テ十三年度ニ於テハ十二年度ノ巨額ノ收入、十三年度ノ收入ガ相重テ通入ルノデアリマス、即チ一時ニ非常ニ巨額ノ收入ガ這入ルノデアリカラシテ、本省ニ來テ間宮、即チ當時ノ經理課長ト監督局長デアアル加藤ガ色モ話シテ居ル間ニ成ベク徵稅事務ノ便宜ノ爲メ、各年度ノ收入ヲ平均配スル爲ニ、斯クシタ方ガ便宜デアアルト云フヤウナ、課長ト局長ノ話合カラ之ヲ出シタモノデアツテ、本省ノ幹部、即チ局長以上自分等ハ一ツモ知ラヌコトデアル、隨テ此通牒ガ本省ノ内意ト云ウテ居ルケレドモ、吾々ハ局長モ知ラヌ、自分モ知ラヌノミナラズ、其動機ニ於テモ監督局長ノ徵稅事務ニ於ケル便宜カラ、自分ノ責任ヲ以テヤツタモノデアツテ、自分ノ財政上ノ主張ヲ助ケル、或ハ納稅者ノ請託ニ依テ特別ノ利益ヲ與ヘルト云フ、左様ナコトハ毛頭ナイト思フ、故ニ背任罪ハ起ラヌノミナラズ、自分トシテモ此問題ニ對シテ是レ以上責任ヲ執ルコトハ感ジナイ、尙小巨額ノ稅云々アルケレドモ、中ニハ百圓臺ノモノモアリ、僅ニ五萬圓位ノモノモアル、一番大キイト云ハバ日本銀行ノ四百萬圓デアアル、其日本銀行ノ納稅ガ遅レタト云フノハ、日

本銀行カラ中告シテ來タコトニ對シテ、稅務署ガ之ニ對スル査定ニ意見ヲ爲シタ、是ガ交渉ノ上決定シナイ、ソレカラ監督局ハ本省ノ意見ヲ聞キニ來タ、御互ノ上ニ研究交渉致シタ結果遅レタノデアリテ、此通牒ノ爲ニ特ニ遅レタノデナイ、斯ル例ハ必シモ是ノミデナクシテ、外ニモアルノデアアル、萬一此通牒ノ爲ニ特ニ遅レタ納稅額ガアリトスレバ、其額ハ約百萬圓デアアル、併ナガラ是等モ特ニソレ等ノ人ノ利益ニ與ヘル爲ニ出シタモノトハ信ジナイト云フヤウナ質問應答デアツタノデアリマス、此點ニ關シマシテハ、當時大藏大臣ガ貴族院ノ委員會、其他ノ説明ニ出ラレテ非常ニ多忙デアリマシタカラシテ、委員長ハ他ノ場合ニ於キマシテ、委員諸君其他カラ御質問ガアルコトヲ保留致シテ、其儘其實問ヲ打切ツタ次第デアリマス、マダ幾ツモアリマスガ、是ハ既ニ數日前カラ速記録ニ付テ御承知デアリマセウカラ略シマス、斯ノ如キ質問應答ヲ重ネ、サウシテ先程申上ゲマシタ通り、二十四回ノ委員會ヲ開キ、最後ニ得マシタノガ皆サンノ御手許ニ配付致シテアリマス決算ノ結果デアリマス、此結果ニ付キマシテモ、一々申シマスコトハ却テ煩雜デアリマスカラ、又諸君ハ御承知デアリマスカラ、一般ノ人ニ知ラス意味ヲ以テ、私ハ議長ノ御許シヲ得マシテ、之ヲ速記ニ移シタイト思ヒマス、尙ホ此委員會ハ先程申上ゲマシタ通りニ、非常ニ澤山ノ件數ガアリマシタケレドモ、委員諸君ノ御精勵ニ依リ、決算通デアリマスル所ノ太田君ノ御發議ニ依リマシテ、全會一致二年分ノ仕事ヲ最モ圓滿ニ完結致シマシタ次第デアリマス、委細申上ゲタヤウデアリマスルガ、吾々ガ特ニ——政府検査院以外ニ於キマシテ意見ヲ附シタ等ノ事モゴザイマスケレドモ、是ハ私ハ速記ニ移ス方ガ宜イト思ヒマスカラ是ハ省略致シマス、其他國有財産ニ付キマシテモ小委員會ニ於キマシテ、諸君カラ熱心ナル御質問ガアリマシタ、政府亦之ニ答辯致シマシタノデ、其結果ヲ總會ニ移シマシテ、兩年度ニ對シマシテハ將來國有財産ノ

整理方法ニ付キマシテ、特ニ注意スベキ事ヲ六項吾々カラ注意事項ト致シマシテ、之ヲ決定致シタノデアリマス、是ハ恐ラク皆サンノ御手許ニアリマス所ノ報告書ノ中ニナイコト、思ヒマスカラ、是ダケヲ讀ミマシテ他ハ速記ニ讓ルコトニ御許シヲ願ヒタイ、第一、官有財産ノ中デ主管各省ニ於キマシテ現在ニ不用トスル所ノ所管省以外ニ於テ必要ヲ感ジテ居ルモノモアル、又現在ニ不用ニシテモ亦他日必要ヲ生ズル見込ノモノモアルデアラウ、故ニ是ガ整理ニ付テハ最モ慎重ナル注意ヲ以テヤツテ貴ヒタイ、次ニ東京市內官有地ノ中デ不用トスルモノハ區劃整理換地、又ハ減歩率補償ニ利用スル事ヲ得ルモノハ、復興局ト協議ノ上適當ノ處理ヲシテ貴ヒタイ、此他第三項ハ、北海道及樺太ノ國有未開地ニ付キマシテハ拂下ダテ、サウシテ其儘ニ抛棄致シテ置クヤウナコトハ改メタイト云フコト、次ハ北海道樺太方面ニ於ケル山林ノ拂下問題、次ニ國有財産ノ評價ガ五年目五年目ト云フコトニナツテ居リマシテ、今度ノ決算ニ於キマシテモ議論ガ起リマシタコトハ、此評價ガ適切ナイト云フコトデアリマス、故ニ之ヲ改メルト、最後ニ越中島ノ國有地貸付ノ如キ、之ヲ十分ニ調査ヲ致シテ整理ヲシナケレバ、國家ニ對スル損失ヲ與ヘル、斯ル六項ニ關シマシテノ注意ヲ決定致シタ次第デアリマス、私ハ私共ノ勞苦ニ對シテ本會議ニ於キマシテモ、全會一致御承認アラシコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、之ヲ以テ委員長ノ報告ヲ終リマス

〔參照〕
國有財産増減總計算書
經過
審查
大正十二年度分
大正十二年度ニ於テ増加セル國有財産ノ總額ハ
一般會計所屬
三六、六三四、二八一・二二一

特別會計所屬	三二七、九一五、二五六、四五五
合計	六三四、五四九、五三七、五七六
大正十二年度ニ於テ減少セル國有財産ノ總額ハ	六三三、二二四、四八八、六九〇、五五七
一般會計所屬	二六〇、三四八、九三五、九二二
特別會計所屬	一一一、四八八、六九〇、五五七
合計	三七一、八三七、六二六、四七九
差引増加額	二六二、七一、九一一、〇九七
大正十三年度分	大正十三年度ニ於テ増加セル國有財産ノ總額ハ
一般會計所屬	四八二、九一四、四三九、二一一
特別會計所屬	三四六、二九〇、九五八、三九五
合計	八二九、二〇五、三九七、六〇六
大正十三年度ニ於テ減少セル國有財産ノ總額ハ	四五一、七〇二、四一一、九五二
一般會計所屬	一六五、八八〇、二二三、二四〇
特別會計所屬	六二七、五八二、六三五、一九二
合計	二二一、六二二、七六二、四一四
差引増加額	二二一、六二二、七六二、四一四
審査ノ範圍	大正十二年度
一般會計歳入	二、〇四五、二九八、二六六、六九九
中未確定金額	一、三〇二、〇四三、八一五
一般會計歳出	一、五二一、〇五〇、三〇五、〇〇五
中未確定金額	九一三、四八三、八〇九

特別會計歳入	三、四七八、六六四、九一五、〇五九
中未確定金額	四四三、六二五、九五〇
特別會計歳出	二、六五三、一八一、四六九、四四八
中未確定金額	三二七、二一四、五九六
ヲ除クノ外審査ヲ爲シ	既往年度未確定金額
一般會計歳入	四、四五五、八九七、八〇〇
中爾後確定額	三、五〇三、四六九、五一〇
一般會計歳出	一、〇八〇、八三三、三〇五
中爾後確定額	一、〇二九、五七五、七〇五
特別會計歳入	三〇、八〇九、〇五〇
中爾後確定額	三〇、三八七、三四〇
特別會計歳出	四、七八〇、〇七五、七七二
中爾後確定額	四、七三七、〇七五、七七二
ニ付審査ヲ爲シタリ	大正十三年度
一般會計歳入決算額	二、二一七、三九一、三三三、五三三
中未確定金額	一六、六八三、九二〇、〇四一
一般會計歳出決算額	一、六二五、〇二四、〇七三、二五〇
中未確定金額	六、五八六、一九七、八七六
特別會計歳入決算額	三、九六二、四三三、三二六、六三三
中未確定金額	一、六三八、二六一、九〇〇
特別會計歳出決算額	三、〇四二、二九一、八六六、八六三

中未確定金額	一、五二九、四四八、一四六
ヲ除クノ外審査ヲ爲シ	既往年度未確定金額
一般會計歳出	九六四、七四一、四〇九
中爾後確定額	一一六、六〇七、〇四〇
ニ付審査ヲ爲シタリ	審査ノ結果
會計検査院ノ検査報告中	大正十二年度分ニ於テ
非難件數總計二百五十三件中	政府ノ會計検査院ノ報告ヲ是認セルモノ
八十件	決算委員會ニ於テ不當ト決定セルモノ
五件	政府ニ警告ヲ爲スヘキモノト決定セルモノ
一件	政府ニ注意ヲ與フヘキモノト決定セルモノ
六件	政府ノ辯明ヲ承認シタルモノ
百六十一件	大正十三年度分ニ於テ
非難件數總計百一件中	政府ノ會計検査院ノ報告ヲ是認セルモノ
三十五件	決算委員會ニ於テ不當ト決定シタルモノ
六件	政府ニ警告ヲ爲スヘキモノト決定シタルモノ
一件	政府ニ注意ヲ與フヘキモノト決定シタルモノ
六件	政府ノ辯明ヲ承認シタルモノ
百六十一件	委員會ニ於ケル質疑ノ重ナルモノ

アルベシ故ニ之ガ整理ニ付キテハ最も慎重ナル注意ヲ要ス

二 東京市内官有地ノ内不用トスルモノハ區劃整理換地又ハ減歩率補償ニ利用スル事ヲ得ルモノハ復興局ト協議ノ上適當ノ處理ヲスル事

三 北海道及樺太國有未開地ノ處分ハ方法ヲ改良シ事業確實ニ達成ノ見込アルモノノ外ハ大地域ヲ無資産ニシテ事業ニ經驗ナク轉賣シテ利益ヲ收メシテ事ヲ目的トスルモノニ特賣セザル事トシテ成ベク小區劃ニ分割シテ自作農移住者ヲ獎勵シテ之ヲ特賣シテ助成開墾セシメル事

四 北海道樺太國有林經營方法ヲ改善シテ統一シタル管理ノ下ニ森林行政方針確立シテ濫伐ノ弊害ヲ除キ施行案ヲ定メ伐採ト植林ト併テ遂行スル計畫ニ基キ立木ヲ拂下ケル事トシテ無立木地ヲ整理シテ殖林事業ノ實績ヲ擧ケルニ務ムル事

五 國有財産評價ハ今後調査ノ時ハ成ベク實價額ニ依リ積算スル事

六 震災直後國有地ヲ貸下タル分ニ對シテハ之ガ整理ニ關シ將來ノ注意ヲ促ス

○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス。佐藤富十郎君

(佐藤富十郎君登壇)

○佐藤富十郎君 諸君只今日程ニ上リマシタ所ノ大正十二年度、大正十三年度ノ決算ニ付テマアリマス、只今河上委員長ヨリ述ベラレタル所ノ報告ノ其一デアリマス、此中ニ在リマシテ樺太廳ニ於ケル歲入臨時部ノ中、第二款官行研代賣拂代金ノ問題デアリマス、是ハ會計検査院長ヨリモ報告ニナツテ居リマスルガ、樺太林業株式會社ト云フモノニ對シマシテ一口、ソレカラ松昌洋行ト云フ株式會社ニ對シテ一口、ソレカラ遠藤某トアリマスルガ、是ハ個人デアリマシテ、某トアリマスカラ名前ハ分リマセヌガ、遠藤某トナツテ居リマス、此三口ノ賣拂代金ノ中——賣拂代金ノ中デス、三百七十七万三千圓上云フ國庫ニ損害ヲ與ヘテ居ル間

大問題デアリマス、諸君、官行所伐ハ昨年ヨリモ私ハ熱心ニ此不可ナルコトヲ辯ジテ居リマスルガ、端ナクモ決算ニ當リマシテ、樺太廳ニ於ケル約四百万圓ト云フ缺點ヲ生ジテ居ルコトヲ見マシタ時ニ、如何ニ官行所伐ト稱スル、俗ニ言ヘバ政府ノ材木屋ヲシテ居ルト云フコトガ、自體其事ガ誤テ居ルト云フコトヲ警告シテ居ルノデアリマス、然ルニ此貸付方ヲ見マシテモデス、樺太林業株式會社ハ此官行所伐材ヲ拂下グル爲ニ、二百万圓ノ會社ヲ造、タト云フコトデアル、此拂込ガ五十万圓デアッテ、之ニ對シテ三百万以上ノ金ヲ貸スト云フコトハ、無擔保貸スト云フコトハ、實ニ間違テ居ルコトモ甚シイコトデアリマス、マイカ、例ヘバ其株式全體ニ對シテ貸渡スモノト致シマシテモ、二百万圓ニ對シテ二百万圓ハマダ宜カラウト致シマシテモ、二百万圓ノ會社ニ對シテ三百万圓ヲ貸スト云フコトハ、諸君如何デゴザイマセウカ、是ガ尋常ナルモノデアル、相當ノモノデアルト諸君ハ御認メニナルノデゴザイマセウカ、私ハ之ヲ相當ナルモノト見ルコトガ出來ナイノデアル、諸君、此財政經濟ノ有様ヲ見マシタ時ニ於キマシテモ、何レノ方面カラ見マシタ所ガ、官行所伐ノ如キ所ノ大失態ヲ來シテ居ルト云フコトハ、之ヲ如何ニ諸君ハ考ヘルノデゴザイマセウカ、(笑聲起ル) 諸君ハ大變オカシイヤウデアリマスルガ、國庫ノ損失ハ國民ノ損失デアリマスゾ、此國民ノ損失ヲ見テ笑フガ如キハ、實ニ笑ハザルヲ得ナイト私ハ思フ、諸君ハ何カ笑ツテ致シマス、此事ニ付テ關係アル者ノ如ク思ハレハシマセウカ、私ハ他黨ヲ攻撃スル爲メデナク、政府ヲ監督スル爲メ演説デアリマス、笑フトモ少シ氣ヲ付ケテ笑ハヌ上云フト、自分ノ方ノ汚ナイ所ガ現レテ來ルヤウナ状態ニナリハシナイカ、何ガオカシイノダ、諸君達バカリ演壇ニ立ッテ踊ヲ踊ルノデハナイ、(此時發言スル者多シ)

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ

○佐藤富十郎君(結) 借斯ノ如キノ貸付方ヲ致シマシテ、其失敗ガ三百万圓以上

ニナツタト云フコトニ對シテ、私ハ樺太長官ニ伺ヒタイノデアリマス、如何ナル考カラシテ斯ウ云フ取レナイ會社ヲ見テ、洵ニ明ニ取レナイト云フコトハ、ドウシテ貸シタノデアルカ、之ヲ巨細ニ申上ダレバ容易ナラヌ大問題デアリマスカラ、私ハ要點ヲ聴クコトニ致ス、是程昔イタモノガアリマスケレドモ、都合モアリマスカラ餘リマア申上ダマス、耳ノ痛イ人モアルヤウダ、先ツ樺太長官ニ伺ヒタイノハ、此樺下ヲ爲ス時ニ木材ハ樺太ノドウ云フ所デ相渡シタカ、又其石數ハ何程デアッタカ、ソレカラ其代金ハ何程デアッタカ、此事ヲ伺ヒタイ、尙ホソレニ附加ヘマシテ、官行所伐ハ其伐賃及其運搬賃ガ幾ラデアッタカ、斯ウ云フノデアル、此事ヲ拜聴致シマシテカラ、尙ホ演壇ニ登ッテ申上ダルコトニ致ス積リデアル、先ツ第一ハ樺太ニ株式會社ニ貸シタモノト、松昌洋行ニ貸シタモノト、ソレト今一口ノ遠藤某ト云フコトハ怪シイカラ、遠藤某ハ何處ノ者デアルカ、之ニ對シテ貸シタモノハ、其石數及尺緯、其品物、其材積、其石當り幾ラ、ソレカラソレニ對シテ木材ノ運搬、伐採賃、之ヲ伺ヒテ尙ホ今一應聞イテ見タイと思フ、免ニ角總理大臣ハ御出ニナラヌシ、仕方ガナイカラ先ツ樺太長官ニ聞イテソレカラニシマス、ドウゾ早速……

○副議長(小泉又次郎君) 昌谷政府委員

〔政府委員昌谷彰義君登壇〕

○政府委員(昌谷彰義君) 只今佐藤君ノ御尋デゴザイマシタガ、實ハ細カイ數字ニ付テノ御尋デ、此所ニ材料ヲ持合セマセヌデゴザイマシタカラ、ドウカ今少シ後ニ取調ベタ上デ御返事スルコトニ御承知ヲ願ヒタイト存ジマスルガ、併シ大體カラ申シマス、此官行所伐ノ總テノ費用ヲ範メマシテ、此賣買ノ價格デ相當ナ利益ヲ得ル勘定ニハナツテ居、タンデアリマス、ソレカラ單價ハ概シテ此十三年度ニハ二百七八十圓見當デ賣、テ居リマス、遠藤某ニ對シテモ亦同様デゴザイマス、最ニ御話ノゴザイマシタ

伐木ノ代價ガドレ程デアリ、或ハ運搬賃ガドレ程デアッテ、總計幾ラニナツテ、ソレガ收支バドウナルト云フ御答ハ、ドウカ取調ベタ上ニ御承知ヲ願ヒタイウゴザイマス

○副議長(小泉又次郎君) 佐藤富十郎君

〔佐藤富十郎君登壇〕

○佐藤富十郎君 只今御深切ナル御答アリマシタケレドモ、一向要領ニ觸レテ居リマセヌ、私ノ聞キタイノハ先刻申上ダタヤウニ、立木ノ代金ヲ幾ラト見積、テ置イテ、ソレヲ伐採シタ伐採賃、ソレニ運搬賃ヲシタノガ幾ラデアッテ、其總費ガ總掛リ幾ラ掛ッタ、其掛リヲ聞イタトキニ、初メテ此官行所伐ト云フモノハ利益ノアルモノデアアルカ、無イモノカ、分ル、之ヲ國民ニ知ラス必要ガアルトシテ聞イタノデアリマス、デアリマスカラ今ノ御答ハ、遺憾ナガラ私ノ問ニハ少シモ觸レテ居リマセヌ、仍テ思フニ此貸付方ガ内地ニ在リマシテハ、有價證券ヲ擔保ニ致シテ二年間ノ延納ヲ許スト云フコトハアリマスルケレドモ、此貸付方ハ無擔保デ以テ貸シテモ宜イト云フ規定ガ出來テ居ルト云フコトデアアルガ、其規定ナルモノニ矢張障ラレテ、遂ニ斯ウ云フ大失態ヲシタモノトモ考ヘラレマス、サウ役人ノ事ヲ餘リ惡クハ言ハナイコト、致シマスレバサウナルノデアアル、然ラバ其規定ト云フモノハ非常ニ惡イモノデアアル、勅令カドウカ分リマセヌガ、規定ノ間イタカラ規定ト申上ダマス、其規定ナルモノヲ今後存置シテ置ク積リデアアルカ、或ハ惡イモノトシテ之ヲ取消スト云フ御考ガアルノカト云フコトヲ、私ハ總理大臣ニ聞キタイノデス、ソレカラ斯ノ如ク四百万圓ニモ近イ所ノ國庫ニ損害ヲ與ヘタト云フ事ニ於テ、此役人ノ處置ヲ如何ニ致シタカ、ドウ云フ處置ヲ致シタノデアアルカ、善イ事ヲシタカラト云フテ又非常ニ之ヲ立派ナ官員ニシテ置クノカ、或ハ惡イト言フテ之ヲ罷メタノカ、(簡單簡單)ト呼フ者アリ、何ガ簡單ダ、此位大切ナ事ヲ申上ダルニ簡單ハ少シ無理デアリマセウ(笑聲起ル)之ヲ私ハ拜聴致シタイノデアリマスケレドモ、本席ヲ見マスレバ總理

大臣モ御出ニナラナイ、内務大臣モ居ナイ、何共此ニ於テ進退谷マルト云フ姿(笑聲起ル)ソレカラ同ジ問題デアリマスカラ、内地ニ於ケル所ノ官行所伐ニ付テ此損害ヲ來シテ居ルコトヲ申上ダマス、是ハ過日來農商務省ヨリ調ベタ所ヲ拜見致シマスレバ、全國百三十九箇所ニ於テ官行所伐ノ伐採事業ヲシテ居ル、其用材ハト聞ケバ、三百六十万石伐、テ居ル、其利益ハト尋ネテ見ルト、千三百万圓ノ利益ガアルト云フコトデアリマス、然ルニソレナラバ何所デアレダケノモノヲ伐、テ居ルカト云フコトヲ聞イタトキニ、秋田ノ杉ガ一千四百八十万石伐、テ居ルト斯ウ言フ、私ハサウナルト直グ分ル、秋田ノ杉ハアノヤウナ立派ナ杉ナルガ爲ニ、立木ノ價十圓ノ價値ハアル(ノウノウ)然ラバ之ヲ立木ノ儘デ賣リマシテモ、一千四百八十万圓ト云フ國庫ノ收入ガナケレバナラヌ答ト思フ、百四十八万石ト云フモノヲ三百六十八万石カラ差引キマスルト、約二百二十万石ト云フモノガ殘ル、其二百二十万石ト云フ殘リノ代金ハ雲散霧消ニ消エタ譯ニナル、是レ即チ國庫ノ損害デアリマセウ、此國庫ノ損害ヲ三十年以上モ續ケテ來タトキヲ考ヘテ見マス、如何ナル大ナル損害ヲ來シテ居、タカト云フコトハ明ニナツテ居ルデアリマセヌカ、此明ニナツテ居ルノヲ見テモ、以前ヨリ官行所伐ヲ續ケテ行クノハ、更新ノ途ニ於テ植立ヲ爲スガ爲ニ、官伐採シタケレバナラヌト云フコトヲ言、テ居ルケレドモ、植林ヲスルノニ其山ヲ自ラ政府ガ伐ラナケレバナラヌト云フ理由ガ何處ニ在リマセウカ、何處ニ在リシテ居ルデアリマス、多數ノ官吏ヲ養フガ爲ニ、ソレガ爲ニ國庫ニ損害ヲ來シテ置クト云フコトハ、此整理緊縮ヲ爲ス所ノ内閣ト致シマシテハ、第一ニ之ヲ行政ノ整理ヲシナケレバナラヌ任ニ當、テ居ルデハナイカ、ソレヲセズシテ何ガ行政整理デアルカ、是ダケノ大問題ヲ控ヘテ居、ソレヲ知ラヌ顔ヲシテ居ル、歷代ノ内閣ノヤル仕事デア、タカラ宜シイト云フノナラバ、何處ニ整理ガ存在シテ居ルノデアアルカ、斯

ウ云フ考デアリマスルガ、幸ヒ政府委員ガ見エラレテ居リマスルカラ、斯ノ如ク損害ガ明ニナラセテ居ルモ、尙ホ之ヲ續行シナクハナラヌト云フ理由ハ何處ニ在ルカト云フコトヲ、國民ノ前ニ私ハ明瞭ナル御答辯ヲ願ヒタイと思フ、ドウモ今ノ政府委員デハ出來サウモナイカラ、出來ルダケ一ツ承リタイ、ソレカラモウ一遍登壇スル積リデス

〔政府委員高田松平君登壇〕

○政府委員(高田松平君) 只今佐藤君ノ質問ニ御答致シマス、佐藤君ハ此議會開會以來、始終此點ニ付テ御熱心ニ御研究ニナラタ勞ニ對シテハ、私甚ダ失禮デゴザイマスルケレドモ、此席ヨリ御禮ヲ申上ゲテモ宜シイ程ニ、眞ニ研究シテ下スツト思フノデアリマス、而シテ實ハ此所伐ノ利害問題ニ付テハ、決算委員會ニ於テ詳細ニ御調査ニナツタコト、思フテ居リマス所ガ、只今此席ニ於テ御質問ノアルコトハ、甚ダ私ノ意外トスル所デゴザイマス、併ナガラ事務ハ所伐事業ヲ行フコトガ、林野ノ經營上是ナリヤ非ナリヤト云フ頗ル重大ナル關係ノアル問題ト思ヒマス故ニ、御答スル必要ガアルノデゴザイマス、第一官行所伐ヲ行フト云フ事柄ハ、單純ニ立木ノ所伐ニ依リテ國家ガ利益ヲ得ムトスル目的バカリデハアリマセヌ、國有林野ノ經營上、ドウシテモ場所ニ依リテハ、國家ガ直接ニ所伐スル方ガ利益デアル場所ガアルノデゴザイマスルカラシテ、而シテ所伐事業ニ依リテ諸山山林ノ更新ヲスル云フ目的ガ達シ得ルと思ヒマスルカラ、所伐事業ヲ營ムノデアリテ、決シテ利益保護デアリト云フコトヲ前以テ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、只今御質問ノ中ニゴザイマシタ、秋田ノ杉ノ利益ハ尺締一石ニ付テ十圓デアアル、秋田ニ於テハ秋田ノ杉ナラバ立木デモ一石十圓ニ賣レルデハナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスルガ、ソレハ間違ッテ居ルノデゴザイマス、大正十三年ニ於テ政府ガ販賣致シマシタル秋田ノ杉ノ立木ノ一石ノ相場ハ、單價ガ一石四圓七十六錢一厘デゴザイマス、決シテ

立木ノ儘デ十圓ニハ賣レマセヌ、是ガ大正七八年ノ頃デアッタラ、或ハ佐藤君ノ御意見ノ通り賣レタカモ知レマセヌガ、大正十三年ノ實績ハ只今申シマシタ通り四圓七十六錢一厘デアリマス、而シテ官行所伐ヲ行ヒマシタル總石數ガ百七十七萬二千六百三十六石デ、之ニ資材價格一石ニ付テ約六圓バカリヲ見込ミ、官行所伐ノ經費二百萬圓バカリヲ見込ミ、ソレ等支出ト收入ト差引キマシテ、一石ニ付テ十三圓バカリニナルノデゴザイマスルカラシテ、詰リ立木ノ儘處分スレバ約五圓、所伐事業ニ依リテ之ヲ經營シテ居ル結果ハ約十三圓ト相成ルノデアリマスカラ、差引八圓許リノ純益ガアル、所伐事業ノ方ガ立木ニ依リテ賣拂フヨリモ、ソレダケ利益デアルト云フ計算ガ出テ居ルト云フコトヲ御諒承願ヒタイノデゴザイマス、更ニ之ヲ全國的ニ申上ゲマスト云フト、大正十三年度ニハ針葉樹、闊葉樹ヲ併セテノ所伐ノ數量ハ三百五十七萬六千七百五十五石デゴザイマス、之ニ資材ノ價格ヲ相當ニ見込ミ、尙ホ官行所伐ニ關スル所ノ經費ヲ相當ニ見込ミマシテ、而シテ其收入——總收入ガ四千五百五十八萬八千三百三十八圓トナツテ、資材價格ヲ相當ニ見込ミマシタモノ及官行所伐ニ要スル經費ヲ總テ併セテ、ソレガ二千三百三十八萬圓ナリマスカラシテ、差引二千五百萬圓許リノ利益ニナツテ居ルノデゴザイマス、但シ御承知ノ通り決算ト多少ノ差ガアリマス、ハ、代金ノ延納ヲ許シテアリマス同時ニ、大正十三年度ニ於テ所伐ハ致シマシタガ、處分未済ノ數量ガ多クアルノデゴザイマス、故ニ決算ノ上ニハ二千五百萬圓ノ利益ハ現レマセヌガ、若シ未處分ノモノガ、スツカリ處分サレ、而シテ延納代金ガ納マリマスレバ、所伐事業ニ依リテノ利益ハ二千五百萬圓ト云フコトニ相成ルノデゴザイマス、恐ラクハ佐藤君ノ一千三百萬圓ト云フ御調査ハ、或ハ農林省森林總收入額カラ植栽費モ見込ミ、詰リ伐採ノ費用バカリデナク、苗木ヲ植エル費用、或ハ下刈ノ費用、是等ノモノヲ全部御引キニナツタ結果デ

ハナイカト思フノデゴザイマス、是ハ私ノ疑問デゴザイマスケレドモ、兎ニ角所伐事業ニ依リテ二千五百萬圓ノ利益ガアルト云フコトハ、御了承ヲ願ヒタイと思フノデゴザイマス(拍手)

〔高木益太郎君登壇〕

○高木益太郎君 內閣總理大臣兼內務大臣ニ御尋フシタイノデアリマス、大正十二年度大正十三年度ニ互ル決算ノ報告ニ付キマシテハ、決算委員諸君ノ御努力ニ依リマシテ、洵ニ詳密ナル報告ニ接シテ甚ダ満足ニ思ヒマス、其決算ノ結果ト私ガ關係致シマシタ本年度ノ內務省ノ豫算ノ結果トヲ綜合シテ見マスルト、先刻河上委員長ノ御報告ニ係ル復興局ノ問題ニ付キマシテ、總額六千二百萬圓ノ不動產ノ買入ヲシテ居ルノデゴザイマス、本會ニ於テハ一千萬圓ノ教育費國庫支辨、或ハ八哩ノ鹽尻ノ鐵道ノ問題ニ付キマシテハ、全院ノ諸君ガ舉ゲテ御苦心ニナツタト云フコトハ今喋々ラ要セナイ、然ルニ僅カ內務省ノ一局デアリテ復興局ニ於テ、只今ノ決算報告ト私等ノ豫算ノ取調ノ結果ヲ綜合シマスルト、六千二百萬圓ノ金ト云フモノヲ使フルト、東京ノ濱地其他ノモノヲ買入レテ居ル其結果ニ就テ調ベテ見マスルト云フト、現ニ近ク委員會開會中、本員ノ質問中ニ太田圓三君ノ自殺問題ガアリ、又此問題ハ茲ニ御列席遊バサレマス村上國吉君ノ、昨年ノ豫算會議ニ於テモ復興局ニ確ニ濱職ノ事實ガアル、速ニ之ヲ改善シナケレバナラヌト云フコトヲ痛論セラレ、本員モ亦之ニ共鳴ヲシテ、政府ニ向ッテハ苦言ヲ呈シタノデアリマス、ソレハ確實ナル所ノ證據ニ基イテ、村上君及本員等ハ政府ニ注意ヲ望ムノデアリマス、勿論事ハ四代前ノ內閣ノ時代ノコトデアリマス、清浦內閣ノ大正十二年ノ十二月カラ不都合ナ行爲ガアル、即チ田園都市會社ノ二百四十萬圓ノ問題、是ハ間ク所ニ依ルト云フト贈賄ノ額ガ約二十萬圓、又品川ノ詐欺事件、是ハ濱職デハナクシテ詐欺ダ、マルデ無イモノヲ賣買シテ居ル、故ニ東京地方裁判所ニ於テハ之ヲ詐欺取財事件トシテ取扱ッテ居

ル、又最近ニハ直グ此前ニアル鍋島家、而モ會計検査院長ガ鍋島家ノ顧問デアアル、此鍋島家カラ二萬圓ノ賄賂ヲ取ッテ居ル、何タル大膽不敵ノ事デアリマスカ、左様ナ事實ヲ舉ゲテ來ルト六千二百萬圓ノ復興局カラ出シタ金ガ、土地ノ賣主ノ手ニハ實際幾ラ入ッテ居ルカ殆ド分ラヌ、例ヘバ七萬圓ノ請取ヲ取ッテ、其實ハ五萬圓ノ金シカ渡シテナイカモ知レヌ、實ニドウモ怪シカラヌ不都合極マタ事デアアル、近年ノ海軍省ノ金剛艦ノ問題ト雖モ、國家ニ斯ウ云フヤウナ大ナル損害ヲ與ヘタモノデナイ、皆金高ガ小サイ、彼等ガ此百分ノ五ヲ不正ニ使用シタトシマシテモ、千七百萬圓ト云フモノハ彼等ガ國家ニ損害ヲ與ヘタコトニナル、固ヨリ司法處分ノ内容ニ付テ、豫審審査ノ内容ニ付テ、或ハ犯罪搜查ノ範圍ニ付テ吾々ハ政府ニ問クノデハナイガ、政府ノ行政ハ取締ノ上ニ於キマシテ、即チ豫審ノ秘密ニ涉ラサル範圍ニ於テ、政府ノ行政上ノ責任問題トシテ、ドノ位國家ニ損害ヲ與ヘタモノデアアルカ、此金高ヤ一ツ伺ヒタイ(ノウ)「ヒヤ」ソレカラ此金ト云フモノハ、眞ニ東京市民、罹災民ノ血ノ出ルヤウナ負擔ニナル、即チ大正十八年度カラシテ三十箇年ニ復興事業費ト云フモノハ償還シナケレバナラヌ義務ヲ持ッテ居ル、全部只頂戴ノ出來ルモノデハナイ、三十箇年賦デ毎年之ヲ償還シナケレバナラヌ義務ヲ持ッテ居ル、サウスレバ若シ國家ノ監督ヲシナケレバナラヌ國家機關ノ官吏ガ、其金ノ中何百萬圓ト云フモノヲ不正ニ使用シタト云フコトデアレバ、之ヲ東京市民ノ負擔ニスルト云フコトハ實ニ忍ビナイ、國家自ラ監督スベキモノヲ、監督不注意ノ結果斯ノ如キ問題ガ起ッタノデアリマスカラ、此分ニ付テハ政府ハ一體ドウ云フ考ヲ持ツカ、又政府ハ此際斷乎タル大刷新、大英斷ヲシテ、此復興局ノ改善ニ當リ御考ガアルカドウカ、今日東京市民ハ復興局ト言ハズシテ、誰も不都合局不都合局ト言ウテ居ルノデアリマス、立憲政治ハ信任政治デアアル、復興局ノ從來ノ幹部ハ四人アッタノデアリマスガ、所謂

四人柱ノ中一人建築部長ヲ除クノ外ハ、皆問題ニ屬スル人ニナリテ居ル、或ハ整地部長、或ハ經理部長、或ハ土木部長、全滅トハ言ハナシ、全滅トハ言ハナシケレドモ少クトモ幹部ニ居テ決裁スル人ハ皆問題ノ人デアリ、此復興局ニ對シテ政府ハドウ云フ改善ヲ加ヘル考デアルカ、昨日モ政府ニ聞イテ見ルト、五千人ノ人ヲ使用シテ居ル、其中ニハ前二不都合ヲ爲シタル、監督不行届デアリ前ノ復興局長官ヲ尙ホ顧問囑託トシテ居ル、或ハ後藤系ノ鈴木組ノ人ヲ囑託ニシテ居ル、サウ云フヤウナコトデ、御用商人ヲ使テ居ル、斯ナ事デ、復興ノ事實ガ果シテ舉ガルト云ヘルカドウカ、又復興局ハ商業會議所會頭ノ藤山委員ノ質問ニ對シテ、總テノ區劃整理事業ノ終ルノ何時デモアリマスカト云フ問ニ對シテ、稻葉土地整理局長ハ、總テノモノハ大正十三年、十四年、十五年ノ三年デ完了シタイと思ウテ居リマス、燒失ノ區域全部ニ對シテ大正十三年ノ五月、六月、七月ノ三箇月間ニ假處分ヲシテ、八月一箇月ダケ猶豫ヲ見テ、九月カラ本建築ニ掛ルヤウニシタイノデアリマス、斯ウ云フコトヲ言フタト云フコトハ速記録ニ依テ明白デアリマス、然ルニ仕事ハドウデアリマスカ、大正十二年ヲ過ギ、大正十三年ヲ過ギ、十四年ヲ過ギ、茲ニ十五年經費ノ十分ノ八ハモウ使テシマッテ居ル、況ヤ此議會ガマルデ知ラナイ、勿論行政科目デ、立法科目デハアリマセヌケレドモ、十分ノ八マデ費用ハ使テ、仕事ハドウ位出來テ居ルカト云フト、百分ノ九弱、マダ一割ニ達セヌデハナシカ、サウスレバ從來ノ彼等ガ公ニ宣言シタル事柄ガ行ハレヌノミナラズ、豫算ガ無イコトニナル、ソコデ政府ハドウ云フ一體御計畫ヲ御持チニナルカ、從來ノ計畫ハマルデ世ノ中ヲ欺イタモノデアリ、今ノ四代前ノ内閣ノコトデアレケレドモ、免ニ角速記録ニ依ルト十三年ノ九月カラ本建築ニ取掛カル、何處ニ本建築ニ取掛テ居ルカ、而シテ此問題ハ國家問題トシテモ大切デアリ帝都ノ問題デアルガ、直接ニハ四十一萬戸ノ震災ノ利害關

係人ガ居リ、一万五千人ノ地主、十二萬人ノ借地人ニ關係スル問題デアリ、政府ハドウ云フ方針ヲ以テ之ヲ御進行ニナルト云フ御考デアルカ、本員等ノ見ル所ニ依ルト、最初カラ豫算ガ三分ノ一シカナカッタノデアリ、三分ノ一シカナイノニ、仕事ヲ無暗ニヤリ掛ケテヤレナイ、經費ハ十分ノ八使テシマッテ、一割モマダ仕事ガ出來ナイ、動モスレバ駿河臺ガ出來タト云フガ、駿河臺ノ住民ト云フ者ハマダ一錢一厘モ清算金ヲ貰テ居ラヌ、何タル憫レナ狀態デアリマセウカ、而シテ今後如何ニ政府ハヤル考デアルカ、昨年來政府ハ共同建築法ヲ實行スルト云フ、共同建築法ヲ實行シナケレバ美觀改善ヲスルコトハ出來ヌト云フコトヲ言ハレテ法案ハ出來テ居ル、此共同建築法ヲ實行シナケレバ十分ノ五、半分ノ區劃整理ハ出來ナイ、然ルニ其法案ト云フモノハ此議會ニマダ提出ガナイ、然ルニ此進行ガ出來ルカ出來ヌカト云フコトハ、百万人以上ノ罹災民ト云フ者ハ日夜忘レルコトガ出來ナイ、戰々兢々トシテ何時自分ノ所ニ移轉命令ガ來ルカト言フテ心配シテ居ル、何故政府ハ年來月ト順序ヲ立テ、速ニ政府ノ確實ナル計畫ヲ發表シナイノデアルカ（ヒヤヒヤ）動モスレバ何カ民間ノ者ニ急リガアルヤウニ考ヘテ居ルガ、先ヅ區劃整理ヲスルト云フコトデアレバ、九ノ内第三區、内務省、大藏省、會計検査院ト云フモノガ率先シテ區劃整理ニ應ジナケレバナラヌデハナシカ、政府自ラ市民ニ向テ範圍ヲ示サナケレバナラヌデハナシカ、然ルニ會計検査院ト云ヒ内務省ト云ヒ大藏省ト云ヒ、吾等ノ個人ノ營業ヤ居住シテ居ル者トハ邊々多少ノ裕リガアッテ——餘裕ガアルニモ拘フズ、今日マデ何何等區劃整理ニ著手シテ居ラナイ、政府自ラ範圍ヲ示サズシテ、ドウシテ市民ニ向テ之ヲ促スコトガ出來ルノデアリマス（ヒヤ）又近頃は等ノ役所ヲ集合シテ、サウシテ櫻田門外ニ國有財産ノ中カラシテ一億圓許リノ金ガ餘リタカラ、建築ヲ爲サルト云フコト、是ハ洵ニ立場ノ

上カラ云ヘバ結構デアリマセウケレドモ、私等國民ト致シマシテハ、國有財産ニ關スル法律ハ何ノ爲ニ出來タカ、國有財産調査委員ハ何ノ爲ニ選定ニナッタカト云ヘバ、是ハ亡クナラレル所ノ澤來太郎君ノ建議ニ基クモノデアリマス、澤來太郎君ハ不要ノ國有財産ヲ整理シテ民力ノ涵養ヲ圖リタイト云フ考カラ、國有財産委員設置ノ考ヲ持タノデアリマス、故ニ此一億圓カラノ金ガ出來タ、國有財産調査委員ノ努力ニ依テ一億カラノ金ガ出來タト云フコトデアレバ、先ヅ以テ役所ノ方ハ、敢テ仁德天皇ノ故事ヲ言フデアリマセヌガ第二ニシテ、先ヅ第一ニ廢藏稅ノ方面、民力休養ノ方面ニ此不要ノ財産ヲ使用シナケレバナラヌデハナシカ、全部デナクテモ半額ハ廢藏稅ニ向ケ、半額ヲバ國力ノ發展ノ事ニ注ガナケレバナラヌ順序デアリノニ——罹災民ハ今ヤ區劃整理ニ日夜心配シテ居ルノニ、役所ダケハ先キニ建ツ、役所ハ十年計畫——前ノ豫算ノ審議ノ際ニ二十年計畫デアリマシタ、役所ガ先ヅ先キニ建ツ、東京ノ震災地ハ後ニナルト云フコトハ、緩急其順序ヲ誤ラタ次第デハナシカ、此點ニ付テモ私ハ政府ノ御考ヲ伺ヒタイ、況ヤ政府ノ豫算ト云フモノハ營業休止ト云フモノヲマルデ見込マズ、借地人、借家人ノ關係ヲ見積ラナカッタ、豫算ガ根本カラ足ラヌト云フコトハ明白デアリ、然ルニ政府ハ此計畫ヲ縮小シテ眞面目ナル案ニ縮小スル、其縮小スルト云フコトハ本員等一己ノ考デアリ、政友會ノ總裁ノ高橋ザン、憲政會ノ總裁ノ加藤ザン、ソレカラ當時ノ復興審議會ノ特別委員長デアリ伊東巳代治ザン、大石正巳ザン、是等ノ方々ガ協議シテ、サウシテ復興ノ龐大ナル後藤ザンノ計畫ヲ止メテ、眞面目ニ出來ル百万坪内外位デアルト云フ計畫ガ立テ居ラ、ソレヲ此稻葉健之助トカ何トカ云フ今監獄ニ這入テ居ル連中ガ、千四百八万坪ノ全體ニ向テ區劃整理ヲヤラウナド、云フ、日本ニモ外國ニモ無イ馬鹿氣タ事ヲヤリ出シタ、ソレ故ニ其後——院議ハドウスルカト云フト、御承知ノ通り十二間

以上ハ國家ガヤル、道路ノ十二間以下ノモノハ自治團體ノ自由ニ任スト云フコトニナッテ居ル、其院議ト云フモノハ復興局ノ僚僚ガ勝手ニ變更シテ、何等議會ニ諮ラナイデヤッテ居ルモノデアルカラ、非常ナル計畫ノ上ニ於テ齟齬ヲ來シテ居ルノデアリマスガ、是等ノ點ニ於テ政府ハ——決シテ御多忙ノ場合、今直グ、御即答ヲ望ムト云フ譯デアリナイガ大問題デス、百万人以上ノ利害ニ關スル問題デアリマスカラ、能ク一ツ總理大臣ト復興局長官ハ御協議ニナッテ、サウシテ部下ノ中ニ色ニト徵詢ガ居ルノデアリマス、吾々ノ認ムル所ニ依ルト、マダ大分居ルヤウデアリマス、故ニ斷乎決心ヲ以テ、情實ヲ挾マナイデ刷新ナサル御考ガアルカドウデアルカ、餘リ愚圖々々シテ居ルト、復興局ノ信用ト云フモノハ全ク地ヲ拂テシマフノデアリマスカラ、此點ニ於ケル所ノ御決心ヲ伺ヒタイノデアリマス（拍手）

〔政府委員清野長太郎君登壇〕

○政府委員（清野長太郎君） 高木君ノ御質問ニ對シテ、私ヨリ答辯ノ出來マスル事ノミヲ御答辯ヲ申上ゲマスモ、過日來高木君ヨリ極ク御熱心ナリ御注意モ承リ、屢、割切ナル御意見ヲ承テ居リマスノデ、深ク傾聴ヲ致シテ居リマス、只今ノ御尋ノ問題ハ一昨日以來高木君ヨリ、又作問君其他ノ諸君ヨリ御質問ノアリマシタ事柄デ、大部分ハ其時ニ私ヨリ御答ノ出來マスル限リ申上ゲデアリマスノデ、只今此席デ一々ソレヲ申上ゲマスルコトハ、此際御許シテ願ヒタイト存ジマス、但シ第一ハ收購ノ額ト云フモノガ、ドウ云フコトニナッテ居ルカト云フヤウナコトヲ先般モ御尋ガアリマシタガ、是ハ固ヨリ申スマデモナク内務大臣ニ於ケレテ、此刑事被告人ノ出マシタコトハ深ク遺憾ニ存ジラレテ居リマスルガ、只今豫審中ノ事柄デ、此席デ高木君ノ御述ニナリマシタヤウナ金額デアルカ否ヤト云フコトハ、私自身モ絕對ニ承知ヲ致シマセヌノデ、其點ニ付テノ御答ハ致シ難キマス、是ハモウ申スマデモナイコト、存ジマス、殊

ニ又復興局六千方圓ノ土地ヲ買ヒマシタ
ノハ、是ハ過去ニ於テ前長官ノ時代ノ事實
デアリマス、此土地全體ニ付テ不正ノ事
實ガアルヤウナ御話デアリマス、クレドモ、
是ハ餘程事實ニ付テ酷デモアリ、又事實相
違ト存ジマス、既ニ只今御引用ニナリマシ
タ大正十二年度、十三年度ノ會計検査院ノ
検査報告ヲセラレテ居ル中ニ、幾テ居リマ
ス事件ハ數件デアリマス、依査院ハ検査官
ガ實地ニ就キ詳細ナル調査ヲセラレマシタ
結果ガ、當院ニ提出セラレテ、先刻委員長
ヨリ御報告ニナリマシタヤウナ次第デアリ
マスノデ、高木君ノ六千方圓ノ此買收ノ金
額全體ニ付テ、其検査院ノ報告以外ニ不正ナ
事實ガアルト云フヤウナ御話ハ、是ハ事實
ガ違テ居リハシナイカト存ジマス、尙ホ
此際私一言ダケ申上ダテ置キタイノハ、一
昨日不幸ニ致シテ死去致シマシタ、私共僅
カノ間デハゴザイマス、クレドモ、復興局時
代ヨリ日夜心勞ヲ致シ努力ヲ致シマシタル
太田團三君ニ對シテ、恰モ刑事被告人ニナ
テ居リマスル者ト同様ニ御名前ヲ列セラレ
ルト云フ事柄ハ、洵ニ高木君ハ紳士トシテ
ノ御言葉トシテハ、甚ダ私ハ遺憾ニ存ジマ
スルト云フコトヲ申上ダテ置キマス、尙ホ
直木前長官ノ事ニ付テ、斯ノ如キ不都合ナ
ル前長官ノ何故ニ顧問ニシテ居ルカト云フ
御話デアリマス、是ハ技術上ノ顧問デア
リマシテ、行政上ハ及バズナガラ昨年九月
以來私一人デ擔任ヲ致シテ居ル次第デア
マス、ソレカラ復興局ノ費用ハ十分ノ八既
ニ使テシマツテ、仕事ハ百分ノ何ガシト云
フコトヲ仰セラレマシタガ、是ハ昨日モ申
上ダマシタ通り、十分ノ八ト云フ數字ハ全
然違テ居リマス、三割使テ居リマスノデ、
即チ十三億四千幾ラト云フ金額ニ對シマシ
テ、約一億使テ居リマスノデ、十分ノ八ト
只今私ハ伺ヒマシタ、是ハ事實ガ違テ、
居ルコトヲ申上ダテ置キマス、ソレカラ共
同建築ノ事ニ付テ、何故ニ共同建築ノ法律
案ヲ提出ヲセヌカト云フ、是ハ實ニ御尤ナ
ル御導ト存ジマス、此事ニ付キマシテハ就
任以來此法案起草ニハ、内務省其他ノ研究

ヲ遂ゲテ居リマス、常ニ高木君ナドノ御
心配ニナリマス、簡單ニ共同建築ト云
ヒマスレバ、如何ニモ誰シモ皆恩惠ニ浴ス
ルヤウデアリマス、共同建築法ヲ法律ト
シテ拵ヘマスル以上ハ、所有權ト借地人ト
ノ關係ヲ如何ニスルカト云フ事ガ先ヅ第
一、第二ニハ共同建築ヲ或點マデ強制ヲ
以テ實行スルコト云フコトニナリマスレバ、
常ニ高木君ノ御心配ニナリマス、此借家人
ヲ、一口ニ言ヘバ追拂フト云フコトヲ致サ
ンケレバナラヌノデアリマス、是ハ今日ノ
區劃整理モ、御承知ノ通り私共モ甚ダ進行
ガ思フヤウニ參ラヌノデ、恐縮ヲ致シテ居
リマス、又今日ノ一般ノ事情カラ一時
ニ數萬人、或ハ數十萬人ト申シテモ過言デ
ナイカト思フ、其借家人ト云フモノ何箇月前
豫告ヲ以テ解約スルコト云フコトニナリマ
スルコトハ、高木君ノ常ニ御心配ニナル點
ニ付テ、政府ノ方デハ種々調査ヲ致シ議論
ガアリマス、此際回ノ議會ニハ或
ハ——只今其法案ノ草案ガ出來テ審議中デ
アリマス、唯、此議會ニ提出ヲ致スコ
トガ出來マセンナラハ、甚ダ私自分ノ微
力ヲ深ク御斷リヲ申上ダタルハナイノデア
リマス

○高木益太郎君 此席カラ一言ダケ尙ホ再
質問ヲ御許シラ願ヒマス、只今復興局長官
ハ、共同建築法案ハ昨年來審議ヲシテ居ル
ガマダ出來上ラナイ、其結果ハ數十萬ノ借
家人ニモ影響スル、此次ノ議會ニハ出ス、
斯ウ云フ仰セデアリマス、果シテ然ラバ其
部分ニ涉ルモノハ、移轉命令ヲ御發シニナ
ラヌカドウデアルカ、其部分ニモ移轉命令
ヲ發シテ仕事ヲシテ、ソレカラ共同建築法
デ又壞スト云フコトハ甚ダ迷惑デアリマ
ス、此共同建築法ヲ實行スルカ實行セヌカ
ハ十分ノ五ニ涉ル、殆ド區劃整理ノ事業ノ
半分ニ涉ルノデアル、其部分ニ付テハドウ
スルノデアルカ、何時マデモ考ヘテ居ル、
考ヘテ居ルト云フテ、大正十二年、十三年、
十四年、十五年、——四年目デヤアリマセ
ヌカ、サウ考ヘテバカリ長ク居ラレタ日ニ
ハ耐シタモノハナイノデアリマス、是ハ此

次ノ議會ニ出スト仰セニナル以上ハ、ソレ
迄ハ其者ニ對スル移轉命令ハ御出シナラ
ヌノデアルカ、移轉命令デ追拂テ、ソレカ
ラ又オヤリニナラウト云フ考デアルカラ、
ソコヲ一ツ伺テ置キタイ、ソレカラ太田某
氏ノ事ニ付テハ本員モ實ニ氣ノ毒ニ思フ、
一度都市計畫ノ問題ニ付テ審議中ニ、斯ル
不幸ガアルト云フコトハ氣ノ毒ニ思フ、併
ナガラ自分ハ又公益ヲ代表スル一員トシテ
ハ、國家ニ不當ノ損害ヲ被ラタト云フ事實
ガアル以上ハ、行政監督ノ職責上之ヲ默
テ置ク譯ニイカヌノデアリマス、人情ト公
ノ職務トハ區別シテ見ナケレバナラヌノデ
アリマス、此點ニ付テハ政府ハ豫審ヤ裁判
ノ落着ヲ待タ日ニハ大變デアリマス、豫審
判事檢事ノ見ル所ト復興局長官ノ見ル所
トハ、國庫ノ損害ハドノ位デアルカト云フコ
トハ行政監督ノ上ニ必要ナ事デアリマス、裁判
事件ノ落着スル迄ハ分ラヌト云フヤウナ事
ノアルベキモノハ、免官スベキモノハ免官ス
ハ懲戒處分ス、免官スベキモノハ免官ス
ルト云フ途ニ出デナケレバナラヌ、本來此
質問ト云フモノハ總理大臣、内務大臣ニシ
タイ、私ハ此前ノ豫算ノ會議ニ於テ前ノ直
木長官ニ隱退ヲ迫ラ、然ルニ現内閣ハ綱紀
肅正ノ内閣デアルカラ吾々ノ説ヲ容レ
テ——是ハ賴母木君ナドガ非常ニ盡力セラ
レタサウデアリマス、是ハ東京市民トシテ
厚ク感謝スル次第デアリマス、即チ現長
官ガ來ラレタノデアルカラ、現長官ハ人格
ト云ヒ、年輩ト云ヒ申分ノナイ長官デアリ
マスカラ（笑聲起ル）ドウゾ一ツ斷乎タル處
分ヲシテ貰ヒタイ、國民ニ疑ハカシメル
ト云フヤウナ、斯ナ事ハナイノデアリマ
スカラ、ソレハ長官一人デアルト云フテハ
造リ惡イカモ知レヌガ、衆議院要求デノアル
（ヒヤ——）斯ウ云フ名ノ下ニ私ハ斷乎タル
刷新アラント云フ願スル次第デアリマス
（拍手）

○政府委員（清野長太郎君） 唯、一點ダケ
御答ヲ申上ダテ置キマス、此共同建築ヲ
建テマスルノハ申スマデモナク所謂耐火家

屋ヲ要シマスル所ノ其一部分デ、先刻高木
君ノ仰セノ通り區劃整理ハ千方坪デ、防火
地區ニナテ居ル所ハ百五十方坪内外デア
リマス、故、半分マデニハ達シテ居リマセヌ
ソレカラ共同建築ノ法律案ヲ提出スル前
ニ、移轉命令ヲ出スカ出サヌカト云フコト
デアリマス、移轉命令ハ所謂移轉命令デ
其處ニ居リマスル家、其家ヲ動かシテモ換
地ヲ造リマスノデ、先刻私ノ申上ダマシタノ
ハ、共同建築ヲ實行シマスルト、借家人ノ
詰リ土地ノ收用ノ場合ト同ジク、移轉先ヲ
決メズニ、サウシテ所謂解約スルコト云フ
違ヒガ起リマス、ゴザイマス

○副議長（小泉又次郎君） 質疑ハ終了致シ
マシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、大正十二
年度決算及大正十二年度國有財産増減總計
算、大正十三年度決算及大正十三年度國有
財産増減總計算ハ、何レモ委員長報告通り
是認スルニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
（贊成者起立）

○副議長（小泉又次郎君） 起立多數デアリ
マス、仍テ大正十二年度及大正十三年度決
算、大正十二年度及大正十三年度國有財産
増減總計算ハ、何レモ委員長報告通り是認
スルニ決シマシタ（拍手）

○井本常作君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ
提出致シマス、即チ政府提出海軍軍備制限
ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關
スル法律案ヲ特ニ上程シ、委員長ノ報告ヲ
求メ、其審議ヲ進メラシムコトヲ求メマス
（異議ナシト呼フ者アリ）

○副議長（小泉又次郎君） 井本君ノ動議ニ
御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決
シマス、海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施
ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ第一讀
會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマ
ス——委員長川原茂輔君

海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ
損害ノ補償ニ關スル法律案（政府提出）
第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書
一海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴

ヲ損害ノ補償ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノ
ト議決致候此段及報告候也
大正十五年三月二十四日

海軍軍備制限ニ關スル
條約ノ實施ニ伴フ損害
ノ補償ニ關スル法律案
委員長 川原 茂輔
衆議院議長 粕谷義三郎

〔別紙〕
海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害
ノ補償ニ關スル法律案中左ノ通修正ス
第二條中「二千二百萬圓」ヲ「二千萬圓」ニ
改ム

附帶條件
各會社補償金額ハ本法ノ主旨ニ依リ其ノ
特設施設ノ損害高ヲ基準トシ補償審査會
ニ於テ決定スヘキモノトス

〔川原茂輔君登壇〕
○川原茂輔君 本問題ノ委員會ノ結果ヲ御
報告致シマス、本問題ニ對シマシテハ、數
回ニ涉リテ委員會ヲ開キマシテ、政府ノ計
算ノ基礎タル參考書類ヲ徵スルコトモ亦屢、
ニ互リマシテ種々ニ論議ヲ重ネ、委員會
ニ於テ決定致シマシタコトハ第二條

〔小泉副議長議長席ヲ退キ粕谷議長復
席〕

「前條ニ規定スル補償金ノ總額ハ二千二百
萬圓以內トス」斯ウアリマスノヲ「二千萬圓
以內トス」ト修正ヲシタノデアリマス、ソレ
ト同時ニ附帶條件トシマシテ「各會社補償
金額ハ本法ノ主旨ニ依リ其ノ特設施設ノ損
害高ヲ基準トシ補償審査會ニ於テ決定スヘ
キモノトス」此附帶條件ヲ附ケタノデアリ
マス、而シテ第三條ノ「補償金ハ主務大臣
補償審査會ノ審査ヲ經テ之ヲ決定シ」云々ト
云フ此補償審査會ノ中ニハ、當該官更ハ勿
論ノコト、貴衆兩院ノ中ヨリ此問題ニ精通
セシ者ヲ委員ニ加ヘルト云フコトノ言明
モ、當局者ヨリアツタノデアリマス、是ハ本
案提出ノ時、當該大臣ヨリ説明ノアリマシ
タ通り、八々艦隊ノ編制ニ對シ、ソレヲ
各會社ニ勸告ヲ致シマシタ、其後華盛頓會

議ニ於テ軍備縮小トナツテ、其結果此事業
ノ施設ノ中止ヲシタ損害ヲ補償スルト云フ
意味デアリマス、決定スルニ付テ、計算ノ
基礎ニ付テ色々議論モアリマシタガ、此附
帶條件ニアリマス通り、特設施設ヲ基準ト
シテ計算ヲ致シ、審査會ニ於テ適當ニ按排
スルコト、云フ意味ニ外ナラヌノデアリマ
ス、各委員會ハ滿場一致ヲ以テ此決定ヲ致
シ、政府モ亦此委員會ノ決定ニ同意ヲ表セ
リトノ意思ノ表示ヲセラレタノデアリマ
ス、御説明ヲ申上グレバ甚ダ長クナリマス
ケレドモ、即チ會期切迫ノ時デアリマスレ
バ、本會モ滿場一致ヲ以テ本案ノ御協賛ヲ
與ヘラレンコトヲ希望シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 質疑ノ通告ガアリマ
ス、之ヲ許シマス——千葉三郎君

○千葉三郎君 極ク簡單ニ海軍大臣ニ御説
明ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今委員長ノ御
報告ニ基キマスル賠償金ハ、解職サレマシ
タル所ノ職工ニ遺ルノデアリマスルカ、
或ハ其造船會社ニ遺ルノデアリマスルカ、
ソレヲ明ニシテ載キタイト思ヒマス、第二
ニ御伺シタイコトハ、先年三井物産ガ亞米
利加政府ト飛行機ノ製造ニ付テ契約シタル
デアリマスルガ、其立派ナ契約面ガアルニ
モ拘ラズ、戰爭終了後之ヲ實行シナカッタ
ノデアリマスルガ、諸外國ニ於キマシテ斯
ノ如キ例ガアルカドウカ、即チ此賠償ノ法
案ニ現ハレタルヤウナ例ガアルカドウカ、
此二點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣(財部)登壇〕

○國務大臣(財部)登壇 御答申上デマス、
第一ノ御問ハ職工ニ對シテ與ヘルノデバゴ
ザイマセ、造船會社又ハ其他ノ製造會社
ニ補償ヲ與ヘルノデバゴザイマス、第二ノ御
問ニ對シマシテハ、此所謂華盛頓會議ノ結果
ト致シマシテ、契約ヲ破棄シテ、サウシテ
中止ニナリマシタモノニ對シマシテハ、色々
ナ形式ニ依リテ、外國ニ於テモ清算或ハ賠
償ノ如キ意味ニ於テ取扱ハレタ前例ガゴザ
イマス、併ナガラ我國ハ英米ノ如キ諸先進
國トハ事情ガ大ニ異リテ居リマスル爲ニ、

此度ノ此法案ニ依リテ補償ヲ致サントスル
所ノ、其内容トハ大部分種類ヲ異ニ致シテ
居ルノガ多ウゴザイマス、此段御答致シマ
ス

○千葉三郎君 簡單デアリマスカラ此席ヨ
リ——只今海軍大臣ノ御説明ニ依リマス
ト、賠償サレタル金額ハ、勿論會社ニ遺ル
ト説明サレタルデアリマスルガ、會社ヲ通
ジテ職工ニ交付スルノデアリマスカドウ
カ、其點ヲ明ニ承ハリタイノデアリマス、
即チ會社ガ此金ヲ取テシマフノデアリカ、
或ハ職工ニソレヲ交付スルノデアリカドウ
カト云フ點ヲ、明ニ承ハリタイノデアリマ
ス

○議長(粕谷義三君) 財部海軍大臣

〔國務大臣(財部)登壇〕

○國務大臣(財部)登壇 御答致シマス、解
職致シマシタ職工ヘハ、會社カラ既ニ相當
ノ手當金ガ與ヘタルコト、信ジマス、故
ニ多分會社ニ與ヘマシタ所ノ補償金ハ、更
ニ職工ニ與フルコトハナイダラウト考ヘマ
スガ、ソレハ會社ノ意思ニ在ルコトデアリ
マスカラ、今私カラ確實ニ申上ゲルコトハ
出來マセヌ

○議長(粕谷義三君) 千葉三郎君

○千葉三郎君 尙ホ今一應御伺致シマス、
若モ會社ガ職工ニ遺ラナイト致シマシタナ
ラバ、海軍大臣ハ更ニ會社ニ勸告シテ、職
工ニ手當ヲ遺ルヤウニスル御意思ガアルカ
ドウカ、此點ヲ御伺ヒシテ置キタイ
○議長(粕谷義三君) 別ニ答辯ハアリマセ
ヌヤウデス——是ヨリ對論ニ入リマス、通
告順ニ依リテ發言ヲ許シマス——猪野毛利
榮君

〔猪野毛利榮君登壇〕

○猪野毛利榮君 只今委員長ノ報告ナサレ
マシタル海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施
ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ノ一件デ
アル、此問題ハ議會デハ實ニ簡單ニ取扱ハ
レマシタケレドモ、社會デハ中々簡單ニ見
テ居ナイノデアアル、私共モ今少シ深刻ナ
ル討論、質問ノ如キモノガ、先日ノ本案ヲ
海軍大臣ガ出サレタ時、及ビ委員會ニ於テ

モアルモノト云フコトヲ期待致シテ居タ
ノデアリマスガ、吾々ノ期待ニ反シテ實ニ
只今委員長ノ報告ニナツタ如ク、僅カナル
修正ヲ以テ之ヲ通過セシメントスルコトヲ
深く遺憾ニ感ジテ居ルノデアアル、第一政府
ガ荷モ國民カラ預テ居ル金ヲ支出スルニ
付テハ、餘程法理上ニ於テ的確ナル根據ガ
ナクテハナラヌノデアアル、先日來ノ海軍大
臣ガ爲サレタル説明ヲ見テ御覽ナサイ、何
處ニ法理上ノ根據ガアルカ、憲法政治ニ於
テ政府ガ金ヲ支出スルコト云フコトニ付テハ、
憲法上、法理上、シカリシタ所ノ根據ガ
ナクテハナラヌノデアアル、情實上トカ德義
上トカ體面上ト云フヤウナコトハ從タル問
題デアアル、主タル點ニ於テ法理上ノ強キ根
據ガナクテハナラヌノデアアル、此根據ガナ
イコトヲ先日海軍大臣自身ガ説明ノトキニ
告白シテ居ルノデアアル、私ハ斯ウ云フ法理
ヲ無視シタル大臣ノ説明ヲ聽イタコトハ今
迄ニナイ、參考ノ爲ニモ一度諸君ニ聞イテ貰
ヒタイ、即チ斯ウ云フコトヲ言フテ居ル「政
府ハ當時ノ海軍當局者ガ其會社ニ對シテ致
シマシタル勸告ニ應答ガ、豫約ト云フ如キ私
法上ノ關係ヲ生ゼシメタルモノトハ認メ
セヌ、隨テ此損害ノ對シマシテ政府ニ當然
賠償ノ義務ガアルモノトハ考ヘマセヌ」ト
斯ウ云フコトヲハキリ言フテ居ルノデアアル

「隨テ此損害ノ對シマシテハ政府ニ當然ノ
賠償ノ義務ガアルモノトハ考ヘマセヌ」ト
ハキリ言フテアリマスデセウ、「サリナガ
ラ政府ノ勸告ニ基キマシテ或ハ設備ヲ擴張
致シ、或ハ會社ヲ新設致シ、而モ是ガ國際
條約ノ實施ノ爲ニ莫大ノ損害ヲ被ツタモノ
ニ對シマシテ、何等補償ノ途ヲ講ジナイト
云フコトハ德義上甚ダ失當ノ議ヲ免レナイ
モノト考ヘルノデアリマス、之ニ加フルニ
是等ノ損害ニ對シマシテ相當ノ補償ヲ與ヘ
マスコトハ、帝國政府ノ信用ヲ保持スル上
ニ於キマシテ、已ムヲ得ザル處置ナリト
信ズル次第デゴザイマス」ト斯ウ云フ御話
デアアル、斯ノ如キ薄弱ナル根據ノ爲ニ、少
タトモ二千二百萬圓ト云フ金額ヲ法律ヲ以
テ今日突如——今日マデ二週間、漸ク是ダ

コトニナラバ、ト云フコトデアル、尙又調査委員ノ中へ政黨ヲ加ヘルトカ、民間カラドウノ斯ウノ上云フコトヲ今言ハレマシタガ、斯ウスルト益、此點ニ於テ國民ハ疑惑ヲ懷クト思フノデアリマス、私共ハ是等ノ三菱造船所、川崎、其他合セテ十三ノ會社ノ中ニ於テハ、例ヘバ室蘭製鋼所ノ如ク眞面目ニ損害ヲ被ッタモノアルコトハ認メテ居ルケレドモ、此一二ノ會社ヲ除イタ後ノモノハ全ク何ガ何ダ分ラヌノデアル、ソレニ對スル所ノ金額ガ二千万圓ト云フヤウナコトハ、實ニ私ハ多額デアルト思ハレマス、政府ガ二箇年間調べテ尙且ツ何千何百万ト云フハッキリシタ所ノ金額サヘ出シ得ナイノデアル、其調査ガ杜撰デ——金額ノ調査ガ出来タナラバ、ハッキリ何千何百万圓ト此會社ニハ何万圓、此會社ニハ何千万圓ト云フシカリシタ計數ヲ出サナケレバナラヌト思フ、ソレヲ二千二百萬圓以内ト云フスウ云フ杜撰ナモノヲ出シテ居ルノデアル、曖昧模糊タルモノノデアル、又委員長ノ報告サレマシタル二千万圓以内ト云フヤウナコトモ、實ニ私ハ其間不明瞭ナ點ガ多イト考ヘルノデアリマス、希クバ是ダケノ金額ノ問題デアリマスルシ、是ダケノ疑惑ヲ開イテ居ル所ノ問題デアリマス故ニ、今日突如トシテ明日議會ガ終ラウトスル矢先ニ、大急ギデ斯ウ云フ時ニ出ス必要ハナイ、來年デモ構ハヌト思フ、私ハ國民ノ疑惑ヲ解イテ、此間何等ノ弊害ヲ見出スヤウナ事ハ無イト云フコトヲ國民ニ知ラセテ、然ル後來年ニ之ヲ出シテヤツテモ宜シイ、其利子位ハ來年ニ増シテヤツテモ、私共ハ此疑惑サヘ取レ、バ構ハヌ、又出シテヤルベキ性質ノモノデアルナラバ、何モ二千二百萬圓ヲ二千万圓ニ減額スル必要ハナイ、出スベキ性質ノモノナラバ、二千万圓デモ五千万圓デモ、一億萬圓デモ吾々ハ悉ム次第ダハナイノデアル、出スベキ性質ガ違フト思フカラ、吾々ガ此疑問ヲ以テ諸君ノ言フコトニ反對ヲ致スノデアル、今日軍閥ハ非常ナ疑惑ヲ受ケテ居ル時デアリマスカラ、切ニ私ハ高橋

ナル評判ノ海軍大臣ノ再考ヲ煩シタイト思フ、又各派ノ諸君ニ於カセラレモ、此問題ト政黨トハ怪シイデハナイカト云フコトヲ諸方デ言フテ居ルカラ、此點ニ付テモ諸君ハ大ニ考ヘテ戴キタイ、先達テ政府ガ西原借款一億圓ノ金ヲ三銀行ノ爲ニ跡始末ヲシタト云フコトハ、今日餘程世間デハ疑問ヲ懷イテ居ルノデアル、其疑問ニモウツ今度ハ此疑問ヲ増サセルノデアリマス、私共ハ政府ガ——濱口君ガ募債主義ヲ排スルト云フコトヲ議會ニ於テ明言シナガラ、時々斯ウ云フ世間ノ疑惑ノ掛カル如キ問題ニ付テ、政府ノ主義デアル公債ヲ募集セヌ、此主義ヲ擲テ、斯ノ如キ募債主義ニ出タト云フコトヲ深ク遺憾ニ感ジテ居ル次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 内田信也君

○内田信也君 只今猪野毛君ハ、只今上程サレテ居リマス所ノ海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ニ對シテ、御反對ノ意見デゴザイマシタ、而シテ其反對ノ意見ノ骨子ハ、先ヅ政治ハ主トシテ法理ニ依ルモノデアルト云フ御話デアリマス、固ヨリ立憲國ニ於キマシテハ、法理ヲ以テ主トスルコトハ明カデアリマス、併ナガチ道德亦決シテ輕視スルコトガ出來ナイノデアリマス、而シテ當時ノ實際ニ鑑ミマシテ、我國ハ八八艦隊ノ充實ヲ圖リマシテ、主ナル造船會社、其他ヲ大正九年九月決定豫算ノ確定ト共ニ、大臣官邸ニ召集サレテ、是レ々々ノ計畫カラシテ、造船會社若クハ室蘭製鋼所等ハ是レ々々ノ注文ヲ何年間ニ引受ケル豫定ヲ以テ、是レ々々ノ施設ヲシロト云フコトヲ政府當局ガ營業者ニ勸告サレタ以上ハ、其勸告ニ基イテ爲シタル施設ガ、注文取消ニ依テ被テ損害ニ對シマシテハ、國家ハ涙金ヲ拂フ位ノコトハ、私ハ當然過ギル程ノ當然ト信ズルノデアリマス、固ヨリ損害額ノ大部分ヲ此疲弊セル財政ノ下ニ負擔スルコトノ出來ナイノハ、又自明ノ理デアリマス、故ニ相當ノ涙金ヲ拂フト云フコトハ、是ハ道德上又今

後各實業家ト協力シテ政治ヲ行フ點ニ於テ、信用ヲ増ス點ニ於テ、又國家ノ威信ノ上カラシテ必要ト信ズルノデアリマス、猪野毛君ハ實業家ハ往々ニシテ政府ト結託スルト言ハレマシタ、固ヨリ政府ト結託スルトハ斷乎トシテ之ヲ排斥シナクハナラナイノデアリマス、併ナガラ國家ノコトハ官民協力シテ初メテ遂行スルト云フコトヲ御諒承相成リタイノデアリマス(拍手)殊ニ海軍ノ如キニ至リマシテハ、固ヨリ其主ナル力ハ造船能力デアリマス、即チ單ニ軍艦ヲ海上ニ浮ベテ居ル所ノ數ノミニ依テテ海軍力、即チ戰闘力ヲ計算スルコトハ出來ナイ、造船能力ヲ充實スルコトニ依テ國家ノ國防ハソレダケ充實サレル、故ニ茲ニ幾分カノ涙金ヲ支拂ヒマシデモ、其勸告ニ依テ、我國ニ造船能力ガ充實シタナラバ、ソレダケ國防ハ充實ヲ致シタノデアリマスカラシテ、此幾分ノ涙金ト云フモノハ決シテ無駄ニ捨テタル涙金ニ非ズシテ、國防ノ一部ヲ充實スルモノト私ハ言ウテ可ナリト思フノデアリマス(拍手)又斯ノ如キ趣意ニ依リマシテ、私ハ此賠償案ト云フモノハ相當理由ガアルモノトシテ、其趣旨ニ於テ賛成スルノデアリマス、唯、政府ハ其計算ニ於キマシテ、委員會ニ於ケル説明ニ依リマスルト、室蘭製鋼所等一部ノ會社、否、十三會社ノ中デ三ツノ會社ハ政府ノ勸告ニ基イテ爲シタル施設ガ被テタル損害高ヲ基礎トシテ、千一百萬圓ト算定致シテアリマス、他ノ十會社、主トシテ造船會社ニ於キマシテハ、其施設ノ被テタル損害ニ基礎ヲ置キマセヌデ、契約高ノ二分五厘ト云フモノヲ補償額ト致シタノデアリマス、之ニ就キマシテハ私ハ同意致シ兼ネルノデアリマス、即チ賠償案ノ趣旨ハ政府ガ勸告シテ、其勸告ニ基イテ諸會社ガ特ニ施設ヲシタ、然ルニ軍備縮小條約ニ依テ注文ヲ取消サレタカラ、此設備ガ無駄ニナッタ、故ニ此設備ノ無駄ニナッタ其損害ノ一部ヲ涙金トシテ負擔スルコト云フコトガ趣意デアリニ拘ラズ、契約取消トシテ注文取消額ノ二分五厘ヲ一樣ニ各會社ニ與フルニ於キマシテハ、

即チ三菱造船所トガ、川崎造船所トカ云フ大會社ハ、常ニ造船ノ施設ヲシタ故ニ、特ニ政府ノ勸告ニ基イテ爲シタル施設ガ多クナイ、而シテ戰艦艦若クハ巡洋戰艦ノ金額ガ多額ニ上ル注文ヲ受ケテ之ヲ取消サレタ故ニ、其注文高ニ依リマシテ計算スルト、斯ノ如キ大會社ハ非常ニ餘計補償金ヲ貰ヘルノデアアル、而シテ設備ガチャットモ無駄ニナラナイ、其施設ト云フモノハ勸告前ニ爲シタル施設デ、即チ各造船所ガ已レノ思惑デ爲シタル施設デアリマスルカラシテ、何レハ八八艦隊案ガ議會ヲ通過スルダラウ、サウスレバ自分ノ會社ヘ注文ヲ貰ハウト言テ已ノ思惑デ施設ヲ爲シタモノガ、是ガ無駄ニナッタト云フテ、政府ハ一滴ノ之ニ涙金ヲ與ヘル必要ハナイト信ズルノデアリマス、故ニ一律ニ取消注文高ノ二分五厘ヲ支拂フト云フコトハ、全ク大會社ノ保護ニ失シテ、小會社ヲ苦メルモノト私ハ信ズルノデアリマス、故ニ私ハ此條件ト致シタル、特別施設ノ損害高ヲ基準トシテ計算スルト云フコトガ、全ク必要ト信ズルノデアリマス、ソレカラ職工數ガ是ガ十一年ノ二月ト、十一年ノ十一月ト此在籍職工ノ差額ガ、即チ軍縮ニ依テ減ラレタル所ノ職工數トシテ計算シテアッタノデアリマス、是ハ諸君御承知ノ通り造船所等ニ於キマシテハ、職工ハ多ク動キ易イ、即チ一箇年ニ一割乃至二割ト云フモノハ自然ニ減少スルモノデアアル、故ニ在籍職工數ノ差額ト云フモノ、數字ハ、即チ自然減ノ職工數ノ中ニ包含サレテ居ルノデアアル、故ニ各會社カラ提出シタル所ノ此職工ノ減少數ニ對シテ、一人百五十圓ノ解僱手當金ヲ國家ガ負擔スルト云フコトハ、會社ノ負擔スベキモノヲ國家ニ轉嫁スルモノデアッテ、私ハ不當ト信ズルノデアアル、此點ヲ考慮致シマシテ、即チ職工解僱手當金額ガ三百萬圓ト云フ數ニ上テ居リマスルカラシテ、此點等ヲ考慮シテ先ヅ大所高所ヨリ見テ、二百萬圓ヲ減ジテ二十萬圓トスルト云フコトハ是ハ當然デアリマス、殊ニ二十萬圓以內トスルトアル以上ハ、審査會ニ於テ十分審議ヲ盡シテ、

出來ルダケ之ヲ少額ニ止メルト云フ此修正ハ、最モ適宜ナル修正ト信ズルノデアリマス、終リニ政府ハ或ハ此施設ヲ標準トシテノ損害ノ計算ハ無理ダト云フ御話ガアルカモ知レマセヌガ、艦政本部ニ於キマシテハ、當時ドノ會社ハドノ位施設ガアル、仍テドノ位施設ヲシタナラバ、戰艦ナリ准戰艦ナリノ注文ヲ與ヘルコトガ出來ルト云フテ、立派ナ表ガアルサウデアリマスカラシテ、此表ニ依テ計算シテ行テ見タナラバ、各會社ガ政府ノ勸告ニ依テ特ニ爲シタル施設ノ額ト云フモノハ、自ラ明ニナルノデアリマス、故ニ私ハ政府ノ言フ如ク二分五厘ヲ全部注文取消額ニ掛ケナイト云フコトハ、決シテ行ハレ難クナイ、容易ク行ハレ得ル方法ト信ズルノデアリマス、而シテ此條件ト云フコトデアリマスルガ、從來法律案ノ條件ト申スト意味ガ徹底シナイ、若クハ運用ヲ巧妙ニシテ貰ハウトカ云フヤウナ意味ニ於テ、即チ注文ノ上ニ明カデアアルコトヲ特ニ附帶條件トスルモノデアリマスルガ、此附帶條件ハ注文ノ通りヲ施行シロ、即チ注文ノ本旨ニ則テ損害ヲ基準トシテヤラウト云フ條件ニ、委員會ニ御出席ノナイ方ハ如何ニモ餘リ蛇足デハナイカト云フ御答メモアルカモ知レマセヌガ、先刻モ申ス通り、政府當局ガ此法律案ノ面ニ現ハレタル所ノ第一條ノ趣意ヲ沒却シテ、各會社ニ一樣ニ與ヘル其代リニ、各會社ノ中デ或ハ豫定利益ノ一部ヲ貰フヤウナ會社ガ出來ルコトヲ恐レテ、即チ看板ニ偽リノナイ所ノ計算法ヲシテ貰ウト云フノガ私ノ趣意デアリマス、即チ委員會ニ於ケル政府ノ初メノ答辯ハ、看板ニ偽リノアル計算法デアッテ、裏面ハ契約ニ依テ大會社ヲ保護スルト云フ嫌ガアッタノデアリマス、即チ此法律案ハ、表ニ掲ゲタ所ノ看板ト、裏ノ實行方法トガ違テ居ル、ソコデ以テ私ハ此看板ニ偽リノナイ、即チ虚偽ノ政治ヲ廢シテ實際ノ政治ヲ行テ貰ヒタイ、甚ダ與黨諸君ニハ御耳障リニナルカモ知レマセヌガ、先般現内閣ノ提出サレテ又可決セラレタ所

出ルダケ之ヲ少額ニ止メルト云フ此修正ハ、最モ適宜ナル修正ト信ズルノデアリマス、終リニ政府ハ或ハ此施設ヲ標準トシテノ損害ノ計算ハ無理ダト云フ御話ガアルカモ知レマセヌガ、艦政本部ニ於キマシテハ、當時ドノ會社ハドノ位施設ガアル、仍テドノ位施設ヲシタナラバ、戰艦ナリ准戰艦ナリノ注文ヲ與ヘルコトガ出來ルト云フテ、立派ナ表ガアルサウデアリマスカラシテ、此表ニ依テ計算シテ行テ見タナラバ、各會社ガ政府ノ勸告ニ依テ特ニ爲シタル施設ノ額ト云フモノハ、自ラ明ニナルノデアリマス、故ニ私ハ政府ノ言フ如ク二分五厘ヲ全部注文取消額ニ掛ケナイト云フコトハ、決シテ行ハレ難クナイ、容易ク行ハレ得ル方法ト信ズルノデアリマス、而シテ此條件ト云フコトデアリマスルガ、從來法律案ノ條件ト申スト意味ガ徹底シナイ、若クハ運用ヲ巧妙ニシテ貰ハウトカ云フヤウナ意味ニ於テ、即チ注文ノ上ニ明カデアアルコトヲ特ニ附帶條件トスルモノデアリマスルガ、此附帶條件ハ注文ノ通りヲ施行シロ、即チ注文ノ本旨ニ則テ損害ヲ基準トシテヤラウト云フ條件ニ、委員會ニ御出席ノナイ方ハ如何ニモ餘リ蛇足デハナイカト云フ御答メモアルカモ知レマセヌガ、先刻モ申ス通り、政府當局ガ此法律案ノ面ニ現ハレタル所ノ第一條ノ趣意ヲ沒却シテ、各會社ニ一樣ニ與ヘル其代リニ、各會社ノ中デ或ハ豫定利益ノ一部ヲ貰フヤウナ會社ガ出來ルコトヲ恐レテ、即チ看板ニ偽リノナイ所ノ計算法ヲシテ貰ウト云フノガ私ノ趣意デアリマス、即チ委員會ニ於ケル政府ノ初メノ答辯ハ、看板ニ偽リノアル計算法デアッテ、裏面ハ契約ニ依テ大會社ヲ保護スルト云フ嫌ガアッタノデアリマス、即チ此法律案ハ、表ニ掲ゲタ所ノ看板ト、裏ノ實行方法トガ違テ居ル、ソコデ以テ私ハ此看板ニ偽リノナイ、即チ虚偽ノ政治ヲ廢シテ實際ノ政治ヲ行テ貰ヒタイ、甚ダ與黨諸君ニハ御耳障リニナルカモ知レマセヌガ、先般現内閣ノ提出サレテ又可決セラレタ所

ノ稅制案ニ付テモ、此常ニ唱フル所ノ其看板タル社會政策ハ沒却シテ、富豪ヲ擁護スルヤウナ噓ノ政治ヲ行ハシタデアル、要スルニ表看板ト實際トガ違フテ居タルデアル、仍テ私ハ此條件タル所ノ此法文ノ趣旨ニ則テ政治ヲ行ハレト云フコトハ、單ニ此法律案ニ對スル所ノ條件ノミナラズ、當ニ現内閣ニ與ヘル所ノ、公明ナル政治ヲ施セ、虛偽ノ政治ヲ廢セヨト云フ警告の意味ノ有ルコトヲ申上ゲテ、茲ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○井本常作君 本案ニ對スル討論ハ、此程度ニ於テ終局セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ討論終局ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ討論ハ終局致シマシタリ——採決致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタリ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決セラレシタリ(拍手)——次ニ日程第五、獸醫師法案ノ第一讀會、前會ノ續ヲ開キマス、高橋熊次郎君

第五 獸醫師法案(政府提出、貴族院送付)

〔高橋熊次郎君登壇〕

第一讀會(前會ノ續)

○高橋熊次郎君 本案ニ對シテ昨日質疑ノ演說中ニ、不幸ニ致シテ本議場ニ於テ議員出席ノ定足數ヲ缺キマシタガ爲ニ、延會ノ已ムヲ得ザルニ出デタルデアリマス、洵ニ私ハ之ヲ遺憾トスル者デアリマス、而シテ昨日ハ本案ニ對シテ、先ヅ審議ヲ進ムル上ニ置キマシテ、第一疑問ト致シマシタルノハ、家畜ノ意義如何、又此法案ニ包含セラレタル所ノ範圍ハ如何ナルモノデアルカト云フ質問ヲ致シタルデアリマス、而シテ私ハ更ニ進ンデ、此法案ニ於テ獸醫師ハどれ程保護サレタルデアルカト云フコトヲ伺ヒタイト思フ、タノデアリマス、而シテ獸醫師ハ頗ル社會ヨリ受クル所ハ薄イノデアル、左様デアリマスルガ故ニ、獸醫師ノ生活ノ保障ヲ將來ニ求メナケレバナラス、政府ハ之ニ對シテ如何ナル所見ヲ持タル、カト云フコトヲ詳細ニ承リタイト思フ、テ居ルノデアリマス併ナガラ私ハ議場ノ模様並ニ會期モ僅カ餘ス所ハ二日デアル、政府ノ提出案並ニ議員ノ提出諸案ガ山積ヲ致シテ居ル狀況ヲ見マシテ、又更ニ重要ナル緊急上程ノ案件モアルト云フコトヲ承テ居ルノデアリマス、左様デアリマスルカラシテ、私ハ家畜ノ意義其他ニ對スル昨日ノ此ノ壇上ニ於テ陳述致シタル疑問ノ點ヲ、政府ノ御答辯ヲ求ムルニ止メマシテ、自餘ノ數點即チ私ノ伺ハントスル其他ノ疑義ノ重要ナル二三ノ點ニ對シマシテハ、委員會ニ於テ其詳細ヲ陳述致シテ政府ノ所見ヲ求ムルコトニ致シマシテ、本會ニ於ケル陳述ハ大ニ讓歩ヲ致シマシテ、此程度ニ止メタイト思フ次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 尙ホ質疑ノ通告ガアリマス、土屋清三郎君——只今ノ土屋君ノ發言許可ハ取消シマス

〔政府委員高田松平君登壇〕

○政府委員(高田松平君) 昨日カラノ高橋君ノ御質問ニ答辯シマス、第一ハ、第十三條ノ罰金ガ醫師法其他ニ比シテ非常ニ重イデハナイカ、斯ウ云フ御疑問ト拜承致シマシタ、成程、獸醫師法ト單純ナ醫師法ト比較スレバ、重イノデゴザイマス、併シ是ハ經濟狀態ノ變化ニ依リマシテ、罰金ノ刑ヲ重クスルト云フコトモ已ムヲ得ナイト思フノデゴザイマス、醫師法ニ於テハ輕イノデゴザイマスガ、最近制定致シマシタル所ノ藥劑師法ニ於ケルマシテハ、即チ五十議會ニ於テ制定セラレタル所ノ藥劑師法ニ於ケルマシテハ、其第十八條ニ於テ、丁度此獸醫師法ニ在ル、正當ノ事由ナクシテ治療ヲ拒ムコトヲ得スト同様ノ意味ニ於テ、正當ノ事由ナクシテ調劑ヲ拒シタ場合ノ規定ガアルノデゴザイマス、此規定ハ二百圓以下ノ罰金ニナリテ居ルノデゴザイマス、即チ醫師法ト比較致シマスレバ、成程罰金ハ重イノデゴザイマスケレドモ、醫師法ノ此罰金ノ制定ハ、ズト古イコトデゴザイマスカラ、經濟狀態ノ變化ニ依テ、所謂罰金ノ效力ヲアラシムル爲ニハ相當ノ程度ニ引上ゲルコトガ必要デアル、斯ウ云フ理由デゴザイマス、即チ昨年制定シタル藥劑師法ハ二百圓以下デゴザイマスケレドモ、其半額ニ致シタ次第デゴザイマス、次ニ獸醫師ノ定義ノ問題、是ハ昨日高橋君ガ貴族院ノ議事録ヲ御引用ニナリマシタガ、此獸醫師ノ定義ヲ定ムルト云フコトハ、極メテ困難デゴザイマシテ、實ハ本案ヲ立案スル當時ニ於ケルマシテモ、又貴族院ノ委員會ニ於ケルマシテモ何トカ獸醫師ノ定義ヲ決メル方ガ宜シイデハナイカト云フ意見モアリマシタガ、ドウモ、ドウ研究致シマシテモ、定義ヲ決メルト云フコトハ容易デナイノデゴザイマシテ、隨テ諸外國ニ於ケルマシテモ、獸醫師ト云フモノニ付テノ一定ノ定義ガゴザイマセヌヤウデゴザイマス、併ナガラ何等カ定義ヲシイモノヲ決メナケレバナラス、ソコデ政府ノ意見トシテハ、獸醫師ハ家畜ノ疾病ニ關スル診察、治療ヲ施ス者ヲ謂フ、但シ疾病ノ豫防及健康モ司ル者デアル、大體斯ウ解釋致スノデゴザイマス、然ラバ家畜トハ如何、家畜トハ人ノ飼養ノ下ニ馴致シ、通常——通常デゴザイマス、通常畜殖シ得

ル鳥獸ヲ謂フ、斯ウ云フ解釋ヲ採ルテ居ルノデゴザイマス、故ニ昨日一寸御諒致シマシタ孤ノ問題デゴザイマス、狐クモウ少シ進歩シテ參テ、アレバ飼養スル程度ガ進歩シテ參ルト云フト、或ハ狐ガ家畜ニ進ム時代ガアルカモ知レマセヌ、又「ライオン」モ熊モ或ハサウナル時代ガアルカモ知レマセヌガ、當分ハ政府ノ解釋デハ、是ハ家畜ト見ナイノデゴザイマス、猛獸ノ中ニ入レテ居ルノデゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒマス、尙ホ詳細ハ高橋君ノ御意見モアリマシタ、委員會ニ於ケルマシテ申上ゲルコトニ致シタイト留ヒマス

○議長(粕谷義三君) 土屋清三郎君

〔土屋清三郎君登壇〕

○土屋清三郎君 昨ハ農林及文部當局者ニ極メテ簡單ニ質問ヲ致シマス、只今農林當局者ハ高橋君ノ獸トハ何ゾヤト云フコトノ質問ニ對シマシテ、人ノ飼養ノ下ニ馴致シ且ツ蕃殖スルモノヲ謂フト云フコトヲ申サレマシタガ、此問題ハ貴族院ニ於テモ澤山質問ガアリマシタ通り、獸醫師ニ取リマシテハ其權利義務ニ重大ナル關係ヲ持テ居ルノデアリマシテ、若シ果シテ只今農林當局者ノ御説明ノ如ク、人ノ飼養ノ下ニ馴致シ且ツ蕃殖スルモノヲ謂フト云フコトデアリマシレバ、貴族院ニ於ケル御説明ノ如ク均シク人ノ飼養ノ下ニ馴致シ且ツ蕃殖スルモノデアリマシテモ、密蜂及蠶ハ除クト云フ御答辯デアッタ、左様致シマスルト云フト、二十日鼠モ小鳥モ亦此家畜ノ中ニ入ルコトニナルノデアリマス、果シテ左様ナ事ニナリマスレバ、是等ノ小鳥ヤ鼠ノ病氣モ亦此法案ニ依テ獸醫師ヲ拘束シテ、即チ二百圓以下或ハ三百圓以下ノ罰金ニ處セラレ、若クハ期間ヲ定メテ業務ヲ停止シ、或ハ免許取消等ノ行政處分ヲ受クルノデアリマシテ、獸醫師ニ取リマシテハ洵ニ重大ナル問題デア

ルノデアリマス、立法者トシテハ斯ル漠然タル定義ヲ以テ、此法律ヲ施行サレルト云フコトハ甚ダ深切ヲ缺イテ居リハシナイカト思フノデアリマス、故ニ家畜ノ範圍ヲ此法律又ハ之ヲ施行スル所ノ命令ニ列記セラ

キマス、高橋熊次郎君

レマシテ、ソレ以外ノ動物ハ自由ニセラレ
ルト云フコトガ深切ナル所以デハナイカト
考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テハドウ
御考ニナリテ居ルノデアリマスガ、第二ハ
獸醫師ノ教育ト産業政策トノ關係デアリ
マス、御承知ノ如ク産業振興ノ基礎ガ科學
應用ニ俟ツコトハ申サマデモナイコトデアリ
マス、而シテ獸醫學ハ家畜産業ノ基礎科學デ
アリマシテ、成ルベク之ヲ廣ク應用シテ畜
產ノ發達ヲ圖ルト云フコトガ、蓋シ賢明ナ
ル爲政者ノ執ルベキ態度デアリマセウ、又
現ニ獨逸ニ於テハ蜜蜂モ亦獸醫ノ範圍ニ算
ヘ、伊太利ニ於テハ蠶モ亦獸醫ノ範圍ニ算
ヘテ居ル上云フコトデアリマス、然ルニ我國今
日ノ獸醫學ノ教育狀態ヲ見マスルト云フト、
常ニ牛馬羊豚若クハ家禽ノ範圍ニ限ラレテ
居ルヤウデアリマスガ、將來廣ク此獸醫教
育ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、産業的動物ノ
全部ニ及ボシテ、之ヲ産業發展ニ資スルノ
御考ガナイカドウカ、是ガ第二點デアリマ
ス、第三ハ學位、稱號ニ關スルコトデアリ
マス、本法案ニハ「獸醫師ハ何等ノ方法ヲ
以テスルヲ問ハス業務上學位稱號及專門科
名ヲ除クノ外其ノ技能、療法又ハ經歷ニ關
スル廣告ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フ規定ガ
アリマス、立案ノ趣旨ハ恐ラク廣告ニ因ル
所ノ業務上ノ不正ノ競争ヲ避ケルト云フコ
トデアリマセウガ、學位モ稱號モ亦經歷ノ
一ツデアリマス、恐ラク是ハ醫師法ノ規定
ヲ其儘御採用ニナツタ思フノデアリマス
ルケレドモ、今日此學位、稱號ノ廣告ニ付
テハ、醫師會ニ於テハ既ニ其弊ニ堪ヘナイ
ノデアリマス、社會モ亦同様デアル、現ニ
昨年來此議會ニハ本會議ニ於キマシテモ、
委員會ニ於キマシテモ、醫學博士ナルモノ、
取締ニ付テ屢、意見ガ出テ居ルノデアリマ
ス、然ルニ獸醫師法ヲ制定スルニ當リマシ
テ、漫然之ヲ御採用ニナツタ云フコトハ、
如何ナル次第デアリマスルカ、元來稱號ト
云フモノハ學校卒業者ノ一ツノ標デアル、
醫師若クハ獸醫タル資格或ハ業務ニハ何等
ノ關係ガ無いノデアリマス、又學位ハ大學
院卒業程度ノ者ニ與ヘラル、モノデアリマ

シテ、教授ノ指導ナクシテ謂ハム獨り歩
デ研究ノ出來ルト云フコトヲ認メラレタモ
ノニ過ギナイノデアリマス、醫師獸醫ノ資
格、醫師ノ巧拙又ハ業務ト何等ノ關係ガア
リマセヌ、況ヤ學術上ノ研究功績ニ對シマ
シテハ、現ニ學士院賞ノ規定ガアルノデア
リマシテ、何等ノ不都合ヲ感ジナイノデア
リマス、普通選舉ノ前ニ致シマシテ、高等
專門ノ學校ニ這入り得ル資力ノ子弟ノミ
爲ニ與ヘラレル所ノ稱號、若クハ何等職
業上ノ資格、技能、業務ト關係無クシテ、而
モ百弊有テ一利ノ無キ所ノ學位、是等ノ
學位、稱號ハ文部當局ニ於テ斷然之ヲ廢止
スル所ノ意思ガ無いカドウカ、此三ツノ點
ニ付テ御說明ヲ願ヒタイノデアリマス

〔政府委員高田松平君登壇〕

○政府委員(高田松平君) 只今ノ御質問ノ
第一點ニ御答シマス、定義ヲ決メテ置カ
ナレバ獸醫師法ニ於テ色々制裁ヲ設ケタ
カラ困ルデハナイカト云フ、斯ウ云フ御意見
デゴザイマス、併ナガラ此獸醫師法ト云フ
名前ハ今度付クノデゴザイマスケレドモ、
明治二十三年ノ當時ヨリ法律トシテ獸醫師
取締規則ガアルノデゴザイマス、故ニ數年
ノ間獸醫師ト云フモノハ社會ヨリ見マス
ト、ドウ云フ仕事ヲスルモノデアルカト云
フコトハ、大體ニ於テ社會一般ニ於テ了解
サレテ居ルモノト思フノデゴザイマス、但
シ獸醫師ト云フ定義ヲ定ムルコトガ是非
常ニ容易ナ事デアレドモ、中ニ容易ナ事デ
ナイト思ヒマスケレドモ、中ニ容易ナ事デ
ナイノデゴザイマスカラ、政府ハ既ニ數十年
來獸醫師ト云フモノガアリマシタノデカラ、
而シテ法律ノ上ニ其言葉ガアツタノデア
リマスカラ、是ガ社會一般ニ通用サレテ居
リマシテ、却テ誤解ヲ受クルコトナクシテ、
獸醫師ト云フモノ、自然ニ定義ガ定マ
テ居ルヤウニ思ヒマス、故ニ現在ノ狀態ヨ
リ致シマシテ、決シテ獸醫師ノ定義ヲ別ニ定
メズトモ、何等獸醫師業者ガ其仕事ヲ行
フニ付キマシテ憂慮ノ點ハナイヤウニ思
ヒマスカラシテ、政府ハ原案ヲ以テ當然
ト信ジテ居ル次第デアリマス

〔政府委員鈴置倉次郎君登壇〕

○政府委員(鈴置倉次郎君) 只今土屋君
ヨリ獸醫教育ノ範圍ヲ擴張シテハ如何、擴
スルノ意思ナキヤト云フ御質問デアリマ
ス、成程農林省デ申ス此獸醫ト、只今文
部省ニ於テ教育シテ居リマス範圍ハ、幾
カ學校ノ方ガ狭クナリテ居リマス、例ヘ
バ大學等ニ於キマシテ、鶏、家鴨ト云フ
モノハ學科ノ中ニ這入リテ居リマスガ、其
以外ノ畜鳥トカ若クハ七面鳥ト云フモノ
ハ這入リテ居リマセヌケレドモ、私ハ能ク
經驗家デナイノデアリマスカラ存ジマセ
ヌガ、鶏ヲ診察スルカアレバ、或ハ畜鳥
モ之ニ附隨シテ診察シ得ルモノカト思
ヒマス、サリナガラ此獸醫師法ガ實行
サレマスレバ、此猶豫期間、即チ八年間
ニハ只今ノ中等學校ハ總テ專門學校ニ
昇格スル際ニ於テ、只今土屋君ノ御質問
ノ如キ意味ヲ考慮致シマシテ、範圍ヲ十
分擴張スルコトニ致シタイト考ヘテ居
リマス、ソレカラ學位ヲ廢スル意思ナ
キヤト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ
單リ事デアラウト存ジマス、此問題ニ付
キマシテハ特ニ醫學博士ノ濫造トカ、若
クハ醫學博士ガ一般ノ病人ヲ睹若スル
ト云フヤウナ質問ガ、今期ノ議會ニモ出
マシテ答辯ヲ致シテ置キマシタガ、今之
ヲ廢スル意思ハアリマセヌ、世間一般ガ
博士トカ若クハ學士トカ云フモノ、見
解ヲ誤テ居リマス、是ハ學問ニ對スル敬
稱デアリマシテ、決シテ學者ガ必シモ實
際家ト云フ譯デアリナイノデアリマシ
テ、經濟學ノ本ヲ讀ミシテ居テモ、必ズ
相場ニ勝ツト云フ譯デアリマセヌ、多
ク負ケルコトニ決マテ居リマスカラ、學
者必シモ實際上一致シナイモノデアリ
マス、勿論此醫學博士ト云フ者ハ、醫學
博士ト云フ稱號ニ依テ開業シテ居ルモノ
デアリマセヌ、他ノ資格ニ依テ開業シ
テ居ルノデアリマスカラ、此醫學博士ガ
必シモ臨床上ニ特別ノ手助家ト云フ意
味デアリマセヌ、隨分基礎醫學ニ於テ博
士號ヲ得テ居ル人ガ多イノデアリマス
カラ、斯ノ如キ誤

解ガアリマス爲ニ、此博士號廢止ト云フ
ウナ議論モ出テ参リマスガ、現ニ近頃ハ
分博士ニ對スル見解ガ能ク一般ニ分
リマシテ、或ル醫學博士ハ「博士ニ相
成候共診察料ハ從前ノ通り」ト云フコ
トヲ言、テ居ル位デアリマスカラ、自然
此事ガ分テ参リマスレバ、博士號ハ學
者ニ對スル敬稱デアリ、診察料ハ禮
儀デアリ、只今ノ御質問モ其意ヲ宣傳
スルコトニナリマスカラ、漸次其諒解
ヲ得マシタナラバ、今日ノ如キ弊害ハ
段々消滅スルコトニナルト思ヒマス、今
此博士號ヲ廢止スルト云フヤウナ考
ヘ末モナイノデアリマス、左様御承知
ヲ願ヒタイ

○議長(稻谷義三君) 之ニテ質疑ハ終了
シマシタ。日程第六右議案ノ審查ヲ付
託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○井本常作君 本案ハ議長指名九名ノ委員
ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(稻谷義三君) 只今ノ井本君ノ動議
ニハ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(稻谷義三君) 御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○井本常作君 議事日程變更ノ緊急動議
ヲ……

○議長(稻谷義三君) 一寸御待ヲ願ヒ
マス。只今委員付託ニナリマシタ獸醫師法案
ノ委任ハ、會期接近ノ場合デアリマスカラ
直ニ指名致シマス、信太儀右衛門君、服部
英明君、丸山五郎君、佐々木春彦君、八田
宗吉君、高橋熊次郎君、高木第四郎君、宮島
幹之助君、土屋清三郎君。只今指名致シ
マシタ委員諸君ハ、直ニ第一委員會ニ參集
セラレ、委員長理事互選ノ後、引續キ審議
ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○井本常作君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ
提出致シマス、即チ政府提出特別都市計畫
法第五條ノ上地區劃整理ニ伴フ清算金及補
償金ニ關スル法律案ヲ繰上ゲ上程、委員長

ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ勸議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第二、特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長太田信治郎君

第二十 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月二十三日

特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案委員長

太田信治郎

衆議院議長粕谷義三殿

(小字及——ハ委員會修正)

第一條 本法ニ於テ清算金ト稱スルハ特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理法第三十條ノ規定ニ依リ徵收シ又ハ交付スヘキ金錢ヲ謂フ

第二條 清算金ヲ納付スヘキ義務アル者ニ對シ同一土地區劃整理施行地區内ニ於テ土地ニ關ル權利ニ付特別都市計畫法第八條ノ補償金ヲ交付スヘキ清算金ニ之ヲ充ツルコトヲ得但シ其ノ補償金カ耕地整理法第二十五條ノ規定ニ依リ供託スヘキモノナルトキハ其ノ補償金ヲ交付スヘキ土地ニ關スル權利ニ

付徵收スヘキ清算金ニノミ之ヲ充ツルコトヲ得

第三條 整理施行者ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ徵收スヘキ清算金ニ付利子ヲ附シ三年ヲ超エサル期間ニ於テ分納スルコトヲ認ムルコトヲ得

第四條 整理施行者ハ清算金交付ノ爲必要アルトキハ耕地整理法第三十條ノ規定ニ拘ラス他ノ土地區劃整理施行地區ニ於テ徵收シタル清算金ヲ以テ繰替支辨シ又整理施行者カ行政官廳ナルトキハ國、公共團體ヲ統轄スル行政廳又ハ公共團體ナルトキハ其ノ公共團體ノ立替金ヲ以テ支辨スルコトヲ得

整理施行者前項ノ規定ニ依リ繰替又ハ立替支辨シタルトキハ徵收シタル清算金ヲ戻入シ又ハ返還スヘシ

第五條 清算金ニ剩餘ヲ生シタルトキハ其ノ剩餘金ハ整理施行者カ行政官廳ナルトキハ國、公共團體ヲ統轄スル行政廳又ハ公共團體ナルトキハ其ノ公共團體ニ歸屬ス

第六條 土地ニ關スル權利ニ付清算金ヲ徵收セラレ又ハ交付セララルヘキ場合ニ於テ其ノ權利ヲ讓渡シタルトキハ當事者雙方連署ヲ以テ遲滞ナク整理施行者ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ爲ササル場合ニ於テハ清算金ノ徵收又ハ交付ニ關シテハ其ノ讓渡ハ之ヲ以テ整理施行者ニ對抗スルコトヲ得ス

土地ニ關スル權利ニ付清算金ヲ徵收セラレ又ハ交付セララルヘキ場合ニ於テ其ノ權利ノ分割讓渡ニ付第一項ノ届出アリタルトキハ整理施行者ハ遲滞ナク各當事者ヨリ徵收スヘキ清算金額又ハ各當事者ニ交付スヘキ清算金額ヲ通知ス

第七條 前條ノ規定ハ土地ニ關スル權利ニ付清算金ヲ徵收セラレ又ハ交付セララルヘキ場合ニ於テ其ノ權利ニ關シテ其ノ權利ノ消滅シタル場合ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔太田信治郎君登壇〕

○太田信治郎君 委員會ハ連日ニ涉リマシテ非常ニ熱心ニ慎重ニ質問應答ヲ重ネマシタノデアリマス、而シテ高木君、作間君、近藤君、矢野君、沼田君、其地ノ諸君ガ何レモ大雄辯ヲ揮フテ審議セラレマシタノデアリマス、私ノ如キ訥辯ノ者ガ會期切迫ノ際到底審議ニ之ヲ御紹介致スコトハ不可能デアリマスカラ、委細ハ速記録ヲ以テ御承知ヲ願フコトニ致シマシテ、唯、討論ノ結果修正案ガ提出セラレマシタカラ、其事柄ニ付テ簡單ニ御報告ヲ申上ゲマス、本案ハ頗ル重大ナル案件デアリマスノデ、十分慎重ニ審議ヲ盡シタイノデアリマスノデ、何ニ致シマシテモ會期切迫ノ折柄、是非共今日上程ヲ致シテモセヌケレバ、復興事業上非常ナル影響ヲ及ボシマスコトデゴザイマスカラ、委員長ハ懇談會ヲ開キマシテ、一時休憩ヲ致シ其間懇談ヲ十分ニ致シマシテ、其際高木君、作間君カラ修正案ニ付テ御熟議ガアリマシタ、各派ハ又各派ニ於テ評議ヲ重ネマシタガ、遂ニ一致ヲスルコトガ出來マセヌデ、政友會ノ近藤達見君ノ修正案ガ提出サレマシタ、其修正案ハ本案ノ第二條ヲ削除スルコト、ソレカラ第三條ノ「清算金ニ付利子ヲ附シ三年ヲ超エサル期間ニ於テ分納スルコトヲ認ムルコトヲ得」トアリマス、規定中ノ「三年」ヲ「五年」ト修正セラレマシタ、ソレカラ第五條ノ「清算金ニ剩餘ヲ生シタルトキハ其ノ剩餘金ハ——トアリマス」ト削除シテ「第二條第二項ノ利子」ト云フコトニ修正シナリマシタノデアリマス、之ニ就キマシテ高木君、作間君、安藤君、土屋君、近藤君カラ修正案ニ御賛成ノ御意見ノ陳述ガアリマシタ、其理由ヲ簡單ニ

申上ゲマス、修正ノ理由ハ區劃整理ノ爲ニ此災害地ノ市民ハ一割土地ヲ減歩サレル爲ニ、約三億五千萬圓ノ土地ヲ無償ヲ以テ提供致スコトニナリマシテ、尙ホ此區劃整理換地ノ爲ニ家屋ヲ移轉致シ、其外各種ノ施設ヲ要スル爲ニ多大ノ資金ヲ必要ト致ス場合デアリマス、故ニ此政府ヨリ交付セラル、所ノ補償金ニ依リテ之ヲ支辨致サント致シテ居ル所デアリマス、然ルニ未ダ區劃整理ノ完成セザル整理後ノ清算勘定ニ依ル所ノ清算金ノ徵收ヲ充當致シテ相殺サレルコトニナリマス、左様致シマスル所現在ノ區劃整理地區内ノ住民ハ、震災以來酷ク困難ヲ致シテ居ル所ニ、尙ホ此相殺勘定ニ依リテ到底現在困難ヲ致シテ居ル所ノ經濟狀態ヲ以テ致シマシテハ、假令移轉命令ヲ受ケマシタ所ガ到底移轉致スコト決定ヲ致シマシテモ、左スレバ折角換地處分マデ決定ヲ致シマシテモ移轉ガ出來マセヌケレバ、要スルニ机上ノ區劃整理ガ出來マシテモ、實行ノ區劃整理ガ出來ナイコトハ明カデアリマス、故ニ此際徵收金ト交付金ト相殺シテ、一時區劃整理施行者ニ於テ繰替ヲスルコトニ致シマシタノガ此第二條ヲ削除致シマシタ理由デアリマス、尙ホ此徵收金ノ延納ヲ二箇年延期ヲ致シマシテ五箇年ト致シマシタコトハ、是亦徵收金ノ延期ヲ致シタ次第デアリマス、而シテ徵收交付ガ相濟ミマスレバ、互ニ清算金ノ剩餘ハナイコトデアリマス、然ルニ第五條ニ於テ清算金ニ於テ剩餘ヲ生ジタリト云フ理由ヲ尋ネマシタ所ガ、ソレハ其間繰替金ニ要スル——政府ニ延期ヲシテ繰替ヲシテ貰ヒマシタ所ノ附帶スル利子デアリマス、其利子ガ第五條ノ剩餘金ニ當ルコト、ナリマス、デアリマスカラ其第五條ヲ明ニ「第一條第二項ノ利子」ト云フコトニ修正ヲ致シタ次第デアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ財政上又區劃整理施行上ニ付キマシテ、勿論罹災民ニ對シテハ相當ノ利益ヲ與ヘタイ、是ハ大ニ同情ヲ致シテ居ル次第デアリマス、併ナガラ此補償金ヲ充當スルコト云フコトハ、是ハ都市計畫法ノ第八條ノ補償金ノ場合ニ於キマシテ、モウ清算金ニ充當ス

ルコトガ決定セラレテ居ル次第アリマス
シテ、當然ノ歸結トシテ相殺ヲ受クベキモ
ノデア、隨テ若シ第二條ヲ削除致シマス
ル結果ト致シマシテハ、國ニ於テハ約一千
萬圓、市ニ於テハ約二千七百萬圓、横濱ニ
於テハ約五十萬圓、合セテ約三千八百萬圓餘
ノ繰替ガ増加スルコト、ナリマス、左様致
シマスレバ、如キ繰替金ガ、此際餘格ノ
アルコトデアリマス、セヌカラ頗ル困難ノコト
ニナリマス、故ニ之ニ同意スルコトガ出來
ナイト云フコトデアリマス、又第三條ノ
延納ニ付キマシテモ同様ナ結果ヲ來スノデ
アリマス、之ニ對シテ高木益太郎君ハ、區
劃整理ハ都市計畫法第五條ニ依リマス

ト云フ條文ガアルノデアリマス、政府
ハ豫算ノ範圍内ニ於テ事業ヲ施行スル
スレバ、別段財政ニ支障ヲ來スコトモナ
ト云フ御意見デアリマス、併ナガラ何レ
ニ致シマシテモ此區劃整理ヲ國家ガ施行
スルニ當リマシテ、居住民ノ利害ヲ考察シ
其困難ヲ無視スルコト云フコトハ出來マ
ヘシ、故ニ居住民ノ經濟上困難スル所ヲ救済シ
テ之ヲ助成シテ、而シテ帝都復興ノ大事業ヲ促
進セシメルコトガ必要デアル、此意味ニ於
キマシテ此繰替金ヲ致スコトモ已ム得ナ
イ事ト信ジマシタノデアリマス、而シテ討
論ノ結果沼田嘉一郎君カラ御意見ガ出マシ
タガ、結局第三條ノ修正案ガ可決ニ相成リ
マシタ、沼田君ノ御意見ハ此三箇年ヲ五箇
年トスルコト止メテ、其他ハ全部政府案
ヲ賛成スルコト云フ御意見デアリマス、其
御意見ハ少數デアリマス、此少數ノ意
見ニ付キマシテハ少數意見ガ追テ御報告ニ
相成ル次第デゴザイマス、以上委員會ノ經
過ノ大要デゴザイマス、評シテ所ハ委員
會ノ速記録ニ依テ御承知ヲ願フコト、致
シタイ次第デゴザイマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 本案ニ對シテハ少數
意見ガアリマス、是ハ修正デアリマス、直
ニ第二議會ニ於テ其報告ヲ許シマス、直ニ
採決ヲ致シマス、本案ノ第二議會ヲ開クニ
御注意アリマセカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ本案ハ第二議會ヲ開クニ決シマシ
タ、井本常作君

○井本常作君 直ニ本案ノ第二議會ヲ開カ
レンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異
議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二議會ヲ開
キ議案全部ヲ議題ト致シマス

特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ
伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案

○議長(粕谷義三君) 此際少數意見ノ報告
ヲ求メマス、吉川吉郎兵衛君

少數意見書
一特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理
ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律
案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノ
ト認ムルニ依リ少數意見書及提出候也
大正十五年三月二十三日
委員少數意見者
吉川吉郎兵衛
外六名

〔別紙〕
衆議院議長粕谷義三殿
特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ
伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案中左
ノ通修正ス
第三條第一項中「三年」ヲ「五年」ニ改ム
(吉川吉郎兵衛君登壇)

○吉川吉郎兵衛君 只今、委員長カラ詳細
ニ御報告ニナリマシタノデ、私ハ委員會ノ
少數意見ヲ極力簡單ニ申上ゲテ皆サンノ御
賛成ヲ得タイト存ジマス、只今委員長ノ報
告ガアリマシタ通り、政府當局ガ修正案ニ
反對シ、原案ヲ支持致シマシタ事ニ付キマ
シテハ、尤モナル道理ガアリマス、考ヘマ
ハ此支持理由ヲ誠ニ尤モナルコト、考ヘマ
シテ、之ニ賛成ヲ致シテ居ルノデアリマス、
修正案ハ罹災民ヲ思フノ餘リ非常ニ罹災民
ヲ思ヒ過ギタ所ガアル、吾々ニ於キマシテ

モ罹災民ヲ思フコトハ最も深イノデアリマ
スガ、思ヒ過ギルコトハ隨テ得テ望ム
ノ非難ニ陷ルコトガアルノデアリマス、
是ハ甚ダソレニ近イモノト考ヘルノデアリ
マス、吾々ハ罹災民ヲ思フト共ニ、亦同時
ニ國家ノ爲ニモ大ニ考ヘナケレバナラヌ
デアリマス、ソレデ吾々ノ立場ヨリ致シマ
シテ大慮高處ヨリ考ヘマシテ、公平ニ妥當
ナル決議ヲシナケレバナラヌト存ズル
次第デアリマス、由來原案ハ政府ヨリ交付
スベキ補償金、或場合ニ於テ同一人ノ清算
金ヲ徵收スル場合ニ於テ、清算金ガ有ルト
キハ之ヲ相殺スル、今ノ修正意見ハ、補償
金ハ實ヲ清算金トシテ出スベキモノハ出
サナイ、先ツソレハ後ニシテ長年ノ年賦ニ
シテ、ソレヲ取テ實ヒタイト云フ御意見
デアリマス、是ハ吾々ハ誠ニ不合理ナ事デ
アルト考ヘルノデアリマス、遺ルモノハ遺
ル、多キニ失スルダケモノハ清算金トシ
テソレヲ取テ、足ラナイ者ニ遺ル、之ヲ一
時ニ遺ルト云フコトガ誠ニ合理的デアルト
吾々ハ考ヘルガ、是又當然ナ事デアル、勿
論ハ罹災民ノ爲ニ特ニ徵收スベキ清算金
ニ就テ分納ヲ認メテ居ルノデアリマス、其
分納ハ三箇年ヲ五箇年ト云フコトニ於テ修
正ニモナリ居リマス、此分納ヲ認メテ罹
災民ノ爲ニ經濟ヲ十分ニ考慮シタ點ガ此ニ
アルノデアリマス、然ルニ修正案ノ如クス
ルトキハ、相殺ニ便宜ニシテ適切ナル處置
ヲ失ハシムルノミナラズ、政府ノ財政ニ於
テ約一千万圓以上ノ豫算ヲ立替金トシテ増
加セナケレバナラヌノデアリマス、斯ノ如
キコトハ現在國家ノ財政ノ現狀ニ照シマ
シテ甚シク當テ缺クモノト思フノデアリマ
ス、政府原案ハ罹災民ヲ思フト共ニ、國民
ノ爲ニ國家ノ財政ヲ考慮シテ、至極公平
ナル原案デアルト私等ハ考ヘルノデアリマ
ス、以上ノ議論ハ東京及横濱兩市ニ付テ申
シマシテモ、修正案ニ依ルトキハ東京市ハ
約二千七百萬圓、横濱市ハ約五百萬圓ノ
立替豫算ヲ増加セネバナラヌノデアリマス、
是又兩市財政ノ堪ヘル所デハナイト吾々ハ
考ヘルガ故ニ、第二條及第五條ニ關スル修

正ハ適當デナイ、故ニ第二條ノ修正ノ削除、
第五條ノ修正、之ニハ反對ヲ致シマシテ、
第三條ノ清算金ヲ分納金ヲ納ムル、此期限
ヲ三箇年トアルヲ五年ト云フコトニ之ヲ修
正致シマシテ、其他ハ全部原案ニ賛成ヲ致
スモノデアリマス、何卒諸君ニ於カレマシ
テモ能ク御判斷ノ上、是非此少數意見ニ御
賛成アラント切ニ希望スル次第デアリ
マス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 只今吉川君ニ依テ
述ベラレマシタ少數意見ニ賛成ガアリマス

〔賛成(粕谷義三君) 少數意見ニハ成規ノ
賛成アリト認メマス、仍テ少數意見ハ修正
案トシテ成立致シマシタ、是ヨリ討論ニ入
リマス、通告順ニ依テ其發言ヲ許シマス、
作間耕逸君

○作間耕逸君 本員ハ本案ニ付テ委員長ノ
修正報告ニ賛成シ、少數意見ニ反對スル者
デアリマス(ヒヤ)「拍手」與黨ノ一人デア
リマス、本員ガ、政府ノ意見ニ反イテ、平
素政見ト立場ヲ異ニ致シマス、政府會革新
俱樂部ノ諸君ト共ニ本案ノ第二條第三條及
第五條ニ對シ、敢テ同一ノ修正意見ヲ唱ヘ
マス、之ハ、實ニ心苦シイ次第デアリマス
スケレドモ、ソレダケ本員等ハ區劃整理事
業ノ過去ヲ顧ミ、又其將來ヲ思ヒ、一ハ政
府ノ爲メ、一ハ市民ノ爲ニ、道理ト實際ノ
上ヨリ確乎タル信念ヲ有スルモノデアリマ
ス(拍手)本案ノ修正ニ賛成ノ理由ヲ述ブル
ニ當リマシテハ、一應區劃整理事業ノ工程
ヲ檢セナケレバナラヌノデアリマス、此點
ニ付キマシテハ高木代議士ガ先刻決算案ノ
質問ニ於テ、政府ニ對スル峻烈ナル御陳述
ガアリマシタカラ、私ハ大部分省略致シマ
スガ、元來區劃整理事業ト云フモノハ、東
京横濱兩市復興ノ前提トシテ、其性質上他
ノ復興事業ヨリモ一歩先ンジテ進ンデ居ラ
ナケレバナラヌモノデアリマス、然ルニ洵ニ遭
憾ナコトニハ、其實際ヲ見マスルコト云フト、大正
十三年三月内務省ノ告示ノ第百三十二號ニ

大正十五年三月二十五日

特別都市計畫法第五條ノ土地區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案

九八三

依リマスレバ、大正十四年度中ニハ區劃整理全事業ノ七割八分九厘ヲ完成シテ居ナケレバナクモ、確定トナシテ居ルノデアリマス、所ガ大正十四年度モ既ニ最早一週間ヲ以テ盡キマスル今日ニ於テ、而モ其事業ハ只今高木代議士モ申述セラレタ如ク、僅ニ十分ノ一シカ終ラズテ居ナイノデアリマス、即チ東京全市六十六地區ノ中デ、移轉命令ヲ終了致シタモノハ、國ノ執行ガ十五地區ノ中、僅カ三地區アリマスモ、市ノ執行ニ係ルモノ五十一地區ノ中、未ダ一地區モアリマセズ、而モ實際ニ於テ家屋ノ移動ヲ終リマシタルモノハ、土木工事ヲ加ヘマシテ、一年有半ヲ費シテ僅ニ駿河臺方面ノ第六地區ノ一地區アルバカリデアリマス、而シテ又日本橋區濱町方面ノ第十二地區ノ一部分ガアルダケデアリマス、而モ此地區モ後日ニ至リ最モ解決ノ困難ヲ豫想セラレマス所ノ清算金ト補償金トノ問題ニハ、全然手が染マナク居リマセズ、斯様ナ有様デアリマスガ、復興當局ノ宣傳ニ依リマスレバ、單ニ換地決定ノ決議ヲ經タモノガ五十四地區アル、或ハ移轉命令ヲ發シタルモノガ二十四區アルト云フコトデアリマスケレドモ、是等ハ唯、机上ノ事務ニ屬スル、地圖ヲ引テテ命令文書ヲ郵送シタダケノコトデアリマス、又實際今マデヤリマシタル第六區或ハ第十二地區ノ如キハ、比較的手數ト經費トヲ要セザル方面デアリマシテ、眞ノ困難多キ事業ノ主ナル方面ハ是ヨリ以後二進ンデ行カナケレバナラズ、著手シナケレバナラズ所ガ多ク殘テ居ルト云フコトニ御注意ヲ願ヒタイノデアリマス、更ニ之ヲ建物ノ移轉數ト經費ト支拂トノ統計カラ見マシテモ、現在ニ於テ復興當局ハ東京燒跡全城ニ涉テ建物ヲ十六萬棟動カサナケレバナラズト云フコトニ相成テ居ルノデアリマス、此十六萬棟ハ固ヨリ概數デアリマシテ、之ヲ政府デヤル所ノ復興局、而シテ又自治團體デヤル所ノ東京市、此兩方デ受持ツノデアリマスガ、其中自治團體デ受持ナマスル方ハ八萬八千六百棟、政府デ受持ナマスル方ハ七萬一千六百棟、然ルニ現在マデ政府ハ發

ラ移轉命令ヲ出シタカト申シマスルニ、七千五百六十二棟デアリマス、即チ一割ト少シ上テ居リマスルケレドモ、一割三分ニモ當ラナイノデアリマス、之ニ要スル所ノ經費ヲ幾ラ幾ラ支拂フコトニナシテ居ルカト申シマスレバ、其經費ハ六百四十四萬三千五百四十一圓ヲ支拂フコトニナシテ居ルノデアリマス、然ルニ六百四十四萬三千五百四十一圓ト云フ數字ハ、復興當局ニ於キマシテ東京市ニ對スル國ノ區劃整理費合計ハ百七十五萬圓ニ對シマスル、既ニ其八割ヲ超過致シテ居ルノデアリマス、即チ家ヲ動カス棟數ガ一割二三十分シカ動カサナイノニ、之ニ要スル所ノ經費ハ既ニ全體ノ八割バカリヲ支拂ハナケレバナラズト云フコトニナシテ居ルノデアリマス、後ノ家ヲ動カスノガ全體ノ八割七八分殘テ居ル、之ニ對スル經費ト云フモノハ僅ニ一割七八分ヨリシカ殘テ居ラズト云フコトニ相成ルノデアリマス、而モ此八百七十五萬圓ト申シマスルハ、是ハ土地區劃整理費ノ全體デアリマスルケレドモ、其中ニハ雜工事費、即チ工事ノ費用ヲモ含ンデ居ルノデアリマス、其正味ト云フモノハ僅ニ八百萬圓ニ過ギナイノデアリマス、八百萬圓ニ過ギナイ、其大部分ガ既ニ支拂ハレ掛ケテ居ルノデアリマス、如何ニ此經費ト、後ニ殘サレテ居ル所ノ移轉ヲ要スベキ建物ノ數ト比較シテ見マスルト云フト、所謂日暮レテ道遠シ、政府ガ近キ將來ニ於テ必ズ此事業ノ前途ニ私ハ進退是レ窮セラレレル立場ニ陥ル虞アリト感ズル者デアリマス（拍手）而シテ他ノ復興事業即チ橋梁道路等ノ工事ハ比較的進捗致シテ居リマス、單リ區劃整理事業ガ最モ遅レテ居リマス、是ハ一體ドウ云フ譯デアアル、是ハ山本内閣、清浦内閣當時ノ彼ノ大震大火ノ應急善後策ト致シマシテ、匆忙ノ間ニ色々ノ混雜ト變化トヲ以テ取扱ハレテ來リマシタ計畫ガ杜撰デアアルガ爲デアリマス、粗笨デアアルガ爲デアリマス、固ヨリ其計畫ヲ其體路線シタニ過ギナイ所ノ我黨内閣ノ責任デナイト云フコトダケハ、茲ニ明ニ申上ダテ置キマス、又復興當局ノ罪バカリ

デモアリマセズ、一番惡イ原因ハ實ニ區劃整理ノ現行制度其モノニ不備缺陷ガ多イカラデアリマス、本員等ハ其制度ノ改善ニ努メテ來テ居ル者デアリマス、茲ニ提案サレマシタ政府ノ本案ノ如キハ、實ニ現行ノ區劃整理制度ヲ一層更ニ改惡セントスルモノデアリマス（拍手）恐ラク事業ノ前途ハ本案ノ通過ニ依リテ、一層ノ難澁ト市民ノ迷惑トヲ増スモノデアラウト考ヘル、尤モ本案ノ中デモ清算金ノ分納制等ハ事業ノ進行ノ爲ニモ、又市民ノ權利ノ爲ニモ本員等ハ之ヲ歡迎シ、其通過ヲ希望スル者デアリマス、補償金清算金ノ性質ヲ金タ無視シテ、事業ノ進行ト市民ノ迷惑ヲ思ハザル事甚シキモノデアルト謂ハナケレバナラズセズ、元來補償金ト云フモノハ、御承知ノ通り政府又ハ市ガ市民カラ必要ナル地所ヲ提供セシムル、其中一割ハ無償提供、只ノ沒收デアアル、一割ヲ超エル所ノ五分ナリ、八分ナリ、或ハ一割ナリガ、即チ補償金ニ依リテ補償金ヲ支拂テ市民カラ提供セシムルノデアリマスガ、市民ハ此補償金ヲ當ニシテ之ヲ賣テ、セメテ一割無償提供ノ幾分ノ埋合セニ爲シ、又ソレヲ融通ノ利用シテ、以テ自己ノ復舊、復興ノ資金ニ當テヤウト致シテ居ルノデアアル、之ヲ待ツコト實ニ早天ノ雲霓モ管ナラザル境遇ニ在ルノデアリマス、然ルニ政府ハ此補償金ヲ與フベキモノヲ與ヘズニ押ヘテ置イテ、是ハ區劃整理施行ト同時ニ著々トシテ與ヘナケレバナラズ金デアリマスニ拘テズ、是ハ支拂ハズニ押ヘテ置イテ、サウシテソレト全タ別ノ關係ニ在ル、單ニ人民同志ノ進取ヲスベキ清算金ト、此補償金トヲ相殺スル充當シヤウトスルノガ、此第二條ノ趣旨デアリマス、而シテ一方ノ清算金ト云フモノハ區劃整理ガ出來上テ初メテ生ズル所ノ利益デアリマシテ、ソレモ果シテ利益ヲ生ズルカ否ヤト云フコトハ、區劃整理ガ出來テカテ數年、十數年又ハ數十年ヲ經ナケレバ分ラナイノデアリマス、單ニ此ニ區劃整理ガ行ハレバ、土地ノ價

段カ出ルデアラウト云フコトハ、ソレハ復興當局ガ机上ノ論議、若クハ空想デアリマシテ、實際ソレ程ノ價值ガ出ルカ、利益ヲ受クルカト云フコトハ未來ノ事デ、全ク確定シナイ所ノ一ツノ想像的相場ニ過ギナイト云フコトニナルノデアリマス（拍手）此想像的相場ニ依リテ算定セラレタル金錢、而モ其金錢ハ市民ノ甲カラ乙ヘ與ヘ、或ハ丙カラ乙ヘ與ヘ直接關係スルコトノ出來ナイ、即チ自己ノ所有、自己ノ權利ニ歸屬セシムルコトノ出來ナイ此金ヲ以テ——此金ノ補償金ヲ以テ市民同志ガ進取スルニ過ギザル所ノ清算金ト差引勘定スルガ爲ニ、其支拂ニ充當セシメヤウトスル原案ノ第二條ガ、如何ニ私ハ不法暴戾的ノモノデアルカト云フコトヲ諸君ノ御判斷ニ憑ヘタイ所デアリマス、即チ當事者ノ關係ガ違フ、補償金ハ單ニ政府又ハ市ガ市民ニ對シテ支拂フベキ金、市民ハ特定ノ土地ヲ提供シテ、其代金のノ受取ルベキ金、其金ヲ以テ市民同志ノ單ニ未來ノ計畫ニ依リテ定マラタル所ノ空想的相場ニ依リテ受渡ヤスル、此金ト差引カウトシマスルノハ、何ノ事ハナイ政府ガ今支拂フベキ現金ト、市民ガ將來利益ヲ受ケル、先キデ果シテ幾ラノ利益ヲ受ケルカ分ラナイ、其前途未確定ノ金額トヲ強ヒテ差引イテ決算セシメヤウト云フ趣旨ニ基ク原案第二條ト私ハ考ヘマスルカラ、如何ニシテモ其案ニ同意スルコトハ出來ナイノデアリマス、又支拂ノ時期ニ付キマシテハ、只今モ申上ダマス通り、補償金ハ區劃整理ニ著手スルト同時ニ支拂ハルベキ金、清算金ハ區劃整理ノ施行ガ終テ定マルベキ金額、是ト是トヲ差引クト云フコトハ、政府ハ補償金ヲ支拂フ時期ニシテ居テ、市民ガ一日モ早クソレヲ貰ヒタイ、ソレヲ受取ラナケレバ移動ハ出來ナイト云フ、此切ナイ金ヲ押ヘテ置イテ、サウシテ區劃整理ガ出來上テ金高ト差引決算シヤウト云フコトデアリマス、政府ハ手許ニ於テ補償金ヲ押ヘテ置イテ、サウシテ區劃整理ガ出來上ルマデ勘定ヲ市民

ヲ待タサウト致スノデアリマスガ、現在ノ
ヤウナ遅タル状態ニ於テ區劃整理ヲ施行
シテ居リマス間、市民ハ空シク其勘定ヲ
待テ居ルコト云フコトハ、如何ニモ堪ヘ難
痛ト損害デアルト云フコトヲ茲ニ申上ダテ
區劃次第デアリマス(指手)又第五條ノ剩餘
金ガ生ズルコト云フヤウニ、原案ノ趣旨ニハ
ナッテ居リマスケレドモ、清算金ニ剩餘金
ト云フモノガアルベキ筈ハナ、何トナレ
ハ清算勘定ト云フモノハ、一方ノ善イ所
移タ人民カラ取テ——ソレモ果シテ事實
善イカ惡イカ分ラヌガ、善イ所デアラウト
云フ所ニ移タ人民カラ、惡クナッテデア
ウト云フ所ヘ移タ人民ニ、一方カラ取テ
一方ヘ渡ス金デアリマスルカラ、政府又ハ
市ハ、單ニ其金ノ取次ヲスルニ過ギナイ
デア、決シテ自分ノ權利ニ歸屬スベキ性
質ノモノデハナ、隨テ此金ハ剩餘ヲ生ズ
ル筈ハナ、即チ地域ニ於テ善イ
所ヘ變タ人々カラ取上ダテ、ソレヲ其
全體ノ合計額ヲ惡イ所ノ方面ニ移タ人々
全體ニ分テテヤレバ、ソレデ清算金ノ分配
ト云フモノハ終ルベキ筈デアリマシテ、其
間ニ政府ノ手許ニ清算金ガ餘タ、殘タト
云フコトハ、道理上モ實際上モアルベカラ
ザルコトデアリマス、然ルニ原案第五條ハ
此清算金ニ剩餘ヲ生ジタ場合ニハ、之ヲ政
府或ハ市ノ權利ニ歸屬セシメテ、其總額
ヲシマフコト云フコトニナッテ居ルデアリ
マス、是ハ清算金ノ性質カラ考ヘテ、左様
ノ事ノ出来ベキ筈ハナ、政府ニ此點ヲ質
シマスト云フコト、政府ハソレハ利子デア
ル元金デハナ、清算金ヲ使テ居ル間ニ自
然利子ガ生ズル、其利子ダケハ、市又ハ政
府ガ取テ居ルデア、利子ダケ云フ、利子ダ
ケナラバ結構デア、利子ダケナラバ、何故
第五條ニ明ニ利子ダケハ政府又ハ市ノ歸屬
トスルコト云フコトヲ規定致サナイカ、原案
ノ第五條ヲ見マスト利子ヤ元金ノ區別ハナ
イ、清算金ガ殘リサヘスレバ、何デモソレ
ヲ市又ハ政府ニ於テ取上ダルコトガ出来ル
ヤウニナッテ居リマスカラ、其誤解ヲ避ケ
テ利子ダケニ止メルコト云フコトヲ明ニスル意

味ニ於テ、私共ハ第五條ヲモ改正ヲシナケ
レバナラヌト考ヘテ居ルデアリマス、第
二條ヲ削除シナケレバナラヌト云フコトハ、
只今申上ダマシタ通りデアリマス、尙ホ第
三條ノ清算金ヲ人民カラ分納セシムル義務
ニ付キマシテ、原案ノ三條ニハ、三年間ト
ナッテ居ルデア、此三年ハ實ニ短イ、
御承知ノ通り下水事業デモ、道路事業デ
モ、總テ斯ウ云フヤウナ場合ニハ、大抵十
箇年ヲ以テ分納期間ト定メテ居ルデアリ
マス、政府ノ方デ無條件デヤツテ呉レ、或
ハ市ノ方デ無條件デヤツテ呉レタ、下水道
路ノ受益負擔金デサヘモ、市民ハ十年間ニ
之ヲ分納スレバ宜シト云フコトニ相成
テ居リマスルニ拘ラズ、區劃整理ハ決シテ
無條件デヤツテ貰タノデハナ、市民ハ多
大ノ犧牲ヲ拂ヒ、多大ノ苦痛ト損害ヲ忍
ンデヤツテ貰テ、此清算金ガ只今ノ下水、道
路ノ負擔金ヨリモ短イモ短イ、三箇年間ニ
之ヲ止メヤウトスルコトハ、全ク私ハ名ハ
分納デア、ケレドモ、其實ハ一時ニ徵收セ
ラル、ヨリモ苦痛デアツテ、別ニ變リハナ
イ、何ノ猶豫モ恩恵モナイモノト申シテ宜
シイ位ト存ジマスルカラ、此第三條ニ付キ
マシテモ、三箇年トアルモノヲ、是ハ五箇
年ト改メタイデア、私共ノ希望ハ五箇
年デハ満足ヲ致サナイ、七年或ハ十年マデ
モト云フ希望ヲ持テ居リマスケレドモ、
ソレデハ餘リ長過ぎ、餘リ勝手ナコトヲ
申シマシテモ、又本黨諸君等ノ御反對ヲ受
ケレバ、素ノ通達モムジカシイデアリマ
スルカラ、是ハ五年ノ修正ニ讓步致シテ置
キマシタ、其他第二ノ修正、並ニ第五條
ノ修正ハ、以上申上ダマシタ理由ニ依シテ、
絕對ニ原案ニ賛成ガ出来ナイデアリマス
カラ、修正案ニ同意ヲ表スル次第デアリマ
ス

ニ對シマスル政府ノ説明ヲ承リマスレバ、
同一時ニ交付致スベキ清算金ト、徵收スベ
キ補償金トガ相合スル場合ニハ、其金額ノ
範圍ニ於テ相殺ヲスル、斯ウ云フ説明デア
ルデアリマシテ、只今作問君ガ續々御陳
述ニナリマシタ所トハ、私共ハ多少違タヤ
ウニ承テ居ルデアリマス、其結果ト致シ
マシテ、若シ此相殺方法ヲ取リマセヌコト
ニ相成リマス、國家ニ於テハ約千萬元、
東京市ニ於テハ二千七百餘萬元、横浜市ニ
於テハ百五十餘萬元ノ市費ノ負擔ガ増加スル
ト云フ結果ニ相成ルノダサウデアリマス、
(「違ヒマス」「違ヒハセヌ」ト呼フ者アリ)如
何ニモ此市民ガ災害ニ遭ウテ、迷惑ナ状態
ニ在ルコトニ向テハ、吾々モ滿腔ノ同情ヲ
表スルデアリマスガ、此清算金ト補償金
トノ相殺ハ、決シテ無理ナル行爲ヲ爲ス
デハナ、右ノ手カラ拂フベキモノト、左
ノ手ヘ取ルベキモノトガ、同時ニ相合シタ
場合ニ、其分ダケヲ相殺スルコト云フデア
リマシテ、是ハ若シ清算金ノ交付ト云フモ
ノヲ更ニ數年遅ラセマシタナラバ、ヨリモ多
ク利益デアリマセウケレドモ、ソレデハ
今申述ベマス通り、市及國ノ負擔ガ極メテ
多大ニ上ルデアリマス(ヒヤ)或ル部
類ノ人々ノ利益ノ爲ニ、全般ノ國費或ハ市
費ヲ以テ之ヲ負擔スルコトノ穩當デナイト
云フ事柄ハ、他ノ方面ニ於テモ幾多ノ實例
ガアルデアリマス、吾々ハ此見地カラ致
シマシテ、此清算金ト補償金トノ相殺ト云
フコトハ、適當ナル法案デア、ト云フコト
ヲ認メマシテ、原案ニ賛成致シタ次第デア
リマス、尙ホ第三條ノ點ニ付キマシテハ、
是ハ先刻作問君ノ御述ニナリマシタ同様
ナ理由ヲ以テ、私共三年トアルモノヲ五年ニ
修正致シタ次第デアリマス、ドウゾ御賛成
ヲ願ヒマス(拍手)

シモ一地方ノ問題トバカリハ言フコトハ出
來ナイト思フデアリマス(拍手)而シテ此
清算ト補償トノ問題ニ付キマシテハ、言ハ
ント欲スル所ハ多イガ、既ニ作問君等ガ述
ベラレマシタ、且ツ今ヤ會期明日ニ迫リ
極メテ時間ヲ貴重トスル場合デアリマスル
カラ、私ハ唯、極メテ簡單ニ此修正案ヲ支
持スル所ノ意見ヲ述ベル積リデアリマス、
即チ本案ニ對スル第二條、第三條及第五條
ノ修正ハ、我が政友會提出ノ修正デゴザイ
マシテ、憲政會ノ委員ノ二三氏ガ之ニ賛成
ヲセラレタ結果、我黨ノ修正案ガ通過致シ
タデアリマス、清算金ト補償金トハ元來
性質ガ別デア、補償金ト云フモノハ換地
ノ決定セラレタモノニ對シテ支拂フベキモ
ノデアツテ、清算金ハ區劃整理以後ニ於テ
之ヲ清算スベキモノデア、然ルニ、補償
金ヲ清算金ニ充當シテ相殺スルコト云フコト
ハ、理論カラ言フテモ間違テ居ルデアリ
マス、成程斯ノ如ク致シマスレバ政府ハ至
極便利ニ違ヒナ、又東京市ハ横浜市ハ至
極都合ガ好イニ違ヒナ、併ナガラ其政府
ヤ市ニ都合ノ好イコト云フコトハ、即チ東京
市、横浜市ニ於キマシテ大災厄ヲ受ケタ所
ノ大部分ノ住民ガ非常ナル不便ヲ被ルト云
フコトヲ考ヘナケレバナラヌト思フデア
ル、(拍手)殊ニ災後復舊ハ表面カラ見マス
ト横濱ト云ヒ、東京ト云ヒ外觀ダケハ稍、
整クヤウデアリマスケレドモ、其内實ヲ
能ク調ベテ見マスレバ實ニ苦心慘澹、日夜
ニ如何ニシテ復舊シ復興センカト云フコト
ニ、血ノ出ルヤウナ思ヒデ懊惱煩悶シテ居
ルノデゴザイマス、而シテ此區劃整理ノ事
業ハ勿論是ハ百年ノ大計デア、必要ナコ
トデア、必要ナコトデアアルガ、政府ハ
之ニ對シテ殆ド準備ガ無クテ着手シタ、又
徒ニ机ノ上デ計畫シテ、罹災民ノ實狀ヲ顧
慮スルニ迂闊デ、且ツ不親切デアリマス、
ダカラ事毎ニ色々失敗ガ出テ、一々突キ
當テ其爲ニ事業ガ進マヌデア、又今
日デハ此區劃整理ノ事業ニ甚シク權威ヲ失
墜シタデアリマス、申ス迄マナク此ノ事
業ノ中央官衙タル復興局カラ數人ノ中樞幹

部ノ驚クヘキ犯罪者ヲ出シマシテ、今ハ復興局ハ國民院ノ中心トナテ居リマス、市民ガ熱心ニ一日モ早ク帝都ヲ復興シ、又經濟ヲ復活シヤウト思フ居ル、此悲痛ノ眞最中ニ當テ、區劃整理ノ事業ヲ行ヒ、特別都市計畫ヲ行フ所ノ其中心當局タル復興局ガ、斯ル醜態妖怪ノ府トナシテ居ルニ至ラハ、此區劃整理事業ナルモノ、特別都市計畫事業ナルモノニ權威ガナクナテ、市民ガ容易ニ之ヲ信ゼヌト云フコトハ、當然デハナイカト思フノデアリマス(拍手)サレバ今此案モ我修正ニ從フノ市民ト幾分信用ヲ恢復スル譯デアル、成程吾々ノ修正案ノヤウニ補償ト清算ト別々ニ致シマスルト、國ニ於テハ一千万圓、東京市ニ於テハ二千万圓、横濱市ニ於テハ五百五十万圓、是ダケノ一時立替ヲシナケレバナラナイカラ、一時腹痛ガ痛ムト云フコトニナル、併シハ出シ放シデハナイ、結局ハ還テ來ル、一時ノ立替ニ過ギナイノデアリマス、少數意見者ハソレデハ國庫ガ堪ヘラレナイ、國家ノ財政ガ洵ニ困ルト云フコトヲ頻ニ言フガ、抑國民有テノ國デハナイカ、市民ガ今ヤ塗炭ノ苦ミヲ受ケツ、アルト云フコトガ能ク分タナバ、私ハ此際國ガソレダケ立替テモ、市ガソレダケ立替テモ、ソレハ寧ロ當然デハナカラウカト思フノデアリマス(拍手)故ニ補償金ハ補償金ト致シテ別ニ支拂ヒ、清算金ハ三年ヲ改メテ五年ノ間ニ分納サセルト云フ所ノ、我ガ政友會ノ修正ガ最も適當デアラウト思フノデアリマス(拍手)殊ニ多數國民ノ利福増進ヲ旨トシ、國民政治ヲ行ハウト云フコトハ、現政府ガ常ニ口辭ノヤウニ言テ居ル所デハナイカ、又社會政策ノ實行ト云フコトヲ二言目ニハ言テ居ル所ノ現政府デハナイカ、然ルニ政府ガ此修正案ニ反對ノ意ヲ表明サレタコトハ、驚クヘキコトデアル、憲政會ノ中カラ高木、作間ノ兩君ガ與黨ト致シマシテ此修正案ニ對シテ賛成ヲスルト云フ、勇敢ナル態度ヲ取ラレタト云フコトハ、追ニ黨派ニ忠實ナル兩君デモ、市民塗炭ノ苦ミニハ代

ヘラレナイト云フ立場カラ、我ガ案ニ賛成ヲセラレタノデアラウト思フ(拍手)願クハ此案ハ決シテ黨派問題デハアリマセヌカラ、憲政會ノ諸君モ政友會本黨ノ諸君モ、其ノ諸君モ、目下ノ都民ノ苦ミト云フコトヲ能ク御察シ下サイマシテ、我黨ノ修正案ニ賛成ヲセラレンコトヲ熱望スル次第デゴザイマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 之ニテ討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ニ入リマス、只今成立致シマシタ修正案ハ委員長ノ報告ト共通ノ點ガアリマス、仍テ先ツ此委員長報告ト修正案ト共通ノ點、即チ第三條ノ中ノ三年ヲ五年ト修正スル點、此點ヲ採決ヲ致シマス、之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(賛成者起立)

○議長(粕谷義三君) 起立多數デアリマス、仍テ共通ノ點ハ可決サレマシタ、次ニハ共通ノ點ヲ除キマシタル委員長ノ報告ニ付テ採決ヲ致シマス、此採決ニ付キマシテハ砂田重政君外三十名ヨリ記名投票ヲ以テ採決ヲシテ贊成ヒタイト云フ要求ガゴザイマス、仍テ是ヨリ記名投票ヲ行ヒマス、委員長ノ報告ノ修正、即チ共通ノ點ヲ除キマシタル分デアリマス、此委員長ノ報告ニ賛成ノ諸君ハ白票デアリマス、反對ノ諸君ハ青票デアリマス——閉鎖——氏名點呼ヲ命ジマス

(書記官氏名ヲ點呼ス)

○議長(粕谷義三君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ナシト認メマス、投票函閉鎖——開匣——開鎖

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(粕谷義三君) 投票ノ結果ヲ書記官ヨリ御報告致シマス

(田口書記官朗讀)

投票總數 二百九十二

可トスル者 白票 百十九

否トスル者 青票 百七十三

○議長(粕谷義三君) 只今ノ結果ニ依リマシテ、共通ノ點ヲ除キマシタル委員長報告ノ修正ハ否決サレマシタ

〔參照〕 委員長報告修正中修正案ト共通部分ヲ除 キタル部分 可トスル議員ノ氏名左ノ如シ			
太田信治郎君	高木益太郎君	齋藤藤四郎君	榎原 經武君
作間 耕逸君	磯部 尚君	佐々木文一君	佐々木長治君
磯部 保次君	板野 友造君	坂井 大輔君	坂井 哲君
今井 健彦君	石井 三郎君	木戸 豐吉君	宮崎三之助君
井上 敬之助君	飯村 五郎君	宮本 逸三君	三善 清之君
井上 虎治君	井上 孝哉君	志賀和多利君	藤原 和市君
伊坂秀五郎君	井口 延次郎君	廣瀬 爲久君	嶋居 哲君
濱口吉兵衛君	秦 豐助君	平山爲之助君	廣岡宇一郎君
鳩山 一郎君	濱田 精藏君	森 格君	森 瀧一郎君
星島 二郎君	堀切善兵衛君	砂田 重政君	瀨沼伊兵衛君
長田 桃藏君	土井 權大君	菅原 傳君	鈴木 隆君
小川 平吉君	大口 喜六君	杉 宜陳君	隅田 豐吉君
渡邊 伍君	若宮 貞夫君	富永孝太郎君	坂東幸太郎君
加藤久米四郎君	渡邊 祐策君	堤 清六君	山口 左一君
笠原 忠造君	兼松實太郎君	山口 政二君	松山兼三郎君
吉本 陽君	川口 義久君	佐々木安五郎君	佐々木平次郎君
高木 守利君	高井 商二君	佐藤 潤象君	湯淺 凡平君
中島 清造君	高草美代藏君	關 直彦君	多木久米次郎君
内田 信也君	向井 倭雄君	高島 兵吉君	
上埜安太郎君	野田 俊作君	石黒大次郎君	飯塚春太郎君
來栖 七郎君	熊谷 成章君	井本 常作君	井上 利八君
倉元 要一君	工藤十三雄君	原 脩次郎君	土生 彰君
矢野 鈺吉君	山本 芳治君	羽田彦四郎君	西 英太郎君
山本 梯二郎君	山口 義一君	本田 恒之君	戸井 嘉作君
山口恒太郎君	山下 谷次君	戸澤氏十郎君	富田幸次郎君
山内 範造君	松本 君平君	大津淳一郎君	大島 要三君
松實喜代太君	藤井忠兵衛君	大里廣次郎君	小野 重行君
藤田胸太郎君	藤田 包助君	岡本實太郎君	川崎安之助君
藤川 清助君	二木 洵君	神谷 彌平君	神部 爲藏君
古川 清君	小久保喜七君	加藤政之助君	加藤 綱一君
小橋藻三衛君	神崎 勳君	加藤 六藏君	加藤 十四郎君
近藤 達見君	安藤 正純君	河野 正義君	河野 曉君
青木 精一君	青山 憲三君	河波荒次郎君	金田平兵衛君
青柳郁次郎君	秋田寅之介君	橫山勝太郎君	橫山金太郎君
赤間嘉之吉君	有馬 賴寧君	吉川吉郎兵衛君	吉原 義雄君
東 武君	齋藤 珪次君	吉田 礒吉君	高橋元四郎君
		高田 稔平君	高橋木桂吉君
		武内 作平君	武富 濟君
		田中 萬逸君	田中 武雄君
		田中 善立君	建部 遜吾君
		谷口源十郎君	孫一君

中原徳太郎君 中野 寅吉君 大園榮三郎君 大城幸之一君
中野猪之助君 村上 國吉君 奥野小四郎君 加藤録五郎君
村上紋四郎君 村山喜一郎君 兼田 秀雄君 神村 吉郎君
村松龜一郎君 紫安新九郎君 高島 順作君 井下茂十郎君
室木彌次郎君 生方 大吉君 田中 隆三君 谷原 公君
内々崎作三郎君 栗延敬太郎君 津崎 尚武君 中林 友信君
工藤 鐵男君 山田 又司君 中山 貞雄君 植場 平君
山宮 藤吉君 山口 助作君 上原 好雄君 熊谷五右衛門君
山田 嘉七君 山口 嘉七君 山本 勝次君 藏園三四郎君
山本 厚三君 山本 儀重君 前田房之助君 八木 逸郎君
山道 襄一君 松井 郡治君 牧山 耕藏君 前田 兼實君
町田 忠治君 古屋 慶隆君 丸山 浪彌君 松田 源治君
深井 功君 藤澤幾之輔君 藤井 敬慎君 小島 證作君
藤田 五郎君 小寺 謙吉君 小池 仁郎君 近藤重三郎君
木村三郎君 紺野九右衛門君 手代木隆吉君 淺賀長兵衛君
淺川 浩君 青木知四郎君 荒井 建三君 佐藤 隆夫君
佐藤富十郎君 佐藤球三郎君 齊藤太兵衛君 齊藤仁太郎君
榎瀬軍之佐君 由谷 義治君 三橋四郎次君 宮崎松次郎君
箕浦 勝人君 鹽田 團平君 廣瀬 徳藏君 比佐 昌平君
比佐 昌平君 栗山 博君 關 俊吉君 鈴木富士彌君
菅原 英伍君 井坂 豐光君 岩切 重雄君 本多貞次郎君
陣 軍吉君 折原巳一郎君 沼田嘉一郎君 小川郷太郎君

大園榮三郎君 大城幸之一君 加藤録五郎君 神村 吉郎君
奥野小四郎君 兼田 秀雄君 井下茂十郎君 谷原 公君
中野 寅吉君 村上 國吉君 村山喜一郎君 紫安新九郎君
村上紋四郎君 村松龜一郎君 室木彌次郎君 生方 大吉君
内々崎作三郎君 工藤 鐵男君 山宮 藤吉君 山口 助作君
山田 嘉七君 山口 嘉七君 山本 勝次君 前田房之助君
山本 厚三君 山本 儀重君 牧山 耕藏君 前田 兼實君
山道 襄一君 松井 郡治君 丸山 浪彌君 松田 源治君
町田 忠治君 古屋 慶隆君 藤井 敬慎君 小島 證作君
深井 功君 藤澤幾之輔君 藤田 五郎君 小寺 謙吉君
木村三郎君 紺野九右衛門君 手代木隆吉君 淺賀長兵衛君
淺川 浩君 青木知四郎君 荒井 建三君 佐藤 隆夫君
佐藤富十郎君 佐藤球三郎君 齊藤太兵衛君 齊藤仁太郎君
榎瀬軍之佐君 由谷 義治君 三橋四郎次君 宮崎松次郎君
箕浦 勝人君 鹽田 團平君 廣瀬 徳藏君 比佐 昌平君
比佐 昌平君 栗山 博君 關 俊吉君 鈴木富士彌君
菅原 英伍君 井坂 豐光君 岩切 重雄君 本多貞次郎君
陣 軍吉君 折原巳一郎君 沼田嘉一郎君 小川郷太郎君

○議長(粕谷義三君) 就テハ共通ノ點以外ハ原案ノ通り御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ其通り決シマシタ、之ニテ第二讀會ハ終了致シマシタ
○井本常作君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第三讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス
特別都市計畫法第五條ノ區劃整理ニ伴フ清算金及補償金ニ關スル法律案 第三讀會
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ第二讀會可決ノ通り可決確定ス、仍テ本案ハ第二讀會可決ノ通り可決確定ス、仍テ本案ハ第二讀會可決ノ通り可決確定ス

第十九條 民事訴訟法第百二十一條及ヒ第百二十二條ノ規定ニ依ル費用ノ取立ノ決定ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒ之ヲ執行ス其決定ハ執行力アル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第八 民事訴訟用印紙法中改正法律案
〔政府提出 貴族院送付〕 第一讀會
民事訴訟用印紙法中改正法律案
〔小字及一ハ貴族院修正〕
民事訴訟用印紙法中改正法律案
第二條中「第三條乃至第六條」ヲ「第二條第一項及ヒ第二十三條」ニ改ム
第五條ノ二 民事訴訟法第七十一條又ハ第七十五條ノ規定ニ依ル參加ノ申出書ニハ第二條、第三條及ヒ前條ノ規定ニ準シ印紙ヲ貼用ス可シ
第六條中「支拂命令ノ申請」ヲ「支拂命令ノ申立」ニ改ム
第六條ノ二中「左ニ掲クル申立」ヲ「左ニ掲クル申立、申出」ニ改メ同條第一號乃至第十三號ヲ左ノ如ク改ム
一 期日指定ノ申立
二 中斷又ハ中止シタル訴訟手續ノ受繼ノ申立
三 民事訴訟法第六十四條ノ參加ノ申出
四 除斥又ハ忌避ノ申立
五 和解ノ申立
六 費用額確定ノ申立
七 假執行ニ關スル申立
八 強制執行ノ停止若クハ續行又ハ執行處分ノ取消ノ申立
九 配當要求
十 債權又ハ他ノ財産權差押ノ申請
十一 民事訴訟法第七百三十二條乃至第七百三十四條ノ申立

第六條ノ三中「左ニ掲クル申立」ヲ「左ニ掲クル申立、申出」ニ、「證據調ノ申立」ヲ「證據ノ申出」ニ改ム

第七條 和解及ヒ督促手續ニ付キ民事訴訟法第三百五十六條第三項又ハ第四百四十二條ノ規定ニ依リ訴訟カ繫屬スルトキハ第二條及ヒ第三條ノ規定ニ從ヒ印紙ヲ貼用ス可シ但第六條又ハ第十條ノ規定ニ依リ貼用シタル印紙ノ額ヲ通算ス

第九條 削除

第十條中「申立」ヲ「申立、申出」ニ改ム

第十一條中「第九十七條」ヲ「第一百二十條」ニ改ム

第十二條乃至第十五條 削除

第十六條中「及ヒ第十二條」ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九 商事非訟事件印紙法中改正法律案
（政府提出、貴族院送付） 第一讀會

商事非訟事件印紙法中改正法律案
第一條中「民事訴訟法」ヲ削ル

第二條第三號ヲ削ル

第六條中「協議契約」ヲ「強制和議」ニ改ム

第八條中「第二章第五節」ヲ「第三章第一節」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十 非訟事件手續法中改正法律案
（政府提出、貴族院送付） 第一讀會

非訟事件手續法中改正法律案
第一條中「民事訴訟法」ヲ削ル

第二條中「左ノ如ク改ム

第四條第二項ヲ左ノ如ク改ム

管轄裁判所ノ指定ハ關係アル裁判所ニ共通スル直近上級裁判所中

ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第七條中「第六十四條」ヲ「第八十條」ニ改ム

但私文書ニ認證ヲ受クヘキ旨ノ命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第八條 民事訴訟法第五百十條ノ規定ハ申立及ヒ陳述ニ之ヲ準用ス

第二十二條 當事者カ其責ニ歸スヘカサル事由ニ因リ即時抗告ノ期間ヲ遵守スルコト能ハサル場合ニ於テハ其事由ノ止ミタル後一週間内ニ限り懈怠シタル行為ノ追完ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 削除

第二十五條中「前五條」ヲ「特ニ」ニ改ム

第二十九條中「第八十條第一項」ヲ「第九十三條」ニ改ム

第三十條第一項ニ左ノ但書ヲ加ヘ同條第二項ヲ削ル

但獨立シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第七十八條中「第七十二條第一項」ヲ「第八十九條」ニ改ム

第二百六十六條中「第九十八條及ヒ商法施行法第九十五條第二項、第二百二條第二項、第二百十條第二項」ヲ「及ヒ第九十八條」ニ改ム

第三百三十四條中「第四十八條及ヒ商法施行法第二百二條第二項」ヲ「及ヒ第四十八條」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二 競賣法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會

競賣法中改正法律案

第二十五條第三項ヲ削ル

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三 民法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會

民法中改正法律案

民法中左ノ通改正ス

第五百十條 支拂命令ハ債權者カ法定ノ期間内ニ假執行ノ申立ヲ爲ササルニ因リ其效力ヲ失フトキハ時効中斷ノ效力ヲ生セス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四 破產法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會

破產法中改正法律案

破產法中左ノ通改正ス

第二百八十八條第一項ヲ左ノ如ク改メ同條第四項ヲ削ル

破產者カ其ノ責ニ歸スヘカサル事由ニ因リ債權調査ノ期日ニ出頭スルコト能ハサルシトキハ其ノ事由ノ止ミタル日ヨリ一週間内ニ限り異議ヲ追完スル爲破產裁判所ニ原狀回復ノ申立ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五 明治三十二年法律第五十號中改正法律案（外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル件）（政府提出、貴族院送付） 第一讀會

明治三十二年法律第五十號中改正法律案

明治三十二年法律第五十號中左ノ通改正ス

第二條 削除

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第十六 刑事訴訟法中改正法律案（政府提出、貴族院送付） 第一讀會

刑事訴訟法中改正法律案

刑事訴訟法中左ノ通改正ス

第五百七十條但書ヲ削ル

第五百七十二條中「保證」ヲ「擔保」ニ「請求ノ拋棄ニ基キテ爲ス判決」ヲ「請求ノ拋棄」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（政府委員本田恒之君登壇）

○政府委員（本田恒之君） 民事訴訟費用法外九件ノ提案ノ趣旨ヲ申上ゲマス、此十件ノ法律ノ改正ハ、主トシテ民事訴訟法改正ニ伴ヒマシタル所ノ結果デアリマス、民事訴訟費用法中ニ訴訟費用算定ノ原則ヲ明ニスル規定ヲ設ケマシタコト、又訴訟上ノ救助ヲ爲シタル場合ニ於ケル費用ノ取立テニ關スル規定ヲ新設致シマシタコトハ、改正ノ主眼ニナツテ居リマス、其他ノコトハ總テ民事訴訟等ノ改正ニ伴ヒマス所ノ整理的ノ改正デゴザイマス、民事訴訟費用法中ニ貴族院ニ於テ一箇所修正ニナツテ居リマス、是ハ民事訴訟法ヲ修正サレタ結果デ、自然修正ニナツタ次第デアリマス、政府モ之ニ同意致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラント希望致シマス

○議長（稻谷義三君） 日程第十七、右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十七 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ヲ選舉

○井本常作君 各案ヲ一括シテ議長指名九

名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス、
向ハ議長ニ於テ直ニ委員ヲ指名セラレンコ
トヲ望ミマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○議長（粕谷義三君） 井本君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（粕谷義三君） 御異議ナシト認メマ
ス、只今委員付託ニナリマシタ民事訴訟費
用法中改正法律案外九件ノ委員ヲ直ニ指名
致シマス、平川松太郎君、菅原英伍君、廣瀬
德藏君、岡本實太郎君、磯部尚君、熊谷直
太君、黒住成章君、井坂豊光君、兒玉實良
君、右各委員諸君ハ直ニ第四委員室ニ御參
集ノ上委員長及理事ヲ互選セラレ、引續キ
會議ヲ開カレ、審議ヲ進メラレンコトヲ望
ミマス——日程第十八産業組合法中改正法
律案ノ第一讀會ヲ開キマス——、高田政府
委員

第十八 産業組合法中改正法律案（政
府提出、貴族院送付） 第一讀會

産業組合法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ依
テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十五年三月十五日

貴族院議長 公府徳川 家達

衆議院議長 粕谷義三君

産業組合法中改正法律案

（ハ貴族院修正ノ符號）

産業組合法中左ノ通改正ス

第一條第六項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

利用組合ノ設備ハ組合員ノ利用ニ支障
ナキ場合ニ限リ組合員タルコトヲ得サ
ル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ
利用セシムルコトヲ得

前項ノ設備ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第六條中「所得稅」下ニ「營業收益稅」
ヲ加フ

第六條ノ二 命令ノ定ムル所ニ依ル産業
組合ノ住宅ノ建設、購入若ハ住宅用地ノ
取得又ハ組合員ト組合員トノ間ニ於ケル
住宅若ハ其ノ用地ノ所有權移轉ニ關シ

テハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス
第四十三條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ取扱ヒタル物ノ數量 價額其ノ他
事業ノ分量ニ對シテ配當スヘキ剩餘金
ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

同條第二項ノ左ノ如ク改ム

組合員ニ配當スヘキ剩餘金又ハ持分ノ
計算ニ付テハ計算ノ基礎ト爲ルヘキ金
額ニシテ計算上不便ナル端數金額ハ之
ヲ切捨ツルコトヲ得

第五十九條中「郡長」ヲ「北海廳支庁長」
ニ改ム

第六十六條ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
但シ第五十九條及第六十六條ニ關スル規定
ハ郡長及島岡府廳止ノ日ヨリ之ヲ施ス

〔政府委員高田松平君登壇〕

○政府委員（高田松平君） 極メテ簡單ニ説
明ヲ致シマス、産業組合ノ普及及發達ハ最近
極メテ著シキモノガゴザイマス、其内
容實質ニ至テハ、向ホ整理改善ヲ要スル
モノガ多クアルノデゴザイマス、今後一層
産業組合精神ノ普及及徹底ト、組合事業ノ振
興發展トヲ期待セネバナラヌノデゴザイマ
ス、是ニ於キマシテ今回産業組合ノ普及及發
達ヲ圖ルニ差當テ必要ナル、二三ノ事項
ヲ改正シタイト思フノデアリマス、即チ其
第一ハ、利用組合ノ設備勅令ヲ以テ指定
シタルモノハ、組合員ノ利用ニ差支ナイ場
合ニ限ツテ、組合員タルノ資力ナキモノ、
其他組合員タルコトヲ得ザルモノヲシテ、
實費ヲ以テ之ヲ利用セシムルコトヲ認ムル
ノデゴザイマス、（即チ電氣水道、乾輪機等ノ
利用ノ如キ、公共的ニシテ而シテ獨占的性
質ノアル所ノ産業組合ニ依ル事業ノ經營ヲ
適切ナラシムルコトヲ得ザイマス、第二ハ
利用組合又ハ購買組合等ニ依テ行ハレル所
ノ住宅ノ供給事業ニ對シマシテ、地方稅ヲ
免除致シテ、中小產者ニ對スル住宅ノ供給
改善ノ事業ヲ保護獎勵スルコトヲ得ザイマ
ス、更ニ改正ノ第三點ハ、從來産業組合員
ガ其出資ノ拂込ヲ終ルマデハ組合員ニ配當

スヘキ剩餘金ハ、之ヲ出資ノ拂込ニ充當ス
ル原則ニ對シマシテ、所謂特別配當、即チ
組合員ガ利用シタル組合事業ノ分量ニ對ス
ル配當金ハ、之ヲ未拂込出資ノ拂込ニ充當
セザルヲ得ルノ例外ヲ認メマシテ、之ヲ組
合員ニ交付シ得ルコトニ改メ、以テ産業組
合及中央金庫ト、之ヲ組織スル者トノ間ニ
於テ、計算關係ヲ極メテ簡明テラシメテ事務
上ノ手續ヲ省キ、同時に其購買金融等ノ事
業ノ利用關係ヲ一層密接ニシテ、其事業ノ
發達ニカゾクセント欲スルノデアリマス、其
他稅制ノ整理、郡役所ノ廢止ニ依リマシテ
必要ナル二三ノ點ヲ改正セントシタルデア
リマス、貴族院ハ此點ニ於キマシテ審議ノ
當時ハ、是等ニ關スル根本問題ガ未ダ解決
セザルノ理由ヲ以テ、其關係條文ダケ削除
ヲ決議シタルノデゴザイマス、併シ其削除
ハ本案ノ實體ヲ別段害スルモノデハアリマ
セス、何卒慎重御審議ノ上、一刻モ早ク御
協贊ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス（拍手）

○議長（粕谷義三君） 日程第十九、右議案
ノ審查ヲ付託スヘキ委員選舉ヲ議題ト致シ
マス

第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委
員ノ選舉

○井本常作君 本案ハ議長指名九名ノ委員
ニ付託セラレンコトヲ望ミマス、向ホ議長
ニ於テ直ニ其委員ヲ指名セラレンコトヲ望
ミマス

○議長（粕谷義三君） 井本君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（粕谷義三君） 御異議ナシト認メマ
ス、只今委員ニ付託ニナリマシタ産業組合
法中改正法律案ノ委員ヲ直ニ指名ヲ致シマ
ス、荒川五郎君、由谷義治君、下元鹿之助
君、二木洵君、伊坂秀五郎君、高草美代藏
君、東郷實君、丹下茂十郎君、松山兼三郎
君、右委員諸君ハ直ニ第二委員室ニ御參集
ノ上、委員長及理事ヲ互選セラレ、引續キ
審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○井本常作君 重ネテ議事日程變更ノ緊急

動議ヲ提出致シマス、即チ日程第七十ヨリ
第九十二至九十四件ノ建議案ハ、何レ
モ前議會ニ於テ可決セラレタルモノト同一
又ハ同種ノモノデアリマス、會期モ切迫シ
テ居リマスカラ、此際右議案ヲ一括シテ議
題ト爲シ、提出者ノ趣旨辯明ハ之ヲ略シ、
希望ニ依リテ議長ノ適當ト認メタル程度ノ
簡明ナル理由書ハ之ヲ速記録ニ掲載スルコ
ト、シ即決可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長（粕谷義三君） 只今ノ井本君ノ動議
ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（粕谷義三君） 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程第七十七、帝國在郷軍人會國
庫補助ニ關スル建議案外十三件ヲ一括シ
テ議題ト致シマス

第七十七 帝國在郷軍人會國庫補助
ニ關スル建議案（佐々木春作君外四
名提出）

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案

ナカルヘカラス之レ鐵路局設置ヲ焦眉ノ急トスル所以ナリ

右建議ス

第七十九 高等師範學校設置ニ關スル建議案(佐々木春作君外五名提出)

高等師範學校設置ニ關スル建議案 高等師範學校設置ニ關スル建議案

山形縣山形市ニ高等師範學校ヲ設置シ優良ナル中等學校教員ヲ養成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第八十 白井鳥栖間鐵道敷設ニ關スル建議案(赤間嘉之吉君外三名提出)

白井鳥栖間鐵道敷設ニ關スル建議案 白井鳥栖間鐵道敷設ニ關スル建議案

政府ハ筑豊線白井驛ヨリ秋月甘木ヲ經テ九州線鳥栖驛ニ至ル鐵道敷設計劃ヲ立テ速ニ之ヲ建設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(補足)

白井驛ハ筑豊線ノ終點ニ近カキ筑豊炭礦地方ノ中心地方ノ一驛デアリマシテ鳥栖驛ハ九州線ノ鹿兒嶋線及長崎線ノ分岐點デ九州ニ於ケル主要驛デアリマス此兩地方ノ間ニハ石炭及炭礦地方ニ需要アル米穀、木材、坑木其他ノ物資ノ運搬及炭坑勞働者等ノ交通頗ル頻繁デアリマシテ現在ニ於ケル兩地間ノ交通運輸ハ遠ク飯塚、直方、折尾等ヲ迂回シマシテ數十哩ニ及ビマスルガ本線敷設ノ場合ニハ僅々十數哩ニテ兩地間ヲ結ビ付ケ獨リ一地方ノ便益ノミナラス此影響ノ及フ所ハ殆ント全國デアリマス本建議案ハ昨年モ本院ニ提出致シマシテ可決致シテ居ル線路デアリマスカラ今回ハ簡單ニ其ノ梗概ヲ述ベ御賛成ヲ請フ次第デアリマス何卒滿場一致可決セラレムコトヲ望ミマス

第八十一 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案(則元由庸君外六名提出)

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案 肥前山口諫早間鐵道速成ニ關スル建議案

モ國權威ヲ經視シ動モスレハ暴力の行動ヲ敢テシ一部極メテ過激ノ言論ヲ爲スモノ等漸ク多カラムトシ治安ノ確保ヲヨリ以上三期待セムトスルニ當リ警察官ヲ遇スルノ途甚ダ薄ク就中物質的方面ニ於テ特ニ著シキヲ見ル眞個同情ノ念禁スル能ハス之レ警察官ノ待遇改善案ヲ建議セル理由ノ一ナリ

一、警察官ハ不眠不休以テ社會公共ノ治安維持ヲ任務トス其ノ職責ノ重ニシテ且ツ大ナルコト到底他ノ官吏ニ比スヘクモアラズ然ルニ之レカ待遇ノ現狀ヲ見ルニ巡査ノ平均月俸僅ニ四十八圓内外警部ニ於テ七十圓警視ニ於テ百十圓内外ニ過キス國民ノ生活ハ一般ニ向上シ物價ノ昂騰セル今日如斯ハ警察官ヲ遇スルノ途ニアラス之レ待遇ノ改善ヲ希ム理由ノ二ナリ

一、社會文化ノ發達ト警察官ノ素質向上トハ極メテ重要ナル關係ヲ有ス近時警察官ノ素質低下ノ聲ヲ聞ク又優良ナル素質ヲ有スル者ノ警察官ニ志願スルモノ少キヲ聞ク如斯ハ畢竟其ノ根本問題トシテ待遇ノ改善ヲ圖ルニアラサレハ解決シ難キモノナリ之レ理由ノ三ナリ

一、警察能率ノ増進ハ素ヨリ警察官ノ職責ノ自覺ニ俟タサルヘカアラサルモノナラヘシト雖モ待遇ノ改善ヲ根柢ト爲スニアラサレハ不可能ノコトナリ之レ其ノ理由ノ四ナリ

一、警察官ハ平素民衆ニ直接シテ國權行使ノ重責ヲ負フ從テ取締又ハ執行ノ徹底ヲ期スルニハ警察官トシテ相當ノ威令行ハレサルヘカラス威令ノ行否ハ警察官ノ素質如何ニ至大ノ關係アリト雖モ一面警察官ノ待遇ヲ改善シ地位ノ向上ヲ圖ルニアラサレハ其ノ完キヲ望ミカタクシ之レ理由ノ五ナリ

一、警察官ハ平素寒暑ヲ冒シ水火ト戰ヒ兇刀ノ下ヲ浴ル等職務ノ性質ハ動モスレハ健康ヲ害シ常ニ其身ニ危險ヲ負擔ス之カ爲退職後僅ニ二箇年内外恩給ヲ受クルノミニテ死亡スト如何ニ職務

カ健康ニ及ホスカヲ知ルニ足ルヘシ之レニ依テ見テモ警察官ヲ精神のニモ物質的のニモ相當優遇セサルヘカアラサルカヲ之レ理由ノ六ナリ

一、近時ノ警察ハ漸次國內的のヨリ國際的トナリ其ノ職務範圍モ自ラ領域ニ變化ヲ來セリ從テ諸外國ニ對スル關係上ヨリ見ルモ我國警察官ノ地位ヲ向上セシメ待遇及服裝等ノ改善ヲ期スルハ急務ナリ之レ理由ノ七ナリ

一、軍人ト警察官トハ其ノ職務ノ性質何レモ一致シハ戰時ニ於ケル對外關係ヲ司リハ平時ニ於テ對內關係ヲ司ル共ニ等シク國家樞要ノ機關ナリ然ルニ精神、物色兩面トモ其ノ待遇ニ著シキ差異アリ之レ理由ノ八ナリ

以上ノ外

一、一般官吏ニ比シ居住ノ制限アリ口、警察官ナルカ故ニ特ニ嚴重ナル職務的制裁アリ

ハ、巡査ノ俸給ハ勅令ニ於テ何圓以上何圓以下ト規定シアルモ各府縣ハ經濟上ノ見地ヨリ平均額ニ著シキ差等アリ一般ニ平均額少キニ過ギ勅令ノ要求スル俸給ヲ受クルモノ殆ドナシ

ニ、巡査ハ被服料アルモ警部以上ニハ被服料ナシ陸海軍鐵道省官內省其ノ他概シテ制服ノ着用ヲ法規ニ於テ強制スル所ニ於テハ現品ヲ貸與シ又ハ任官手當トシテ相當ノ支度料ヲ給スル如シ警察官ハ職務ノ性質上相當ノ威信ヲ保持セサルヘカラス從テ服裝ノ如キモ常ニ端正嚴肅ナルヲ向フト共ニ一面制服ヲ着用職務ノ執行ニ當ラサルヘカアラサルヲ以テ時ニハ水火ヲ辭セス敢然トシテ執行ノ完キヲ期スルノ任ニアリ現在ノ俸給ニテ斯ル危險ヲ冒シ服裝ノ端正ヲ望ムハ到底期シ得ラレサル所ナリ

ホ、警察官ノ家族就中其ノ子弟ノ教養ハ威信ト重大ナル關係ヨリ現在ノ俸給ニテ果シテ子弟ノ教育ニマテ及ハシ得ルヤ望ミカタクコトナリ

（義務教育費國庫負擔額ノ増加ハ國

民教育義務教育ノ完全ヲ期スルニ在

リテ甚タ良シ然シ教育ハ積極的思想

ノ善導ナリ警察ハ消極的思想ノ善導

ナリ從テ兩者ノ關係ヲ無視シテ思

想ノ善導ハ望ミカタクシ

ト、小學校教員ハ學校内ニ於テノミ子

弟ノ教育ニ當ル警察官ハ一般社會ニ

於テ常ニ子弟ノ教育ニ當ル決シテ學

齡兒童ノミニアラサルナリ此ノ點ヨ

リ見ルモ警察官ノ待遇改善ハ急務ナ

リ

チ、警察官カ確固不拔ノ信念ノ下ニ全

國一齊ニ危險思想ノ取締ヲ實行セン

カ其ノ成績ハ期シテ待ツモノ多シ支

那ノ國情常ニ定マラス露西亞ノ國情

一朝ニシテ變化セル裏面ニハ警察官

ノ信念ニ缺クル所アリタルコト決シ

テ否ムコトノ能ハサル事實ナリ

リ、獻身報國ト云ヒ犧牲の精神ト云フ

モ畢竟スル所ハ其ノ素質ノ如何待遇

ノ如何、社會的ニ警察官ヲ遇スル途

ノ厚薄ニ重大ナル關係アルコト勿論

ナリ

ス、社會ハ常ニ進化ス進化ニ伴ヒ生活

ノ樣式服裝等之ニ適應スル樣改善セ

ラル、コトハ之ヲ流行ヲ逐フノ一時

ニ見テモ明カナリ警察官ノ服裝ハ必

スシモ流行ニ從フヘキモノニハアラ

サルモ少クトモ時代ニ順應シタル

服裝ニ改善スルコトハ必要ナリ現在

ノ服裝ハ明治四十一年頃ノ制定ニ

シテ時代ニ添ハス改善ノ要アリ

第八十四 左澤荒砥間鐵道速成ニ關ス

ル建議案（西方利馬君外五名提出）

左澤荒砥間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ山形縣左澤ヨリ東五百川ヲ經テ荒

砥ニ至ル間ノ鐵道ヲ速成シ以テ運輸交通

ノ發達ヲ促進セムコトヲ望ム

右建議ス

ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案

（八田宗吉君外二名提出）

國有林野所在府縣市町村ニ對シ交付金

下付ニ關スル建議案

國有林野所在府縣市町村ニ對シ交付

金下付ニ關スル建議案

地方財政ノ窮乏ニ至ラサルナキ現狀ニ於テ

國有林野ノ面積四百三十七萬町步ニ對シ

地方公共團體カ此ノ地籍ニ何等歲入ヲ計

ルノ途ナキハ地方振興策ノ上ニ於テ誠ニ

遺憾トスル所ナリ而シテ本問題ハ近年毎

議會政府ニ於テ同意ヲ表シ年一定ノ金

額ヲ國庫ヨリ交付スヘク屢聲明セラレタ

ル所ナリ故ニ政府ハ速ニ之ヲ斷行シ地方

振興ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第八十六 馬政振作ニ關スル建議案

（八田宗吉君提出）

馬政振作ニ關スル建議案

國防上並產業上至大ノ關係ヲ有スル馬政

ノ現狀ハ甚タ不振ノ傾向アリ依テ政府ハ

左ノ施設ヲ爲スヘシ

一 馬政委員會ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ常

設ノ機關トスルコト

二 馬匹ノ民間利用ノ方法ヲ擴張シ軍事

上及農事上遺憾ナキヲ期セシムルコト

右建議ス

第八十七 京都市ニ國立音樂學校設置

ニ關スル建議案（森田茂君提出）

京都市ニ國立音樂學校設置ニ關スル建

議案

國民ノ情操教育ノ爲音樂ノ普及ヲ圖ルノ

必要アルコトハ敢テ絮說スルノ必要ヲ認

メス然ルニ之カ教育機關ノ完備セザルハ

頗ル遺憾トスル所ナリ今茲ニ關西文化ノ

淵藪地タル京都市ニ少クトモ東京音樂學

校ト對比シテ遜色ナキ國立音樂學校ヲ設

置シ其ノ缺陷ヲ匡救スルハ刻下ノ急務ナ

リト信ス

如上ノ趣旨ニ依リ第五十回議會ニ於テ衆

議院ハ本建議案ヲ滿場一致ヲ以テ可決セ

リ政府ハ速ニ追加豫算ヲ計上シ其ノ實現

ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第八十八 越美線速成ニ關スル建議案

（猪野毛利君外一名提出）

越美線速成ニ關スル建議案

越美線速成ニ關スル建議案

福井市ヨリ美濃太田町ニ通スル越美線ハ

岐阜縣方面ヨリノ工事進捗シテ其ノ一部

ハ既ニ開通セルモ福井縣方面ヨリハ未タ

工事ニ着手ナシ故ニ政府ハ宜シク該方面

ヨリモ起工シテ全線開通ノ速成ニ出テラ

レムコトヲ望ム

右建議ス

第八十九 帝國在郷軍人會國庫補助ニ

關スル建議案（蟻川五郎君外二名

提出）

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建

議案

政府ハ國防上ニ至大ナル關係ヲ有スル帝

國在郷軍人會ニ毎年若干ノ補助金ヲ交付

シ同會ノ健全ナル發達ヲ促進セラレムコ

トヲ望ム

右建議ス

第九十 二見港三田間鐵道敷設ニ關ス

ル建議案（多木久米次郎君提出）

二見港三田間鐵道敷設ニ關スル建議案

兵庫縣二見港ヨリ山陽線土山驛及三木町

ヲ經テ福知山線三田驛ニ至ル鐵道ノ敷設

ハ神戸以西ト山陰北陸方面トヲ連絡スル

捷徑ナルノミナラス從來交通機關不備ナ

ル播州東部ノ沃野ヲ縱走スルコトニ依リ

テ產業經濟上ノ一大發達ヲ期シ得ヘシ依

テ政府ハ速ニ之カ建設ノ計畫ヲ立テラレ

ムコトヲ望ム

右建議ス

第九十一 帝國軍人後援會國庫補助ニ

關スル建議案（加藤政之助君外三名

提出）

帝國軍人後援會國庫補助ニ關スル建

議案

帝國軍人後援會國庫補助ニ關スル建

議案

軍人ヲシテ後顧ノ憂アラシムカ國民皆

兵主義ノ精神ヲ銷磨シ思想ノ惡化ヲ助成

ス況ヤ思フ世界ノ大勢ニ潛ムル時帝國ノ

現況實ニ深憂ニ堪ヘサルモノアルニ於テ

オヤ國家法アリト雖萬能ニ非ス國帑給ス

ルト雖之ヲ普クスルコトヲ得ス故ニ世界

列強ハ官民相待チ以テ之カ匡救ニ努メ施

設ノ抵ラサルナシ帝國軍人後援會爰ニ見

ルアリ現役軍人ノ家族在郷軍人廢兵並其

等遺族ノ救護恩給ニ勉メ思想ノ善導ニ盡

シ尙青少年ニ對シ軍事思想ヲ普及シ且資

財ヲ蓄積シテ國家總動員ノ急ニ應スル準

備ヲ爲スコト三十年事 聖鑑ニ副ヒ茲ニ

恩賜ヲ拜セシノミナラス又自族ヲ總裁ニ奉

戴スルコト十四年天恩優渥益使命ノ重ヲ

感ス今ヤ奮テ時勢ノ惡潮ト闘ヒ大ニ國防

ノ眞義ヲ闡明シ斯業ノ發展ヲ圖ルモ資力

微ニシテ理想ノ萬一ヲ行フ能ハス依テ國

庫ノ補助ヲ得テ報効ノ誠ヲ致サムコトヲ

期ス

右建議ス

第九十二 帝國在郷軍人會國庫補助ニ

關スル建議案（中林友信君外五名提

出）

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建

議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建

議案

政府ハ帝國在郷軍人會ニ對シ毎年相當ノ

補助金ヲ交付シ以テ良兵良民主義ヲ徹底

セシメ同團體ノ健全ナル發達ヲ促進セラ

レムコトヲ望ム

右建議ス

第九十三

金鵄勳章並旭日章年金改正

即行ニ關スル建議案（中林友信君外

九名提出）

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

右建議ス

金鷄勳章並旭日章年金改正即行ニ關スル建議案

金鷄勳章並旭日章年金改正即行ニ關スル建議案

今や物價ハ騰貴シ生活ハ不安ノ状態ニ在リ金鷄勳章並旭日章年金ノ如キハ零碎ナル賜金ニ浴スル感ナシトセス斯ノ如キハ忠勇ナル軍人ヲ遇スル所以ニ非ス仍テ政府ハ速ニ該年金増加ノ道ヲ講シ以テ直ニ實行セラルヘシ

右建議ス

第九十四 養蠶組合法制定ニ關スル建議案(山田道兄君提出)

養蠶組合法制定ニ關スル建議案

養蠶組合法制定ニ關スル建議案

政府ハ速ニ養蠶組合法ヲ制定セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第九十五 猿投神社昇格ニ關スル建議案(岡本實太郎君提出)

猿投神社昇格ニ關スル建議案

猿投神社昇格ニ關スル建議案

政府ハ愛知縣縣社猿投神社ヲ官幣社ニ昇格セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第九十六 高等蠶絲學校建設ニ關スル建議案(岡本實太郎君外二名提出)

高等蠶絲學校建設ニ關スル建議案

高等蠶絲學校建設ニ關スル建議案

政府ハ高等蠶絲學校ヲ愛知縣下ニ建設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第九十七 若松市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(町野武馬君外一名提出)

若松市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案

若松市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案

福島縣若松市ニ高等師範學校ヲ設置シ優良ナル中等學校教員ヲ養成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第九十八 自營林業獎勵ニ關スル建議案(村山喜一郎君提出)

自營林業獎勵ニ關スル建議案

自營林業獎勵ニ關スル建議案

政府ハ農村生活ノ安定向上ヲ圖リ且部落有林野ノ荒廢ヲ防止スル目的ヲ以テ部落有林野ヲ分割シ各農民ヲシテ八十年間ノ地上權ヲ取得セシムルノ施設ヲ爲シ以テ其ノ植林ヲ獎勵セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第九十九 廣瀨鐵道速成ニ關スル建議案(河野曉君外二名提出)

廣瀨鐵道速成ニ關スル建議案

廣瀨鐵道速成ニ關スル建議案

山陽線横川ヨリ加計ヲ經テ山陰線濱田ニ通スル線路ハ地域廣キニ互リ木材薪炭等ノ林產物ノミナラス米麥其ノ他諸糧ノ所產多ク一般ノ資源豐富ニシテ國民利益ノ發展上鐵道ヲ敷設スルノ必要極メテ切要ナルノミナラス殊ニ北緯地方トノ海上交通ヲ便ニシテ之ヲ本土幹線ニ連絡スルトキハ因テ以テ多大ノ日子ト費用トヲ節約シテ彼我ノ利益ヲ増大スルコト渺カラス況ヤ日本海方面ト太平洋方面トヲ連絡スルコトハ實ニ經濟上ニ於ケルノミナラス國防上ニ於テモ國策上極メテ必要大切ノコトタルハ今茲ニ多言ヲ要セサルナリ

本線ハ斯ル必要有益ノ線路ニシテ政府ニ回ノ踏査ヲ行ハレタルモ未タ起工著手セラルルニ至ラス國運發展上實ニ遺憾ノ至ト謂フヘシ故ニ政府ハ急速ニ之ノ計畫ヲ立テ敷設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第一百 濫川長野原間鐵道速成ニ關スル建議案(木村三郎君提出)

濫川長野原間鐵道速成ニ關スル建議案

濫川長野原間鐵道速成ニ關スル建議案

本線ハ上越線中濫川停車場ヨリ分岐シテ群馬縣吾妻郡中之條、原ヲ經テ長野原ニ達スル線ニシテ沿線ニハ世界の二有名ナル草津溫泉及近時急速ノ發展ヲ爲セル四萬溫泉川原湯溫泉等アリテ外來浴客ノ出入頗ル頻繁ナリ加フルニ林產物ノ搬出豐富ナルモノアリ故ニ鐵道計畫トシテ速ニ建設セラルヘカラス殊ニ本線ハ進ムテ信州上田ヘ連絡セシムルモノニシテ以テ輕井澤線ノ輸送力不足ヲ償フニ足ル重要線路ナリ依テ速ニ本線ノ建設豫算計上ヲ望ム

右建議ス

第一百一 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(長田桃藏君外四名提出)

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

ル草津溫泉及近時急速ノ發展ヲ爲セル四萬溫泉川原湯溫泉等アリテ外來浴客ノ出入頗ル頻繁ナリ加フルニ林產物ノ搬出豐富ナルモノアリ故ニ鐵道計畫トシテ速ニ建設セラルヘカラス殊ニ本線ハ進ムテ信州上田ヘ連絡セシムルモノニシテ以テ輕井澤線ノ輸送力不足ヲ償フニ足ル重要線路ナリ依テ速ニ本線ノ建設豫算計上ヲ望ム

右建議ス

第一百二 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(長田桃藏君外四名提出)

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案

國防上重大ノ關係ヲ有スル帝國在郷軍人會ニ對シテ毎年相當ノ國庫補助金ヲ交付シ其ノ健全ナル發達ヲ企圖セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第一百三 福井縣三國港築港並竹田川改修ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君提出)

福井縣三國港築港並竹田川改修ニ關スル建議案

福井縣三國港築港並竹田川改修ニ關スル建議案

桑ニ第四十回乃至第四十二回議會及第五十回議會ニ及リ四度本院ヨリ建議シタル福井縣三國港ノ築港並之ト關聯シテ縣下ノ一大河川タル竹田川及其ノ支流兵庫川ノ改修ハ農村ノ困憊慘狀ヲ救済シ產業發展ノ上ニ於テ緊切要ナルヲ認ム依テ政府ハ速ニ調査ヲ遂ク之カ築港並改修ノ工ヲ遂行セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第一百四 養蠶組合法制定ニ關スル建議案(加藤知正君外三名提出)

養蠶組合法制定ニ關スル建議案

養蠶組合法制定ニ關スル建議案

養蠶組合法制定ニ關スル建議案

右建議ス

現下我カ邦ノ養蠶ハ極メテ重要ナル産業ニシテ國家經濟ノ支柱石ヲ爲スモノナリ而シテ養蠶業カ組織スル中令ノ養蠶組合ハ其ノ數實ニ二萬有餘ニ達セリ雖其ノ組織上ニ適當ナル法令ノ據ルヘキモノナキヲ以テ未タ斯業ノ健全ナル進步發達ヲ觀ル能ハサルハ頗ル遺憾トスル所ナリ故ヲ以テ之ヲ保護助長スル爲此ノ際速ニ單行ノ養蠶組合法ヲ制定發布セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第一百五 北海道上高等學校設置ニ關スル建議案(柳仲次郎君外六名提出)

北海道上高等學校設置ニ關スル建議案

北海道上高等學校設置ニ關スル建議案

政府ハ北見國興部ヨリ札幌市幸ヲ經テ濱頓別ニ至ル鐵道ヲ速成シ同地方開發速進ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第一百六 留萌羽幌間鐵道速成ニ關スル建議案(淺川浩君外六名提出)

留萌羽幌間鐵道速成ニ關スル建議案

留萌羽幌間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ天鹽國留萌ヨリ羽幌ニ至ル鐵道ヲ速成シ同地方開發速進ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第一百七 高等工業學校設置ニ關スル建議案(柳仲次郎君外六名提出)

高等工業學校設置ニ關スル建議案

高等工業學校設置ニ關スル建議案

北海道上高等工業學校ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第百八 小頓別枝幸港間鐵道速成ニ關スル建議案(淺川浩若外六名提出)

小頓別枝幸港間鐵道速成ニ關スル建議案

小頓別枝幸港間鐵道速成ニ關スル建議案

小頓別枝幸港間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ北見國小頓別ヨリ枝幸港ニ至ル鐵道ヲ速成シ同地方開發速進ニ資セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第百九 宗谷線恩根内咲來間ニ停車場設置ニ關スル建議案(淺川浩若外六名提出)

宗谷線恩根内咲來間ニ停車場設置ニ關スル建議案

宗谷線恩根内咲來間ニ停車場設置ニ關スル建議案

宗谷線恩根内咲來間ニ停車場設置ニ關スル建議案

政府ハ宗谷線恩根内咲來間ニ停車場ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第百十 根北鐵道速成ニ關スル建議案(小池仁郎君外六名提出)

根北鐵道速成ニ關スル建議案

根北鐵道速成ニ關スル建議案

根北鐵道速成ニ關スル建議案

根北鐵道速成ニ關スル建議案

根北鐵道速成ニ關スル建議案

根北鐵道速成ニ關スル建議案

根北鐵道速成ニ關スル建議案

根北鐵道速成ニ關スル建議案

根北鐵道速成ニ關スル建議案

根北鐵道速成ニ關スル建議案

ノ發展ヲ策シ拓殖ノ進捗ト國產ノ安定ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第百十一 有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案(手代木隆吉君外六名提出)

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

有珠岳洞爺湖及登別溫泉ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

室蘭港海陸連絡ニ關スル建議案

交通ノ發達ヲ促進セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第百二十一 釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案(小池仁郎君外六名提出)

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

釧路網走間鐵道速成ニ關スル建議案

第二百一十五 野岩羽鐵道速成ニ關スル

建議案(八田宗吉君外一名提出)

野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案

野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案
政府ハ山形縣米澤ヨリ日中ヲ經福島縣喜多方ニ至ル鐵道會津若松ヨリ田島ヲ經栃木縣今市ニ至ル鐵道及栃木縣鹿沼ヨリ栃木ヲ經茨城縣古河ニ至ル鐵道ヲ速成シ以テ運輸交通ノ發達ヲ促進セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第二百一十六 柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案

柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉君提出)

柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ福島縣柳津ヨリ只見ヲ經新潟縣小出ニ至ル間及前記只見ヨリ古町ニ至ル間ノ鐵道ヲ速成シ以テ運輸交通ノ發達ヲ促進セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第二百一十七 湖南鐵道建設ニ關スル建議案

議案(八田宗吉君提出)

湖南鐵道建設ニ關スル建議案

湖南鐵道建設ニ關スル建議案
政府ハ速ニ磐越西線廣田驛ヲ起點トシテ猪苗代湖ノ南岸福良ヲ經東北本線白河驛ニ至ル間ノ鐵道ヲ建設シ以テ運輸交通ノ發達ヲ促進セラレムコトヲ望ム

第二百一十八 林業金融ニ關スル建議案

(東武君外十名提出)

林業金融ニ關スル建議案

林業金融ニ關スル建議案
日本勸業銀行法及預金部資金運用規則等ニ於テハ田畑山林等ニ對シ均シク貸付ヲ爲スヘキ規定ナルモ日本勸業銀行ノ實際ノ運用ヲ考フルニ田畑ヲ擔保トスル場合ト山林ヲ擔保トスル場合トハ大ニ其

ノ趣ヲ異ニシ山林ニ對シテハ故ラニ貸出シテ好マサルモノノ如シ是レ畢竟實際ノ森林調査カ甚タ困難ナル事情アルニ職由スヘシト雖廣ク林業金融ノ途ヲ開クハ林業獎勵上刻下ノ急務タリ政府ハ法規ノ運用上偏輕偏重ノ取扱ナキ様注意スヘシ

右建議ス

(補足)

殖林其ノ他林業經營上低利ナル金融ノ必要テアルコトハ少シク農村ノ事情ニ通スル人ノ普ネク知悉シテ居ルコトアリマス然ルニ日本勸業銀行法及預金部資金運用ノ規則等ヲ見マスレハ山林ニ對シテハ田畑等ト同様ニ貸付ヲ爲スヘキ規定ガアリマス然レドモ實際ノ運用ノ振合ヲ見マスレハ大ニ事情ヲ異ニスルモノハアルコト窺ヒ知ルコトガ出來マス從テ林業ニ對スル金融ノ途ヲ開クコトハ刻下ノ急務テアリマス而シテ本案ハ全國山林會聯合會一致ノ決議テアリマス衆議院ニ於ケル各派一致ノ提案テアリマスルカ故ニ滿場一致御賛成アラントヲ希望致シマス

第二百一十九 國立公園調查機關設置ニ關スル建議案

國立公園調查機關設置ニ關スル建議案(東武君外十名提出)

國立公園調查機關設置ニ關スル建議案
國立公園調查機關設置ニ關スル建議案
國民ノ保健及教化上國立公園ノ必要ナルト近年各地方ヨリ國立公園設置ノ建議續出スルニ鑑ミ政府ハ速ニ國立公園調查機關ヲ設ケ以テ國立公園ニ關スル政策ヲ樹立シ適當ナル候補地ヲ選定シ之カ根本計畫ヲ設定シ官民ヲシテ據ル所アラシムヘシ

右建議ス

(補足)

國立公園設置ノ問題ハ近年毎議會ニ建議案其ノ他ノ提案ヲ見ル位デ其ノ必要ナルコトハ茲ニ説明ヲ要セサルモノト存シテ居リマス而シテ其ノ候補地ト目スヘキ地ハ多クハ山水動植物等ノ自然ヲ目標トスルモノテアリマス此ノ儘之ヲ放置致シ

マスレハ樹木ノ伐採其ノ他ノ爲今日ニ於ケル適地ヲ他日之ヲ回復スヘカラサルニ至ル等ノ虞レモアリマスカラ政府ヲシテ速ニ其ノ調査機關ヲ設ケシムルコトハ刻下ノ急務テアルト存シマス此故ニ全國山林會聯合會一致ノ決議ニ基キ各派聯合ヲ以テ本案ヲ提出シタル次第アリマスカラ何卒滿場一致可決セラレンコトヲ望ミマス

第三百三十 立木ニ關スル法律改正ニ關スル建議案

立木ニ關スル法律改正ニ關スル建議案(東武君外十名提出)

立木ニ關スル法律改正ニ關スル建議案
明治四十二年法律第二十二號立木ニ關スル法律ハ植栽ニ依リ生立セル樹木ニノミ適用サルモ植栽ニ依ラスシテ生立セル樹木ニハ適用ナシス如クムハ我が國森林ノ大部分ヲ占ムル天然林ノ樹木ヲ賣買抵當ニ付スルニ不便カラス政府ハ宜シク右法律ヲ改正シ植栽ニ依ラスシテ生立セル樹木ニモ適用スルコトヲスルヲ要ス

右建議ス

(補足)

立木ニ關スル法律ハ植栽致シタル樹木ニノミ適用スルコトニナツテ居リマスケレトモ樹木ハ植栽エマセシテ自然ニ生エマスル樹木ニハ之ヲ適用セナイコトニナツテ居リマスケレトモ此法律ハ此兩者ニ適用スルコトニ致サナケレハ樹木ノ賣買又ハ抵當トスル場合ニ於ケル不便カ甚タ多クナクアリマセマ本案モ此理由ニヨリマシテ全國山林會聯合會ノ決議ニ基キ各派聯合提出ニ係ルモノテアリマスカラ何卒可決セラレンコトヲ望ミマス

第三百三十一 金雞勳章旭日章年金改正ニ關スル建議案

金雞勳章旭日章年金改正ニ關スル建議案(古川清君外二名提出)

金雞勳章旭日章年金改正ニ關スル建議案
勳章ノ制定ナキ時代ニ於テハ武功ノ表彰ハ其ノ優劣ニ應ジ祿高ヲ給賜シタリ現在

金雞勳章旭日章ノ年金ハ武功ノ拔群者ニ對シ名譽ノ勳章ト相俟テ加賜セラレタルモノニシテ名實相伴ヒ誠ニ深遠ナル御恩召ニ依ル恩賞方法ナリ然ルニ之カ制定後三十年ニ垂ムトスル今日加賜金額ノ改正ヲ見サルハ時代ニ順應セサル優遇方法ト謂フヘシ既ニ本院ニ於テハ金雞勳章年金增額ノ請願ハ毎會期採擇ナリ殊ニ第四十九回議會及第五十回議會ニ於テハ政府ニ對シ年金改正即行ニ關スル建議ヲ爲シタリ然ルニ未タ實施ヲ見スシテ今日ニ至リ方今ノ時局ニ鑑ミルモ物價ノ變動ニ因ル年金額ノ不平均ヲ時世ニ適應セシムルハ最緊要ノ事柄ナリ旭日章年金モ之レト同一ノ意味ニ於テ速ニ其ノ年金額ヲ改正増額セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第三百三十二 高田市ニ高等農林學校設置ニ關スル建議案

高田市ニ高等農林學校設置ニ關スル建議案(富永孝太郎君外三提出)

高田市ニ高等農林學校設置ニ關スル建議案
高田市ニ高等農林學校設置ニ關スル建議案

建議

第三百三十三 磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案

磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案(八田宗吉君外一名提出)

磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案
磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案

建議

第三百三十四 國有林野法中改正ニ關スル建議案

國有林野法中改正ニ關スル建議案(八田宗吉君提出)

國有林野法中改正ニ關スル建議案
政府ハ風光明媚世界の風致ヲ以テ其ノ名高キ磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園ヲ設定シ以テ此ノ風景ヲ發揮セシメ内外人ノ一大遊園地タラシムヘシ

右建議ス

クハカリテ、小學校本科正教員ノ平均月俸ガ六十二圓テアルノニ實業補習學校ノ專任教員ハ平均月額五十一圓餘、兼任教員ハ平均月額三十圓八十錢トイフ少額極マルモノデアリマス、教員ノ配置待遇ガ斯様ナ情態デアツテ、ソレテ補習教育ノ實績ヲ擧ゲウツシテモ夫レハ望ム方カ無理ト謂ハナケレハナリマセヌ、元來政府カ當初教員俸給ノ補助トシテ年額三十萬圓ヲ計上シタノハ專任教員俸給ノ三分ノ一ハ國庫ヨリ、三分ノ一ハ府縣ヨリ支出シ兩者ヲ合シテ教員給ノ三分ノ二ヲ補助スル精神デアツタノデアツテ、當時專任教員俸給總額カ八十五萬餘圓デアツタカラ其ノ三分ノ一ニ當ル三十萬圓、即チ俸給總額ノ三分五十分ヲ支出シタノデアアル間イテ居リマス、ソコテ地方ニ於テハ專任教員ノ必要ナルコトヲ切實ニ認メテ居ツタ所ヘ三分ノ二ノ補助カアルトイフノテ競ウテ專任教員ヲ置キ、大正十四年度ノ人員ハ九千二百餘人、之ニ對シテ五百七十五萬圓ノ俸給ヲ支出スルマテニナツタノデアリマス、然ルニ政府ニ於テハ當初ノ聲明ヲ裏切り一向ニ補助額ヲ増加シヨウトモセス依然トシテ三十萬圓止メテ居ルタメ、市町村ニ交付サレル補助金ノ率ハ急激ニ低下シテ、大正九年度ニ三割五分デアツタモノカ大正十四年度ニハ僅ニ五分ニ過キナイ些細ナ額ニナリ、當初四百圓ノ交付ヲ受ケタ市町村ハ漸次減額サレテ只今ハ五六十圓ノ少額ヲ交付サレテ居ルヤウナ次第デアリマス、地方ニ於テ專任教員ヲ置イタノハ斯ノ教育ノ必要ヲ痛感シタ爲テアルトハイヘ、大部分ノ市町村ハ國庫ノ補助ヲ土臺トシテ之ヲ置イタノデアアルノニ、政府ハ殆ド相關セサルモノノ如ク放任シテシマツテ、專任教員カ多クナリ俸給ガ増加シテモ更ニ補助金ヲ増サナイカラ、市町村ニ於テハ財政ニ脅迫ヲ來シ四苦八苦ノ體テ、今後ノ教員増置ハ殆ト絶望ニナツテ來タハカリテナク、現ニ就職シテ居ル教員ノ存續スラ困難ニナリ、折角置イタ專任教員ヲ

廢スルヤウナ町村モ決シテ稀テナイ實情デアリマス
更ニ教員養成ノ問題ニ付テハ實業補習學校教員養成所カ制定セラレ、道府縣ニ於テ免モ角モ四十箇所ハカリノ教員養成所ヲ設立シマシタケレトモ、現内閣ハ之ニ對シテ康觀ノ體テ、何等積極ノ方法ヲ講シナイカラ、養成所ノ設備ハ概シテ不完全極マルモノデアリ、甚タシキハ一名ノ專任教員ヲモ置イテ居ナイ養成所カアル位デアリマス、加之尙未タ男教員養成所スラ設置シナイ府縣カアリ、女子教員ノ養成機關ニ至ツテハ僅ニ三縣ニ於テ之カ施設ヲ爲スニ過キナイノデアリマス、岡田支相ハ小學校教育改善ノ前提トシテ師範教育ノ改善ヲ企畫シナカラ、實業補習學校教員ノ養成ニ就テハ何等ノ方法ヲモ講シテ居ラレナイノハ洵ニ心外ノ至リテ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、勿論實業補習教育ヲ根本ノニ考ヘマス、國民一般ノ素養ヲ向上スルヲ以テ目的トスルノデアアルカラ、是非トモ全部ノ青年子女ヲ實業補習學校ニ收容スルノ方法ヲ講シナケレハナリマセヌ、然ルニ現在ノ情況ヲ見マスルト、年々小學校修了者百二十萬人中、上級學校入學者ヲ控除シ實業補習學校ニ入學者ヘキモノハ百萬人ニ近イノニ、實際ノ入學者ハ約四十萬人テ、残りノ大多數即チ約六十萬人ハ小學校教育ノミテ、其ノ外ニ學校教育ヲ受ケス直チニ實生活ニ入ツテシマフ情況デアリマスカ、此ノ六十萬人ノ子女ニ職業上ノ教養ヲ得サセ公民タルノ訓練ヲ施サナケレハ民衆一般ノ智德ヲ向上スルコトハ出來ナイノデアアルカラ、此ノ最大多數者ヲ何等カノ方法ヲ以テ實業補習學校ニ導クヤウニシナケレハナリマセヌ、サウスルニハ結局歐米諸國ニ於ケルト同様ニ之ヲ義務教育トスルコトカ其ノ根本トナルカ此ノ義務制ノ問題ハ年來論議セラレタ所デアツテ、カノ臨時教育會議ニ於テ「實業補習教育ハ益其ノ普及發達ヲ獎勵シ成ルヘク速ニ之ヲ全部又ハ一部ノ義務教育ト爲

シ得ルニ至ラシムルコト」ト決議セラレテカラム已ニ八九年ヲ經過シ、今日ニ於テハ最早論議ノ時期ガ過キ去リ之ニ對スル國論ハ既ニ業ニ一定シテ居ルノデアリマス、小學校教育ヲ延長スルニハ地方財政ノ膨脹等種々ノ支障カアリマセウケレトモ實業補習教育ハ地方ノ財政ヲ脅カサス僅少ナル經費ヲ以テ義務制ト爲スコトカ出來ルノデアツテ、之ヲ實施スルニモ強チ劃一的ニ全國ノ市町村ニ同時ニ同様ニ行ハス町村ナリ府縣ナリノ任意ニシ、或ル府縣、或ル市町村ニ於テ之ヲ義務トスルヤウナ仕方モアリマスカラ、適當ノ方法ヲ以テ一刻モ速ニ之ヲ義務制トセラレタイノデアリマス
尤モ實業補習教育ノ振興ニ就テハ已ニ第五十議會ニ於テ三派一致シテ建議シタルアルカ、其ノ際當局ハ「來年度即チ大正十五年度ニハ必ス努力シテ之カ實現ヲ期スル」ト言明シ、貴族院豫算總會ニ於テモ岡田支相ハ「實業補習教育ハ成ルヘク速ニ全體ニ普及スルノ方法ヲ執ラウ、實業補習教育ノ義務制ハ義務教育年限延長ニ比較スルハ極メテ實行シ易イ事デアルカラ出來ルタケ速ニ相當ノ施設ヲスル」ト陳ヘラレ、又昨午ノ地方長官會議ニ於テモ「實業補習學校ニハ出來得ル限り適良ナル專任教員ヲ置キ又教員養成機關ヲ完備シテ之カ改良刷新ヲ圖ルコトヲ急務トスルカラ政府ニ於テハ國庫補助ノ増額、教員養成所ノ充實等ニ付特ニ力ヲ致ス考テアル、故ニ地方長官モ一層斯教育ノ振興ヲ圖リ國民教育ノ完成上遺憾ナキヲ期セラレタイ」ト訓示セラレテ居ル、斯様ニ文相ハ補習教育ノ振興ニ就キ機會アル毎ニ國民ニ言明シ約束シテ居ラレタノデアアルカラハ、今議會ニハ之カ實行ニ關スル豫算モ表ハレルコト、信シテ居タ所カ豫算案ニハ一ツモ夫レラシイモノカ計上サレテ居ナイノデアアル、ツマリ岡田支相ハ自ら進ンテ言明シ公約シタコトヲ掌ヲ反ス如ク勝半ニ抛擲シタノデアツテ、其ノ亂暴ナル態度ニハ驚クノ外ハナイ、尤モ新聞

紙ニハ、文相ハ補習教育ニ對スル豫算ヲ要求シタニ拘ラス、大藏省ニ於ケル査定ノ折財源ナキ故ヲ以テ削除セラレタヤウニ傳ヘラレタカ、義務教育費國庫負擔金ノ如キ、二千萬圓カ一夜ニ三千万圓ニ増額サレタ位デアルカラ、二三百万圓ノ金額ハ如何様ニモナル筈テ、ソレカ財政ノ都合テ削ラレタモノトハ何ウシテモ考ヘルコトカ出來ナイ、假リニ左様デアツタトシテモ、又大藏省カ無理解デアツタトシテモ、苟モ公約シタコトデアルカラ、誠意カアリ言責ヲ重ンセラレルナレハ極力之カ實現ヲ期スヘク主張スヘキモノデアルト思フ、然ルニ其舉ニ出ナカツタ文相ノ態度ハ諒解ニ苦シムト共ニ、カ、ハ重要ナル要求ヲ削除シタ大藏當局ノ亂暴カニモ惻然サルヲ得ナイノデアリマス、今ヤ我カ國內外ノ情勢ハ産業ノ進展トイヒ、國民精神ノ作興トイヒ、普通選舉ニ伴フ公民教育ノ普及トイヒ、何レモ實業補習教育ニ俟ツヨリ外ハナイノデアツテ、斯教育ノ振興ハ眞ニ現下ノ急務デアリ而モ國家永遠ノ大策デアルト信スルノデアリマス
本建議案ハ以上ノ理由ニ依テ提出致シマシタ次第デアリマシテ、何卒全會一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ希望致シマス
第四百十八 越美線速成ニ關スル建議案(谷口宇右衛門君外二名提出)
越美線速成ニ關スル建議案
越美線ハ岐阜縣美濃太田驛ヨリ福井ニ至ル本國ノ中央部ニ於テ表裏日本ヲ貫通スル最捷路ノ鐵道ニシテ政府ニ於テモ夙ニ其ノ必要ノ線路ナルヲ認メ、岐阜縣美濃太田ヨリ起工シ既ニ美濃太田美濃町間則チ越美南線ノ一部ハ運轉開始シタリト雖中間タル越美國境ニ山嶽並列シ工事ノ進捗ヲ遲延ナラシムル虞アレハ一方福井ヨリモ著手シ以テ全線ノ速成ヲ期セサレハ地方物資トシテ最豐富ナル礦物及林產物ノ搬出ヲ妨ケ國富開發上ヨリスルモ亦軍事上ノ必要ヨリ見ルモ本線ノ效果ヲ達成スル能

ハス依テ政府ハ速ニ越美北線タル福井ヨ
リモ工事ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

第四百四十九 受驗資格撤廢ニ關スル建
議案(山下谷次君提出)

受驗資格撤廢ニ關スル建議案

受驗資格撤廢ニ關スル建議案

政府ハ人材登用ノ趣旨ニ於テ高等試驗中
等教員檢定試驗醫師藥劑師試驗等ノ受驗
資格ヲ撤廢セラレムコトヲ望ム
右建議ス

第五百五十 瀨戸内海ヲ中心トスル國立公園設定
公園設定ニ關スル建議案(山下谷次
君外一名提出)

瀨戸内海ヲ中心トスル國立公園設定ニ
關スル建議案

瀨戸内海ヲ中心トスル國立公園設定
ニ關スル建議案

政府ハ日本ハ公園ニシテ瀨戸内海ハ日本
ノ公園ナリト稱セラルル瀨戸内海ヲ中心
トスル國立公園ヲ設定シ以テ内外人ノ一
大樂園タラシムヘシ
右建議ス

第五百五十一 野岩羽鐵道速成ニ關スル
建議案(高橋元四郎君外一名提出)

野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案

野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ茨城縣古河驛(東北線)ヨリ栃木縣
栃木驛(兩毛線)ヲ經テ鹿沼驛(日光線)ニ
至ル鐵道及栃木縣今市驛(日光線)ヨリ藤
原三依ト福島縣田島トヲ經テ會津若松驛
(磐越線)ニ至ル鐵道又福島縣喜多方驛
(磐越線)ヨリ日中ヲ經テ山形縣米澤驛
(奥羽線)ニ至ル鐵道ヲ速成シ以テ地方ノ
開發ニ供スルト同時ニ國家ノ富源ニ資セ
ラレムコトヲ望ム
右建議ス

第五百五十二 日足鐵道速成ニ關スル建
議案(高橋元四郎君外一名提出)

日足鐵道速成ニ關スル建議案

日足鐵道速成ニ關スル建議案

栃木縣日光驛(日光線)ヨリ足尾驛(足尾
線)ニ達スル十五哩ノ連絡線即チ日足鐵
道ハ政府モ亦疾ク同方面ノ利源開發產業
振興及交通機關ノ完備上其ノ必要ナルヲ
認メ鐵道敷設法別表第三十四號ニ之ヲ編
入セリ加之政府ハ既ニ日光國立公園設定
ニ關スル調査ヲ完了セリト聞ク從テ該線
路ノ重要ナル意義ヲ加フルコト言フ更ム
ルヲ要セス故ニ政府ハ速ニ敷設ノ舉ニ出
テラレムコトヲ望ム
右建議ス

第五百五十三 日光國立公園設定ニ關ス
ル建議案(高橋元四郎君外一名提出)

日光國立公園設定ニ關スル建議案

日光國立公園設定ニ關スル建議案

栃木縣日光ヲ中心トシ西群馬縣ニ跨ル一
大寶區ハ山水ノ明媚ニ加フルニ人工ノ極
致ヲ以テシ我カ國民ノ保健及教化上亦外
客ノ觀光探勝地トシテノ誘致上正ニ世界
的公園トシテノ必要條件タル大風景大趣
味ヲ具備セリト認ム依テ政府ハ速ニ適正
ナル法規ヲ制定シ此ノ日光一帯ノ山岳地
方ヲ國立公園ニ指定シ先ツ官民一般ヲシ
テ其ノ據ル所ヲ知ラシメ一致協力以テ漸
次此ノ事業ノ大成ヲ策セラレムコトヲ望
ム
右建議ス

第五百五十四 沖繩縣救済ニ關スル建議
案(眞保成晴君外一名提出)

沖繩縣救済ニ關スル建議案

沖繩縣救済ニ關スル建議案

沖繩縣ノ財政經濟ノ狀態ハ疲弊困憊ノ極
ニ達セリ今ニシテ救済ノ途ヲ講セシムハ
縣民ノ將來ハ實ニ寒心ニ堪ヘサルモノ
アリ政府ハ沖繩縣カ特殊ノ狀態ニアルニ
鑑ミ此ノ際速ニ北海道拓殖計畫ノ如キ根
本的救済ノ方策ヲ樹テラレムコトヲ望ム
右建議ス

(補足)
沖繩縣救済ニ關スル建議案ノ說明ヲ要フ
摘ミテ簡單ニ申上ケマス
沖繩縣ハ六十有餘ノ島嶼ヨリ成ル縣デア
リマシテ人口一五里約四千人我カ國一方
里平均二千二百餘人ニ對シ約倍ニ近キ調
密デアリマス
土地狹ク耕地一戸當リ七段五畝歩ニシテ
全國平均ノ六割餘ニシカ當リマセン
天然ノ資源ニ乏シク且ツ旱魃暴風等頗發
シ頗ル患レサル處デアリマス
元來沖繩縣ハ頗ル貧弱ナル處デアリマス
ルカ爲メニ從來ヨリ或ハ特例ヲ設ケ或ハ
特別ナル補助等ニヨリ國庫ノ援助ノ下ニ
今日ニ及ンテ居リマスルカ
世界大戰後ノ財界ノ恐慌ハ勿論我カ國一
般ニ互テ居リマスルケレトモ沖繩縣ハ急
速ニ爾モ深刻ニ襲ハレマシテ今日縣民ノ
狀態ハ見ルニ忍ビサル程デアリマス
今日沖繩ノ現狀ハ連モ縣民自ラ此不況ヲ
挽回スルコトハ出來マセヌ夫レ故ニ昨
年五十議會ニ於テハ其救済建議案カ各派
ヨリ提出ニ相成リ全會一致ヲ以テ本院通
過致シタルデアリマス
議會終了後政府ハ內務大藏農林鐵道等ノ
各省ヨリ人ヲ派遣セラレ親シク視察調査
ヲ遂ケテシテ十五年度豫算中ニ其救済資
金トシテ七十餘萬圓ヲ計上セラレテアル
ノデアリマス
豫算委員會ニ於テ委員ノ質問ニ對シ農林
大臣ハ百六十二萬八千圓ヲ五箇年間ノ救
済金トシテ支出スル計畫アリト御答辯カ
アルノデアリマスルガ極度ニ疲弊困憊セ
ル沖繩縣ノ狀態ハ如斯小額ヲ以テハ連モ
救済スルコトハ出來マセン救済ノ實ヲ舉
クルコトカ出來ナイコトハ蓋シ政府ト雖
モ御同意アルト信シマス
沖繩縣ノ現狀ハ此儘ニシテハ置ケナイ速
ニ適當ナル方策ヲ樹テナケレハ縣民ノ將來
ハ實ニ寒心ニ堪ヘマセン今沖繩縣ノ狀態
ヲ要リ摘ミテ簡單ニ申シ述ヘテ見マスレ
ハ左ノ通りデアリマス即チ移轉出入ニ於
テ大正八年ヨリ大正十四年ニ至ル七箇年
間ニ移轉入超過額一千八百三十六萬九千
餘圓テアツテ一箇年平均額二百六十二萬
四千圓トナリマス
國庫關係ニ於テ

大正十三年度國庫ノ收入高ハ租稅及稅外
收入ヲ合スレハ七百二十一萬一千四百四
十四圓テアツテ國庫ヨリ支出スルモノヲ
差引キ五百五十餘萬圓ノ國庫實收入ト
ナツテ居ルノデアリマス
國庫關係ハ各年大差ハアリマセヌカラ一
箇年ノ例丈ケニ止ムルコトニ致シマス
縣民ノ外國並ニ縣外移住民ヨリノ送金額
ヲ以テ差引勘定ヲ致シマシテモ一箇年六
百餘萬圓ノ通貨ノ流出ヲ見ルコトニ相成
ルノデアリマス
沖繩縣ノ如キ貧弱ナル處ヨリ年々如斯多
額ノ通貨ノ流出ヲ來シマシテハ財的破綻
ノ運命ニ陥ルコトハ火ヲ賭ルヨリ明テア
リマス
現ニ縣民ノ設立セル銀行ハ三行シカアリ
マセヌカ其三銀行全部破綻狀態ニ陥リ昨
年來營業中止ヲ致シ目下整理中デアリマ
ス
國稅地方稅ノ滯納者續出シ年一年増加シ
ツアルノデアリマス
國稅調定額大正十一年度五百萬七千
八百七十五圓ニ對シ滯納額三十九萬九千
七百四十九圓デアリマシテ調定額ノ約八
分ニ當リ
縣稅調定額大正十三年度八十二萬八千
六百六十一圓ニ對シ滯納額十萬一千五百
十一圓ニシテ其一割二分強ニ當リ
市町村稅調定額大正十三年度百七十六
萬八千三百八十一圓ニ對シ、滯納額二十
四萬七千七百六十圓ニシテ其一割四分ニ
當リマス
國稅滯納者 大正十年度五千七百九十三
人デアリマシタカ大正十三年度ニハ八千
八百九十四人トナリ
縣稅滯納者 大正七年三千二百三十五人
ナリシカ大正十二年度ニハ五萬一千一百
四人ニ激増シテ居リマシテ年々如何ニ増
加シツ、アルカ推知セラル、コト、存シ
マス
大正十二年度ニ於キマシテ農業者ガ銀行
其他金利業者ヨリ融通ヲ受ケタル金額ハ
六百四十七萬八千圓ニシテ農家一戸當リ

八十九圓トナリマス若シ個人間ノ貸借關係ヲ精査致シタナラハ農家ノ八割ハ正ニ負債ノ重荷ニ苦シミツアリト稱セラレテ居リマス

縣民ノ多數ヲ占ムル農民ハ耕作シ得タル田圃ヲ以テ食糧トシ砂糖ヲ製造シテ金ニ換ヘマシテ生計ヲ維持シテ居リマスルカ大正十年以來糖價カ暴落シマシタ爲メ今ヤ其生産費ヲ償フコトカ出來ヌ狀態ニ陥リテ居リマス即チ大正十三年度ノ計算ニヨレハ一反當リノ砂糖收入ハ七十圓二十錢ニシテ其生産費七十四圓四十三錢ヲ差引四圓二十三錢ノ損失ヲ來シテ居ルノテアリマス

米麥豆等ノ食糧品及ヒ其他生活必需品ノ多クハ移入ニ仰クヲ以テ縣民ノ生活狀態ハ慘憺タルモノテアリマス

山林地積ハ三萬六千五百五十三町歩アリマスルカ亂伐ノ結果年々六七十萬圓ノ多額ノ建築用材ハ移入ニ俟テ遠カラス日常ノ薪炭ヲ得ル能ハサルニ至ルテアラウト憂慮サレテ居ルノテアリマス

要スルニ沖繩縣ハ
一、年々數百萬圓ノ多額ノ通貨ハ流出シ
一、唯一移出換金產物テ沖繩縣經濟ノ生命ト稱スヘキ砂糖ハ生産費ヲ償フコトカ出來ス

一、金融機關タル銀行ハ破綻ニ陥リ
一、國稅、地方稅ハ租稅カ以上ニ負擔セサルヘカラサル狀態テアリマス

一、山林ハ亂伐シテ荒廢ニ期シ
一、交通機關(鐵道等)ノ如キ教育機關等其國家施設一モアリマセヌノデ其恩典ニ浴セサルノミナラス

一、米麥豆等ノ食糧品其他生活必需品ノハ自給自足カ出來マセン多ク移入ニ仰クヲ以テ米穀法關稅定率法等ニヨリ一般農產物保護政策ニハ却ツテ脅威ヲ受クルノデアリマス今回ノ關稅定率法改正ニヨリテモ少カラサル打擊ヲ受ケテ居ルノデアリマス

以上申上ケタルカ如ク沖繩縣ハ特殊ノ狀態ニアルノデアリマス

此度政府カ御樹テニナリマシタル五十二萬餘圓ノ産業助成金及ヒ縣費補給金増額六萬四千圓等テハ速モ救済カ出來ナイコトト信シマスルカ故ニ此際根本ノ救済策トシテ北海道拓殖計畫ノ例ニ倣ヒマシテ沖繩縣ヨリノ國庫ノ實收入ナルヘク全部或ハ其大部分ヲ一定期間同縣ヘ與ヘラレ而シテ徹底ノ救済ヲシテ頂キタイト存シマシテ再ヒ各派ノ御贊同ヲ得テ本案ヲ提出致シタ次第テアリマス何卒各位ノ御贊成ヲ願ヒマス

案(手代木隆吉君外六名提出)
擬似漁港修築速成ニ關スル建議案
政府ハ北海道日高國樺似村ニ漁港ヲ修築速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス
第百五十六 羽幌下沙流別間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
速成ニ關スル建議案(淺川浩君外六名提出)
羽幌下沙流別間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
羽幌下沙流別間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
政府ハ天鹽國羽幌ヨリ天鹽ヲ經テ下沙流別ニ至ル鐵道敷設ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス
第百五十七 壽都漁港修築速成ニ關スル建議案
壽都漁港修築速成ニ關スル建議案
壽都漁港修築速成ニ關スル建議案
政府ハ北海道壽都郡壽都町ニ漁港修築ヲ速成セラレムコトヲ望ム

右建議ス
第百五十八 船泊村ニ避難港築設ニ關スル建議案
船泊村ニ避難港築設ニ關スル建議案
船泊村ニ避難港築設ニ關スル建議案
船泊村ニ避難港築設ニ關スル建議案

右建議ス
第百五十九 名寄羽幌間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
名寄羽幌間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
名寄羽幌間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
政府ハ天鹽國名寄ヨリ石狩國雨龍ヲ經テ天鹽國羽幌ニ至ル鐵道ヲ速ニ敷設セラレムコトヲ望ム

右建議ス
第百六十 京濱運河速成ニ關スル建議案
京濱運河速成ニ關スル建議案
京濱運河速成ニ關スル建議案
政府ハ速ニ東京橫濱兩市ヲ連絡スル運河開鑿ノ計畫ヲ確立スヘシ

右建議ス
第百六十一 霧絲局設置ニ關スル建議案
霧絲局設置ニ關スル建議案
霧絲局設置ニ關スル建議案
政府ハ本院敷次ノ建議ニ基キ速ニ霧絲局設置ノ實現ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス
第百六十二 京濱運河速成ニ關スル建議案
京濱運河速成ニ關スル建議案
京濱運河速成ニ關スル建議案
政府ハ速ニ東京橫濱兩市ヲ連絡スル運河開鑿ノ計畫ヲ確立スヘシ

右建議ス
第百六十三 新町小海間鐵道建設ニ關スル建議案
新町小海間鐵道建設ニ關スル建議案
新町小海間鐵道建設ニ關スル建議案
本線ハ國有鐵道高崎線新町驛ヨリ分岐シ藤岡鬼石神川上野ノ各町村ヲ經テ長野縣

佐久鐵道小海驛ニ達スル鐵道ナリ政府ハ速ニ之ヲ鐵道網ニ編入シ且其ノ敷設ノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス
第百六十四 下仁田三反田間鐵道建設ニ關スル建議案
下仁田三反田間鐵道建設ニ關スル建議案
下仁田三反田間鐵道建設ニ關スル建議案
政府ハ群馬縣北甘樂郡上信電氣鐵道下仁田驛ヨリ北甘樂郡青倉、磐戶、月形、尾澤ノ各村ヲ經テ長野縣南佐久郡佐久鐵道三反田驛ニ連絡スル鐵道ヲ速ニ建設シ地方文化ノ開發ヲ計リ鐵道交通政策ノ實行ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス
第百六十五 金澤市ニ鐵道局設置ニ關スル建議案
金澤市ニ鐵道局設置ニ關スル建議案
金澤市ニ鐵道局設置ニ關スル建議案
近時鐵道ノ敷設盛ニシテ哩數ノ延長甚シキモノアルニ拘ラス之カ管理ノ任ニ當ルヘキ鐵道局ノ設置ハ未タ之ニ件ハサルモノアルヲ遺憾トス殊ニ北陸地方ニ於テ其ノ然ルモノアルヲ認ム故ニ同地方ニ鐵道局ノ新設ヲ必要トス所以ナリ抑、北陸地方ハ莫日本運輸交通ノ要路ニ當リ而モ金澤市ハ北陸地方ニ於テハ勿論東日本ニ於ケル首都ナルノミナラス敦賀線ノ開通ニ依リ大阪山陰地方ト北陸地方トノ聯絡ハ便益ヲ來タシ村上線及山陰本線モ亦開通ヲ見タルヲ以テ茲ニ莫日本貫通鐵道ノ完成ヲ告ケ其ノ結果北海道並青森方面ト關西並九州地方トノ交通ハ北陸線ヲ利用スルニ至レリ加フルニ金澤ヲ起點トスル七尾線ハ私設能登鐵道ノ開通ニ依リ愈々交通運輸上ニ至便ヲ與ヘ更ニ能登內浦鐵道敷設セラレムカ能登半島ノ貨物ハ金澤ニ集中セラレルニ至ルヘク其ノ他八尾線並金名線ノ兩豫定線ヲ有スルニ止マ

九十九

ラズ金澤市ニハ第九師團ノ設置アリテ軍事上ヨリスルモ鐵道トハ極メテ重大ナル關係ヲ有シ且鐵道關係ノ機關トシテハ既ニ運輸保險兩事務所鐵道郵便局鐵道工場等ノ設置アルヲ見テモ如何ニ金澤市カ其ノ管掌聯絡ノ首位地ニアルカヲ知り得ヘク殊ニ滿洲及北鮮地方トハ海上ニ於ケル交通貿易上最密接ヲ極メ現ニ同地方ニハ七尾港ヨリ定期航路ヲ有シツツアリ對露貿易交通ハ我々國現在及將來ニ於テ最善ノ努力ヲ爲スヘキ今日此ノ要港ヲ控ヘル金澤市ノ重要地タルハ勿論北海道樺太其ノ他ニモ定期航路ヲ有シ支物ノ發達上並經濟ノ中核地タル點ヨリ謂フモ人口ノ多數ヨリスルモ將又諸機關ノ整備ヨリスルモ裏日本ニ其ノ比アル都市ヲ見ス特ニ北陸沿線ハ冬期降雪甚シク恆ニ交通運輸上ニ支障ヲ來タシ應急施設ノ如キ大ナル不便ヲ來タシ爲ニ被害頻出ノ實狀ヲ示シツツアリ現狀既ニ斯ノ如ク海陸ノ交通運輸共ニ統轄的機關ノ必要ヲ痛感スルニ當リ其ノ鐵道局ヲ設置セラルルニ付最好適地タル金澤市ニ之ヲ設ケ以テ一切ノ障害ヲ除キ管理ノ完備ヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

第百六十六 出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案(原夫次郎君外一名提出)

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

出雲大社宇道湖及中海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

酒田真室川間鐵道敷設ニ關スル建議案
酒田真室川間鐵道敷設ニ關スル建議案
政府ハ山形縣下酒田ヨリ觀音寺ヲ經興羽
本線眞室川驛ニ通スル鐵道敷設ノ計畫ヲ
定メ其ノ速成ヲ計ラレムコトヲ望ム
右建議ス

第七十七 鶴岡市ニ高等師範學校新
設ニ關スル建議案(齊藤金吾君外一
名提出)
鶴岡市ニ高等師範學校新設ニ關スル建
議案

山形縣鶴岡市ニ高等師範學校ヲ新設セラ
レムコトヲ望ム
右建議ス

第七十八 荒砥左澤間鐵道速成ニ關
スル建議案(石川長右衛門君外八名
提出)
荒砥左澤間鐵道速成ニ關スル建議案

荒砥左澤間鐵道速成ニ關スル建議案
政府ハ山形縣荒砥ヨリ左澤ニ至ル間ノ鐵道
ヲ速成セラレムコトヲ望ム
右建議ス

第七十九 庄原區裁判所管轄區域變更
更ニ關スル建議案(渡邊伍君外二名
提出)
庄原區裁判所管轄區域變更ニ關スル建
議案

庄原區裁判所管轄區域變更ニ關スル建
議案
庄原區裁判所ノ現在管轄スル土地ノ上ニ
左記町村ヲ變更編入セラレムコトヲ望ム
廣島縣甲奴郡
同縣神石郡ノ内 高光村 永渡村 古
川村

(以上福山區裁判所管轄)
同縣比壽郡ノ内 口南村 口北村 上
高野山村 下高野
山村
右建議ス

(以上三次區裁判所管轄)
右建議ス

第八十 貴生川加茂間鐵道速成ニ關
スル建議案(高井商一君外二名提出)
貴生川加茂間鐵道速成ニ關スル建議案
貴生川ハ速ニ草津線貴生川驛ヨリ關西本線
加茂驛ニ至ル鐵道ノ敷設ヲ速成シ以テ交
通運輸ノ便ヲ開キ産業開發ノ實ヲ擧ケラ
レムコトヲ望ム
右建議ス

第八十一 淡水魚族増殖施設ニ關ス
ル建議案(藤澤萬九郎君提出)
淡水魚族増殖施設ニ關スル建議案

淡水魚族増殖施設ニ關スル建議案
政府ハ淡水水産利源開發ノ急務ナルニ鑑
ミ左ノ施設ヲ完備シ以テ地方産業ノ振興
並食糧生産ノ増加ニ資セラレムコトヲ望
ム

一國立淡水魚族試驗研究機關
一國立種苗場ノ設置
一琵琶湖湖放流事業ノ國營
右建議ス

第八十二 關ヶ原木ノ本間鐵道速成
ニ關スル建議案(藤澤萬九郎君外二
名提出)
關ヶ原木ノ本間鐵道速成ニ關スル建議
案

關ヶ原木ノ本間鐵道速成ニ關スル建
議案
政府ハ速ニ東海道本線關ヶ原ヨリ北陸本
線木ノ本驛ニ至ル鐵道ノ敷設ヲ速成シ以
テ交通運輸ノ便ヲ開キ國防ノ用ニ供シ並
産業開發ノ實ヲ擧ケラレムコトヲ望ム
右建議ス

第八十三 北海道治水ニ關スル建議
案(岡田伊太郎君外三名提出)
北海道治水ニ關スル建議案

北海道治水ニ關スル建議案
北海道治水ニ對スル既定計畫ノ促進ヲ圖
ルト共ニ左記河川其ノ他重要ナル河川ニ
シテ未タ治水計畫ノ樹立セザルモノニ對
シテハ根本的計畫ヲ立テ之ヲ力遂行ヲ速成
セラレムコトヲ望ム

一石狩川 一豐平川 一江別川
一十勝川 一忠別川 一美瑛川
一音更川 一利別川(十勝) 一札内川
一釧路川 一天鹽川 一名寄川
一湧別川 一常呂川 一後志川
一鶴川 一網走川 一沙流川
一利別川(後志) 一留萌川 一阿寒川
一其ノ他極重要ナル河川
右建議ス

第八十四 東京都制實施ニ關スル建
議案(作岡耕進君外二三名提出)
東京都制實施ニ關スル建議案

東京都制實施ニ關スル建議案
政府ハ既ニ東京都制案提出ノ準備成レリ
ト聞ク此ノ際急速提案シテ其ノ施行ニ努
メラレムコトヲ望ム
右建議ス

第八十五 北海道甜菜糖業補助ニ關
スル建議案(松實喜代太君外三名提出)
北海道甜菜糖業補助ニ關スル建議案

北海道甜菜糖業補助ニ關スル建議案
北海道ニ於ケル甜菜糖業ハ前途頗ル多望
ナリト雖甜菜耕作者ハ未タ其ノ耕作ニ慣
レサルヲ以テ收支相償ハス頗ル困難ノ狀
態ニアリ政府ハ速ニ北海道甜菜糖業補助
法ヲ制定シ甜菜耕作者ニ對シ適當ノ補助
ヲ與ヘ斯業ノ發展ヲ助成セラレムコトヲ
望ム
右建議ス

第八十六 帝國在郷軍人會國庫補助
ニ關スル建議案(松岡俊三君提出)
帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議
案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案
帝國在郷軍人會ハ明治天皇ノ御裁可ヲ
仰キ明治四十三年創設セラレ爾來十有七
年ヲ經過シ整然タル一萬四千有餘ノ團體
ヲ以テ組織セラレ三百萬ノ會員ハ一致協

力 聖旨ヲ奉戴シ軍人精神ヲ鍛練シ軍事
能力ヲ増進スルニ努メ更ニ進ムテ社會ノ
公益ヲ圖リ風教ヲ振作シ恒ニ國家ノ千城
國民ヲ中堅タルノ實ヲ擧タルヲ以テ目的
トシ其ノ功績少カラス其ノ發展如何ハ國
防ノ消長ニ關スルノミナラス國民精神ノ
振奮ニ關スルモノ頗ル大ナリ今ヤ當局ハ青
少年訓練ノ企圖アリ然ラハ其ノ有終ノ美ヲ
爲サムト欲セハ在郷軍人會ノ協力ヲ要望
スルコト益切ナルモノアリ使テ政府ハ在
郷軍人會ニ對シ國庫補助ヲ爲シ以テ其ノ
發展ヲ助長セシムコトヲ望ム
右建議ス

第八十七 帝國在郷軍人會國庫補助
ニ關スル建議案(池田泰親君提出)
帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議
案

帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案
帝國在郷軍人會ハ先帝陛下ノ御裁可ニ
依リ明治年間ノ創設ニ係リ爾來十有七年
間整然トシテ一萬四千有餘ノ團體ヲ以テ
三百萬ノ會員ヲ有シ一致協同 聖旨ヲ奉
戴シ軍人ノ精神ヲ鍛練シ軍事能力ヲ増進
シ更ニ進ムテ社會公共ニ竭シ風教ヲ振興
シ恒ニ國家ノ千城トナリ又國民ノ中堅タ
ルヲ以テ任シ其ノ功績少カラス則チ本會
ノ發展如何ハ國防ノ消長ニ關スルノミナ
ラス國民精神ノ振奮ニ關スルモノ今ヤ青
少年訓練ノ企圖アリ我カ在郷軍人會ノ協
力ヲ要望スルコト益切ナリ依テ政府ハ在郷
軍人會ニ對シ國庫補助金ヲ交付シ其ノ
發展ヲ助長セシムコトヲ望ム
右建議ス

第八十八 衛生組合法制定ニ關スル
建議案(大里廣次郎君外三名提出)
衛生組合法制定ニ關スル建議案

衛生組合法制定ニ關スル建議案
衛生組合法制定ニ關スル建議案
單行法ニ依ル衛生組合法ノ制定ハ帝國ノ
現狀ヨリ觀テ國民衛生ノ普及ヲ圖ル爲一
日モ早カナラムコトヲ要ス即チ第五十回
議會ニ於テ滿場一致此ノ建議案ヲ可決セ

右建議ス

リ依テ政府ハ速ニ是カ制定アラムコトヲ要望ス
右建議ス

第一百八十九 京都高等蠶業學校ニ製絲科設置ニ關スル建議案
(川崎安之助君外一名提出)
京都高等蠶業學校ニ製絲科設置ニ關スル建議案

京都高等蠶業學校ニ製絲科設置ニ關スル建議案

我カ國ノ蠶業ハ輒近關西地方ニ於テ特ニ其ノ隆盛ヲ示シ產額ハ著シク増進シテ殆ト關東ノ蠶ヲ靡セムトシ繭絲トモニ其ノ品質ノ優劣ニ冠タルハ事實ノ證明スル所ナリ

京都高等蠶業學校ハ創設以來既ニ二十有餘年ノ歲月ヲ閱シ幾多有爲ノ人材ヲ養成シテ我カ蠶業界ニ貢獻スルコト極メテ多ク前記關西地方最近ノ異數ナル斯業ノ發達ハ實ニ同校ニ負フ所最大ナリ今ヤ同校ハ其ノ設備內容次第ニ完成ニ進ミツツアリト雖獨リ製絲科ノ設置ヲ缺ケルハ頗ル遺憾ニシテ同校本來ノ使命ヲ完ウスル能ハサルカ故ニ政府ハ速ニ之ヲ併置シ以テ蠶業界中樞ノ人材發達ノ上ニ其ノ完全ヲ期スルト共ニ製絲ニ關スル高等教育ノ充實ヲ圖ラムコトヲ望ム
右建議ス

第一百九十 拓殖省設置ニ關スル建議案

(牧山耕藏君外八名提出)

拓殖省設置ニ關スル建議案

我カ國ハ領土狹隘ニシテ資源豐ナラス列強近時ノ經濟的發展ト國內ニ於ケル人口増加ノ趨勢ト鑑ミ帝國國運ノ盛衰ハ一ニ繫リテ國民ノ對外發展ニ在リト謂フヘシ今ニシテ之カ根本方針ヲ確立シ拓殖事業ノ保護獎勵移殖民ノ指導誘掖ニ努ムルニ非サレバ他日噬臍ノ悔アルヘシ若夫朝鮮臺灣關東州樺太及南洋群島ノ開拓發展如何ハ國力ノ消長ニ影響スル所極メテ重大ナリ殊ニ是等ノ拓殖地ハ政治上經濟上

此又社會上内地ト密接不離ノ關係ニ在リ拓殖地ヲ輕視シテ帝國ノ國是ヲ樹立シ國策ヲ遂行シ得ヘキニ非ス然ルニ從來是等ノ事務ヲ統轄スル中央行政機關ヲ見ルニ改廢常ナク微微トシテ振ハス拓殖行政ノ實效ヲ期スルニ遺憾カラス依テ政府ハ連ニ一省ヲ設置シ以テ拓殖行政ノ實績ヲ舉ケムコトヲ望ム
右建議ス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 別ニ御異議ナシト認メマス、仍テ日程第七十七乃至百九十ノ建議案ハ動議ノ如ク可決致シマシタ、尙ホ理由書掲載御希望ノ諸君ハ、成ベク早く御提出ヲ願ヒマス

○井本常作君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ日程第五十四、丸山浪彌君外六名提出 北海道農地特別處理法案ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔賛成(粕谷義三君) 只今ノ井本君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセマカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、即チ茲ニ日程第五十四、北海道農地特別處理法案ノ第一讀會ヲ開キマス——丸山浪彌君

第五十四 北海道農地特別處理法案

(丸山浪彌君外六名提出) 第一讀會

北海道農地特別處理法案

第一條 政府ハ北海道拓殖ノ爲自作農業者ヲ扶植シ土地ノ利用ヲ増進スル目的ヲ以テ勅令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル土地ヲ買入若ハ收用シ又ハ之カ賣拂ヲ爲スコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依ル買入又ハ收用ノ場合ニ於テ土地所有者其ノ關係人ニ支拂フヘキ對價又ハ補償金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ國債證券ヲ以テ之ヲ交

付スルコトヲ得

第三條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲六千萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行スルコトヲ得

第四條 本法ニ依リ處理スヘキ土地ノ選定、買入、收用、整理改良又ハ賣拂ニ關スル事項ハ北海道農地特別處理委員會ノ議ヲ經テ北海道廳長官之ヲ決定スヘシ

北海道農地特別處理委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 第一條ノ規定ニ依ル土地ノ收用ニ關シテハ土地收用法ヲ適用ス但シ前條第一項ノ規定ニ依ル決定ヲ以テ土地收用法ニ依ル事業ノ認定ト看做ス

第六條 本法ニ依リ賣拂フ爲ス土地ノ面積及土地ノ買受人ノ資格ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 土地ノ買受人ハ土地代金ノ百分之十以上ヲ支拂ヒタルトキハ其ノ所有權ノ移轉ヲ求ムルコトヲ得但シ殘額支拂ノ擔保トシテ其ノ土地ニ抵當權ヲ設定スヘシ

第八條 土地ノ買受人ハ土地代金ノ全額ヲ支拂ヒタル後ニ非サレハ其ノ土地ニ質權、抵當權、地上權若ハ永小作權ヲ設定シ又ハ其ノ土地ヲ貸付若ハ讓渡スコトヲ得但シ北海道廳長官ノ承認ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 土地ノ買受人カ土地代金ノ全額支拂前ニ前條ノ規定ニ違反シ又ハ買受條件ニ違反シタルトキハ之ヲシテ直ニ土地ヲ返還セシメ又ハ土地代金ノ殘額ヲ一時ニ支拂ハシムルコトヲ得

第十條 本法ニ依ル土地ノ買入、收用又ハ賣拂ニ關シテハ印紙稅及登録稅ヲ免除ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔丸山浪彌君登壇〕

○丸山浪彌君 本案ハ北海道農地特別處理法トシテアリマスルガ、事ハ北海道ニ關シマシテモ、其實ハ帝國ノ富源開發食糧政策ニ及ブ所ノ現代國策上ノ重大問題デアルト信ズルノデアリマス、併ナガラ此問題ハ業ニ已ニ當議會ニ於テモ再三ノ建議ガアリマシテ、滿場一致ヲ以テ可決セラレタル所ノ歴史ヲ持チ、殊ニ先ノ議會ニ於キマシテハ、三派協調ノ下ニ一億萬圓ノ地方債ノ募集ヲ爲シテ、三十箇年ニ五十萬町歩ノ土地ヲ處理スルト云フヤウナ案ガ提出セラレ、本會ニ於テハ憲政會モ、政友會モ二千萬圓ニ修正ノ上滿場一致ヲ以テ可決セラレタル案、否、唯、中正俱樂部一人ノ反對者アルノミニシテ、殆ド絶對多數ヲ以テ可決セラレタル所ノ案デアリマスルガ故ニ、私ハ茲ニ餘リ多ク理由ヲ述ベマスセマカ、唯、簡單ニ昨年提出セラレタル所ノ法律ト異ナル所ノ一部ヲ述ベテ、諸君ノ御參考ニ供シタイト思フデアリマス、昨年ノ提案ハ北海道ノ地方債ニ依ルモノデアリマスルガ、本年ノ法案ハ直ニ國債ニ依ルモノデアリマス、唯、地方債ニ依ルモノ國債ニ依ルモノ國庫ノ負擔、補助スル所ノ額ニ相違ナイノデアリマス、而シテ本年ノ此法案ハ六千萬圓ニシテ、十五箇年ニ二十五萬町歩ヲ處理スルト云フノ案デアリマス、唯、茲ニ一言申上ダタイコトハ、此案ガ或ル意味ニ於テ或ル方面ノ一部ニ疑義ヲ懷カレテ居ルガ如キコトヲ耳ニスルノデアリマスガ、本案ハ諸君モ知ルガ如ク北海道協會ニ於テ、而モ此協會ニハ憲政會ノ長老加藤政之助君モ理事デアアル、現北海道長官中川健藏君モ役員デアアル、是等ノ諸君ガ皆參加ナシタル上ニ於テ是等ノ案ガ成立致シタルモノデアリマス、北海道ノ道論トシテハ勿論何人モ反對スル者デハナイノデアリマスルガ、唯、此長官若クハ憲政會ニ居ル立場ノ人ハ、現代ノ政局ノ關係ノ上ニ於テ、直ニ賛成スルコトヲ出來ナイト云フ意見ヲ述ベラレタコトヲ承知シテ居ルノデアリマス、唯、ソレダケ

ノコトニシテ、全然本案ハ滿場諸君大多數ノ御賛成ヲ以テ通過セラル、コトヲ希望致シマス、簡單ニ理由ヲ述ベテ御賛成ヲ願ヒマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス——山本厚三君

(山本厚三君登壇)

○山本厚三君 本案ニ付キマシテ、只今提案者ノ一人タル九山君ヨリ極メテ簡單ナル御説明ガアリマシタガ、其本案御提出ノ大體ノ趣意ニ於キマシテハ、吾々モ反對ヲ致サナイノデアリマスルガ、唯、此提出ノ時期ニ於テ如何カト考ヘマス點ガアルノト、其内容ニ於キマシテモ多少疑義ヲ挾ンデ居リマスルカラ、極メテ簡明ニ要點ノミヲ致シマス、第一此提案ノ方ニ御伺シタイノハ、政府ニ於テ第二期拓殖計畫ヲ大正十六年度ヨリ實施スルト云フコトハ、是ハ殆ド現内閣トシテ立派ニ御言明ニナツテ居ル、而シテ其調査會ノ如キモ其經費ヲ計上セラレテ、最近ニ追加豫算案トシテ諸君ガ御協賛ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、政府ガ十六年度ヨリ之ヲ實施シヤウト云フ御意思ハ明カデアリ、此政府ガ實施シヤウト云フ農地特別處理法ト云フモノハ、全ク離レタモノトシテ、即チ關係ヲ附ケナイ宜シイノデアリカドウデアリカ、是ガ第一ノ質問ノ要點デアアルノデアリマス、是ハ全體ノ此拓殖計畫ヲ見マスルト、北海道ニ於ケル各政黨ト致シマシテハ、各派大體ニ於テ意見ヲ持テ居リマスルガ、政友會ノ御案ニ致シマシテモ、憲政會ノ御案ニ致シマシテモ、大體ニ於テハ十億ヲ下ラザル金額ヲ要スルト致シテ居ルノデアリマス、然ルニ此處理法ニ對スル所ノ經費ハ、政友會ニ於テモ御示シナラズ、又此案ニモ出デ居リマセヌガ、大體二千萬圓位ヲ要スルグラウト思フノデアリマスガ、十億圓ノ此大キナ二十箇年ニ亘ル拓殖ノ計畫ニ於キマシテ、僅ニ二千萬圓ヲ要シナイ此一ツノ方法ヲ切離シテ、茲ニ急遽御出シニナル必要ガ何處ニ在ルカ、尤モ昨年度ニ於テハ只今御示シノ通

リニ、略、各派一致デ之ヲ賛成ヲ致シマシタガ、其時分ニハ今日ノ如ク根本的ニ、此拓殖計畫ヲ立テルト云フ政府ノ意思ガ表明シテ居ラナカッタノデアリマス、今日ハ斯ノ如ク明示サレテ居ルノデアリカ、之ヲ切離シテ宜シイノデアリカ、又何ノ爲ニ切離シテオヤリニナルノデアリカ、其間連絡ガナクテモ差支ナイカト云フコトヲ御尋致シタイ、第二段ニハ、何故ニ一年延期ガ出來ナイカ、之ヲ一年早メテ政府ノ大體ノ方針トモ異ナラズ時期ニ於テ、今提案ヲ爲サラナケレバナラズト云フ理由ガ何處ニアルカ、吾々ガ大體ニ於テ本年之ニ賛成ヲ致サヌノハ、提案ニ署名ヲ致サヌノハ、政府ニ於テ大體ノ財政計畫トシテ公債ヲ募集スルト云フコトハ、殆ド絶對的ニ賛成ヲセヌノデアリマス、然ルニ本案ニ於キマシテハ、六千萬圓ノ公債ヲ發行致シテ問題ヲ解決シヤウト致シテ居ルノデアリマスカラ、今日ノ内閣ノ財政方針ハ、持テ居ルノデアリマス、又前段申シマシタ如ク第二期拓殖計畫ヲ實施スルノデアリマスカラ、之ヲ切離シテハ必要ハナイ、故ニ少クとも一年待テ相關聯シテ之ヲヤツラ宜カラウト云フノガ、大體私共ガ署名ノ出來ナイ理由デアリマスガ、提案者ハドウシテモ今年ヤラナケレバナラズト云フ御考デアリマスガ、此一年延期シ能ハザル理由ヲ明確ニ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、又内容ニ付キマシテハ、若干御聞キシタイ事ガアリマスルガ、是ハ會期モ切迫致シ、十分ナル審議ヲスル時モアリマセヌシ、如何ニナルカ分リマセヌカラ、細カイ事ニ付テハ御尋ヲスルコトヲ省略ヲ致シマス、最後ニ政府ニ御伺シタイト思ヒマスルガ、政府ノ今日ノ御考デハ、斯ノ如キ拓殖計畫ノ一部デアアルベキモノヲ切離シテヤルコトニ御賛成ニナルカドウカ、政府ノ今日ノ御意見ヲ御同致シタイト考ヘマス

○九山浪彌君 簡單デアリマスカラ本席ヨリ——只今山本君ノ御質問ハ、山本君ノ御立場ヨリシテハ御尤ナル御議論ト拜承致シマシタ、併ナガラ此法案ガ、拓殖計畫

ト必ズ共ニ俱ニ兩立シナケレバナラヌ性質ノモノデアリトハ、私ハ認マセヌ、此法案ノ成立ガ一日早ケレバ、國家ノ富源開發ガ一日速ナルコトヲ信ズル者デアリマス、而シテ又山本君ハ、現政府ガ拓殖計畫ノ調査會ヲ拵ヘテ居テ、一年後ニハ必ズ實行サレデハナイカト云フ御議論デアリマス、是ハ憲政會ノ山本君トシテハ、御尤デアリマスルガ、吾々ノ見ル所デハ、前途ニ於ケル現政府ハ、一年ノ後ニ於テ如何ナル政變ヲ來スヤト云フコトモ保證スルコトハ出來ナイ、惟フニ憲政會ノ代議士諸君ト雖モ、現内閣ガ前途ノ壽命幾何ト云フコトヲ保證スル者ハ一人モナカラウト思フノデアリマス、此故ニ私ハ一日モ速ニ此法案ノ成立スルコトヲ、國家ノ爲ニ有益ナルモノト固ク信ジテ疑ハナイノデアリマス、而シテ尙ホ又現政府ハ、非暴債主義デアルガ故ニト云フ御説デアリマスルガ、現政府ハ如何ナル主義デアラウガ、當議會ハ議會ノ權能トシテ、本案ヲ立テルノニ何等ノ支障ガナイモデアアルト云フコトハ、山本君モ御承知デアラウト思フノデアリマス、尙ホ山本君ヨリハ、仔細ノ點ニ付テハ委員會ニ於テト云フ御言葉デアリマスルカラ、其他ノ點ハ委員會ニ譲リマス

(政府委員俵孫一君登壇)

○政府委員(俵孫一君) 只今山本君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマスルガ、本案ヲ政府ハ此際認メルカドウカ、又同意スルカドウカト云フコトデアッタヤウデアリマスルガ、本案ノ趣意ハ、此第一條ニアリマスルガ、如キ、北海道拓殖促進ノ爲ニ、北海道ニ於テ自作農ヲ扶植スルコトヲ云フコトハ主眼デアアルノデアリマス、而シテ私ハ此法案ハ、成程立テ方ニ依ッテハ北海道拓殖計畫ト分離致シマシテ、本案ノ如ク特別ニ其財源ヲ求メテ、自作農ノ扶植ト云フコトヲスルコトモ必シモ不合理トハ申サレマセヌガ、政府ト致シマシテ、勿論本案ノ目的トスルガ如ク、北海道ニ於テ自作農ヲ制定シテ之ヲ何處マデモ扶植スルト云フコトニ付キマシテハ同感デアリマスルガ、其自作農創

定、若クハ扶植ニ付キマシテハ、是ハ本年ニ於テ計畫ヲ立テマスル所ノ北海道拓殖計畫ニ於テ、十分ニ考慮ヲ致シ積リデアリマス、ソレ故ニ此際ニ於キマシテ、斯ウ云フ特別法ヲ以テ自作農ヲ制定スルコトニハ同意出來ナイノデアリマス、而シテ又一方財政上ノ理由カラ云ヒマシテモ、此際六千萬圓ノ公債ヲ發行致シマシテ、此法案ノ目的ヲ達スルコトニ付キマシテハ、之ニ御同意ガ出來得ナイノデアリマス、政府ノ意思ヲ茲ニ明ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

(坂東幸太郎君登壇)

○坂東幸太郎君 只今九山君カラ昨年同名稱ノ法案ガ出タ時ニ、中正俱樂部カラ一人ノ反對ガアツト申サレマシタガ、ソレハ事實デアリマセヌ、反對演説ハ私一人デアリマスガ、矢張三十名ノ賛成者ハアツタノデアリマス、九山君ノ言ハレタ如ク、此法律案ニ對シテハ、疑問ト云フヨリモ寧ろ大ナル疑惑ガ懸テ居ルノデアリマス、故ニ私ハ其疑惑トスベキ點ヲ茲ニ申上ゲテ御伺シテ見ルノデアリマス、昨年ハ原案ハ一億圓ノ北海道債ヲ募集スルト云フコトデアリマシタガ、委員會ノ形勢ハ惡化シマシテ、三回ノ秘密會ヲ開イタノデアリ、其結果二千萬圓ト修正セラレマシタ、サウシテ案ハ確ニ通過ヲシタニハ相違アリマセヌ、然ルニ私ガ北海道ノ歸リマシタ時ニ、或人ハ斯ウ云フコトヲ言ウタ、坂東君反對シタノハアレハ二千萬圓事件ヲ知ツテ居ルノデアラウカ、斯ウ云フコトヲ言ウタ人ガアリマス、此二千萬圓ハ即チ一億圓ニ對スル二割ノ金デ、是ハドウ云フ意味デアアルカト云フコトハ私ハ能ク分リマセヌガ、斯ノ如キ説ガアルト云フコトガ、如何ニ此法案ノ裏面ニ重大ナル意味ヲ含シデ居ルカト云フコトヲ察スルコトガ出來ルノデアリ、是ニ於テ私ハ二三ノ質問ヲシテ見タイノデアリマス、昨年ノ時事新報ニモアリマシタガ、本年モ二三ノ新聞ニ在リマシタ、即チ是等ハ北海道ニ於ケル大地主、山師地主ノ救済策デアアル、斯ウ云フ説ガ一般ニ傳ハツテ居ルノデアリマス、北海道ハ參リマスレバ多數ノ人ガサウ

云フコトヲ言ウテ居ルノデアル、是ハドウ云フ爲ニスル説ガ出ルカト云フコトヲ私ハ申上ゲテ見タイ、即チ此法律案ノ成立ノ爲ニ、十數年ノ間努力シテ居ル田中清輔ト云フ人ガ、北海道ニ於ケル一番山師地主ト云ウタラ語弊ガアリマスガ、大地主デアル、此人ガ傍聴ノ中ニモ居リマセウガ、常ニ此法律ヲ作ランガ爲ニ多クノ金ヲ費シツ、アル、或ハ其金ヲ人ガ出シタノカ知レマセウガ、常ニ努力シテ居ルノデアリマス、是ガ即チ第一ニ疑惑ノ起ル點デアリマス、然ラバ此田中清輔ハ北海道ノ土地トドウ云フ關係ガアルカト云フコトヲ申上ゲマス、田中君ハ北海道拓殖株式會社ノ重役デ、其中心人物デアル、此拓殖株式會社ハ所謂山師地主ノ本山ト謂ハレテ居ル會社デアル、資本金ハ二百萬圓、此所ニ營業報告ガアリマスガ、必要トアレバ株主ヲ全部申上ゲテモ宜シ、此重役ノ中デ田中清輔君ハ中心ノ人物デアル、然ラバ幾ラ株ヲ持テ居ルカト申シマスレバ、田中清輔君ハ二千四百株デアル、サウシテ一番ノ株主デ、四千二百六十株持テ居ル、田中農事合名會社ハ即チ田中君ノ一家ニ依ッテ出來テ居ル所ノ會社デアル、然ラバ田中清輔君ハ實ニ六千六百七十株ヲ持テ居ル所ノ大株主デ、大地主デアリマス、是ニ於テ道民ハ、田中君ガ此法律ヲ作ルノハ、此會社ガ持テ居ル所ノ一万二千町歩ノ其大地積ヲ賣付ケンガ爲デアルト言ウテ居ルノデアリマス、是ガ此法案ニ對スル第一ノ疑惑デアリマス、次ニ此法案ニ付テ、貴族院デハ太田清藏ト云フ貴族院議員ガ盛ニ運動ヲシテ居ルノデアリマス、然ラバ此太田君ハ如何ナル人物デアアルカト申シマスレバ、是モ拓殖株式會社ノ相當株主デアリマス、サウシテ又太田君ハ北門銀行ノ重役デアル、北門銀行ト北海道拓殖株式會社トハ、極メテ密接ナル關係ヲ持テ居ルノデアル、言換ヘマスレバ、此法律ガ出來、サウシテ大地主ノ土地ガ買收セラル、場合ニハ、利益ヲ享有シ得ル所ノ人デアリマス、是ハ確ニ隱レナイ事實デアアル、諸君、然ルニ過日北海道前長官ノ土

岐君ガ、廻町ノ星ヶ岡茶寮ニ於テ、研究會及公正會ノ一部ノ議員ヲ招待シテ居ルノデアリマス、サウシテ大シタ御馳走ヲシテ居ル、私ハ之ヲ如何ニモ不審ニ思フ、去年土岐前長官ハ、新聞記者ニ明言ヲシテ言フニハ、アノ法案ハ實ニ北海道ノ地主ニ非常ニ利益ノアル法律デアル、是レ怪シカラヌ法律デアルト云フコトヲ明言シテ居ル、是ハ各都下ノ新聞ニ出テ居リマス、然ルニ今田中清輔君ト共ニ、此法案ノ制定ノ爲ニ奔走シテ居ル、斯ウ云フコトヲ丸山君其他ノ諸君ハ御存知カト云フコトヲ御伺致シマス、又太田貴族院議員ハ、築地ノ八百善ニ於テ交友俱樂部ノ議員ヲ招待シテ居ルノデアル、非常ニ御馳走ヲシテ居ル、斯ウ云フコトモ提案者ハ御存知ガアルカドウカト云フコトヲ御伺ヒシナケレバナラヌ(「簡單」ト呼フ者アリ) 次ニ二三御伺致シマスガ、元來自作農制定ト云フコトハ、土地ヲ安ク買テ、サウシテ小作人ニ相當長イ年限ヲ以テ、小作人ニ有利ニ賣テヤルコトニ依ッテ、初メテ自作農制定ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアル、然ルニ此法律案ヲ拜見シマス、土地ヲ買フ方法ハ單ニ勅令ヲ以テ決メルカト云フ簡單ナモノデアル、是ハ自作農制定ノ精神ニ反スルと思フ、昨年ノ法案ニ於テハ、尙ホ三十箇年ノ年限ヲ以テ之ヲ賣テヤルト云フコトガ書イテアリマシタガ、本年ノ此法案ニハ少シモ書イテナイ、是ハ單ニ土地ヲ賣ランガ爲ノ法律デアルト云フコトハ、此一點カラ見テモ窺ヒ知ルコトハ出來ルノデアル、之ニ對スル提出者側ノ御意見ヲ御伺致シマス、又昨年もサウデアタガ、此法案ニハ費用算定ノ途ガ無イノデアル、荷モ國家ガ六千萬圓ノ土地ヲ買收スルナラバ、此事業ヲ完成スルニハ少ナラヌノデアル、然ルニ此法案ニハ何等費用ニ關スル所ノ規定ガナイ、是ハ如何ナル理由デアアルカト云フコトヲ御伺致シマス、元來北海道ノ土地ハ、現在成程荒廢ニ屬スルモノハ二三十萬町アリマス、アリマスガ、

ソレ等ノ大部分ハ所謂山師地主連中ガ政府カラ僅ニ一町三圓カ五圓デ買ツタモノヲ、開墾セズシテ放任シテ居ルモノガ多イノデアアル、然ルニ此法案ニ依ルト、一反歩二三十圓ヲ以テ買フト云フコトニナッテ居ルノデアルカラシテ、世人ガ此ニ疑惑ヲ置カザルヲ得ナイノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ、丸山君デナクテ、寧ロ昨年此法案ヲ説明シタル東武君カ、若クハ委員會會デ説明セラレタ所ノ松實喜代太君ニ詳細ナル御答辯ヲ御願致シマス

(丸山浪彌君登壇)

○丸山浪彌君 會期切迫ノ折柄デアリマスカラ、簡單ニ申上ゲマシテ、尙ホ詳細ノコトハ委員會ニ譲リマスガ、サリナカラ今此處デ御質問ニナッタク中ノ二三ノ要點ニ付テハ、御答シテ置ク必要ガアルト考ヘマス、私が先刻申上ゲマシタ通り、世間ノ疑惑ヲ招イテ居ルト云フコトハ、如何ニモ承知シテ居ル、而シテ田中清輔君ガ最も熱心ニ運動シテ居ルコトモ私ハ承知シテ居ル、併ナガラ田中清輔君ガ熱心ニ運動シテ居ルガ故ニ、其裏面ニ疑惑ガアルト云フコトハ、私ハ如何ナル理由デアアルカ分ラヌ、段々星ヶ岡會社ヲ開イテ、交友俱樂部員ノ何處何處デ招シタコトヲ知ッテ居ルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ私ハ答辯スルノ必要アリトハ認メテ居リマセヌ、サウシテ此土地收用法ヲ、本案ガ利用スルト云フコトニ付テハ坂東君ハ未ダ注意ガナイヤウデアアル、成程私ハ先刻此點ニ付テ説明シマセヌデシタガ、昨年ノ本案ニ於テハ、單ニ買收スルノ其立法ノ根據ニナッテ居ルノデアリマス、今年提出ノ本案ハ、土地ノ賣主ガ處理委員會ノ價格評價ニ承服セザル時分、即チ妥協不可能ノ場合ニハ土地收用法ヲ適用シテ、強制力ヲ以テ買フト云フコトヲ此ニ加ヘテアルコトヲ注意シテ御覽下サルコトヲ希望致シマス尙ホ費用ガ掛カル、其費用ハドウスルカ、勿論是ハ當然ナル御質問デアアル、斯ノ如キコトハ委員會ニ於テ御答シヤウト思ヒマシタガ、御質問デアリマスガ故ニ御答致シマスガ、ソレハ矢張此利轄

ト共ニ公債ヲ募集シテ居ル中ノ一部分ヲ、此間ニ使ハナケレバナラヌト云フ大體ノ考ヲ持ッテ居ルコトヲ御承知願ヒタイノデアリマス、尙ホ其外特ニ松實君、東君ニ御質問ノ點ハ、或ハ兩君カラ御答ガアルカドウカ知リマセウガ、大體是デ御瞭解ニナッタクトト考ヘマス

(松實喜代太君登壇)

○松實喜代太君 只今日程ニ上ッテ居ル所ノ北海道農地特別處理法案ニ付テハ、坂東君ノ御尋モアリ、又御尋ガナクテモ、私ハ多年此事ヲ唱ヘ來ッテデアリマスカラ、贊成ノ演説ヲスル積リデアリマス、併シ會期切迫ノ折柄デアリマスカラ、此原稿ハ議長ノ御許シヲ得テ速記ニ載セルコトニ致シタイ、而シテ只今坂東君ヨリノ御質問ニ對シテハ、委員會ニ付議サレルコト、信ジマスカラ、其場合ニ於テ詳細ノ御答ヲ致ス積リデアリマス

(「要領ヲ得テ居ル」旨イ)ト呼フ者アリ)

(參照)

諸君、只今議題トナッテ居ル所ノ「北海道農地特別處理法案」ナルモノハ第五十議會ニ於テモ吾々同志ガ提出シ本院ハ大多數ノ贊成ヲ得テ通過シ貴族院ニ送付セラレタノデアアルガ――

貴族院ニ於テハ審議ノ期日ナキ爲未了ニナッタノデアリマス斯様ナ次第デアリマスカラ再ビ今期議會ニ提出シ諸君ノ御協賛ヲ願フノデアアル

坂東君、昨年ノ提案ト只今議題トナッテ居ル所ノ案トハ大體ニ於テ同様デアアルガ其ノ内容ハ多少異ナッタル點ガアル然ラバ異ナッタル點ハ何デアアルカト申セバ第一――

前議會ニ提出シタル案ハ「特別處理ニ要スル土地ノ買收ハ北海道地方費ガ公債ヲ發行シテ買收スルト云フコトニナッテ居ツタノデアアルガ

今回ノ提案ハ國庫ガ公債ヲ發行シテ之ヲ買收スルト云フコトニナシタノデアアル

第二ハ第五十議會ニ提出シタル案ハ土地ヲ買收スルニハ協議上ノ買收ニヨル事トシテアツタノデアリガ
今回ノハ協議上ノ買收方法ニヨルノ外ニ強制買收即チ土地收用法ヲ適用シテ買收スルノ方法ニヨリ此二者ヲ併セ行フコトト致シタルデアリマス
斯ノ如ク變更致シマシタル理由ハ何故デアリカト申セバ第一ノ點ニ對シ
前回ノ提案ハ何故ニ地方費デアルコトニシタカト申セバ其ノ當時私共ガ説明セシ如ク
斯様ナル事業ハ國ガヤルノガ本則デアリケレドモサウスルニハ問題ガ大クナリ實現ガナカノ一六々數殊ニ全國一般ノデナク
北海道ニ局限シタ事デアルカラ地方費デヤル事ニシテアツタノデアリ
然ルニ政府ニ於テハ本年府縣ニ於テ自作農創設ノ案ヲ立テ
明年度ヨリ之ガ實施ヲ爲スコトニナツタ以上、北海道ニ特別農地處理法ヲ施行スルノニモ國家ガヤルノガ當然デアルト信ジタルガ故ニ國債證券ヲ以テ買收スルコトニ變更シタルデアリ
即チ簡短ニ言ヘバ前回ノ提案ハ寧ろ變則デアッタノヲ今回ハ正則ニ改メタト云フニ過ギナイノデアリマス
第二ノ點ハ昨年ノ提案ノ時ニハ強制買收ノ方法モ考ヘタノデアツタガ之ニ多少ノ反對ガアリハセヌカト云フ事ヲ氣遣ツタ爲唯ダ協議上ノ買收ノ方法ノミヲ取ツタノデアリガ
政府ノヤル自作農創設ニ要スル土地ノ買收モ強制買收ノ方法ヲ用ユルト云フ事デアリ
又強慾ナル地主カラ土地ヲ買收スルニハ此方法ヨリ外ニ途ガナイノデアルカラ今回ノ提案ニハ協議上ノ買收ト強制買收トノ二ツノ方法ヲ併セ行フコトハナシタルデアリ
以上申述ベシタルガ如ク前回ノ案ト今回ノ案ト大體二點ノ相違ガアルノデアリ今回ノ案ハ前回ノ案ヨリモ大ニ改善セラ

レタル案デアル事ヲ御了承願ヒタイノデアリマス
諸君、此ノ農地特別處理即チ北海道ニ於ケル自作農創設ト云フコトハ北海道拓殖上極メテ重要ナル事柄デアツテ
吾々同志ノ多年ノ主張デアアルノデアリ此農地特別處理法ト云フ名前前本院ニアラハレタルハ昨年始メテアリマスガ
是ト内容實質ニ於テ等イ所ノ建議案ガ大正二年東代議士ニ依ツテ北海道拓殖助成機關創設ニ關スル建議案ト言フ名ニヨツテ始メテ提案セラレ爾來
大正十一年ニハ私ガ提案シタル北海道地代農地設定ニ關スル建議案
大正十二年ニハ其ノ當時ノ代議士木下成太郎君ニ依ツテ提案サレタル自作農扶植ニ關スル建議案ト云フ建議案ハ何レモ只今議題トナツテ居ル所ノ法案ト同一ノ主旨デアアルノデアリ
而モ此三案トモ滿場一致ヲ以テ本院ヲ通過シテ居リ
而シテ昨年ニハ先刻申上タル如ク法案ガ大多數ヲ以テ本院ヲ通過シタルノデアリ以上申述ベタルガ如ク此問題ガ本院ニアラハレマシテカラ既二十四年ヲ閱シテ居ルノデアリ
然ルニ今マ尙ホ實現ヲ見ナイト云フコトハ實ニ遺憾千萬デアリ
處ガ府縣ニハ來年度ヨリ之ガ實施ヲ見ル事トナツタノデアリ
即チ先ノ雁ガ後ニナリ、後ノ雁ガ先ニナツタノデアリ
而モ昨年吾々ガ此法案ヲ提出シタル際ニ反對シタルハ其ノ當時ノ大藏省政務次官早速氏デアツタノデアリガ
其ノ早速氏ガ農林大臣トナルヤ此法ヲ府縣ニ實施スルノ案ヲ立テタノデアリ
實ニ運命ノ神ノ惡戯ナルニ驚カザルヲ得ナイノデアリ
否ナ政府ノヤリ方ガ北海道ニ對シテハ如何ニモ無情デアル事ヲ憤懣ニ堪ヘナイノデアリ

諸君、吾々ハ何故ニ斯ノ如ク此問題ニ熱心デアアルカト申セバ
現今北海道ノ拓殖ノ狀況ハ未ダ半ニモ達セズ前途甚ダ遠遠ナルニカ、ハラズ近年ハ移民ガ減退シ來道者ト退道者トヲ比較スルトキハ寧ろ退道スル人員ノ方ガ多クアリ
而シテ休耕地即チ一旦開墾シタル田畑ガ荒蕪ニ歸シタル土地ガ十町歩ニ達セントスル有様デアアルノデアリマス
加之北海道ニハ國有地、御料地、大學林、公共團體等ノ名ノ下ニ封鎖セラレ民間ノ個人ニ私有ヲ許サナイ土地ガ澤山ニアルガ
其ノ外ニ現在民有ニ歸シテ居ル土地ニシテ未墾ノ儘ニ放任セラレテ居ル土地ガ約百二十町歩ニ達シテ居ル
而シテ此外ニ過大農場又ハ不在農場ト申シテ經營ガ甚ダ宜シキヲ得ズシテ利用ヲ缺イテ居ル土地ガ約四十町歩アル
此等ノ土地ガ利用セラレテ居ラナイダケナラバマダ宜シイト致シマシテモ
其ノ土地ガ中間ニ横シテ居ル爲ニ其奧地ニ良好ナル國有未開地ガアツテモ
既成部落ト奧地トノ運輸交通ノ便ヲ缺ク爲ニ
假令一旦奧地ニ移民ガ入ツテ來テモ間モナク他ニ轉住スルト云フ譯デ
其ノ土地自身ガ開發サレナイノミナラズ隣接地ノ開發ヲ妨グルト云フコトニナツテ居ルノデアリ
斯ノ如キ事ハ北海道拓殖ノ爲ニ深甚ノ遺憾デアリマス
此等ノ行詰マレル現狀ヲ打開シ拓殖ノ促進ヲ圖ルニハ其方法種々アリマスガ就中最モ有力ナル方法ハ此本法案ヲ成立セシメテ自作農創設ヲ爲スコトデアリマス
此ガ吾々ガ本法案ノ成立ヲ希望シテ止マナイ所以デアリマス」本法案ノ目的ハ此等ノ土地ヲ買收シ、整理分割シテ、自ラ其土地ニ安住シテ耕作ニ從事スル者ニ

長期間賦償還ノ方法ニヨツテ賣拂ヲ爲シ一面ニ於テハ其土地ノ利用ヲ全フシ國利ヲ増進シ」他面ニ於テハ自作農ヲ獎勵シ實質剛健ノ農民ヲ扶植スルト云フ目的デアリノデアリマス
北海道ニ於テハ土地ガ廣ク其價モ極メテ安イノデアリマスカラ自作農創設ハ容易デアリ
府縣田一反歩ノ平均時價六百二十圓畑ハ同ジク三百六十圓モスルノデアリガ之ニ反シ北海道ノ一反歩ノ平均時價田ハ百二十五圓畑ハ三十八圓未開地ハ十二圓デアリマス
勿論土地ノ品位ニヨリ價格ハ高下アリト雖ドモ價格ノ高キモノハ
夫レ丈收容ガ多クアルヲ以テ大體此平均額ヲ目安トシテ觀察スレバ太過ガナイノデアリマス
而シテ北海道ニ於ケル現今田畑ノ小作料及公課金其他ノ負擔ヲ見ルニ
一反歩平均田ノ小作料十四圓二十二錢(農林省調査)
地租、地方稅、町村費等合セ公課金二圓十八錢
土功組合費二圓九十六錢
此小作料ヨリ公課金並土功組合費ヲ差引キタル殘金ハ九圓八錢トナルノデアリ
此金額ヲ以テ年賦金ニ充ツレバ年五朱ノ利率トシ且田一反歩ノ買受代金ヲ百二十圓トスルナレバ
二十五箇年ニ元利共完済シ得ルノデアリマス即チ現今納メツ、アル小作料ヲ以テ二十五年後ニハ其田地ヲ自己ノ所有トナシ得ルノデアリマス
又畑ノ方ハ小作料二圓八十八錢デアリガ公課金ガ六十三錢デアアル之ヲ差引シタル殘金ハ二圓二十五錢トナルノデアリマス此殘金ヲ以テ年賦金ニ充ツルノキハ年五朱ノ利率トシテ買受代金一反歩ニ付三十圓トスレバ二十五年間ニ元利金ノ完済ヲ得ルノデアリマス
畑モ田ト同様ニ現今ノ小作料ヲ以テ二十五年ノ後ニハ自己ノ所有ト爲スコトガ出

來ルノデアリマス
私ハ只今利率ヲ年五朱ト申シマシタガ私
共ノ希望ヲ申セバ

土地ヲ買收スル對價ノ公債ハ年五朱ト致
シ而シテ自作農ニ賣拂フ利率ハ年四朱ト
致シ此利率ノ差額ハ國庫ヨリ支出ヲ仰ギ
タイノデアリマス

諸君、此法案ニ對シ一部ノ反對ガアルノ
デアリガ其ノ反對ノ理由トスル所ハ種々
アルヨウデアアルガ

多クハ問題トスルニ足ラナイノデアリ唯
ダ一點多少ノ理由ガアルト見ラル、モノ
ガアル

其レハ何デアアルカト申セバ北海道ノ大地
主即チ過大農場ノ地主ノ如キハ大面積ノ
土地ヲ得ル爲メニ種々艱難ナル手段ヲ弄
シテ手ニ入レ

而シテ立木ヲ賣拂ヒ土地ハ其儘放任シテ
開墾シナイデ置クノデアアルカラ

土地ガ荒廢シテ居ルノハ自業自得デア
ルカラ何ニモソナモノヲ救済スルノ必要
ハナイト云フ反對デアアル

此ハ一寸間ケバ一應御尤モノヨウデア
ル即チ北海道ノ大地主ノ内ニハ左様ノ者モ
絶無デハナイガ

併シナガラ大地主ノ多クハ古キ時代ニ於
テ開拓上大ナル資本ト大ナル力ノ人ヲ招
致スル必要上

大面積ノ土地ヲ與ヘ又タ賣拂ツタト云フ
事ノ爲ニ出來タノデアアル

一部不都合ノ者ガアルカト云フテ其ガ
爲ニ全般ヲ推ス譯ニハ行カナイノデア
ル而シテ此法案ハ決シテ地主ヲ救済スル
ノガ目的デハナイ土地ノ開發利用並ニ自
作農創設ガ目的デアアル

併シ其自作農ヲ創設スル爲ニ要スル土地
ハ大地主ノ所有シテ居ル土地デア
ル之ヲ買收スルノデアアルカラ或ハ間接ニハ
多少地主ヲ利スルコトニモナルノデア
アルウガ

今回ノ案ニハ強制買收ノ方法ヲ用ユル事
ニナツテ居ルカラ地主ヲ多ク利スルコト
ハナイト信ズル而シテ土地ノ買收賣拂其

他一切ヲ處理スル爲ニ各方面カラ智識經
驗アルモノヲ集メテ委員會ヲ組織シ之レ
ニ依リ處理セシムル事ニシタナラバ

不當ナル價格ヲ支拂ツテ地主ヲ利スルト
云フコトハ絶體ナイ若シ假リニ不當ノ
價格ニヨツテ買收スレバ買受人ガナカラ
フカラ其様ナ事ガ決シテ行ハル、筈ハナ
イノデアアル

又多少地主モ利スルコトアリトスルモ夫
ハ止ムヲ得ナイ事ト思フノデアリマス
何故ナレバ大地主ノ土地ヲ無償デ沒收ス
ルコトノ出來ナイノハ勿論デアアル

サレバトテ何時迄デモ此大面積ノ土地ヲ
抛擲シタナラバ如何ナル結果ヲ來タスノ
デアロウカラ考慮セネバナラナイノデア
ル

此處ヲ諸君ニ御考ヲ願ヒタイノデアリマ
ス

地主ハ先程申マシタヨウニ自業自得デア
ルカラ已ムヲ得ナイト致シマシテモ

第一ニハ土地ノ利用ヲ全フスルコト能ハ
ザルノ結果トシテ所謂天物ヲ暴殄シ國家
ノ不利益ヲ來タスコト、ナルノデア
ル

第二ニハ何時迄經ツテモ自作農ヲ創設ス
ルコトガナイ

隨ツテ農民ヲシテ生活ノ安定ヲ得セシム
ルコトモ出來ナイノデアアル

故ニ此法案實施ノ曉ニ於テ地主ガ多少利
スル所ガアツテモ其ハ自然ノ結果デア
ツテ已ヲ得ナイノデアアル

次ニハ此法案ノ主旨ニハ賛成デアアルガ北
海道ニハ第二次拓殖計畫ヲ明年度ヨリ實
施スルコトニナルノデアアルカラ

其ノ拓殖計畫中ニ於テヤレバヨイデハナ
イカト云フ者モアルノデアアルガ

是モ一應ハ御尤デアアルガ政府部内ニ於テ
北海道自作農創設ニ反對スルモノガアル
ト云フコトモアリマスカラ

果シテ第二次拓殖計畫中ニ自作農創設ヲ
編ミ入レルカドウカト云フコトハ疑問デ
アリマス
斯様ナル疑問ヲアテニ是如トシテ空待チ

ニ待ツト云フ譯ニ參ラナイノデアアル
自作農創設ヲ拓殖計畫ニ編ミ入レルニ就
キ特ニ考慮セネバナラヌ事ガアルノデア
ル其ハ自作農創設ヲ第二次拓殖計畫ニ加
ヘル事ニ致シマスルト年限ニ於テ支障ヲ
生ズルノデアリマス

第二次拓殖計畫ノ年限ハ何箇年デア
ルカ不明デアアルガ

先ニ内務省デ立テタル案ハ二十箇年デア
リマシタカラ

多分此度立テタル案モ其様ニナルノデア
ラウト思ハル、

若シ果シテ然リトセバ次ノ如キ差支ガ生
スルノデアアル

其ハ此法案ニハ明記シテナイノデアアルガ
公債發行ノ年限ハ大體ニ於テ十五箇年間
ニ發行スルコト云フ事ニナラウト思ハル、
ノデアアル

而シテ償還ハ三箇年據置二十二箇年ノ年
賦ニ償還セシムル位ニシナケレバナラナ
イト信ズルノデアアル

サウ致シマスルト最終ニ發行スル公債ハ
大正三十年ニ發行シテ其償還ヲ終ルノハ
大正五十五年デナケレバナラヌノデア
ル

而シテ一方拓殖計畫ハ大正十六年ヨリ二
箇年ト致シマスレバ大正三十五年デ終
ルノデアアル

拓殖計畫ハ大正三十五年デ終ルガ其ノ拓
殖計畫ニヨツテ發行セラレタル公債ハ大
正五十五年即チ二十年後デナケレバ償還
ガ終ラヌコトニナルノデアアル

此モ特別ノ法令ヲ設ケレバ絕對不都合デ
モアリマスマイガ

併シ斯様ナル次第デアアルカラ此自作農創
設ニ關スル事ハ拓殖計畫ヨリ切放シテ
計畫ヲ立タ方ガ適當ナ處置デアルト信ズ
ルノデアリマス

向ホ左ノ諸項ハ勅令又ハ處理委員會ノ權
限ニ屬スルモノデアアルガ提案者ノ希望案
デアアルカラ御參考ニ供スル次第デア
ル

一、本法ヲ適用スベキ土地
(一) 農耕適地(農業經營ニ必要ナル
牧場及植樹地ヲ含ム)ニシテ現ニ利

用セラレザルモノ
(二) 一團地ノ農場ニ於ケル小作人ガ
協同シテ自作農地設定ヲ申請シタル
モノ

二、本法ヲ適用シ得ヘキ土地面積
(一) 民有未墾地八十町歩
但シ民有未墾地百二十町歩ナルモ其
内山林、泥炭地、火山灰地其他大改
良ヲ要スベキ見込地四十町歩ヲ除
キタルモノ

(二) 過大農場並不在農場其他二十万
町歩
但シ過大農場並不在農場其他約四十
万町歩アルモ其半數ヲ除ク

以上合計百万町歩ナルモ此ノ内四分ノ
一即チ二十五万町歩ヲ差當リ處理スヘ
キヲ望ム

三、前項ニ依リ處理スヘキ二十五万町歩
ノ地目等級價格內譯

(一) 未墾地(未開地)十三万町歩
此價格金一千五百六十万圓 一反歩
當平均金十二圓

等級 面積 反當價格 計
上 四〇〇〇〇 一八〇〇 七二〇〇〇〇
中 五〇〇〇〇 二二〇〇 八四〇〇〇〇
下 四〇〇〇〇 六〇〇 二四〇〇〇〇〇

(二) 半開地 五万町歩
此價格金一千七百七十一万圓 一反歩
當平均金二百三十三圓四十錢強

(三) 水田 七千町歩
此價格金八百七十五万圓 一反歩當
平均百二十五圓

等級 面積 反當價格 計
上 一四〇〇〇 一九五〇 二七三〇〇〇
中 三〇〇〇〇 二五〇〇 三七五〇〇〇
下 二六〇〇〇 八七三〇 二二七〇〇〇〇

(四) 畑 六万三千町歩
此價格金二千三百九十四万圓 一反
歩當平均金三十八圓

等級 面積 反當價格 計
上 一〇〇〇〇 六五〇〇 六五〇〇〇〇
中 三〇〇〇〇 三八〇〇 一一四〇〇〇〇
下 三〇〇〇〇 二六三〇 六六三〇〇〇〇

下 三〇〇〇〇 二六三〇 六六三〇〇〇〇

下 三〇〇〇〇 二六三〇 六六三〇〇〇〇

合計反別「二十五万町歩 金額六千万圓
也、本法ニヨリ交付スル公債ノ利率及償
格並償還年限

(一)利率 五分

(二)償還 時價

(三)年限 三十箇年以内

五、公債發行ノ年度割

初年 百二十万圓

二年 百二十万圓

三年 百二十万圓

四年 百二十万圓

五年 百二十万圓

六年 百二十万圓

七年 百二十万圓

八年 百二十万圓

九年 百二十万圓

十年 百二十万圓

十一年 百二十万圓

十二年 百二十万圓

十三年 百二十万圓

十四年 百二十万圓

十五年 百二十万圓

六、北海道農地特別處理委員會ノ組織

(一)會長 北海道廳長官

(二)委員

イ 北海道廳高等官 三名

ロ 北海道帝國大學教授 一名

ハ 札幌稅務監督局長 一名

ニ 札幌鐵道局長 一名

ホ 北海道會議員 三名

ヘ 北海道拓殖銀行頭取 一名

ト 北海道農會會長 一名

チ 斯業ノ智識經驗ヲ有スル者 五名

七、土地代金ノ徵收年賦金ノ徵收年賦金

ノ方法

(一)即時徵收 賣拂代金ノ百分ノ十

(二)利率 四分

(三)據置期間 三箇年

(四)年賦期限 二十二箇年

八、土地買受人ノ資格

從來農業ノ經驗ヲ有シ又ハ現ニ農業ニ

從事スル者ニシテ自作農ニ適スル相當
ノ勞力又ハ資力ヲ有スル者

九、賣拂地ノ面積制限

(一) 水田及水田ニ適スル土地五町步

以內

(二) 畑及畑ニ適スル土地七町五反步

以內

(三) 水田又ハ畑ニシテ放牧地若ハ植

樹地ヲ併合シタル土地十五町步以內

以上述べタルガ如ク本法案ノ成立如何ハ

北海道拓殖ノ進否ニ重大ナル關係ヲ有ス

ルノデアリマスカラ何卒諸君ノ御賛

同ヲ得テ本法案ノ成立セラレシムコトヲ望

シテ止マザル次第デアリマス

○井本常作君 本案ハ議長指名九名ノ(九

名デナイ十八名ダト呼フ者アリ)——訂正

致シマス、議長指名十八名ノ委員ニ付託セラ

レンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異

議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ委員付託ニ決シマシタ

○砂田重政君 議長、私ハ日程變更ニ關ス

ル緊急動議ヲ提出致シマス、此際板野友造

君ノ松島遊廓移轉問題ニ付、政府ノ責任ニ

關スル緊急質問ヲ議題トシ、其趣旨辯明ヲ

許サレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 砂田重政君ノ日程變

更ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ日程變更シテ、松島遊廓移轉問

題ニ付、政府ノ責任ニ關スル緊急質問ヲ議

題ト致シ、其趣旨辯明ヲ許シマス……板野

友造君

松島遊廓移轉問題ニ付政府ノ責任ニ關

スル緊急質問(板野友造君提出)

○篠原和子君 總理大臣ト各大臣ノ出席ヲ

求メマス
○議長(粕谷義三君) 今交渉ヲシテ居リマ

ス

○板野友造君 生憎總理大臣ガ貴族院ノ豫

算會議ニ御出席中ダサウデゴザイマシテ、

茲ニ御出席ノナイコトハ極メテ遺憾ニ存ジ

マスガ、ドウカ政府ノ方デ總理大臣ニ答辯

ヲ求メマスル點ハ御傳ヘテ願ヒマシテ、サ

ウシテ適當ナル機會ニ御答辯ヲ煩シタイト

存ジマス、私ハ簡單ニ此松島遊廓ノ移轉問

題、之ニ關スル政府ノ責任ニ付テ質問致シ

タイト存ジマス、松島遊廓移轉問題ハ實ハ

往年ノ日糖事件、或ハ「シーメンス」事件、

是等ノモノヨリハ其醜惡ナル點ニ於テ、其

極メテ惡性ヲ帶ブル點ニ於テ、私共ハ之ニ

劣ルモノデナイト云フコトヲ深ク悲ム、此

際私簡單ニ此事實ヲ申述ベマス、簡單ニ此

點ヲ述ベマスルガ、此松島遊廓移轉問題ト申

シマスルノハ、官憲ト政黨ト、ソレカラ資

本家ト、此三ツノ力ガ結合シテ、是ガ結託

ヲ致シテ、サウシテ移轉ヲ試ミ、之ニ依リテ

地價ノ暴騰ヲ圖リ、茲ニ一大暴利ヲ得ヤ

ウト云フ大思惑ヲヤツタ、是デアル、此遊廓

ノ移轉ニ依リテ一億數千萬或ハ二億前後ノ

アフク銭ヲ儲ケヤウト云フ、マア謂ハハ大

博奕デアル、斯ウ云フ案件デアリマス、デ

之ニ就テ諸種ノ土地會社ガ餘程金ヲ使フテ

居ルヤウデアリマスルガ、新聞ヲ見マスト

云フト三十万トカ七十万トカ申シテ居リマ

スガ、私共ノ調査スル所ニ依レバ三十万ヤ七

十万ノモノデハナイ、餘程ノ金ガ使ハレテ

居ル、尤モ誰彼レニヤルト云フテ會社ノ方

ガ出シタ金ガ、全部其到達スベキ人ニ達シ

ナイデ途中デ消エタモノモ相當アリマセ

ウ、アリマセウガ、會社ガ之ニ投ジタ金ハ

驚クベキ多額ニ上リテ居ルト云フコトダケ

ハ茲ニ斷言ヲ致シテ置キマス(拍手)デサウ

致シマシテ此運動ハ餘程巧妙ニ進ンデ、成

功ノ瀬戸際マデ進ンデ居タノデアリマス

ルガ、所謂怪文書ノ配布ニ依リテ司法問題

ガ起リ、檢事局ノ活動トナッテ一頓挫ヲ來

シテ、是ガ實現スルニ至ラナカッタ、斯ウ云フ

コトニ相成ッテ居ル、デ私此問題ヲ此處デ

述ベテ政府ノ答辯ヲ求メル所以ノモノハ、

之ニ官憲ガ關係ヲ致シテ居ル點ニ於テ、驚

クベキ官憲糾察團ノ事件デアルト私ガ思惟ス

ル(拍手)ソレデアリマスルカラ、此點ニ

付テ政府ノ責任アル答辯ヲ求メルノガ目

的デアル、デアリマスカラ此中ニハ多少私

ガ此問題ヲ論ズルコトニ付テ、危惧ノ念ヲ

懷カレル方々モアルデアラウト私ハ思フ

(拍手)或ハ各黨ヲ通ジテ之ニ多少ノ關係ヲ

持ツ人ガアルデアラウト信ジマス、信ジマ

スルガ之ヲ茲ニ別狀シ、之ヲ批評スルコト

ガ目的デナイノデアリマスルカラ、此點ハ私

詳細ニヤレト呼フ者アリ御望ミトアレ

バ相當詳細ニ説キマセウ、松島遊廓ノ移轉

地トシテ從來色々ナ會社ガ之ニ運動致シ

タ、或ハ城東土地デアルトカ、或ハ大東土

地デアルトカ、或ハ木津川尻ノ柴谷新田デ

アルトカ、是等ガ相當運動ヲシ、之ニモ政

黨員等ノ關係モアリマス、デアリマスガ、是

等ハ謂ハハ比較的小サイ方デアル、今日最

モ多額ノ金ヲ使ッテ而シテ猛烈ナル運動ヲ

致シタノハ、今日ノ西淀區ノ御幣島、此御

幣島一帶ヲ遊廓地トシテ茲ニ指定ノ發令ヲ

得ヤウ、此運動ガ一番猛烈ヲ極メ、御承知

ノ豐國土地デアルトカ、萬成信託デアルト

カ云フノハ、此御幣島一帶ヲ遊廓地ニシヤ

ウ、金ガ最も多ク使ハレタノハ此分ナノデア

ル、此土地ノ分ガ一番多ク使ハレ、サウシ

テ前カラヤッテ居リマス城東或ハ大東、或

ハ柴谷新田、是等ガ一緒ニナッテ之ニ力ヲ注

イデ、サウシテ利益ノ均霑ヲシヤウ、斯ウ

云フコトニ相成ッテ居リマスルガ、此關係デ

之ニ活躍シタ人、是モ各黨ニアリマス、私

共洵ニ遺憾ノ至リニ堪ヘマセヌガ、我ガ政

友會ニモ一人ノ關係者ハアリマス、甚ダ遺

憾デアリマスルガ、唯、一人ノ關係者ハア

リマス、デアリマスガ此問題ノ起リ當時ノ

政情ハ如何デアッタカト申シマスレバ、大正

十三年カラ稍、運動ガ猛烈ニナリ、十四年ニ

於テ最も其極ニ達シタノデアル、サウシテ

大正十三年ハ御承知ノ通り聯立内閣デア

ハ

リマスルガ、マア極ク露骨ニ申シマスレバ
憲政會ガ中心デアッタコト云フコトニナリマ
セウ、總理大臣モ憲政會デアリ、問題ノ中
心タル内務大臣モ憲政會出身デアルカラ、
勢ヒ此運動ノ主力ガ憲政會ニ注ガレタノデ
アル(拍手)憲政會ニ注ガレタガ、政友會モ
矢張聯立内閣ノ一勢力デアルカラ、此方ヘ
モ運動スルノ手ガ延ビタ、政友本黨ハ當
時ノ反對黨デアルカラ、政友本黨ニ向テ
積極ノ運動ヲ頼ムヤウナ土地會社ハアリ
マセヌ、アリマセヌガ此唯一ノ反對黨ガ之
ニ騒イデ、或ハ議會デ此事ヲ論ズルトカ、
或ハ彼此レ之ヲ問題ニスルト云フヤウナコ
トガアテハ、目的ヲ達成スル上ニ極メテ不
便デアルカラ、謂ハニ之ヲ邪魔ヲシナイト
云フ消極ノ援助、斯ウ云フ意味ヲ以テ本
黨ヘハ相當手當ヲ致シテ居ル、斯ウ云フ關
係ニ相成テ居ル、ソレデアリマスカ勢ヒ
憲政會ニ向テ最モ多クノ關係者ガアリ、
政友會ニモ一人ノ關係者ハアル、本黨ニモ
多少ノ關係者ガアル、斯様ナコトニ相成テ
居ル(拍手)發表ヲ致シテモ宜イガ、例ヘバ
憲政會デ誰々ガ之ニ關係ヲ爲サタ位ノ
コトハ、相當新聞ニモ出テ居ル、或ハ此中
ニハ俺ハ其當時院外國デアッテ、浪人デア
テ云々ト云フコトヲ言テ居ル人モアル、或
ハ御當人カラ遺憾ナガラ多少ノ關係ヲシタ
ト云フ意味ヲ述ベラレテ居ル人モアル、吾
吾ハ其人ノ行動ヲ一々提ニ捉ヘ來テ、之ニ
批判ヲスルコトガ目的デハナイ、斯ノ如キ大
疑獄、大問題ガ起ルコトヲ知ラザル眞似ヲ
致シテ今日ニ及ンダ内閣ニ向テ肉薄致シ
テ居ルノデアル、ソレデアリマスカ政黨
員諸君ノ行動ノ批判ハ今日ハ目的外デア
ル、斯ウ云フ意味デ成ルベク名前ヲ言ヒタ
クナイ、斯ウ云フ關係ニ立テ居ル、ソレデ
此問題ニ付キマシテハ非常ナ目論見ヲ以テ
ヤンタノデアリマスカラ、何シロ坪平均十圓
位デ買受タモノガ、遊廓地トシテ指定ヲ
受ケルコトガアレバ直ニ一坪三百圓、若ク
ハ五百圓ニ暴騰シヤウト云フ莫大ナ利益ヲ
目ノニヤッテ居ルノデアリマスカラ、此移轉
ハ可能性ガアル、此移轉ノ指定ハ必ズ實現

スルモノダト云フコトサヘ思ハセレバ、此
運動費ノ如キハ幾ラデモ湧イテ出ル、謂ハ
バ運動費ノ如キハ無盡藏デアルト云フ立場
ニ在ッタ仕事デアル、ソレデアリマスカラ此
局ニ當ル、此運動ヲスル中心タル人モハ、
如何ニシテ此實現性ヲ信ゼシメルカト云フ
事ニ付テモ苦心ヲ致シ、ソコデ是ガ今日土
地會社ノ手ニ入ッテ、サウシテ之ニ依ッテ成功
疑ナシト云フコトヲ振廻サレタ所謂六箱
三略ナルモノガアル、此六箱三略ノ出所ニ
付テ私共ハ謹シク内閣ノ答辯ヲ煩シタイト
思フ、是ハ何デアルカ、大阪ノ都市計畫圖、
此都市計畫圖ニ依ルテ振廻ハシテ、サウシテ
郡ノ御幣島一帶ガ遊廓地トシテ指定サレ
ル候補地デアルト云フコトガチャント出來
テ居ル、之ヲ見タカラ關係者ガ、是ハ以然
大阪デ立案シタ圖、サウシテ内務省ニ於テ
認可シタ、刻印ヲ打ッタ圖面デアルカラ、是
ナラバ間違ガナイト云フノデ多クノ人ガ之
ニ手ヲ出ス、斯ウ云フコトデアル、モウ一
ツ——モウ一ツハ何デアルカト申シマスレ
バ、遊廓指定圖ダ、遊廓指定圖ハ是ハ大阪
府ガ作ッテ、サウシテ只今ノ松島ト云フ——
或ハ御承知デナイ方ノガ御多數デセウガ
謂ハバ此處ハ大阪ノ中心ニナッテ居ルノデ、
早晚ハ彼處ニ移轉ヲシナケレバナラヌ運命
ニ在ルモノデセウ、ソレダカラ此遊廓ハド
ウシテモ整理シナケレバナラヌ、其整理ヲ
スル——謂ハバ移轉先ハ何處ニスルカト云
フト是ハ御幣島デアル、其御幣島ハ遊廓指
定地トシテ早晩ハ實現スルガ、其坪數ハ
幾ラデアルカト云フト四万五千坪アル、ソ
レデ今迄ノ遊廓ノ設備ハ多ク外廓ヲ造ッテ
居ル、多ク外廓ヲ造ッテ居リマスカ、アノ外廓
ヲ以テ街路ト遮斷ヲスル遺方ハ、先年ノ大
震災災ノ時ノ慘害ニ鑑ミテ、洵ニ不便デア
ルト云フコトカラ、今度ノ大阪ノ新遊廓ハ
斯様ナ障壁ヲ置カナイ、置カナイデ解放的
ニスル、解放的ニ四万五千坪ノ遊廓地ヲス
ルナラバ、其周圍七十萬坪、約七十萬坪ヲ
興行地トシテ許ス、此處ニハ見世物モアレ
バ、輕業モアル、丁度吉原ト淺草ヲ一緒ニ

シタヤウナ一大歡樂場ヲ御幣島ニ造ラウ、
此遊廓設計圖ト云フモノヲ公表シテ見セ
タ、ソコデ堪ラヌ、都市計畫圖ト遊廓設計
圖ガアル、サウシテ四万五千坪ト云フ遊廓
ダケデナク周圍七十萬坪、此處ヲ興行地ト
シテ指定スル、一大歡樂場ガ實現スルト云フ
コトニナリマシタカラシテ、恐ロシイ勢ヲ
以テ之ニ注意ヲ拂フコトニナッテ、サウシテ
此價值ヲ申シマス、是等ノ土地會社其他
ノ關係者ガ初メ此處等ノ土地ヲ買ヒマス時
ハ、初メノ時ハ一圓前後、一圓三四十錢ノ
所モアッタガ、終ニハ相當約上ダテ三四十
圓ニモナリマシタデセウカ、此二三ノ土
地會社ガ組合デ約七十萬坪ノ土地ヲ買
タ、其原價ハ先ツ十圓ト見テ差支ナイ、
一體是ガ遊廓地トシテ指定ヲ得マスルナ
ラバ、元ノ十圓ノモノハ一躍シテ三百圓若
クハ五百圓、幾ラ偏鄙ナ所ヘ行ッテモ二百
圓ノ値ヲ下ルヤウナ所ハアリマセヌ、ソレ
デアリマスカラヤウナ所ハアリマセヌ、ソレ
スルナラバ、是ガ二億一千万圓、二億一千
萬圓デアリマスカラ、元價ノ七百萬許リ
ヲ引イタ所ガ約二億圓ハ儲カラウト云フ
仕事デアリマスカラ、之ニ二百万圓ヤ三
百万圓ノ運動費ヲ投ズルコトハ、政治家
トカ、或ハ其他ノ方面ニ使フコトハ、
二億前後ノ儲ケガアル大博奕デアリマスカ
ラ、寔ニ易イコトデアル、寔ニ僅少ナ資本
デアルト云フ、斯ウ云フ算盤ガ出來ル、デ
アリマスカラ新聞ハ色々ナ文字ヲ使ッテア
リマスカ、私ハ會社ガ拂ッタ總額ト云フモ
ノハ、十萬臺デアアル、百万圓ハ餘程多イ數
居ル、百万臺デアアル、百万圓ハ餘程多イ數
ニナッテ居リマセウ、今デハ法官憲ノ手
ニ在ル筈ト確信致シテ居リマス、司法官憲
ノ手ニ在ル筈デアルカラ、暫クノ間ニ世ニ
發表ニナルコト、思ヒマス、サウシテ各政
黨員其他ニ向テ使ッタ金モ、是モ相當大キ
ナモノデセウ、甚ダ私共モ同僚トシテ遺憾
ノ至リニ堪ヘマセヌガ、時々吾々ノ同僚ガ
之ニ關係シ、而シテ金錢ヲ收受シタリトノ
新聞ノ記載ニ係ル僚友ガアル同僚ガアル、
其金額ナドモ或ハ新聞ニ出テ居ルヨリハ多

額ノモノデアルカモ知レマセヌ、何ニ致シ
マシテモハ恐ロシイ儲ケニナルモノダト
云フノデ、之ニ飛付イテ掛ッタ者ガ三百六
七十人バカリ明ニナッテ、大阪府ノ警察部
カラ移ッテ檢事局ガ之ヲ調べテ居ル、斯ウ
云フ恐ロシイ人氣ノアル仕事デアリマスカ
ラシテ、相當現金ヲ拂ッタノミナラズ、是
ガ實現致シマシタナラバ、之ニ對シテ多大
ナル報酬ヲスルト云フコトデ契約書ガ渡ッ
テ居リマセウ、多イ人ハ一萬坪、少イ人ハ
五千坪、相當是ガ公平ニ普遍的ニ出來テ居
ル、一萬坪ト云ヘバ僅カナヤウデアリマス
カ、今デハ草茫々タル畑デアルカラ一向有
難クナイガ、是ガ遊廓指定地トシテ般販ナ
ル町ヲ造ルモノト決定ヲシタ曉ニ於テハ、
少クモ坪先ツ五百圓、少クモ三百圓ハ
下ルコトハナイ、三百圓トシタラ一萬坪
賣ルコトシテ、此一萬坪ノ報酬契約ハ其
價三百萬圓、三百萬圓ハ少イト言ハレ
ナイ、併シ會社ノ方カラ云ヘバ何デモナ
イ、七十萬坪先ツアルカラ寔ニ何デモナ
イ、易ミトシテ此契約ガ書イテアル、大阪德分
宿屋ニ泊リ込ミ、白晝一日ノ歡樂ヲ盡シテ契
約書ヲ書カシタ人モアル筈デアル、井一杯
デ一日ヲ暮シテ、其間ニ幾萬坪ノ報酬契約
ガ出來タ人モアル、私ハ是等ノ人ノ行爲ヲ
彼此レ言フデハナイ、是等ハ追テ司法問
題ニナリマセウ、今デハ御承知ノ如ク一躍
幾億ノ富ヲ得ヤウトシタ仕事ガ、マルデ水
泡ニ歸シ、晝餅ニ歸シ、サウシテ運動費ノ
使ヒ損ト云フコトニナッタノデアリマスカ
カラ、詐欺罪モ起リマセウ、株主ガ默ッテ居
リマセヌカラ、背任罪ノ告訴ト云フモノモ
起リマセウ、相當裁判所ガ忙シクナルノデ
アリマセウ、其結果トシテ、司法問題トシ
テ裁判所ノ手ニ依ッテ容易ニ解決スルト考
ヘマスガ、唯、茲ニ私共特ニ政府ニ問イテ
見タイコトガアル、ソレデ此問題ヲ以テ特
ニ緊急質問ヲスル所以デアリマス、尙ホ此
際私共申シテ置ク、此際申シテ置ク、名前
ハ成ベク秘シタイト存ジマスルガ、頻ニ本
黨ノ諸君カラ名前ヲ言ヘ、詳細ニ語レト云
フ話デアル、唯目的ガ此事實一切ヲ茲ニ
挾出スルノガ目的デナイカラ、成ベク省略

シタイ、シタイが政友本黨ノ側カラモ受取
モ出テ居リマセウ、又相當深イ關係ガアリ
マセウ、私ハ政府ニ向テ質問スルノデ
アルカラ、野黨タル本黨ノコトヲ彼此レ言
ヒタクナイ、ソレダケノ關係デアル、憲政
會ニモアリマセウ(「アリマセウ」ト呼
者アリ)、相當現金ヲ取テ居ルデアリマセ
ウ、私、憲政會ノ某氏ノ點、而モ關係者ヨ
リ聽ケバ某氏自筆ノ領收書ト云フモノノ寫
ヲ一ツ持テ居ル、此領收書ノ寫ニ依ルト、
貴殿等ノ希望地(移轉スルコト)ガ決定シ
タ、費用トシテ、幾方圓ヲ領收スルト云フ領
收書ガ出テ居リマス、是ハ確ニ今日、裁判所
檢事局ノ手ニ在リト確信ヲ致シテ居リマ
ス、私共實ニ驚イタ、今日ト雖モマダ遊廓
ノ移轉ノ指定ハアリマセウ、アリマセウ
ニ昨年中ノ某日之ガ貴殿等ノ希望地(移轉
スルコト)ガ決定シタト云フ領收書デアル、
而モ相手ハ中村萬治郎、是ハ萬信託ノ社長
デアル、萬成信託ノ社長ノ希望地ハ五箇島
デアル、決定シタト云フ領收書デアル、
法律上ドウナルカハ存ジマセウ、此領收
書アルガ故ニ、此恩賜師ガ非常ニ之ヲ信
タト云フ事實アル、洵ニ罪ナシデアルト
私ハ思フ、政府ノ與黨デアリ、殊ニ重キ地
位アル此人ガ、與黨ノ此人ガ書ク領收書デ
アルカラ、決定シタト云フ以上ハ斷ジテ間
違ガナイト云フコトデ、一層此熱ヲ高カラ
シメタト、斯ウ云フ關係ニナリテ居ル(拍
手)今日裁判所へ領收書及往復ノ文書ノ押
收サレタルモノハ相當アルデアラウト私共
ハ信ジテ居リマス、ソレカラ政友本黨ノ方
ガ頻ニ大キナ聲ヲ爲サルガ、政友本黨ニモ
不幸ニシテ疑ヲ買フダケノ事實ハアリマ
ス、或ハ書面モアルカモ知レナイト申シテ
置キマセウ(「アレバ言ヘ」ト呼フ者アリ)私
野黨ノ攻撃ヲスルコトガ目的デナイカラ、
此程度ニ致シテ置キマセウ、又過日モ(議
長「議長」ト呼フ者アリ)川崎卓吉君——内
務次官川崎卓吉君ノコトニ付テ、私片岡商
工大臣ニ御尋シタ所ガ、左様ナ事實ハ毛
頭ナイト云フコトデアル、左様ナ事實ハ毛
頭ナイト云フコトデ、馬鹿ニ大キナ聲ヲシ

テ此處デ御答辯ニナリマシタガ、此事實ハ
私モ少シ之ヲ補テ置キタイト存ジマス、内
務大臣ノ前デ補テ置キタイト思フ、ソレ
ハ此松島事件ハ只今マデ申述ベマシタヤウ
ナ關係ヲ以テ、政黨ト官憲ト資本家ガ結託
シテ、サウシテ此一大儲ケヲヤラウ、官憲
モ綱紀モアリマセウ、儲ケサヘスレバ宜
ト云フコトデ掛タノデアルカラ、一青年
ノ詰問ニ會テ片岡當時ノ次官如何トモス
ルコトガ出来ナイデ、老練ナル片岡君ガ結
局當時ノ川崎警保局長ヲシテ之ニ金ヲヤ
テ、サウシテ引取ラシタト云フ事件デア
リマス(拍手)其金ヲ貰フタト云フ人ノ告白書
ヲ讀ミマセウ——其告白書ノ一部分ヲ讀ミ
セウ當時ノ内務政務次官片岡直溫氏ヲ訪
フテ前記ノ顛末ヲ語ルヤ、氏ハ懇ニ余ヲ慰撫
シ直ニ卓上ノ「ベル」ヲ押シテ川崎氏ヲ呼
ビ、別室ニ於テ少時密談シタリ、其結果片
岡次官ハ余ヲシテ再び川崎局長ヲ訪ハシメ
タリ、斯クシテ川崎局長ハ改メテ金二千圓
ヲ余ニ手交シタリ」如何デアル、不正ナ點
ガナク、疾シイコトガナクシテ、一青年ニ
二千圓ヲヤルト云フコトガ何處カラ出テ來
ル(拍手)殊ニ川崎氏ガ内務次官トナッタコ
トニ付テハ、世間ノ噂ニ依レバ、前内務次
官ノ湯淺氏ハ——廉潔ナル湯淺氏ハ、此遊
廓移轉問題ヲ以テ追テモ斷ジテ應ジナイ、
應ジナイカラ湯淺ガ次官デ居テハイケナ
イト云フコトデ、川崎ヲ以テ之ニ代ヘタ、
世間ハ斯様ニ申シテ居ルノデアル、此内務
次官ノ更迭ハ單純ナル更迭ニアラズシテ、
遊廓移轉問題ノ爲ノ更迭デアラウト云フノ
ガ、世間ノ定評デアルノデアル(拍手)先
斯様ナ順序ヲ以テマシテ政黨員ト官憲ト
サウシテ財產家トガ結託シテ大儲ニ掛
カッタ、之ニ對シテ最も深イ關係アル方
面ハ、先ヅ之ヲ役人ニ求メマスレバ、川崎
次官、大阪ノ中川知事、ソレカラ某々等政
務次官、其他ノ政務次官、ソレカラ政黨員
デハ先ヅ今マデ御話ヲシタ程度以上ニハ進
メナイデ置キマセウ、勿論名前ハ此處デ言
ヒタクアリマセウ、ソレカラ金ヲ出シタ方
面デハ、大抵新聞デ御水知デアリマセウガ、

豊國土地ノ社長、ソレカラ萬成信託ノ社
長、或ハ川原義六、斯ウ云フ人ガ相當深イ
關係ヲ持テ居ルト思フ、唯、怪文書ノ配
付ニ依テ刑事問題ガ起リ、一大頓挫ヲ來
シテ、今日デハ採消運動モ出来ナケレバ、
之ヲドウスルコトモ出来ナイ、洵ニ苦シ
立場ニ立テ居リマスルガ、私此際政府ニ
向テ承リタイト存ジマス、ソレハ政府ニ於
テハ過日來松島遊廓ノコトニ付テハ、一口
ニ申シマスレバ初ヨリ非移轉ノ方針デア
タ、斯ウ云フ御答辯デアッタ、言葉ハ違ヒ
マスルガ初ヨリ非移轉論デアッタト云フ
コトニ御答辯ハ歸著ヲ致ス、所ガ只今
マデ私ガ述ベマシタ關係ニ依レバ、移
政府ハ殆ド移轉論ノ中心トナリ、移
轉論ノ殆ド中心トシテ進ミ來ッタト云
フ事實ガ茲ニ現ハレテ來タノデアリ
マスルガ、ソレデモ尙ホ議會ニ於テ初ヨリ
移轉セザル方針デアッタト云フ御答辯ヲ固
執サレルノデアアルカ否カ、承テ置キ
タイ、ソレカラ次ニ若シ政府ガ初メカ
ラ移轉ヲシナイト云フ方針デアッタトスレ
バ、此猛烈ナル移轉運動ノアツタコトハ、無
論御承知ナイコトハナイ、又知ラヌトハ言
ヘナイノミナラズ、過日ノ内務大臣ノ御答
辯ニ依レバ、大阪府知事ガ猛烈ナル移轉運
動ガアツテ困ルト云フヤツナコトヲ言テ來
タケレドモ、サウ云フ者ニハ觸ハテハイ
ケナイト言ッタコトガアル、然ラバ此知事ガ
苦シメラル、程ノ熾烈ナル移轉運動ノアル
際、政府トシテ移轉セザル方針デアアル
バ、何故ニ移轉セザル方針ナラコトヲ明
シ、之ヲ示シテ此憎ムベキ醜運動ヲ根絶ス
ル方針ニ出デナカッタノデアアルカ、隨分不深
切ト言ハナケレバナラヌ、政府トシテ非移
轉方針ヲ確立シテ居ル、非移轉方針ヲ確立
シテ居ナガラ、是ト相容レザル移轉運動ガ
アルノヲ知ラヌ顔ヲシテ、打棄テ置クト云
フコトハ、不潔切デアリ、少クモ政治家ト
シテハ避ケナケレバナラヌ態度デアアル、然
ルニ尙ホ政府ハ依然トシテ消極的態度ヲ執
テ、之ヲ明言セザリシハ何故デアアルカ承リ
タイ、又斯ノ如クシテ茲ニ數百萬ノ損害ト

多大ナル浪費、此費用ト時間ヲ徒費セシメ、
其結果大疑獄ヲ惹起シタト云フコトハ、一
ニ政府ガ所謂非移轉主義ヲ明カニシナカ
タカラデアアル、少クモ態度ヲ明ニシナカ
タ結果、此大疑獄、此大問題ヲ惹起シタノ
デアアルカラ、此政治上ノ責任ハドウシテモ
政府ガ負ハナケレバナラナイ(拍手)此點ニ
關スル政府ノ所見ヲ承リタク存ジマス、ソ
レカラ此裁判所ノ問題ノ方ハ、是ハ此處デ
申ス必要ハアリマセウ、先刻申シマシタ
都市計畫ノ圖面若クハ遊廓ノ設備圖面ト云
フガ如キ、文書ノ性質上役所ノ嚴密ニスベ
キモノデアアル、嚴重ニ之ヲ秘密ニシナケ
レバナラヌ書面ガ、營利會社若クハ是等射利
ヲ目的トスル人等ノ手ニ渡テ、之ヲ以テ盛
ニ投機ノ材料ニ使ハレテ居ル、此秘密漏洩、
殊ニイッ遊廓ノ移轉ヲ發令スル、或ハ昨年
十二月二十八日ノ御用仕舞ニヤルトカ、
或ハ一月十五日ニヤルトカ、常ニ此日ヲ斷
言致シテ、或ル政黨員ガ何月何日ニ移轉ス
ルコトニ決定シタ、蛇度其日ニ移轉サスト
云フコトヲ、受取ヲ書ク位ニ信ゼシメテ居
ル程デアリマスガ、是等ノ重要ナル秘密書
類ノ漏洩、公表、若クハ運動者ト會見シ、
或ハ是等ノ指定發表ノ日ヲ約シ、若クハ之
ヲ漏スト云フ秘密漏洩ノコトニ對シテ、此
監督ノ責任アル内務大臣トシテ、其責任ヲ
感ゼラル、ヤ否ヤ、承リタク存ジマス、又責
任ヲ感ズルトシマスルナラバ、如何ニシテ
此大疑獄ヲ惹起シタル此態度ニ付テ、如何
ナル方法、如何ナル形式ニ依テ其責ヲ負
ハレントスルノデアアルカ、明快ナル答辯ヲ
煩シタク存ジマス(拍手)

○國務大臣(若槻禮次郎君) 所謂松島遊廓
問題ト云フコトニ付テ、過日板野君カラ御
質問ガアリマシテ、當時私ハ御答ヲシテ置
イタノデアリマス、私ノ知テ居ルノハ當時
御答ヲシタソレダケデアリマス、モウ一遍
繰返シテ申上ダマス、松島遊廓ヲ移轉シヤ
ウト云フ運動ガアルト云フコトハ、大阪府
知事カラ私ニ申シマシタ、ソコデ私ハ斯様
ナ問題ハ大阪市ニ於テ輿論ニナツテ、此處ニ

遊廊ガアツハ風教上ニ害ガアル、ソレ故ニ斯様ナモノハ茲ニ移サナレバナラヌト云フコトガ、大阪市ノ輿論トナリ、何人モ之ニナラナレバナラヌト云フコトキニ初メテ決定スベキモノデアル、ソレ故ニ先ツ以テ市長ナリ、市會デ決議スルナリ、或ハ都市計畫委員決定スルナリ、總テ公共ノ機關ガ之ニ非ザレバイカヌト云フコトヲ決メタトキニ於テ初メテ判斷スベキモノデアラ、個々ノ運動者ナドガ來テ運動シタカラト云ウテ、決シテ之ヲ許シテハナラヌト云フコトヲ中川知事ニ申シタノデアリマス、之ノミデアリマス、私ノ承知シテ居ルノハ此以外ニハ何モアリマセヌ、都市計畫ノ圖面ノ何處ニ遊廊ノ圖ガ出テ居ルノデアアルガ、只今板野君ノ御指摘ニナリマシタ地名ノ所ガ、大阪ノ西ニ在ルノカ、東ニ在ルノカ、私ハ知りマセヌ、サウ云フコトヲ言ウテ來ル前ニ、遊廊問題ナドハ風教上カラ考ヘテ、市長ナリ、市會ナリ、區會ナリ、總テ大阪市ノ輿論ガ出來テ初メテ決定スベキモノデ、個々ノ人間ノ運動ナド決定スベキモノデナイ、斯ウ言フテ府知事ニ訓示ヲ致シマシタ、大阪府知事ハ固ク之ヲ守リ、何人ガ如何ニ言フテモ許サナカッタ、唯、事實ハ是ダケデアリマス、而シテ官邊ニ於テ之ニ關係シテ居ル者ガアル言ハレルガ、是ハ以テ外ノコトデアリマス、官邊ニ於テハ決シテ左様ナ犯罪事實ニ關係シテ居ル者ハナイノデアリマス、又内務省ニ青年ガ飛込シテ來テ何トカシタト云フコトデアリマス、是ハ片岡商工大臣ニ關スル限リニ於テハ、片岡君自ラ此處デ明瞭ニ事實ノ無イト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、又其節川崎現内務次官モ關係シテ居タト云フコトデアリマシタガ、私ハ人ノ事デアアルカヲ質サヌケレバ分リマセヌ故ニ、曩ニ川崎次官ニ申シタ所ガ、全然左様ナ事ハナイ、只今板野君ノ此處デ御申述ニナッタコトハ、全ク虛構ノ事實デアアルノデアリマス(拍手)尙ホ都市計畫ノ圖面ガ何處カラ手ニ洩レテ居タト云フコトデアリマスガ、私ハ全然承知シマセヌ、誰ガドウ云フモノヲ持テ居

〔板野友造君登壇〕

○板野友造君 只今總理大臣兼内務大臣カラ御答辯ヲ承リマシタガ、知事カラ移轉ノコトヲ何カ言フテ來タトキニ聞イタ以外ニハ、何等此問題ニハ興リ知ラヌ、斯様ナ答辯デアリ、議會ニ於テ反對黨タル吾々ガ此問題ヲ以テ内閣ニ質問スルモ、要領ヲ得ル答辯ヲ望シデハ居リマセヌ、殊ニ極メテ答辯ニ巧妙ナル總理大臣トシテハ、極メテ巧ミナ答辯ヲサレルデアラウト云フコトハ豫想ヲ致シテ居リマシタガ、吾々ガ政府ニ質問スル所以ノモノハ、唯、自分ノ知ラザル事ニ付テ教ヲ受ケルコト云フ意味デアリマセヌ、政府ニ責ムベキモノヲ難詰スルコト云フ意味ヲ持テ居ルノデアアルカラ、吾々ハ此質疑ヲ最モ重ンズルノデアアル、一切之ニ關係ノ無イト云フコトハ、極メテ白々シイ答辯デアアル、極メテ無責任ナル答辯デアアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、此天下ニ隠レナキ、而シテ是ガ數年前ヨリ、何モ大正十三年カラ始メタ問題デアリマセヌ、餘程前カラ此問題ニ付テ内務大臣タル若槻君ガ、大阪府知事カラ聽イタ以外ニ何ンモ關知セズト云フガ如キハ、世ヲ偽リ己ヲ偽ルノ甚シキモノト謂ハナケレバナラヌ(拍手)即チ之ニ就テ多少ハ聞イタケレドモ、斯々ノ所マデハ知り得ルケレドモ云々ト云フナラバ免モ角、一切之ヲ知ラヌト云フコトデ、全部否認セントスルハ、極メテ此議會ニ於ケル不深切ナル態度トシテ、私共ハ是以上御尋致シマセヌ、唯、幸カ不幸カ此事件、此問題ニ付キマシテハ、目下司直ノ手ニ於テ根本的ニ此調査ヲ進メテ居ルノデアリマス、或ハ議會ニ於テハ知ラヌ存セヌト云フコトデ濟ムニシテモ、蓋シ裁判所ノ調べノ結果、政府ノ答辯ガ偽デアルト云フコトガ

明々白々ニナル日ガ近ク來ルデアラウト信ジマス(拍手)是デ御別レシマス

○議長(粕谷義三君) 議事進行ニ關シテ發言ヲ求メラレテ居リマス——中林友信君

〔中林友信君登壇〕

○中林友信君 議事ノ進行ニ付キマシテ發言權ヲ得タノデアリマスルガ、私ノ議事進行ニ付キ申上ゲタイ一條ハ、凡ソ議員ガ演壇ニ於テ質問ヲスル場合ニ於キマシテハ、其質問ハ實質ニシテ、而シテ其質問ノ答辯ヲ確實ニ得ルコトヲ目的ト致サナケレバナラヌノデアリマス(拍手)然ルニ拘ラズ、今板野君ノ質問ノ要旨ヲ伺フテ見マスルト、荒唐無稽ノ事デアアルノデアリマス(拍手)若モ荒唐無稽ノモノデナイトスルナラバ、何月何日何レノ所ニ於テ某ト某ト如何ナル取引ヲ致シタト云フコトヲ明ニ發表シテ載キタイノデアリマス(ヒヤ——)私モ大阪府選出デアリマス、今ノ板野君ノ抽象的質問ヲ以テ終ラナラバ、大阪ノ選出代議士ガ大阪ノ問題ナルガ爲ニ怪シイト云フ疑ヲ受ケテハ、吾々ノ人格ヲ害スルコトガ最モ甚シイノデアリマス(拍手)又板野君ガ更ニ總理大臣ニ向テノ答辯ガ要領ヲ得ナイ、要領ヲ得ナイノガ當然デアアルト云フナラバ、何ガ故ニ要領ヲ得タル答辯ヲ欲シイト仰シヤラナイノデアリマス(拍手)要領ヲ得ル積リデナカッタガ、質問致シタト云フヤウナ無責任ナル質問ヲナサル御方デアアルガ故ニ、其仰シヤルコトガ又全部無責任デアアルマイカト云フコトヲ私ハ憂フルノデアリマス、特ニ又松島事件ハハヤ質問會ノ問題トナッテ、質問會ニ於テ質問中ニ屬スルモノトスルナラバ、其質問會ト此質問トノ關係ガ最モ明カデナケレバナラヌト思フ、故ニ質問會ノ參考ト致シテモ、板野君ガ全然今ノ質問ノ要旨ハ責任ヲ持テゴザルノデアアルヤ否ヤト云フコトヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス、若モ責任ヲ持テゴザル方デアレバ、モウ少シ詳シク各黨派ニ關係ガアルトスレバ、政友會モ、憲政會モ、政友本黨モ、總テニ依仗屬員ノナイ公平無私ナル確實ナル發表ヲ得タイト云フコトヲ特ニ私ハ希望シテ、查

問會ニ對スル議事ノ進行ノ上ニ關係ガアラウト思ヒマス故ニ、茲ニ之ヲ再び板野君ノ正確ナル御答辯ヲ得タイト云フコトヲ切ニ希望シテ、何月何日何レノ所ニ於テ、ドウ云フ事ガアツカ、若モソレガ無ケレバ、板野君ノ今ノ趣旨ハ何レノ場所ニ於テ何人ニ御聞キニナツカト云フコトヲ聽カナケレバ、私ハ得心ガ出來ナイノデアリマスルガ故ニ、明瞭ニ名前ヲ發表セラレタイコトヲ切ニ希望スルノデアリマス(拍手)

〔粕谷議長議長席ヲ退キ小泉副議長代リ著席〕

○副議長(小泉又次郎君) 板野友造君

〔板野友造君登壇〕

○板野友造君 今ノ御意見ト申シマスカ、御尋デスカ、私之ニ對シテ辯明シマス、今板野君ガ言フコトニ付テ、責任ヲ帶ビルカト、斯ウ云フ御言葉デアリマス、私共憲法上ニ於テ、法律上ニ於テ、院外ニ責ヲ負ハザルコトハ是ハ申マデモナイ、併ナガラ——併ナガラ吾々ハ院外ニ對シテ院內ノ言論ニ付テ責ヲ負ハザレバトテ、此無責任ナル城壁ニ隱レテ、吾々ガ無責任ナル放言ヲ致ス者デハ斷ジテアリマセヌ、近時議會ノ光景ヲ見マスルト、動モスレバ、此憲法上無責任ノ保障ノ下ニ荒唐無稽ノ言ヲ爲シ、荒唐無稽ナルコトヲ政府及ビ其黨ノ總裁ガ言フノ議論ニ於テ認メルヤウナ無責任ナ人ガデアルデアリマス、私共ハ深ク是等ノ人ノ行爲ヲ陋ナリトシテ斥ケル者デアアル、身不肖ナリト雖モ、吾レ不敏ナリト雖モ、吾々ハ無責任ナ事ヲ申シマセヌ、吾々ハ吾々ノ確信ガアツテ……確信ガアツテ茲ニ申述ベルノデアアルコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ吾々ハ此所ニ登ッテ、吾々ガ茲ニ意見ヲ述ベル際、或問題ニ對シテドノ程度マデ述べルカハ吾々ノ自由デアアルト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 中林友信君

〔中林友信君登壇〕

○中林友信君 只今ノ板野君ノ御話ヲ私ハ傾聴致シマシタ、唯、簡單ニ、他ノ黨派ハ率ザ知ラズ、政友本黨ノ代議士ガ三方圍ヲ

某所ニ於テ受取テ、其受取ガアルト云フコトヲ言ハレタノデアリマスガ、其受取ノ名前ハドナタデアリマスルカト云フコトヲ明ニ御答ヲ願ヒタイノデアル、私共ハ他黨ハ知リマセヌガ、我黨ノ——黨紀廓清ノ爲メニ板野君ト共ニ黨紀ノ廓清ト政界ノ廓清ヲ致シタイ爲ニ、特ニ板野君ニ御願ヲ致シ三万圓受取タ人ハ何人デアアルカト云フコトヲ御答ガナレバ無責任ナル質問ト私ハ思フノデアリマスルガ故ニ、切ニ之ヲ御願スル次第デアリマス(拍手)

〔板野友造君登壇〕

○板野友造君 御答申上デマス、三万圓云云、ドウカト云フコトハ私ハ申シテ居リマセヌ

○副議長(小泉又次郎君) 日程第二十一、移住組合法案ノ一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、提出者津崎尙武君

第二十一 移住組合法案(樋口秀雄君外七名提出) 第一讀會

移住組合法案

移住組合法

第一條 本法ニ於テ移住組合トハ組合員又ハ其ノ家族ノ移住ヲ助成スル爲メノ

- 目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ
- 一 組合員又ハ其ノ家族ノ移住ニ必要ナル資金ヲ組合員ニ貸付スルコト
- 二 組合員又ハ其ノ家族ノ移住ニ必要ナル資金貯蓄ノ便宜ヲ得セシムルコト
- 三 組合員又ハ其ノ家族ノ移住ニ必要ナル土地ヲ取得シ又ハ借受ケテ之ヲ加工シ若ハ加工セシメシテ組合員ニ賣却シ又ハ利用セシムルコト
- 四 組合員又ハ其ノ家族ノ移住ニ必要ナル建物其ノ他ノ物ヲ購買シ之ニ加

工シ若ハ加工セシメシテ又ハ之ヲ生産シ若ハ造成シテ組合員ニ賣却シ又ハ利用セシムルコト

前項ノ家族ノ範圍ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

移住組合ハ第一項各號ノ目的ノ外定款ノ定マル所ニ依リ組合員又ハ其ノ家族ノ移住地渡航ノ周旋ヲ爲スコトヲ得

移住組合ハ其ノ取得シ又ハ借受ケタル土地ヲ組合員ニ賣却シ又ハ利用セシムルニ至ラサル期間臨時其ノ用法ニ從ヒ其ノ土地ノ經營ヲ爲スコトヲ得

第二條 本法ニ於テ移住組合聯合會トハ左ノ目的ヲ以テ設立シタル社團法人ヲ言フ

一 所屬組合ニ必要ナル移住資金ヲ貸付シ及移住資金貯蓄ノ便宜ヲ得セシムルコト

二 所屬組合力其ノ組合員ニ賣却シ又ハ利用セシムヘキ移住地ヲ取得シ若ハ借受ケテ之ヲ加工シ又ハ加工セシメシテ所屬組合ニ賣却シ若ハ利用セシムルコト

三 所屬組合力其ノ組合員ニ賣却シ又ハ利用セシムヘキ建物其ノ他ノ物ヲ購買シテ之ニ加工シ又ハ加工セシメシテ若ハ之ヲ生産シ又ハ造成シテ所屬組合ニ賣却シ若ハ利用セシムルコト

移住組合聯合會ハ第一項各號ノ目的ノ外定款ノ定マル所ニ依リ所屬組合ノ組合員又ハ其ノ家族ノ移住地渡航ノ周旋ヲ爲スコトヲ得

第一條第四項ノ規定ハ移住組合聯合會ニ之ヲ準用ス

移住組合聯合會ハ移住組合若ハ移住組合聯合會又ハ移住組合及移住組合聯合會ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 移住組合及移住組合聯合會ハ有限責任トス

第四條 移住組合ノ區域内ニ居住スル組合員ハ組合員總數ノ五分ノ一以上タルコトヲ要ス

第五條 移住組合ノ組合員ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出資ノ全額ヲ拂込ミタル後ニ非サレハ組合ノ區域外ニ移住スルコトヲ得ス

第六條 移住組合ノ組合員ハ組合ニ關スル一切ノ行為ヲ代理スヘキ者ヲ定メタル後ニ非サレハ本法施行區域外ノ土地ニ移住スルコトヲ得ス

前項ノ代理ヲ爲スヘキ者ハ當該組合ノ區域内ニ居住スル者タルコトヲ要ス

移住組合ノ總會ノ招集又ハ總代ノ選舉ハ第一項ノ代理人ニ通知スルヲ以テ足ル第一項ノ代理人ハ移住組合ノ總會又ハ總代ノ選舉ニ於テ當該組合員ニ代リテ其ノ權利ヲ行フコトヲ得但シ總代タルコトヲ得ス

第七條 本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外產業組合法中產業組合ニ關スル規定ハ移住組合ニ、產業組合聯合會ニ關スル規定ハ移住組合聯合會ニ之ヲ準用ス

住宅組合法第十一條乃至第十三條ノ規定ハ移住組合及移住組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第八條 本法施行區域外ニ於テ行フ移住組合及移住組合聯合會ノ事業監督ニ關スル事項ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔津崎尙武君登壇〕

○津崎尙武君 騒ギノ間デアッタカラ御分リニナラナカッタカモ知レマセヌガ、私ハ日程第二十一ニ出テ居ル移住組合法案ノ説明ヲ致スノデアリマス、此法案ハ各派聯合提出ノ案デゴザイマス、今期議會ニ於キマシテ、食糧問題、人口問題等ガ論議致サレテ

居リマスケレドモ、此問題ヲ根本的ニ解決スルニ付キマシテハ、内地ニ於キマシテ、移住組合法ヲ作リマシテ、其法律ニ依リテ内地及海外ノ移住ヲ適當ニ行フ外ナイト信ズルノデアリマス、此意味カラ致シマシテ、日本現時ノ法規ニ付テ、内地及海外ノ移住ヲ爲スニ付テ必要ナル法規ガアルカト見マスレバ、何モ依ルベキ法規ガナイノデアリマス、是ニ於テ色々研究ノ結果、移住組合法ヲ作リマシテ之ニ依リテ、相互扶助ノ方法ニ依リテ、海外及内地ノ移住ノ目的ヲ達シタイト云フノデアリマス、本案ハ政府ニ於テ提出セラレンコトヲ交渉シタルデアリマスケレドモ、色々ナ都合デ尙ホ其處ニ到ラナカッタノデアリマス、仍テ吾々ハ本案ノ衆議院各派一致ノ法案トシテ提出シタ次第デゴザイマス、會期モ切迫シテ居リマスケレドモ、既ニ此問題ハ政府並ニ各黨派ニ於テ色々研究セラレタ法案デアリマスカラシテ、成ベク早ク通過スル方法ヲ執リテ戴キタイコトヲ切望ニ堪ヘヌノデゴザイマス(拍手)

○作間耕逸君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス、而シテ其委員ハ此場合直ニ議長ヨリ指名セラレタイノデアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、直ニ委員ヲ指名致シマス、神田正雄君、藤井敬慎君、吉原義雄君、中村龜君、渡邊伍君、青柳郁次郎君、吉木陽君、津崎尙武君、丸山浪彌君、而シテ只今指名致シマシタル委員諸君ハ、直ニ第二委員會室ニ御參集ノ上、委員長理事ヲ互選シ、引續キ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○作間耕逸君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出シマス、即チ此際政府提出産業組合法中改正法律案ヲ特ニ上程シテ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其第一讀會ノ續ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕〔賛成〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、産業組合法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマ

ス、委員長荒川五郎君

報告書

産業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

一産業組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年三月二十四日

産業組合法中改正法律案委員長 荒川 五郎

衆議院議長粕谷義三殿

(小字ハ委員會修正)

産業組合法中左ノ通改正ス

第一條第六項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

利用組合ノ設備ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限リ組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ利用セシムルコトヲ得

前項ノ設備ハ命令ヲ以テ之ヲ指定ス

第六條中「所得税」ノ下ニ「營業收益税」ヲ加フ

第六條ノ二 命令ノ定ムル所ニ依ル産業組合ノ住宅ノ建設、購入若ハ住宅用地ノ取得又ハ組合ト組合員トノ間ニ於ケル住宅若ハ其ノ用地ノ所有權移轉ニ關

シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ス 第四十三條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量ニ對シテ配當スヘキ剩餘金ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

組合員ニ配當スヘキ剩餘金又ハ持分ノ計算ニ付テハ計算ノ基礎ト爲ルヘキ金額ニシテ計算上不便ナル端數金額ハ之ヲ切捨ツルコトヲ得

第五十九條中「郡長」ヲ「北海道廳支廳長」ニ改ム

第六條ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第五十九條及第六條ニ關スル規定ハ郡長及島司廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔荒川五郎君登壇〕

○荒川五郎君 簡單ニ御報告ヲ申シマス、本日付託ニナリマシタ産業組合法中改正法律案ハ、貴族院ヨリ修正可決シテ送ラレタモノデアリマスガ、併シ利用組合ノ利用ノ範圍ヲ廣メ、又組合住宅ヲ住宅組合法ト同

ジャウニ免稅ノ特典ヲ與ヘ、又出資ノ拂込ニ充當スヘキ剩餘金ノ配當ニ關スル規定ニ例外ヲ設ケルト云フ、此三箇ガ改正ノ骨子デアリマス、其點ニ於テハ貴族院ニモ何等異議ガナイノミナラズ、其必要ヲ認メラレタノデアリマスルガ、此案ガ貴族院ニ懸カテ居リマスル際ハ、關係ノアル稅制案並ニ地方制度案等ハ審議中デアリマシタカラ、未決定ノ事項ヲ法文ニ掲ゲルノハ妥當デナイト云フノデ、第六條、第五十九條、第六條ノ改正案並ニ附則ノ但書ヲ削除シテ修正シテ、本院ニ送ラレタノデアリマス、併シ今ヤ既ニ其懸念ハアリマセヌガ故ニ、本委員會ニ於テハ、全部貴族院ノ修正ヲ改メテ政府原案ニ復スベク修正ヲ致シテ、委員

會ハ滿場一致可決致シマシタ、此段御報告申シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕〔賛成〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

産業組合法中改正法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ

○作間耕逸君 再ビ議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ日程第七十四乃至第七十六尾崎行雄君外九名提出、政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律案外二案ヲ特ニ繰上ゲテ、一括議題ト爲シ、各提案者ノ趣旨辯明ヲ求メ、其第一讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、日程第七十四政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律案第七十五、政治結社加入勸誘方法ノ制限ニ關スル法律案、第七十六、議員ノ職務ニ關スル法律案ヲ一括シテ第二讀會ヲ開キ、各其趣旨辯明ヲ許シマス、尾崎行雄君

第七十四 政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律案(尾崎行雄君外九名提出) 第一讀會

政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律案

第一條 左ノ一ニ該當スル會社、組合、其ノ他ノ團體又ハ個人ハ政治運動ニ關シ直接タル間接タルトヲ問ハス金錢手形物品其ノ他財産上ノ利益ノ供與ヲ爲シ又ハ供給ノ約束ヲ爲スコトヲ得

一 政府ノ特許セル事業ヲ營ムモノ

二 政府ヨリ補助金其ノ他財産上ノ保護補償若ハ保證ヲ受クルモノ

三 政府ニ於テ理事又ハ決議機關ノ全部又ハ一部ヲ任免スルモノ

四 政府ヨリ特權ヲ附與セラレタルモノ

五 政府ノ請負ヲ爲スモノ

第二條 前條ニ規定スル會社組合團體ノ理事取締役其ノ他ノ役員ニシテ個人名義ヲ以テ前條ノ行爲ヲ爲シタルモノハ該會社組合團體ノ行爲ナリト推定ス

第三條 何人ト雖政治運動ニ關シ第一條ニ規定スルモノニ對シ直接タル間接タルトヲ問ハス金錢手形物品其ノ他財産上ノ利益供與ノ申込ヲ爲シ又ハ供與ヲ受クルコトヲ得

第四條 前三條ニ違反シタル者ハ刑法第二十五章ノ例ニ從ヒテ處斷ス

會社ノ行爲ニ關シテハ理事取締役其ノ他ノ役員組合其ノ他ノ團體ノ行爲ニ關シテハ其ノ供與ノ決議ニ加ハリタル役員其ノ責任ニ任ス

第五條 政治運動ニ關シ金錢手形物品其ノ他財産上ノ利益供與ヲ受ケタル者ハ其ノ收受ノ日ヨリ七日以内ニ官報ニ公告スヘシ但シ所定ノ會規會則ニ依ルモ

ノハ一括シテ其ノ總額ヲ公告スヘキモ
ノトス

第六條 政治結社ハ毎年一回一定ノ時期
ニ其ノ收支計算ヲ官報ニ公告スヘシ

衆議院議員ノ總選舉アリタルトキハ其
ノ終了後一月以内ニ選舉ニ要シタル費
用ノ收支ヲ官報ニ公告スヘシ

第七條 前二條ノ規定ニ違反スル者ハ六
月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ
處ス

虛偽ノ公告ヲ爲シタル者亦同シ

第八條 政治結社ニシテ本法ニ違反スル
コト三回以上ニ渉ルトキハ内務大臣ハ
其ノ團體ノ解散ヲ命スルコトヲ得
前項ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所
ニ出訴スルコトヲ得

第七十五 政治結社加入勸誘方法ノ制
限ニ關スル法律案(關直彦君外九名
提出)

政治結社加入勸誘方法ノ制限ニ關スル
法律案 第一讀會

第一條 鐵道ノ敷設道路港灣橋梁河川ニ
關スル事業、學校、官公署ノ設置移轉
其ノ他公費ヲ以テ施行スル事業又ハ政
府ノ權限ニ屬スル認可許可其ノ他特殊
ノ利害關係ヲ利用シテ政治結社ニ加入
シ又ハ加入セサルコト並政治結社ヨリ
脫退スヘキコトヲ勸誘シタルモノハ三
年以下ノ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ
處ス

前項ノ勸誘ノ仲介又ハ周旋ヲナシタル
者亦同シ

第二條 行政官廳ノ處分カ前條ノ利害關
係ノ利用ニ基クテ認ムヘキ理由アルト
キハ關係者ハ其ノ取消ヲ行政裁判所ニ
請求スルコトヲ得

第三條 官吏ニシテ情ヲ知りテ第一條ノ

犯罪ヲ構成スルニ至ラシメタルトキハ
五年以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金
ニ處ス

第七十六 議員ノ職務ニ關スル法律案
(增田義一君外九名提出) 第一讀會

議員ノ職務ニ關スル法律案

第一條 本法ニ於テ議員トハ貴族院議員
並衆議院議員ヲ謂フ

第二條 議員ニシテ辯護士タル者ハ政府
ノ爲其ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス

第三條 議員ハ政府ニ對スル營利事業ノ
請負人ノ代理人タルコトヲ得ス又政府
ノ事業ヲ請負フヘキ者ヲ政府ニ紹介ス
ルコトヲ得ス

第四條 議員ハ何等ノ名義ヲ用ウルヲ問
ハス政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關
スル法律第一條ニ掲グル會社組合其ノ
他ノ團體ノ役員タルコトヲ得ス

其ノ發起人又ハ贊助者タルニ付亦同シ
第五條 議員ハ投機ニ從事スルヲ得ス又
何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ハラズ投機
ニ關係アル會社組合其ノ他ノ團體ノ役
員タルコトヲ得ス

第六條 議員ハ金錢物品手形又ハ財産上
ノ利益ノ供與ニ依リ政治團體ニ加入シ
若ハ政治團體ヨリ脫退スルコトヲ得ス
何人ト雖モ前項ノ行爲ノ勸誘ヲ爲スコ
トヲ得ス

第七條 本法ニ掲ケタル罪ヲ犯シタル者
ハ刑法第二十五章ノ例ニ依ル

(尾崎行雄君登壇)

○尾崎行雄君 吾々同志カラ提出致シマシ
タ三ツノ議案ハ、内容ニ於キ及ビ目的ニ於
テハ稍、關聯ヲ致シテ居リマス、即チ近年
ノ頻々起ル所ノ我が衆議院ニ關スル不祥ナ
ル空氣ヲ一掃スルガ爲ニハ、何等カノ處置
ヲ取ラナケレバナラヌト思フ、其處置ノ一

端トシテ、取敢ヘズ此三案ヲ提出シタ譯デ
アリマシテ、三案中私ハ政治運動ノ爲金品
供與ノ制限ニ關スル法律案ト云フダケヲ説
明ヲ致シテ置キマス、此議案ノ說明ハ、私
ガ千萬言ヲ費スヨリモ、近來當議場及世間
ニ續々現ハル、所ノ忌ハシキ風聞及事實ガ、
最モ有力ニ說明ヲ致シテ居ルト思ヒマス

(拍手)既ニ此事實、此風聞ガアル以上ハ、
無根ノ惡評ハ之ヲ帝國議會ノ爲、將タ國家
ノ爲ニ拂ハナケレバナラヌ、又根據確實ナ
ルモノハ、振ッテ馬糞ヲ斬ルノ途ニ出デナ
ケレバナラヌ、何レニシテモ既ニ煙ガ揚
タ以上ハ、火ノ在リヤ否ヤヲ確メテ、火ア
レバ之ヲ消サナケレバナラヌ、若シ火ナキ
ニ煙ガ濃々トシテ揚ナラバ、將來ハ左様
ナル不思議ノ事ノ無イヤウニ、國家ノ爲ニ
働カナケレバナラヌト思ヒマス、現在立登
テ居ル所ノ煙ハ、或ハ松島遊廊事件ト云ヒ、
或ハ陸軍ノ機密費問題ト云ヒ、其他海ニ國
家ノ爲ニ忌ハシキ事ガ續々煙トナリ、動
モスレバ火トナッテ現ハレテ居リマス、而
シテ世間ニハ之ヲ隱サント企テル者モアリ
マスルケレドモ、斯ノ如キ風説及事實ガ、
世間ニ漏レナイ間ナラバ、或ハ隱シテ現ハ
サズシテ之ヲ改メルト云フコトガ、國家ノ
利益デアアルカモ知レマセヌケレドモ、既ニ
世上ニ現ハレタ以上ハ、之ヲ隱セバ病毒ハ
益、蔓延スルコト、恰モ虎刺刺其他ノ流行
病ト同ジ事デアアル、流行病ヲ隱ス程危險ナ
ルコトハナク、腐敗事件ヲ曖昧ニ付スル程
國家ノ爲ニ危害ヲ與ヘルモノハアリマセヌ

(拍手)故ニ遺憾ナガラ是非共之ヲ清メナケ
レバナラヌト思ヒマシテ、種々考ヘタ中ノ
一端ガ此法律案デアリマス、現在世間ニ起
テ居ル所ノ醜聲、稍、何等カノ形跡ノアリ
サウニモ見エマヌルガ、何レ其ノ有ルカ無
イカノ事實ハ、司直ノ手ヲ經テ裁判上ノ事

件トナッテ現ハレルノデアリマセウカラ、
今日私ガ此處デ喋々ノ辯ヲ費スノ必要ハ無
イ、唯、斯ノ如キ風説ノ起ルト云フ根源ニ
邁テ見マスルト、政黨ニ何レモ多少ノ關係
ヲ有シテ居ル爲ト信ズベキ根據ガアリマ
ス、風説ニ上ッテ居ル所ノ吾々ノ友人、同
僚、個人トシテハ皆尊敬スベキ人デアッテ、
不正ノ金ナドニハ手ヲ觸レサウモナイ方々
デアリマスルケレドモ、奈何ニセン醜聞ノ
間ニ名ヲ掲ゲラレテ居ル、何故デアアルカ、
身ヲ政黨ニ置ク爲デアルト先ヅ大體ニ斷ゼ
ザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)ソレ等ノ
諸君ガ若シ政黨ノ中ニ居ラナカタナラバ、
松島事件ニ名ヲ連ヌルコトハナカッタデア
ラウ、機密費問題ニ疑ヲ受クルコトハナカ
タデアリマセウケレドモ、奈何ニセン、茲
ニ内閣組織ノ根柢トモナルベキ、國家ニ取
テハ一大要素デアアル所ノ政黨ナルモノガ、
我國ニ於テモ在ル、此政黨ハ平常ニ於テモ
可ナリノ金ガ要リマスガ、總選舉ノ際ナド
ニハ、何百方ヲ以テ數ヘル程ノ費用ガ要リ
マス、而シテ其金ガ何處カラ出テ、如何ニ
使ハレルカト云フコトニ至リマシテハ、近年
ハ非常ナ機密デアッテ、恐ラクハ政黨員諸君
ト雖モ御承知ハナカラウ、所謂最高幹部ト
云フ人達ト雖モ、其全部ヲ御承知ニハナル
マイト思ヒマス(拍手)私モ政黨ノ關係ハ、
四十年程持ッテ居リマスルカラ、各黨各派
ノ内情モ聊カ承知致シテ居リマスルガ、此
機密ノ鍵ハ、總裁其他僅カノ二三ノ人ガ握
テ居ッテ、他ニハ絕對ニ知ラセヌノデアアル、
立派ナル黨員ト雖モ、無我夢中デ其金ヲ使
ヒ、其金ヲ分ッテ居ルト云フノガ現狀デア
リマスルガ、機密ノ在ル所ハ、必ズ不正不
義ノ因テ生ズル所ナルノデアアル、微菌ハ
太陽ノ光線最モ激シキ所デアハ毒殖ヲ致サヌ
ガ、暗黒ヤ闇室ニ於テハ微菌ガ發生スルガ

如ク(拍手)政黨派が遺憾ナガラ出所不明ノ資金ヲ、平生ニ於テモ何十萬圓、總選舉ノ時ノ如キハ何百萬圓使フト云フ事實ハ、明ニ外間ニ漏レテ居リマス、此間ノ總選舉ニ於テ、憲政會ガ凡ソドノ位ノ金ヲ使フタカト云フコトモ、具眼ノ士ハ一通リ見テ居ル、此前ノ總選舉ニ於テ政友會、又其前ノ總選舉ニ於テ政友會、其他ノ寺内内閣ヲ援テ者ガ、ドノ位ノ大金ヲ使フタカト云フコトモ、是亦其筋ノ中ニ於テハ公然ノ秘密トナッテ居リマス、而シテ其金ノ出處ガ一切分ラヌ、是ハ怪シカラヌ事デアッテ、政黨ハ國家ノ興廢ニ關係シ、内閣組織ノ根本トナルベキ公ノ機關デアアルニモ拘ラズ、使フ所ノ金ハ分ラヌ、何處カラ來テ、ドウ使フノカ分ラヌト云フガ如キ不分明ナル世帯ノ執方、身上ノ持方ヲシテ居ルコトガ、取リモ直サズ此醜聲惡聞ノ續々トシテ發スル所ノ最大原因ノ一ツト思ヒマス、故ニ私ハ此ニ於テ諸君ト共ニ、ドウカ我國政黨ノ爲ニ此根本ノ病ヲ清メタイ、ソレニハ黨費ヲ公ニ致ス、苟モ寄附ヲ受ケレバ之ヲ公ニスル、使ヘバ之ヲ公ニスル、サウスレバ斯ノ如キ不祥ノ問題ノ起ル氣遣ハ無イノデアリマスルガ、有ユル不正事件ハ、此黨費ノ收支計算ヲ秘密ニ致スコトカラ起ルニ違ヒナイト思ヒマシタ故ニ、私ハドノ黨ニモ味方デハナイト同時ニ、ドノ黨派モ敵デハアリマセヌ、唯、少年時代カラ、ドウカシテ我國ニ政黨ヲ造リタイ、政黨内閣ヲ確立シタイト云フコトノ爲ニ、一身ヲ犧牲ニ供シテ今日マデ來リマシタ故ニ、今日政黨ガ斯ノ如キ惡評ノ間ニ包マレテ居ルノヲ見テハ、私ハ實ニ一生ヲ無駄ニ使フタカノ如ク考ヘテ、遺憾ニ堪ヘヌデアリマス(拍手)故ニドウカシテ、將來此國ヲ擔當シテ行ク所ノ諸君——私ノ如キハ左様ナル野心ハ一切打棄テ

デアリマスルガ故ニ、此政黨ガドウナラウトモ、私ニ取テハ一切關係ノナイ個人的ノ仕事デアリマスルケレドモ、諸君ノ如ク前途有望ナル方ニアッテハ、之ヲ此儘ニ捨テ、置イテハ、到底政黨ハ自滅スルヨリ致方ハアリマセヌカラ(拍手)ドウカ此黨費ハ公ニ募ッテ公ニ使フコトニ、滿場一致ノ御賛成ヲ願ヒタイ、而シテ公ニ募リマスレバ、歐米列國ニ於テモ歴々ト其證左ノ舉ルガ如ク、今日財閥ナドノ寄付金ヲ受クルト較ブレバ、餘程身代ノ持方ハ樂ニナルデアリマス、總選舉ノ時ニ百萬、二百万、三百万ノ金ヲ出サスルト云フコトモ、僅カ少數ノ財閥ニ出サスルカラコソ非常ニ困難ガアル、之ヲ全國カラ募リマスルナラバ——少シ氣ノ利イタキデモ、或ハ天理教ノ如キデモ、數百萬圓ノ金ハ樂ニ集メルデアリマスルカラ、有力ナル諸君ガ陣頭ニ立ッテ、公明正大ナ而モ零細ナ金ヲ全國ニ集ムルト云フ事ニナレバ、五百万、一千万ノ金ヲ集ムルコトハ、何デモナイノデアリマス、現ニ英吉利ノ如キ、自由黨議員ハ六百何十人ノ中ニタツタ四十何人ヨリ議員ヲ持タナイモノデアルケレドモ、今ヤ全國ニ向ッテ一千万圓ノ資金ヲ募集シテ居ンデ、ソレガ總テ僅ノ間ニ集マリサウデアリマス、英吉利人ノ爲シ得ル所、我國ニ於テ度ハ違フカモ知レヌガ、大體爲シ得ヌナドト云フコトハアリ得ナイ事ト思ヒマスルガ故ニ、ドウカ財閥ナドノ金ヲ使ハズ、或ハ機密費或ハ松島事件ト云フガ如キ不祥不吉ノ金ヲ使フト云フヤウナ誤レル考ヲ根本ニ棄テ、戴キタイ、サウスレバ諸君ノ如キ名譽アル人トガ、斯ウ云フ事件ニ名ヲ汚サウナドト云フコトハアリ得ヌ譯デアリマス(拍手)皆已レノ爲デハナイ、黨ノ爲ト思ヘバコソ、汚ラハシキ所ニモ關係ヲ致スト云フコトノ已ムヲ得

ザルニ至ルノデアリマスルカラ、ドウカサウ致シタイノデアリマス、松島事件ノ事ハ先ヅ別ニ言フ程ノ値打モアリマセヌケレドモ、陸軍ノ機密費ニ至ッテハ、將來モ亦モウ少シ今日ニ於テ其疑ノ雲ヲ晴シテ置キマセヌト、政黨對陸軍ト云フヤウナ疑ガ必ズ起リマス、陸軍大臣或ハ總理大臣ノ如キハ、國家ノ爲ニ此疑問ヲ掃ハナケレバナラヌ大責任ヲ持ッテ居ルニモ拘ラズ、先日來當議場ニ於テ、或ハ委員會ニ於テ述ブル所ヲ聽ケバ、唯、知ラヌ存ゼヌ、左様ナ事ハ無イト云フダケ下女下男デモ言フガ如キコトヲ申シテ居ルデアリマス、アノヤウナ辯解ノ仕方ヲスレバスル程疑ハ深クナルコトハ請合デアリマス(拍手)總理大臣ガ言ハウト、陸軍大臣ガ言ハウト意味ノナイ、值ノナイモノハ匹夫下郎ノ申分ト少シモ變リハナイノデアリマス(拍手)彼等ハ疑ヲ晴ラスダケノコトハ言ヒ得ヌデアリマス、言ヘヌ所ノモノハ愈、疑ヲ深クスル、第一事實程正確ナモノハナイ、我國ガ機密費ヲ使ッテ——軍事關係ノ機密費ヲ使ッテ例ハ、日清戰爭、日露戰爭及西伯利出兵、即チ大正三年事件以來デアリマス、其他ニモ臺灣事件、朝鮮事件多々アリマスルケレドモ、事皆小デアアル、餘程重大ナ關係ヲ持ッテ居ルモノハ此三大役デアリマスルガ、日清戰爭ノ時、陸軍ガ使ッテ所ノ機密費、當時ニ於テハ餘程ノ大戰爭デアリマシタガ、陸軍ノ機密費ハ僅カ三十六萬九千圓デアリマス、此度ハ陸軍ダケデ二千四百萬圓使ッテ、此二ツノ事實ヲ對照スルトキニ、是ハ疑フベカラズト云フ人ガアッタナラバ、此人ハ數字ノ桁ヲ知ラナイ人デアアル(拍手)日清戰爭ハ尙ホ事ガ小サイト申スコトガ出來ルカモ知レヌガ、日露戰爭ニ至ッテハ開關以來ノ最大戰爭、我國ノ國運ヲ賭シテ戰ッテ所ノ

戰爭デアリマス、斯ウ云フ軍用金ノ如キモ、前後合スレバ、殆ド二十億圓ニ近キモノヲ使ッテ居リマスルカラ、大正三年以來ノ事件僅カ九億圓ニ比レバ、二倍以上ノ金ヲ使ッテ居ル、此國運ヲ賭シテ所ノ大戰爭、敵ハ有名ナル露西亞デアアル、戰場ハ中立國ノ支那デアアル、中立ノ地ニ於テ強敵ヲ對手ニ戰フト云フコトハ、非常ナ事件デアッテ、斯ノ如キ時コソ機密費モ餘程要ラナケレバナラヌ等デアアルガ、其日露戰爭ノ時ニ陸軍ガ使ッテ機密費ガ僅カ三百二十萬圓、今日ノ西伯利——無人ノ地、敵ハ無イノデアリマス、敵ノ無イ西伯利、無人ノ地ニ居ル間ニ、二千四百萬圓使ッテ、之ヲ疑ハズニ居レルモノデアアルカ、考ヘテ見タラ宜カラウ(拍手)是ハ三大役ノ比較デアリマスルガ、之ヲ陸軍ト海軍ノ使ヒ方、同ジ軍人——元來ヲ言ヘバ日本ノ海軍ハ、一時ハ陸軍ヨリカ餘計奢レテ居ッテデアリマス、故ニ吾々ハ議會ニ於テ二十三年以來主トシテ海軍ノ攻撃ヲ致シタ結果、近來ハ海軍ハ陸軍ヨリ餘程良クナッテ居リマスル爲ニ、同ジ軍人ガ戰爭ニ方ッテ使フ所ノ機密費デモ、海軍ト陸軍ノ間ニハ、非常ナ相違ガアル、海軍ハ——西伯利事件ニ付テハ陸軍ノ二千四百萬圓ニ對シテ、海軍ハ百萬圓ヨリ使ッテ居リマセヌ、又之ヲ從來ノ使ヒ方ニ較ベテ見マシテモ、陸軍ハ日清戰爭ノ際十萬圓ニ付テ二十二圓ダケ使ヒマシタ——十萬圓ノ機密費ノ中ニ十二圓使ッテ、海軍ハ二十九圓使ッテ、此時代ハ何時モ其性質上海軍ノ機密費ノ方ガ、ドウシテモ少シ多クナルベキ根據モアリマスルガ、事實ハ多クタノデアアル、日清戰爭ハ陸軍ガ一萬圓——十萬圓ト申シタノハ間違ヒデアリマシタ、一萬圓ニ付テ二十二圓ノ機密費ヲ使フ、海軍ガ一萬圓ニ付テ二十九圓ヲ使ッテ居ル、日露戰

争ニナリマスルト、陸軍ハ一万圓ニ付テ二十四圓、前ノ二十二圓ニ比ブルト少シ殖エテ居リマスルガ、是ハ其位ノ殖エ方ハ先ツ當然ト思ヒマス、海軍モ同時ニ日露戦役ニハ一万圓ニ付テ三十六圓使テ居ル、矢張前ノ二十九圓ニ比ベテ聊カ殖エテ居ル、所デ此度ハ大正三年事件、此事件ニナリマスルト陸軍ハ一万圓ニ付テ三百八十四圓使テ居リマス、日清戦争ノ時ニハ二十二圓、日露戦争ノ時ニハ二十四圓、此度敵ノ居ナイ西伯利亞ハ三百八十四圓使テ居ル(拍手)此事實ニ對シテ疑ヲ起サヌ者ガアツタナラバ、無能力者ト言ハナケレバナラヌ(拍手)陸軍大臣ハ此疑ヲ掃フベク努ムルコトガ國家ニ奉仕スル所ノ閣僚ノ務デアル(拍手)總理大臣モ無論此疑ヲ晴ラサナケレバ、總理大臣ト云フ職務ハ勤マラヌノデアリマス、然ラバ陸軍ガ一万圓ニ付テ三百八十四圓使テ居ルニ對シテ、從來ハ陸軍ヨリ割合ヲ多ク使テ居ル所ノ海軍ガ、ドレダケ使テタカト云フト、一万圓ニ付テ四十二圓ヨリ使テ居リマセヌ、海軍ハ日清、日露、西伯利亞事件、略同ジ割合ニ使テ居ルガ、獨リ陸軍ニ至テハ敵ノ居ナイ西伯利亞ニ行クトキニ十五十六倍モ餘計ニ使フト云フニ至テハ疑ハザルヲ得ヌデハナイカ(拍手)吾々ハ此疑ヲ晴ラスコトガ帝國議會ノ役目デアリ、御同様ガ國家ニ奉仕スル所ノ任務デアルト考ヘル、私ハ今ノ陸軍大臣ナドヲ攻撃スルノ心ハ少シモアリマセヌ、唯、彼等ヲシテ聊カ國家ニ對スル責任ヲ覺ラセタイト云フガ爲ニ此言ヲ爲スノデアル、彼等ハ唯、目前ノ事ヲ何トカシテ糊塗化シテ、一時ヲ糊塗スルニ努メテ居リマスガ、ソレハ屬僚ノ仕事デアツテ、國家ノ重キニ任ズル者ハ、己レノ身體、己レノ内閣ニ傷ガ付イテモ、國家ヲシテ危クセヌヤウニ心掛ケナケレバ大臣大將タル

者ノ責任デナイ、彼等ハ己レノ責任ヲ解シ得ヌカラ、辯ズベキコトモ辯ジ得ヌデアル、此根本ノ不思議ヲ晴サナケレバナラヌ、然ラバ此同ジ臨時軍事費ノ機密費ニ付テ、歴代ノ内閣ニ於テドウ云フ使ヒ方ヲシタカト言ヘバ、是ハ先達委員會ニ於テ大藏省ガ公表シタモノガ官報紙上ニ載テ居リマスカラ、私ガ説明スル必要ハナイ、免ニ角此臨時事件費ニ付テ、青島ヲ攻略致シ、印度洋地中海ニマデ兵ヲ出シテ、些少ナガラ戦サラシキ戦サヲ致シタノハ、大隈内閣時代ダケデアリマス、大隈内閣ハ小サイケレドモ、戦サヲ致シテ論功行賞ハ一通リ済マセテ、此臨時事件費ノ結末ヲ付ケ掛ケタノデアリマス、其戦サヲシテ居タ大隈二年半ノ在職中ニ使テ機密費ハ、全部ヲ合セテ十五萬圓デアアル、十五萬圓デアリマス、此後ニ寺内内閣ガ出テ西伯利亞ニ兵ヲ出シタ、兵ハ出シタケレドモ宣戰ノ布告ニモアル通り「チエックスローヴ」ノ兵ヲ救ヒ援ケルノガ目的デアツテ、之ヲ攻ムル所ノ敵ハナカッタノデアリマス、而モ日本ハカリデハナイ、英吉利、亞米利加、伊太利マデモ出シテ、聯合國ノ力ヲ以テ「チエックスローヴ」ノ救援ニ赴イタノデアリマスカラ、殆ド戦サヲスル餘地ハナカッタ、即チ戦サヲシナカッタノデアルガ、其寺内内閣ハ(發言スル者多シ)

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○尾崎行雄君(續) 寺内内閣ハ在職二年ニ足ラナイ間ニ、大隈内閣ノ使テ十五萬圓ニ對シテ三百四十萬圓使ヒマシタ、誠ニ能ク使タモノデス、實言フト寺内伯ハ金使ヒハ大分手荒イ方デアアル、大隈侯モ可ナリ手荒イ方デアツタガ、其手荒サハ多ク私財ヲ使フトキニ、自分ノ金ヲ使フトキニ手強クアツタヤウニ思ヒマス、寺内伯ハ必シモサウデナイト見エテ、現ニ朝鮮臺灣、兩銀行ノ手ヲ經テ二億何千萬圓ト云フ金ヲ、支那ノ段祺瑞ト云フ人ニ貸シテヤツタ、サウシテ十年經テモ一文ノ利息モ元金モ取レナイ程ノ金ヲ貸シタ、誠ニ人ノ金ヲ使フトキニハ金離レノ宜イデアリマス、此位無鐵砲ニ人ノ金ヲ二億何千萬圓モ只貸シテ、ソレガ爲ニ臺灣、朝鮮、兩銀行ハ非常ナ窮境ニ陥テ、此間モ此處救済ノ爲ニ國民ニ非常ナ迷惑ヲ掛ケナケレバナラヌト云フ不始末ヲスル程ニ金離レノ宜イデアツタガ、ソレデモマダ機密費トシテハ三百二十萬圓ヨリ使ヒ得ナカッタノデアリマス、寺内内閣ニ代タノハ原内閣、其時ノ陸軍大臣ハ即チ田中大將デアツタノデアリマス、ソコ局面一變シテ、寺内伯ノ三百萬圓ニ對シテ原内閣ハ二千萬圓使ヒマシタ(拍手)何處ニドウ使タノデアルカ、誰ガ考ヘテモ寺内内閣ノ三百萬圓、原内閣ノ二千萬圓、使ヒ途ノ分ラウ苦ハナイデハナイカ、相手ハ無イ、敵ハ無イ、西伯利亞無人ノ地ニ行テ居ル間ニ、一八三萬圓、一八二千萬圓使フ、ドウシタノデアラウト疑フノガ無理カ、此事實ヲ揭ガテ疑ハセル彼等ガ無理デアルカハ、朝野ノ識者ニ委セルヨリ仕方ガナイ(發言スル者多シ議場騒然)

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○尾崎行雄君(續) 拙者モ機密費ノ……
(發言スル者多シ議場騒然)
○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○尾崎行雄君(續) 若シ言フベキ理窟ヲ持テ居ルナラバ靜ニ言フテ見タラドウデスカ、言フベキ理窟ガナイナラバ、唯、怒號スルモ宜イガ、理窟ガアルナラバ靜ニ此處ニ立テ何故言ハヌカ(拍手發言スル者アリ)免ニ大隈内閣ノ十五萬圓ニ對シテ寺内内閣ノ三百四十萬圓、原内閣ノ二千萬圓何レモ無人ノ地使テタノデアルカラ、何處ニドウシテ使テタカト云フコトノ疑ノ起ルノハ當リ前デアアル、陸軍大臣及内閣總理大臣ハ、國家ノ爲ニ此疑ヲ晴スベク努メナケレバナラズ、諸君モ怒號スル代リニ、此疑ヲ晴サナケレバナラヌノデアアル、唯、騒ガバ騒グ程、世間ハ諸君マデモ疑フ(拍手)唯、此點ニ付テ稍、此内閣ノ爲ニ辯ジテ見テ宜シイカト思フ事實ハ、寺内内閣ノ時ニ衆議院ノ解散ガアツタト云フコトハ事實デアアル、解散ガアレバ前申シタ通り選舉費ハ非常ニ餘計要ルト云フコトモ事實デアアル、サウシテ見ルト十五萬圓ガ俄ニ三百萬圓ニ増シタニ付テハ、此解散ト云フコトガ何カ聯絡ガアリハセナイカト云フ想像モ付カヌコトハナイ、私ハ決シテ聯絡ガアルトハ言ハナイケレドモ、此二ツガ同時ニ行ハレタ以上ハ、是デ何カ此處ニ思フノガ、是亦人情デアリマス、同時ニ原内閣ノ時ニモ普通選舉阻止ノ爲ニ議會ヲ解散シタト云フ事實ハアル、而シテ此時ノ解散後ノ選舉ニハ軍用金極メテ裕カデアツタ、豊富デアツタト云フコトモ極メテ事實デアアル、而シテ茲ニ二千萬圓ノ機密費ガ西伯利亞無人ノ地ニ使ハレタト云フ事實ガアル以上ハ、此處ニモ何か一道ノ聯絡ガアリハセヌカト疑フ者ガアツテモ、疑フベカラズト云フヨリカ、聯絡ノナイ事實ヲ示スコトガ諸君ノ爲デアリ、國家ノ爲デアリマス(拍手)實ヲ申セバ本員モ……(發言スル者多シ)

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○尾崎行雄君(續) 政界ニ馳驅スルコト五十年、政界ノ情偽ハ一通リ承知致シテ居ル、隨テ機密費ナドガ如何ニ使ハレテ居ルカト云フコトハ、恐ラクハ今ノ國務大臣ナドヨリハ本員ノ方が能ク承知致シテ居ル(拍手)

實ヲ申セバ——實ヲ申セバ我國ノ機密費ハ眞ニ機密費トシテハ使ハレテ居ラスノデアリマス(拍手)唯、機密費ノ名義ニ欺カレテ之ヲ國家有用ノ爲ニ使ハレト思フ者ガアルナラバ、全ク政界ノ裏面ヲ知ラナイ素人ト申サナレバナラヌ(拍手)内務省ノ機密費、内閣ノ機密費、外務省ノ機密費、如何ナル所ニ使テ居ルカ、本員ノ眼中ニハ略分テ居リマス(發言スル者多シ)貴方ガタハ分ラヌダラウ、故ニ將來眞ニ諸君ガ國家ノ爲ニ貢獻シヤウトスルナラバ、此機密費ノ使ヒ方モ改メナレバナリマセヌ、實ハ大抵ノ省ニハ機密費ナド、云フモノハ與ヘテ居テモ、機密用ニ使フコトハ出來マセヌ、極ク惡イモノハ議員買収費ニ使ヒ、更ニ輕キモノハ宴會費其他ニ使ヒシマフノガ大部分デアル(拍手)斯ノ如キモノヲ與ヘルコトガ抑、帝國議會ノ過デアリマスカラ、將來ハ外國關係——外國關係即チ外務、時アッテハ陸軍海軍等ニハ多少ノ機密費ヲ與ヘル必要ガアルガ、其他ノ内閣ノ仕事ヲスルニ當リテ機密費ナド、云フモノハ少シモ入用ハナイノデアリマス、與ヘテ置ケバ濫費スル、與ヘナクモ仕事ハ立派ニ拂テ參リマス、機密費ナシニ仕事ノ出來ナイト云フ者ハ取モ直サズ無能力者ニ過ギナイノデアリマス(拍手)「スパイ」政治ヲスル所ノ下等ナル政治家カ、然ラズンバ無能力者デナケレバ、國內ノ政治ヲスルニ當リテ機密費ナドノ入用ハアリマセヌ、能ク調ベテ見タナラバ、國內關係ニ於テ眞ニ機密費ヲ機密費トシテ使テ居ル役所ト云フモノハ、殆ド無イコトヲ諸君モ曉テ登見セラル、デアリマセウ、況ヤ此陸軍ノ機密費ナルモノハ機密費デハナイ——機密費デハナイノデアアル(拍手)機密費トハ言フ迄モナク帝國議會ガ機密費トシテ決議シタ所ノ立法科目ニ

對スル術語デアッテ、唯、陸軍ヤ内閣ガ機密費ト名ツケタ所ガソレハ機密費デハナイノデアリマス(拍手)而シテ此陸軍及海軍ノ臨時事件ニ使、タト云フニ千五百萬圓ノ所謂機密費ナルモノハ、帝國議會ノ協賛ヲ經ナイ行政科目デアルコトハ、陸軍大臣明白ニ答辯ヲ致シテ居ル

(拍手起リ發言スル者多シ)

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○尾崎行雄君(續) 即チ彼自ラ機密費デハナイト云フコトヲ公然ト自白致シテ居ルノデアリマス(拍手)即チ宇垣陸軍大臣ガ行政科目デアッテ帝國議會ノ協賛ヲ經テ居ラヌト云フコトハ、此處デモ明言シテ居リ、委員會デモ明言致シテ居ル(拍手)行政科目ハ即チ機密費デハナイ、機密費ナラザルモノヲ機密費ニスルト云フコトハ、既ニ憲法ノ精神ヲ解セザル所ノ大臣デアッテ、而モ其職責ニ背キ違法ノ行爲ヲ爲シタモノデアリマス(拍手)是等ノコトニ付テ辯解スル言葉ガアルナラバ、先ツ第一ニ辯解セナケレバナラヌガ、恐ラクハ今ノ大臣等ニ辯解ノ出來ル人間ガアラウトハ思ハヌ(拍手)出來ルナラバ爲シテ見ヨ、行政科目ノ機密費ト云フモノガ何處ノ世界ニアリ得ルカ、要スルニ是等ノ過ノ起ルト云フコトハ、色々ナ原因ガアルケレドモ、最も重大ナル原因ハ政黨上云フモノガ秘密ノ資金ヲ使フ、殊ニ總選舉ノ時ニハ餘計ニ金ヲ使フト云フ、此處ニ禍ノ本ガアルノデアリマスルカラ、國家ノ爲ニ此陸軍ニ懸カル所ノ汚名ヲ除キ、將來ニ對シテ國ヲ清メントスルナラバ、ドウシテモ諸君ト共ニ此案ヲ成立セシメテ、黨費ヲ公開スルヨリ外ニ致方ナカラウト、唯、一念國家ヲ思フノ心ヨリシテ此說ヲ唱ヘルノデアアル(拍手起ル)但シ若シ諸君ガ之ニ優ル所ノ案ヲ持ツナラバ、私ハ承ク後ニ或ハ賛成

スルカモ知レマセヌケレドモ、恐ラクハ黨費ヲ秘密ニ致シテ居リ、政黨ガ秘密ノ資金ヲ使テ居ル間ハ、斯ノ如キ醜怪ノ事實、違法ノ行爲ハ、將來ト雖モ續々起ルデアラウト思ヒマスル故ニ、先ツ其本源ヲ清メテ其末流ニ及フト云フ途ヲ取ルヨリ外ニ致方ガナイト考ヘ、謹デ茲ニ諸君ノ良心ニ懸ヘルノデアリマス(拍手起ル)

○副議長(小泉又次郎君) 關直彥君

(關直彥君登壇)

○關直彥君 諸君、私ハ茲ニ政治結社加入勸誘方法ノ制限ニ關スル法律案ヲ提案致シタノデアリマス、極ク簡單ニ説明ヲ致シマスルカラ暫ク御清聴ヲ願ヒマス、其法律ノ箇條ハ僅ニ三箇條デアリマス、僅ニ三箇條デアリマスケレドモ、法律ノ意味ヲ嚴守シテ下サイマシタナラバ、政界ノ廓清期シテ待ツベキコトガアルト信ズルノデアリマス、其第一條ハ「鐵道ノ敷設道路港橋梁河川ニ關スル事業、學校、官公署ノ設置移轉其ノ他公費ヲ以テ施行スル事業又ハ政府ノ權限ニ屬スル認可許可其ノ他特殊ノ利害關係ヲ利用シテ政治結社ヲ加入シ又ハ加入セサルコト並政治結社ヨリ脫退スヘキコトヲ勸誘シタルモノハ三年以下ノ禁錮又ハ二千萬圓以下ノ罰金ニ處ス、前項ノ勸誘ノ仲介又ハ周旋ヲナシタル者亦同シ、第二條行政官廳ノ處分前條ノ利害關係ノ利用ニ基クト認ムヘキ理由アルトキハ關係者ハ其ノ取消ヲ行政裁判所ニ請求スルコトヲ得」第三條「官吏ニシテ情ヲ知リテ第一條ノ犯罪ヲ構成スルニ至ラシメタルトキハ五年以下ノ禁錮又ハ三千万圓以下ノ罰金ニ處ス」是ダケデアリマス(分ラヌ)ト呼フ者アリ)只今説明ヲ申上ゲマス、固ヨリ今日ハ政黨ノ勢力ニ依リマシテ、政治ヲ左右スルト云フコトハ固ヨリ當然ノコトデアリマス、又吾々諸君

並各派ノ諸君ガ、各、其黨勢ヲ擴張シテ政權ヲ預リ其經綸抱負ヲ行フト云フコトモ、亦是レ當然ノ次第デアリマス、併ナガラ其政黨ノ黨勢ヲ擴張スルガ爲ニ、其手段方法ハ最も巧妙ナルコトヲ要セナケレバナラヌト私ハ信ズルノデアリマス(拍手)國民全體ニ對スル正當ナル且ツ有利ナル主義ノ下ニ政策ヲ樹テ、之ヲ宣傳シ、之ヲ唱導シテ國民多數ノ共鳴ヲ得テ、而シテ其黨勢ヲ擴張スルト云フコトハ、吾々ハ之ヲ努メナケレバナラヌノデアリマス(拍手)「ヒヤ」(一)政黨員ハ各、其行ヒヲ慎ミ、政黨ノ首領ハ其德ヲ積ムニ至レバ、國民ハ必ズ軍食常樂シテ諸君ヲ迎ヘルニ相違ナイノデアリマス(拍手)政黨ノ勢力擴張ハ、是ハ是ヨリ他ニ途ガナイト信ジテ居ルノデアリマス、然ルニ從來種種ナル利益ヲ餌トシ、或ハ地方的ノ利害ヲ餌トシテ黨員ヲ勸誘スルト云フコトハ、最も立憲政治ノ上ニ忌ムヘキ方法手段デアルト考ヘルノデアリマス(拍手)私ハ其方法ヲ禁ジタイト思フノデアリマス、絕對ニ禁ジタイト思フノデアリマス、其方法ト致シマシテハ是迄用ヒラレタル方法ハ、或ハ鐵道ヲ敷設スルト云フコトヲ以テ其地方ノ黨員ヲ入黨セシメル、或ハ港灣ノ修築、或ハ道路ノ修繕、若クハ橋梁ノ修繕、其他學校ノ移轉、其他利益ノ關係アル事業ヲ以テ地方ノ黨員ヲ募集シタト云フコトノ事績ハ、歴歴私ハアルト信ズルノデアリマス(拍手)左様ナコトガ行ハレマス上云フト、若シ其政黨ガ局ニ當リマシタ場合ニ致テ、其公約ヲ履行セムト致シマスレバ、國家ノ公利公益ハ是ガ爲ニ全然犧牲ニ供セラレルノデアリマス、互ニ斯ル方法手段ヲ用ヒテ黨勢ヲ擴張スルニ至リマシテハ、窮極スル所ハ國家ノ公利公益ト云フモノハ、皆彼等ノ犧牲ニ供

セラレ終ルノデアリマス(拍手)是ハ私ハ將來ノ爲メ決シテドノ黨派ヲ攻撃スルノデモアリマセヌ、ドノ黨派ニ對シテモ是カラノ黨勢ノ擴張ハ御互ニ公明正大ナル方法デアラウデアリマヌセカト、御相談ヲスルノデアリマス、(拍手)餘リ時間モアリマセヌカラ多クハ申シマセヌガ、既ニ現行ノ選舉法ニモ其條項ガアリ、又今回改正サレマシタル普通ノ法律ノ條項ニモ、候補者若クハ候補者ノ運動者ガ、地方的ノ利害ヲ以テ選舉人ヲ誘導シタル場合ニ於キマシテハ、相當ノ罰則ガ設ケラレタルデアリマス、斯ルコトハ當ニ選舉ノ當時ニ於テノミナラズ、平生ニ於キマシテモ各黨各派ハ之ヲ嚴守シナケレバナラヌコトデアルト信ズルノデアリマス(拍手)此意味ニ於キマシテ私ハ只今讀上ゲマシタル通りノ、三箇條ノ條節ヲ規定シテ法律ト致シタイノデアリマスカラ、冀クハ滿堂ノ諸君御賛成アラムコトヲ偏ニ希望致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 増田義一君

〔増田義一君登壇〕

○増田義一君 只今上程ニナリマシタ議員ノ職務ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ簡單ニ述ベマス、本案ノ議員ト稱スルノハ貴衆兩院議員ヲ指スノデゴザイマス、議會ノ神聖ヲ保ツニハドウシテモ此議員ノ品位ヲ高メルコトノ必要ナルハ申ス迄モアリマセヌ、所デ其議員ヲシテ職務ヲ公平ニ神聖ニ執行セシムルニハ、議員ヲシテ廉潔ナラシムルコトガ最も必要デアリマス、政界ノ腐敗ヲ防止シ、又議員ノ行動ヲ飽迄立憲的ナラシメ、政治ヲシテ公明ナラシメルコトハ極メテ大切ナコトデアリマス(拍手)議員タル地位ヲ利用シテ利權獲得運動ヲスルト云フコトハ、惡イノハ申スマデモアリマセヌ、又政府ノ土木事業ノ請負者、或ハ又政府ヘ物資

ヲ供給スル請負業者、御用商人ノ代理人トナツタリ、或ハサウ云フ者ヲ政府ニ紹介スルコトハ、動モスレバ其間ニ忌ハシキ醜聞ガ起ルノデアリマス、從テ斯様ナコトハ禁止スベキデアル、又立法院ハ國民ヲ代表シテ行政府ヲ監督スルノ地位ニ立ツベキモノデアル、其監督ノ地位ニ立ツベキ所ノ立法院ノ議員ガ政府ヨリ保護ヲ受ケ、或ハ政府ヨリ特權ヲ受ケテ居ル營利會社ノ重役ニナルコトハ、斷然禁止ナケレバナラヌ、例ヘバ郵船會社ノ補助金問題ガ議場ニ現ハレタ時ニ、其郵船會社ノ重役ヲ兼ル議員ガ出席シテ居タナラバ、果シテ公平神聖ナル意見ヲ發表スルコトガ出來ルデアリマセウカ(拍手)近年貴族院議員中ニ政府ノ保護會社、或ハ特權關係ノアル特殊銀行等ノ重役ヲ勤メテ居ラル、者ガアルノハ、甚ダ感服ノ出來ナイコトデアリマス(拍手)斯様ナ事ハ是非トモ將來ハ禁止シタイノデアル、又更ニ議員トシテ授機ニ關係スルコトハ禁止シタイノデアル、株式取引所或ハ米穀取引所等ノ重役ヲシテ居ル人ガ議員ヲ勤メテ居ルト假定スルナラバ、或ハ又ソレ等ノ人ト共ニ授機ニ從事スルナラバ、必ズヤ相場ノ上下ヲ圖ル爲ニ政爭ヲ授機ノ犧牲ニ供スルコトガアルノデアリマス(拍手)是ガ爲ニ政界ヲ腐敗セシメ、或ハ混亂セシメルコトハ抄クナイト思フ、既ニ上海取引所事件ト云フ忌ハシキ事件ノ出タコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアル、又議員ハ金錢、物品、手形、其屬財產上ノ利益ノ提供ニ依テ政黨ニ加入シ或ハ政黨ヨリ他ノ政黨ヘ轉ズルト云フガ如キハ、法律ニ於テ禁ズベキデアルト思フノデアル(拍手)何故ナラバ斯様ナコトハ政治家トシテ自己ノ節操ヲ蹂躪スルモノデアリ、又自己ノ節操ヲ泥土ニ委スルモノデアル、斯様ナコトデ、政黨ノ

革新ハ出來ルモノデナイ、最後ニ私ハ御參考マデニ一言シタイコトハ、英國ノ庶民院ノ決議、演職ニ關スル所ノ有力ナル決議デアル、即チ千六百九十五年五月二日英國庶民院ノ決議ニ曰ク、國會ノ審査中ニ屬シ、若クハ審議ニ付セラレントスル問題ニ付、議員ニ對シ金錢其他ノ利益ヲ提供スベキコトヲ申出ヅル者ハ、重罪ヲ以テ論ズトアル、此決議ノ精神ニ基イテ、議院又ハ委員會ノ議事ヲ左右センガ爲ニ、議員ニ對シ贈賄ヲ申出ヅル者ハ、獨リ其議員ヲ侮辱スルノミナラズ、議院ヲ侮辱スルモノトシ、特權侵害ヲ以テ論ズト、之ガ即チ其決議デアル、英國ニ於テ贈賄者ハ、古來國會ノ法律ニ依テ最モ苛酷ナル刑罰ヲ科セラレテ居リマス、又國會ノ法律ハ直接ノ收賄者ヲ處罰スルニ止マラズ、議員ニシテ辯護士タルモノハ一切報酬ヲ受クルコトヲ禁止シテアリマス、一千八百三十二年二月二十六日ノ決議ニ依リ、議員ニシテ辯護士タルモノハ、金錢上ノ報酬ヲ受ケテ請願事件ニ關係スルコトヲ得ズ、又議員ガ請願事件其他國會ノ議事ニ付スベキ問題ニ關シ、顧問トシテ相談ニ與カルハ國會ノ慣例ニ戾ルノミナラズ、辯護士ノ職業ニ背クモノトナツテ居ル、英國デハ如何ニ議員ノ演職ニ就テ嚴密デアルカハ分ルデアラウ、本員ハ、我政界近時ノ情勢ニ鑑ミマシテ、大ニ政界廓清ノ必要ヲ認メ、我ガ立憲政治ノ健全ナル發達ヲ祈ルガ爲ニ、本案ヲ提出シタ次第デアリマス、滿場一致熱烈ナル御賛成アラント希望致シマス(拍手)

御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○作問耕逸君 三度議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第六十七及第六十八、即チ佐藤實君外二名提出、金鶏勳章年金ニ關スル法律案外一案ヲ特ニ繰上ゲテ一括議題ト爲シ、其二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

〔賛成(贊成)ト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、日程第六十七、金鶏勳章年金ニ關スル法律案、日程第六十八、金鶏勳章年金ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——佐藤實君

第六十七 金鶏勳章年金ニ關スル法律案(佐藤實君外二名提出) 第一讀會

金鶏勳章年金ニ關スル法律案

金鶏勳章年金ヲ受クル者ニ對シテハ大正十七年度ヨリ功五級以下ノ者ニ對シ毎年額金五十圓ヲ加給ス

第六十八 金鶏勳章年金ニ關スル法律案(古川清君外二名提出) 第一讀會

金鶏勳章年金ニ關スル法律案

金鶏勳章年金ヲ受クル者ニ對シテハ功級別ニ依リ大正十五年度ヨリ毎年左記金額ノ五分ノ一宛ヲ遞次加給シ大正十九年度ヨリ其ノ全額ヲ加給ス

功一級 五百圓

功二級 五百圓

功三級 三百圓

功四級 二百圓

功五級 二百圓

功六級 二百圓

功七級 二百圓

○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ

〔賛成(贊成)ト呼フ者アリ〕

○作問耕逸君 三案ヲ一括シテ武蔵金吉君外十九名提出、議員法中改正法律案ノ委員ニ併セテ付託セラレントヲ望ミマス

第六十八 金鶏勳章年金ニ關スル法律案(古川清君外二名提出) 第一讀會

金鶏勳章年金ニ關スル法律案

金鶏勳章年金ヲ受クル者ニ對シテハ功級別ニ依リ大正十五年度ヨリ毎年左記金額ノ五分ノ一宛ヲ遞次加給シ大正十九年度ヨリ其ノ全額ヲ加給ス

功一級 五百圓

功二級 五百圓

功三級 三百圓

功四級 二百圓

功五級 二百圓

功六級 二百圓

功七級 二百圓

〔佐藤實君登壇〕

○佐藤實君 只今上程ニナリマシタ金鵄勳章年金改正ニ關スル法律案ニ付キマシテ、議場道徳ヲ重シ、又各派交渉會ノ決議ニ依リマシテ、十分間以内ト云フコトデアリマス、簡單ニ其理由ヲ説明申上ゲマス、此提案ノ趣旨ハ、諸君ノ手許ヘ御配付シテアリマス如ク、大正十七年度ヨリ功五級以下七級迄ニ對シテ、其級別ニ應ジテ年度毎ニ金五十圓ヲ加給スルコト云フ案デアリマス、是ハ各議會毎ニ、就中最近ニ於キマシテ、殆ド請願件數ノ半バヲ占メテ居ル有様デアリマス、斯様ニ多數ニ上テ居ルニモ拘ラズ、是ガ委員會ニ於テ滿場一致ヲ採擇セラレテ居ルデアリマス、又前後二回ニ互リマシテ建議案ガ出タノデアリマスガ、此建議案モ殆ド滿場一致ヲ以テ通過シタノデアリマス、併ナガラ斯様ナ多數ナ民意ヲ無視シテ之ガ改正増額セラレズシテ今日ニ至リマシタコトハ、私共ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、諸君、抑、此金鵄勳章ハ明治二十七年ノ制定ニ係ルデアリマシテ、其制定ノ當時カラ年ヲ算ヘマスト殆ド三十年ノ經過ヲ致シテ居ルデアリマス、此三十年間ノ今日迄ニ、總テノ物價ノ變動、經濟界ノ變遷ガアツタニ拘ラズ、少シモ改正増額セラレズシテ今日迄參リマシタコトハ、是亦立憲政治ノ本義ニ悖リ、責任政治ノ立場カラ致シマシテ、私共ハ洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、諸君、之ガ改正ガ出來ナイノハ、立法ノ性質論ヲ説キ、或ハ文章ノ字句ニ拘泥シテ、恩給トノ關係ヲ論ズル人ガアルノデアリマス、併ナガラ恩給ハ御存知ノ如ク明治十七年ニ太政官ノ布告達一ニ依テ發セラレ、其當時ハ憲法ハナイノデアリマスカラ、憲法ガ制定セラレルマデニ兩三回改正ヲセラレテ居ルデアリマス、之ガ憲法發布ニナリマシテ、明治二十三年ノ六月二十一日ニ、之ガ法律トナッテ變テ

ノデアリマス、之ガ勅令ナルガ故ニ改正ガ出來ナイト云フコトハ、此例ニ徴シテモ私ハ矛盾シテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、又恩給ハ其勳績ニ對スル所ノ恩賞デアリ、或ハ生活ノ一部ヲ援ケルモノデアアルガ故ニ、經濟界ノ變動一伴ヒ、之ヲ改正増額スルノガ至當デアルト云フデアリマス、レドモ、私ハ年金ト恩給トハ、何等其性質ニ於テ變ラヌモノデアルト考ヘテ居ルデアリマス、御制定ノ當時ノ關係者ニ付テ話ヲ聞キマスト、立案ノ基礎ニ付テハ、其當時ノ軍人恩給法ニ依リタノガ其基礎デアリマス、其當時ノ陸軍大將ハ即チ千五百圓デアル、或ハ大尉級ノ人ガ三百圓デアル、又伍長ナリ、曹長ナリ、准士官ノ級ガ八十圓カラ百五十圓デアッタノデアリマス、故ニ一級ハ大將ニ相當セシメ、五級ハ之ヲ大尉級ニ相當セシメ、或ハ七級ガ准士官ノ中間ヲ取テ之ヲ定メタノデアリマス、又一時賜金ニ付テモ、日清戰爭ノ際ハ伍長級ハ五十圓カラ百圓ニシカ當ラヌノデアリマス、ソレガ大戰役ニ變テ來マスト、八百圓カラ千圓マデニ之ガ上テ居ルデアリマス、年金ハ生活ノ給與ノ性質ヲ有セナイト云フ説ニ依ッテ、之ガ改正増額ヲ否定シテ居ルデアリマス、ケレドモ、金錢給與ヲ加味セザル所ノ恩賞ハ、私ハ姑ク措キマシテ、苟モ物質ヲ加味スル以上ハ、物價ノ變動、經濟的ノ價值ノ推移ニ依ッテ、相當考慮ヲ拂フコトガ必要デアルト考ヘテ居ルデアリマス、拔群ノ武功ニ依ッテ最高ノ名譽表彰セラレ、勳章ガ他ノ勳章ニ比シテ最も深遠ナル思召ニ依ッテ出來タコトデアルト、私共ハ大ナル敬意ヲ拂ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手)之ガ他ノ勳章ニ比シテ一層光輝アル所以デアルト確信スルデアリマス、又最近恩給ガ段々増加致シマスガ故ニ、恩給ノ増加ト共ニ國家ハ其財源ニ苦シムト云フ

說ガアルノデアリマス、是ハ私ハ御尤ナ説デアッテ、此増加ニハ相當注意セネバナラヌデアリマスガ、金鵄勳章ノ年金ハ、保險會社ノ死亡率調査ニ依リマスト云フト、大正四十年マデ平和ガ續クモノト假定致シマスレバ、只一厘モ資金ハ要ラナイノデアル、即チ加速度ヲ以テ減少シ年々増加スル性質ノモノトハ全然違フノデアリマス、決シテ恩給ト並ビ之ヲ稱スルコトハ出來ナイノデアリマス(簡單々々)ト呼フ者アリ)簡單ノ聲ガアリマスカラ大急ギテ進ミマシタリ、軍閥政治ヲ以テ國家ガ立ッテ行クモノトハ思ヒマセヌ、併ナガラ歴代内閣ト云ヒ、政治家ト云ヒ、實業家ト云ヒ、學者ト云ヒ國家ノ總テノ階級ノ人ガ、全智能ヲ擔テ國防ノ充實ニ向テ力ヲ注イデ居ルデアリマス、此國防ノ充實ハ、恐ラク何人モ大賛成デアル、其内容ハ所謂新兵器ノ改善デアルトカ、或ハ青少年ノ訓練デアルトカ、毒瓦斯ノ研究デアルトカ、或ハ航空事業ノ刷新デアルトカ、是等ハ何ヲ以テ運用出來マスカ、所謂最後ハ人デアル、人デナケネバ私ハ何事モ出來ナイト思フノデアル、又彼等ハ戰場ニ於テハ一身ヲ國家ニ挺シ、郷ニ在ッテ公共ノ爲ニ衆ニ率先シ、社會ノ爲ニ盡力シテ居ルデアリマス、故ニ是非共國民思想ノ善導ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、又軍人ノ精神、士氣ノ涵養ノ上カラ論ジマシテモ、ドウシテモ今日之ヲ改正増額致シマシテ、將來國家有事ノ場合ニ今ニシテ備ヘテ置クト云フコトハ、最も大切ニシテ必要ナル事柄デアラウト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)故ニ本案ヲ提出致スノデアリマスカラ、年來ノ國民多數ノ希望ヲ容レラレテ、何卒滿場一致ヲ以テ御賛成下サラシコトヲ過ニ熱望致スノデアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 古川清君 簡單デアリマスカラ此席カラ御許シテ願ヒマス——理由ハ只今佐藤君ヨリ御述ベニナリマシタガ、唯、内容ガ違テ居リマスカラシテ、委員會ニ於テ説明ヲ致シマスカラ、ドウカ委員付託ニナランコトヲ御願ヒテ致シマス

○作間耕逸君 右兩案ヲ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス、而シテ議長ハ此場合直ニ委員ヲ指名セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、委員ヲ指名致シマス、佐藤實君、加藤十四郎君、平井光三郎君、古川清君、山口義一君、青木精一君、小野義一君、中林友信君、宮崎友太郎君、以上

○作間耕逸君 向ホ重ネテ議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出獸醫師法案ヲ特ニ上程シテ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ其第一讀會ノ續ヲ開キ、續イテ日程第三百八十三、山口政二君外四名提出決議案、議員事務室ノ設立及圖書館擴張ノ件ヲ特ニ繰上ゲテ議題トナシ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、獸醫師法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長服部英明君

獸醫師法案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 獸醫師法案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告書候也

大正十五年三月二十四日

獸醫師法案委員長

服部 英明

衆議院議長粕谷義三殿

獸醫師法案中左ノ通修正ス

第三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加ヘ第四條ヲ第

五條ニ改メ以下第十一條迄順次繰下ク

第四條 獸醫師ニ非サレハ家畜ノ疾病ニ

關スル診察又ハ治療ヲ業務ト爲スコト

ヲ得ス

前項ノ家畜ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條ヲ第十三條ニ、同條第一號ヲ左

ノ如ク、第三號中「第四條又ハ第七條」ヲ

「第五條又ハ第八條」ニ改ム

一 第四條ノ規定ニ違反シタル者

第十三條ヲ第十四條ニ、同條中「第五條

又ハ第六條」ヲ「第六條又ハ第七條」ニ改

ム

〔服部英明君登壇〕

○服部英明君 諸君、本員ハ獸醫師法案ノ

審査ヲ付託セラレマシタル委員會ニ於キマス

ル經過及結果ノ報告ヲ致シマス、獸醫師法案

ハ御承知ノ通り貴族院ニ於テ二箇所修正セラ

レマシタ、其一ツハ第四條中「處方箋」ノ三字

及「若ハ治療爲シ」ト云フ七字ヲ削リテア

ルノデアリマス、次ニ附則第八項中「八

年」ヲ「十二年」ト改メラレタノデアリマス、

此貴族院ノ修正セラレマシタル獸醫師法案

ニ對シマシテ、私共委員會ハ慎重審議ヲ致

シマシテ、熱心質問ニ對シ、懇切ナル應答

ガアリマシタノデアリマスルガ、其結果、

委員土屋清三郎君ヨリ修正案ガ出タノデア

リマス、只今ソレヲ朗讀致シマス、原案ノ

第三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加ヘ、第四條ヲ第

五條ニ改メ以下順次繰下グルコトニナリマ

シタ、其第四條ハ即チ「獸醫師ニ非サレハ

家畜ノ疾病ニ關スル診察又ハ治療ヲ業務ト

爲スコトヲ得ス前項ノ家畜ハ勅令ヲ以テ之

ヲ定ム」ト云フ此一條ヲ加ヘタノデアリマ

ス、此一條ヲ加ヘマシタル結果、當然之ニ

伴フ變史ヲ生ジタノデアリマス、即チ第十

三條第一號ヲ左ノ如ク改ムルコトニナリマ

シタ「第四條ノ規定ニ違反シタル者」ト云フ

コトニ改ムルコトニナリマシタ、次ニ第十

三條第三號中「第四條又ハ第七條」ヲ「第五

條又ハ第八條」ニ第十四條中「第五條又ハ

第六條」ヲ「第六條又ハ第七條」ニ改ムルコ

トニ相成リマシタ、以上ノ修正案ガ土屋君

カラ提案セラレマシテ、委員會ハ滿場一致

ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、即チ本案ニ對ス

ル所ノ委員會ノ結果ハ、斯ノ如ク修正ヲ加

ヘマシテ、滿場一致可決ヲ致シタノデアリ

マス、若シ夫レ詳シイ事ニ至リマシテハ委

員會ノ記錄ヲ御覽ヲ願フコトニ致シタイノ

デアリマス、右委員會ノ經過及結果ヲ御報

告致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ノ第二讀會

ヲ開クヤ否ヤ御諮リ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認

メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、

第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決

確定セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ

ハ御異議ナシト認メマス仍テ直ニ第二讀會

ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

獸醫師法案(政府提出、貴族院送付)

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 第三讀會ヲ省略

シ、委員長報告通り可決確定致シマシタ

日程第三百八十三、決議案ヲ議題ト致シマ

ス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出

者山口政二君

第三百八十三 決議案(議員事務室ノ

設立及圖書館擴張ノ件)(山口政二君

外四名提出)

○山口政二君 簡單デアリマスカラ、此席

カラ御許シテ願ヒマス、——只今議題トナ

テ居リマス決議案ノ主文ハ「決議——政府

ハ速ニ各議員專用ノ事務室ヲ設ケ且ツ大ニ

圖書館ノ設備ヲ擴張シ以テ議員ノ調査研究

ニ資スヘシ——右決議ス」ト云フノデアリ

マス、理由ハ特ニ説明致スマデモナク、簡

單明瞭デアリマスガ、理由書ハ議長ノ御許

シテ得テ、速記録ニ掲載致スコトニシテ、

此處ニハ省略致シマス、速ニ御協賛アラ

コトヲ望ミマス

〔賛成「賛成」ト呼フ者アリ〕

〔補足〕

決議案ノ主文ハ「決議、政府ハ速ニ各議

員專用ノ事務室ヲ設ケ且大ニ圖書館ノ設

備ヲ擴張シ以テ議員ノ調査研究ニ資スヘ

シ 右決議ス」ト云フノデアリマス

決議案ノ理由ト致シマシテハ、時運ノ進

展ニ伴ヒ、立法事項益増加シ、歲計亦年

ト共ニ膨張致シマシテ、之カ協賛ノ任ニ

在ル議員ノ職責ハ自ラ重キヲ加フルノテ

アリマス、然ルニ現在議院ノ設備ハ、極

メテ空疎デアリマシテ、調査研究ノ機關

殆ント闕如シ、議員ヲシテ其ノ職責ヲ遂

行セシムルニ於テ頗ル遺憾デアリマス議

會會期中ノ議員控室ハ、多數雜沓シテ常

ニ喧囂ヲキハメ、固ヨリ靜思默考ニ適シ

マセヌ、僅ニ圖書館ノ設備ガアリマスル

カ、藏書貧弱テアツテ資料ヲ供スルニ足リ

マセヌ、特ニ地方常住ノ議員ニシテ旅舍

ニ起臥スル者ノ如キハ、調査研究ニ不便

ヲ感ズルコトガ一層甚シイノデアリマ

ス、此ノ闕漏ヲ補フガ爲メニハ、議院構

内又ハ附近ノ地ニ議員事務室ヲ設ケマシ

テ、一員又ハ數員ニ一室ヲ給シテ諸般ノ

便宜ヲ之ニ與フルコトトシ、更ニ圖書館

ヲ完全ニ致シテ、有用ナル參考書類ヲ充

實セシメマシタナラハ、議員ハ之ニ由ツ

テ靜ニ政務ヲ調査シ、議案ヲ研究シ、以

テ其ノ職責ヲ完ウスルコトガ出來ルノデ

アリマス、本院ハ第四十六議會中、新議

院構内ニ議員事務室ヲ設置スヘシト政府

ニ建議致シマシタカ、今ヤ時運ノ進展ニ

鑑ミテ、本件設備ノ如キ一日モ緩ウスル

コトノ出來ナイコトヲ痛感シマシテ、此

ニ政府ヲ促シテ、速ニ之カ設備ヲ完ウセ

シメヤウト致ス次第デアリマス、何卒御

審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ望ミ

マス

○副議長(小泉又次郎君) 採決致シマス、

本案ヲ可決スルコトニ御異議ハアリマセヌ

カ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議アリマセ

ヌカラ、本案ハ可決致シマシタ

○作間耕逸君 殘餘ノ日程ハ之ヲ延期シ、

明日ハ特ニ午前十時本會議ヲ開カレンコト

ヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ

御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ハナシト

認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、明

日ハ作間君ノ御發言ノ通り、午前十時カラ

開會致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後八時三十八分散會

